

au

Samsung
GALAXY Tab S

SCT21

取扱説明書 詳細版

Android 6.0対応版

ごあいさつ

このたびは、GALAXY Tab S(以下、「本製品」と表記します)をお買い上げいただき、誠にありがとうございました。『取扱説明書 詳細版 Android 6.0対応版』(本書)は、Android 6.0へのメジャーアップデート(OS更新)後の内容について記載しています。メジャーアップデート(OS更新)をされていない場合、本製品に付属する『取扱説明書』『設定ガイド』およびauホームページに掲載の『取扱説明書 詳細版』をご参照ください。
<http://www.au.kddi.com/support/mobile/guide/manual/>

操作説明について

■『設定ガイド』／『取扱説明書』

『取扱説明書』(付属品)／『設定ガイド』(付属品)では、OSバージョンアップ前の主な機能の主な操作のみ説明しています。さまざまな機能のより詳しい説明については、本体内で利用できる『取扱説明書アプリケーション』やauホームページより『取扱説明書 詳細版 Android 6.0対応版』および『設定ガイド Android 6.0対応版』をご参照ください。

<http://www.au.kddi.com/support/mobile/guide/manual/>

- ・ 本書に記載している会社名、製品名は、各社の商標または登録商標です。なお、本文中ではTM、®マークを省略している場合があります。

■『取扱説明書アプリケーション』

本製品では、本体内で詳しい操作方法を確認できる『取扱説明書アプリケーション』をご利用できます。また、機能によっては説明画面からその機能を起動することができます。

アプリ一覧画面で『取扱説明書』

- ・ 初めてご利用になる場合は、画面の指示に従ってアプリケーションをダウンロードし、インストールする必要があります。

■ For Those Requiring an English Instruction Manual 英語版の『取扱説明書』が必要な方へ

You can download the English version of the Basic Manual from the au website.

『取扱説明書・抜粋(英語版)』をauホームページに掲載しています。

Download URL:

<http://www.au.kddi.com/support/mobile/guide/manual/>

安全上のご注意

本製品をご利用になる前に、本書の「安全上のご注意」をお読みのう え、正しくご使用ください。

故障とお考えになる前に、以下のauホームページのauお客さまサポートで症状をご確認ください。

<http://www.au.kddi.com/support/mobile/trouble/repair>

本製品をご利用いただくにあたって

- ・通信中は、身体から1.5センチ以上離し、かつその間に金属(部分)が含まれないようにしてください。
- ・サービスエリア内でも電波の届かない場所(トンネル・地下など)では通信できません。また、電波状態の悪い場所では通信できないこともあります。なお、通信中に電波状態の悪い場所へ移動すると、通信が途切れることがありますので、あらかじめご了承ください。
- ・本製品は電波を使用しているため、第三者に通信を傍受される可能性がないとは言えませんので、ご留意ください。(ただし、LTE / WiMAX 2+ / CDMA / GSM / UMTS方式は通信上の高い秘話・秘匿機能を備えております。)
- ・本製品はau世界サービス対応の端末ですが、本書で説明しております各ネットワークサービスは、地域やサービス内容によって異なります。
- ・本製品は電波法に基づく無線局ですので、電波法に基づく検査を受ける場合があります、その際にはお使いの本製品を一時的に検査のためご提供いただく場合がございます。
- ・「本製品の保守」と「稼働状況の把握」のために、お客様が利用されている本製品のIMEI情報を自動的にKDDI(株)に送信いたします。
- ・公共の場でご使用の際は、周りの方の迷惑にならないようご注意ください。
- ・海外でご利用される場合は、その国/地域の法規制などの条件をあらかじめご確認ください。
- ・お様がお使いになるときは、保護者の方が『取扱説明書 詳細版 Android 6.0対応版』(本書)をよくお読みになり、正しい使いかたをご指導ください。

マナーも携帯する

■ こんな場所では、使用禁止！

- ・自動車や原動機付自転車、自転車などの運転中は、音楽や動画およびテレビを視聴しないでください。自動車・原動機付自転車運転中の使用は法律で禁止されています(自転車運転中の使用も法律などで罰せられる場合があります)。また、歩行中でも周囲の交通に十分ご注意ください。周囲の音が聞こえにくく、表示に気を取られ交通事故の原因となります。特に踏切、駅のホームや横断歩道ではご注意ください。
- ・航空機内での使用については制限があるため、各航空会社の指示に従ってください。

■ 使う場所に気をつけて！

- ・映画館や劇場、美術館、図書館などでは、通知音で周囲の迷惑にならないように電源を切るか、マナーモードを利用しましょう。
- ・街中では、通行の邪魔にならない場所で使いましょう。
- ・端末の画面を見ながらの歩行は大変危険です。歩行中または急に立ち止まるとの操作は控えましょう。
- ・新幹線の車中やホテルのロビーなどでは、迷惑のかからない場所へ移動しましょう。
- ・端末のカメラを使って撮影などする際は、相手の方の許可を得てからにしましょう。

■ 周りの人への配慮も大切！

- ・満員電車の中など混雑した場所では、付近に心臓ペースメーカーを装着している方がいる可能性があります。事前に本製品の「機内モード」へ切り替える、もしくは電源を切っておきましょう。
- ・病院などの医療機関が個々に使用禁止、持ち込み禁止と定めている場所では、その指示に従いましょう。

同梱品一覧

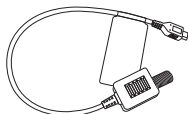
ご使用いただく前に、下記の同梱物がすべてそろっていることをご確認ください。



本体



サムスンTVアンテナケーブル02
(O2SCHSA)



サムスンTVアンテナ入力用
microUSB変換ケーブル01
(O1SCHKA)

- 保証書(本体)
- 取扱説明書
- 設定ガイド

以下のものは同梱されていません。

- microSDメモ리카ード
- ACアダプタ
- ステレオヘッドセット
- microUSBケーブル

- 指定の充電用機器(別売)をお買い求めください。
- 本文中で使用しているイラストはイメージです。実際の製品と異なる場合があります。

目次

ごあいさつ	ii
操作説明について	ii
安全上のご注意	ii
本製品をご利用いただくにあたって	1
マナーも携帯する	1
同梱品一覧	2
目次	3
安全上のご注意	7
本書の表記方法について	8
免責事項について	9
安全上のご注意 (必ずお守りください)	9
取り扱い上のお願い	17
ご利用いただく各種暗証番号について	21
PINコードについて	21
Bluetooth®/無線LAN (Wi-Fi®) 機能 について	22
データ通信料についてのご注意	23
アプリケーションについて	23
アプリの権限を設定する	24
ご利用の準備	25
各部の名称と機能	26
au Micro IC Card (LTE)について	28
au Micro IC Card (LTE)を取り付ける	28
au Micro IC Card (LTE)を取り外す	29
充電する	29
指定のACアダプタ (別売) を使って充電する	31
パソコンを使って充電する	32
電源を入れる/切る	33
電源を入れる	33
電源を切る	33
強制的に再起動する	33
セーフモードで起動する	33
画面ロックを設定する	34

画面ロックを解除する	34
Googleアカウントの設定をする	34
au IDを設定する	34
Galaxyアカウントの設定をする	35
基本操作	36
基本操作	37
タッチパネルの使いかた	37
モーションの使いかた	38
ホーム画面を利用する	39
ホーム画面をカスタマイズする	39
マルチウィンドウで表示する	41
アプリ一覧画面を利用する	41
アプリ一覧画面を表示する	41
アプリ一覧画面のメニューを利用する	45
アプリ一覧画面をカスタマイズする	45
ツールボックスを利用する	46
ツールボックスを表示する	46
ツールボックスからアプリケーションを 起動する	46
本製品の状態を知る	46
アイコンの見かた	46
通知パネルについて	48
Google検索を利用する	49
Google音声検索を利用する	49
検索時のメニューを利用する	49
Sファインダーを利用する	50
Flipboardを利用する	50
基本的な操作を覚える	50
縦横表示を切り替える	50
項目を選択する	50
タブを切り替える	50
メニューを表示する	51
設定を切り替える	51
データを複数選択する	51
最近使用したアプリケーションを表示する	51
起動中のアプリケーションを 確認/終了する	52
画面の表示内容を画像として保存する	52

指紋認証機能を利用する	52
指紋認証機能を設定する	53
指紋認証を行う	54
文字入力	54
文字を入力する	54
入力方法を切り替える	54
Galaxy日本語キーボードで入力する	55
文字列を選択/切り取り/コピー/ 貼り付ける	57
文字入力の設定をする	57
Galaxy日本語キーボードの設定を行う	57
メール	59
メールについて	60
Eメールを利用する	60
Eメールの表示モードを切り替える	61
会話モードでの画面の見かた	61
フォルダモードでの画面の見かた	63
Eメールを送信する	67
宛先を追加・削除する	68
送信予約をする	68
Eメールにデータを添付する	69
D絵文字を利用する	69
コミコミを利用する	70
本文入力中にできること	70
フォルダモードで本文を装飾する	70
Eメールを受信する	72
添付データを受信・再生する	72
添付画像を保存する	73
差出人/宛先/件名/電話番号/ Eメールアドレス/URLを利用する	73
新着メールを問い合わせで受信する	74
Eメールを検索する	74
Eメールを会話モードで確認する	75
会話モード画面でできること	75
Eメールを個別に操作する	75
Eメールをフォルダモードで確認する	76
フォルダモード画面でできること	77

Eメール詳細表示画面でできること	77	Gmailのメニューを利用する	100	動画を録画する	117
フォルダを作成/編集する	78	インターネット	101	ギャラリー	118
Eメールを設定する	81	インターネットに接続する	102	静止画/動画を表示する	118
受信・表示に関する設定をする	82	データ通信を利用する	102	ギャラリーのメニューを利用する	118
送信・作成に関する設定をする	83	ブラウザを利用する	103	ビデオ	119
通知に関する設定をする	84	Webページを表示する	103	ビデオのメニューを利用する	120
個別の通知に関する設定をする	85	Webページを移動する	103	ミュージック	120
Eメールアドレスの変更やその他の設定をする	85	ブラウザ画面のメニューを利用する	103	楽曲データを再生する	120
Eメールをバックアップ/復元する	86	タブを利用する	104	ミュージックのメニューを利用する	121
メールデータをバックアップする	86	リンクを操作する	105	プレイリストを利用する	121
メールデータを復元する	87	ブックマーク/履歴を利用する	105	プレイリストを編集する	121
Eメールをまるごとバックアップする	87	ブックマークを追加する	105	テレビ	122
まるごとバックアップデータを復元する	88	履歴を確認する	106	テレビをご利用になる前に	122
迷惑メールフィルターを設定する	88	履歴を消去する	106	テレビの初期設定をする	123
SMSを利用する	91	ブラウザを設定する	106	テレビを見る	123
SMSを送信する	91	ツール・アプリケーション	107	視聴画面について	123
SMSを受信する	92	連絡先	108	視聴中の番組を録画する	125
SMSを返信/転送する	92	連絡先を登録する	108	視聴中の設定を行う	125
電話番号/Eメールアドレス/URLを利用する	93	連絡先をお気に入り追加する	109	テレビの録画や視聴を予約する	125
SMSを保護/保護解除する	93	プロフィールを登録する	109	番組表から予約する	125
SMSの電話番号を連絡先に登録する	93	連絡先を確認/編集する	110	Gガイド番組表から予約する	125
SMSを検索する	93	グループ分けした連絡先を確認する	110	手動で予約する	126
SMSを削除する	94	電話番号を利用する	110	予約を確認する	126
SMSを設定する	94	連絡先のメニューを利用する	110	録画した番組を再生する	126
受信フィルターを設定する	95	連絡先をインポート/エクスポートする	110	チャンネルを設定する	126
PCメールを利用する	95	インポートする	110	エリア情報を設定する	126
PCメールのアカウントを設定する	95	エクスポートする	111	エリア情報を切り替える	126
アカウントの設定を変更する	96	マルチメディア	111	TVリンクを利用する	127
PCメールのアカウントを削除する	98	カメラを利用する	111	TVリンクを登録する	127
PCメールを送信する	98	カメラをご利用になる前に	111	TVリンクを表示する	127
PCメールを受信する	99	撮影画面の見かた	112	テレビを設定する	127
PCメールを返信/転送する	100	撮影前の設定をする	113	Androidアプリ	128
PCメールを削除する	100	プレビュー画面を利用する	114	Google Playを利用する	128
Gmailを利用する	100	撮影モードを変更する	115	Google Playをご利用になる前に	128
Gmailを送信する	100	録画モードを設定する	116	アプリケーションを検索し、インストールする	128
Gmailを受信する	100	静止画を撮影する	117		

アプリケーションを管理する	129	NFCタグリーダーを利用する	138	メモリの使用量を確認する	152
提供元不明のアプリケーションの ダウンロード	129	安心アクセス for Android™ 利用する	138	マイファイルを利用する	153
インストールされたアプリケーションを 削除する	129	auお客さまサポート	140	マイファイルのメニューを利用する	153
YouTube	130	auスマートサポートを利用する	141	本体内のデータをmicroSDメモリカードに バックアップする	154
YouTubeを利用する	130	auスマートサポートでできること	141	microUSBケーブル01 (別売) で パソコンと接続する	154
Googleサービス	130	Lookout for auを利用する	141	メディアデバイス (MTP) モードで 接続する	155
Google/ハンガアウトを利用する	130	位置検索をご利用いただくにあたって	141	カメラデバイスとして使用する	155
Google/ハンガアウトにログインする	130	Lookout for auを利用する	142	microUSBケーブル01 (別売) を 安全に取り外す	155
Googleマップを利用する	130	リモートサポートを利用する	142	Smart Switchを利用する	155
GPS機能を利用する	131	リモートサポートを利用する	142	近くのデバイス	156
地図上で現在地を検出する	132	au災害対策アプリ	142	近くのデバイスと本製品内のファイルを 共有する	156
ストリートビューを見る	132	災害用伝言板を利用する	142	「近くのデバイス」のメニューを利用する	156
周辺のスポットを確認する	132	緊急速報メールを利用する	143		
地図を拡大／縮小する	132	災害用音声お届けサービスを利用する	144		
レイヤを変更する	132	災害関連情報を利用する	144		
Friends Note を利用する	133	auサービスTOP を利用する	145		
Sプランナー	133	時計	145		
カレンダーを表示する	133	アラームを利用する	145		
カレンダーの内容について	133	アラームを止める	146		
Sプランナーのメニューを利用する	134	世界時計を利用する	146		
イベントやタスクの通知を解除または スヌーズを設定する	134	電卓	147		
Galaxy Apps	135	スクリーンショットシェア を利用する	147		
Sボイス	135	スクリーンショットを撮る	147		
Sボイスをご利用になる前に	135	画像を編集する	147		
Sボイスを利用する	135	画像を他のアプリへ連携する	148		
辞書	136	au Wi-Fi接続ツール を利用する	149		
NFC を利用する	136	ファイル管理	150		
NFCとは	136	microSDメモリカードを利用する	151		
NFC機能を有効にする	137	microSDメモリカードを取り付ける/ 取り外す	151		
Android Beam / S Beamを設定する	137	microSDメモリカードを取り付ける	151		
Android Beam / S Beamでデータを 送受信する	137	microSDメモリカードを取り外す	152		
		microSDメモリカードをフォーマットする	152		
				データ通信	157
				Bluetooth®機能	158
				Bluetooth®機能をオンにする	158
				他のBluetooth®機器を登録する	159
				他のBluetooth®機器から検出可能にする	159
				Bluetooth®対応機器の接続を解除する	159
				Bluetooth®機能でデータを送受信する	160
				Bluetooth®機能でデータを送信する	160
				Bluetooth®機能でデータを受信する	160
				無線LAN (Wi-Fi®) 機能	160
				Wi-Fi®機能を利用する	160
				Wi-Fi®機能をオンにする	161
				Wi-Fi®ネットワークに接続する	161
				WPSのプッシュボタン方式でWi-Fi®ネット ワークに接続する	161
				Wi-Fi®ネットワークを手動で追加する	161
				静的IPを使用して接続する	162
				Wi-Fi®機能を切断する	162
				Wi-Fi®の詳細設定を行う	162
				スマートネットワークに切り替える	162

オープンネットワーク通知を設定する	162	海外利用	183
Wi-Fi®ネットワークの並び順を設定する	162	海外利用	184
Wi-Fi®機能のスリープ設定をする	163	au世界サービスについて	184
Wi-Fi®証明書をインストールする	163	海外でご利用になるときは	184
Wi-Fi Directを設定する	163	海外利用に関する設定を行う	185
テザリング機能	163	データサービス・メッセージサービスの 通信料	186
Wi-Fi®テザリング機能を利用する	163	お問い合わせ方法	187
Wi-Fi®テザリングを設定する	163	海外で安心してご利用いただくために	187
接続を許可する機器を設定する	164	海外でのご利用上のご注意	188
USBテザリング機能を利用する	164	付録	189
Bluetooth®テザリング機能を利用する	164	付録	190
機能設定	165	周辺機器のご紹介	190
設定メニューを表示する	166	故障とお考えになる前に	191
「接続」の設定をする	166	ソフトウェアを更新する	191
機内モードを設定する	167	ソフトウェアをダウンロードして更新する	192
データ使用量を設定する	167	パソコンに接続して更新する	192
モバイルネットワークを設定する	168	アフターサービスについて	192
VPNを設定する	169	利用できるデータの種類	195
「デバイス」の設定をする	170	主な仕様	195
マナーモードを設定する	173	データ通信端末の比吸収率などについて	196
各種音量を調節する	174	索引	198
バイブレーションの強度を設定する	174	FCC notice	204
壁紙の設定をする	174	FCC RF exposure information	204
スクリーンセーバーを設定する	174	Body-worn operation	204
画面ロックを設定する	175	European RF Exposure Information	205
ユーザー補助を利用する	176	Declaration of Conformity	205
「一般」の設定をする	176	輸出管理規制	206
アカウントを登録する	179	知的財産権について	206
アカウントを削除する	179		
本製品を初期化する	179		
日付/時刻を手動で設定する	179		
省電力の設定をする	180		
ストレージ	180		
SIM変更アラートを設定する	181		
SIMカードロックを設定する	181		
「アプリ」の設定をする	182		

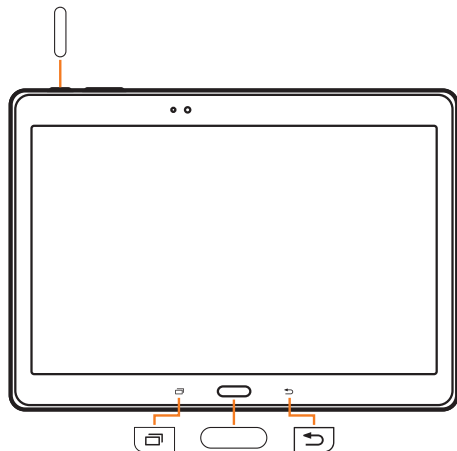
安全上のご注意

本書の表記方法について	8
免責事項について	9
安全上のご注意（必ずお守りください）	9
取り扱い上のお願い	17
Bluetooth [®] / 無線LAN (Wi-Fi [®]) 機能について	22
データ通信料についてのご注意	23
アプリケーションについて	23
アプリの権限を設定する	24

本書の表記方法について

■掲載されているキー表示について

本書では、キーの図を以下のように簡略化しています。



■項目／アイコン／キーなどを選択する操作の表記方法について

本書では、操作手順を以下のように表記しています。タップとは、ディスプレイに表示されているキーやアイコンを指で軽く叩いて選択する動作です (▶P.37)。

表記例	意味
ホーム画面で「基本機能」→ [設定] → [一般] → [日付 と時刻]	ホーム画面で「基本機能」をタップし、表示されるウィンドウで「設定」をタップし、「一般」タブをタップして「日付と時刻」をタップします。

■掲載されているイラスト・画面表示について

本書に記載されているイラスト・画面は、実際の製品・画面とは異なる場合があります。また、画面の一部を省略している場合がありますので、あらかじめご了承ください。

実際の画面



本書の表記では、画面上部のアイコン類などは省略されています。



本書の表記例



○本書では「microSD™メモリーカード」、「microSDHC™メモリーカード」および「microSDXC™メモリーカード」の名称を、「microSDメモリーカード」もしくは「microSD」と省略しています。

○本書の表記の金額は特に記載のある場合を除きすべて税抜です。

免責事項について

- 地震・雷・風水害などの天災および当社の責任以外の火災、第三者による行為、その他の事故、お客様の故意または過失・誤用・その他異常な条件下での使用により生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。
- 本製品の使用または使用不能から生ずる付随的な損害（記録内容の変化・消失、事業利益の損失、事業の中断など）に関して、当社は一切責任を負いません。
- 「取扱説明書 詳細版 Android 6.0対応版」（本書）の記載内容を守らないことにより生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。
- 当社が関与しない接続機器、ソフトウェアとの組み合わせによる誤動作などから生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。
- 本製品の故障・修理・その他取り扱いによって、撮影した画像データやダウンロードされたデータなどが変化または消失することがありますが、これらのデータの修復により生じた損害・逸失利益に関して、当社は一切責任を負いません。
- 大切なデータはコンピュータのハードディスクなどに保存しておくことをおすすめします。万一、登録された情報内容が変化・消失してしまうことがあっても、故障や障害の原因にかかわらず当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

※ 本書で表す「当社」とは、以下の企業を指します。
発売元：KDDI（株）・沖縄セルラー電話（株）
輸入元：SAMSUNG ELECTRONICS JAPAN Co., Ltd.
製造元：Samsung Electronics Co., Ltd.






- ◎ 本書の内容の一部、または全部を無断転載することは、禁止されています。
- ◎ 本書の内容に関して、将来予告なしに変更することがあります。
- ◎ 本書の内容につきましては万全を期しておりますが、万一、ご不審な点や記載漏れなどお気づきの点がございましたら、ご連絡ください。

安全上のご注意（必ずお守りください）







- ご使用前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。また、お読みになった後は大切に保管してください。この「安全上のご注意」には、本製品を使用するお客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、守っていただきたい事項を記載しています。各事項は以下の区分に分けて記載しています。

■ 表示の説明

 危険	この表示は「取り扱いを誤った場合に人が死亡または重傷 ^(※1) を負う危険が差し迫って生じることが想定される内容」を示しています。
 警告	この表示は「取り扱いを誤った場合に人が死亡または重傷 ^(※1) を負うことが想定される内容」を示しています。
 注意	この表示は「取り扱いを誤った場合に人が軽傷 ^(※2) を負うことが想定される内容や物的損害 ^(※3) の発生が想定される内容」を示しています。

- ※1 重傷：失明・けが・やけど（高温・低温）・感電・骨折・中毒などで後遺症が残るもの、および治療に入院や長期の通院を要するものを指します。
- ※2 軽傷：治療に入院や長期の通院を要さない、けが・やけど（高温・低温）・感電などを指します。
- ※3 物的損害：家屋・家財および家畜・ペットにかかわる拡大損害を指します。






■ 図記号の説明





	禁止（してはいけないこと）を示す記号です。		水がかかる場所で使用したり、水に濡らしたりしてはいけないことを示す記号です。
	濡れた手で扱ってはいけないことを示す記号です。		必ず実行していただくこと（強制）を示す記号です。
	分解してはいけないことを示す記号です。		電源プラグをコンセントから抜いていただく（強制）内容を示しています。

■ 本体、内蔵電池、充電用機器、au Micro IC Card (LTE)、周辺機器共通

 危険

必ず、下記の危険事項をお読みになってからご使用ください。







-  必ず指定の周辺機器をご使用ください。指定の周辺機器以外を使用した場合、発熱・発火・破裂・故障・漏液の原因となります。
-  高温になる場所（火のそば、暖房器具のそば、こたつの中、直射日光の当たる場所、炎天下の車内など）で使用、保管、放置しないでください。発火・破裂・故障・火災・傷害の原因となります。
-  ガンリンスタンドなど、引火性ガスが発生する場所に立ち入る場合は、必ず事前に本製品の電源をお切りください。また、充電もしないでください。ガスに引火するおそれがあります。
-  電子レンジなどの加熱調理機器や高圧容器に入れてください。発火・破裂・故障・火災・傷害の原因となります。
-  火の中に投入したり、加熱したりしないでください。発火・破裂・火災の原因となります。

-  外部接続端子やヘッドセット接続端子をショートさせないでください。また、接続端子に導電性異物（金属片・鉛筆の芯など）が触れたり、内部に入らないようにしてください。発熱による火災・故障・やけどの原因となります。
-  金属製のアクセサリなどをご使用になる場合は、充電の際に接続端子やコンセントなどに触れないように十分ご注意ください。感電・発火・傷害・故障の原因となります。
-  カメラのレンズに直接日光などを長時間当てないようにしてください。レンズの集光作用により、発火・破裂・火災・故障の原因となります。
-  お客様による分解や改造、修理をしないでください。故障・発火・感電・傷害の原因となります。万一、改造などにより本製品や周辺機器などに不具合が生じても当社では一切の責任を負いかねます。本製品の改造は電波法違反になります。



警告

必ず、下記の警告事項をお読みになってからご使用ください。

-  落下させる、投げつけるなどの強い衝撃を与えないでください。破裂・発熱・発火・漏液・故障の原因となります。
-  屋外で雷鳴が聞こえたときは使用しないでください。落雷・感電のおそれがあります。
-  外部接続端子やヘッドセット接続端子に手や指など身体の一部が触れないようにしてください。感電・傷害・故障の原因となる場合があります。
-  本製品が落下などによって破損し、ディスプレイが割れたり、機器内部が露出した場合、割れたディスプレイや露出部に手を触れないでください。感電したり、破損部でけがをすることがあります。auショップまたは安心ケータイサポートセンターまでご連絡ください。
-  本製品または充電用機器（別売）が濡れている状態で充電を行うと、感電や回路のショート、腐食が発生し、発熱による火災・故障・やけどの原因となります。
- 



水などの液体をかけないでください。また、水やベットの尿などが直接かかる場所や風呂場など湿気が多い場所での使用、または濡れた手での使用は絶対にしないでください。感電や電子回路のショート、腐食による故障の原因となります。万一、液体がかかってしまった場合には直ちに充電用機器（別売）の電源プラグを抜いてください。水濡れや湿気による故障は、保証の対象外となり有償修理となります。



自動車や原動機付自転車、自転車などの運転中や歩きながらの操作はしないでください。安全性を損ない、事故の原因となります。



所定の充電時間を超えても充電が完了しない場合は、充電をおやめください。漏液・発熱・破裂・発火の原因となります。



乳幼児の手の届く場所には置かないでください。小さな部品などの誤飲で窒息したり、誤って落下させたりするなど、事故や傷害の原因となる場合があります。



注意 必ず、下記の注意事項をお読みになってからご使用ください。



直射日光の当たる場所（自動車内など）や高温になる場所、極端に低温になる場所、湿気やほこりの多い場所に保管しないでください。発熱・変形・故障の原因となる場合があります。



ぐらついた台の上や傾いた場所など、不安定な場所に置かないでください。落下してけがや破損の原因となります。パイプレータ設定中は特にご注意ください。また、衝撃などにも十分ご注意ください。



使用中や充電中に、布団などで覆ったり、包んだりしないでください。火災・故障・傷害の原因となります。



外部から電源が供給されている状態の本体、指定のACアダプタ（別売）に長時間触れないでください。低温やけどの原因となる場合があります。



本製品を長時間ご使用になる場合、特に高温環境では熱くなる場合がありますので、ご注意ください。長時間肌に触れたまま使用していると、低温やけどの原因となる場合があります。



コンセントや配線器具は定格を超えて使用しないでください。たこ足配線などで定格を超えると、発熱による火災の原因となります。



腐食性の薬品のそばや腐食性ガスの発生する場所に置かないでください。故障・内部データの消失の原因となります。



使用中に煙が出たり、異臭や異音が生ずる、過剰に発熱しているなどの異常が起きたときは使用をおやめください。充電中であれば、指定の充電用機器（別売）をコンセントまたはソケットから抜き、熱くないことを確認してから電源を切り、auショップまたは安心ケータイサポートセンターまでご連絡ください。また、落下したり、破損した場合なども、そのまま使用せず、auショップまたは安心ケータイサポートセンターまでご連絡ください。



ステレオヘッドセットなどを本製品に挿入して使用する場合は、適度な音量に調節してください。音量が大きすぎたり、長時間連続して使用したりすると耳に悪い影響を与えるおそれがあります。また、音量を上げすぎると外部の音が聞こえにくくなり、踏切や横断歩道などで交通事故の原因となります。



ステレオヘッドセットなどを本製品に挿入し音量を調節する場合は、少しずつ音量を上げて調節してください。始めから音量を上げすぎると、突然大きな音が出て耳に悪い影響を与えるおそれがあります。



充電用機器や外部機器などをお使いになるときは、接続する端子に対してコネクタをまっすぐに抜き差ししてください。正しい方向で抜き差ししないと、発熱・発火・破損・故障の原因となります。



お子様をご使用になる場合は、危険な状態にならないように保護者の方が正しい使いかたをご指導ください。また、使用中においても、指示通りに使用しているかをご確認ください。けがなどの原因となります。

■ 本体について



危険 必ず、下記の危険事項をお読みになってからご使用ください。





本体にくぎをさしたり、ハンマーでたたいたり、踏みつけたりしないでください。発火や破損の原因となります。





ペットが本体に噛みつかないようにご注意ください。内蔵電池の漏液・発熱・破裂・発火・火災・傷害などの原因となります。

警告 必ず、下記の警告事項をお読みになってからご使用ください。


 自動車・原動機付自転車・自転車運転中に本製品を使用しないでください。交通事故の原因となります。自動車・原動機付自転車運転中の使用は法律で禁止されています。また、自転車運転中の使用も法律などで罰せられる場合があります。


 航空機へのご搭乗にあたり、本製品の電源を切るか、機内モードに設定してください。航空機内での使用については制限があるため、各航空会社の指示に従ってください。
航空機の電子機器に悪影響を及ぼす原因となります。なお、航空機内での使用において禁止行為をしている場合、法令により罰せられることがあります。


 病院での使用については、各医療機関の指示に従ってください。使用を禁止されている場所では本製品の電源を切ってください。電子機器や医用電気機器に悪影響を及ぼす原因となります。


 植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器や医用電気機器の近くで本製品を使用する場合は、電波によりそれらの装置・機器に影響を与えるおそれがありますので、次のことをお守りください。

- 植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器を装着されている方は、本製品を植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器の装着部位から15cm以上離して携行および使用してください。
- 身動きが自由に取れない状況など、15cm以上の離隔距離が確保できないおそれがある場合、付近に植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器を装着している方がいる可能性がありますので、事前に本製品の「機内モード」へ切り替える、もしくは電源を切ってください。
- 医療機関が個々に使用禁止、持ち込み禁止などの場所を定めている場合は、その医療機関の指示に従ってください。
- 医療機関の外で植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器以外の医用電気機器を使用される場合（自宅療養など）は、電波による影響について個別に医用電気機器メーカーなどにご確認ください。


 メール・インターネット・撮影・ゲームなどするときや、テレビ視聴したり、音楽を聴くときなどは周囲の安全をご確認ください。転倒・交通事故の原因となります。


 ライトをご使用になる場合は、人の目の前で発光させないでください。また、ライト点灯時は発光部を直視しないようにしてください。視力低下などの障がいを引き起こす原因となります。特に乳幼児に対して至近距離で撮影しないでください。

 自動車や原動機付自転車、自転車などの運転者に向けてライトを点灯させないでください。目がくらんで運転不能になり、事故を起こす原因となります。

 ごくまれに、点滅を繰り返す画面を見ていると、一時的に筋肉のけいれんや意識の喪失などの症状を起こす人がいます。こうした経験のある方は、事前に医師とご相談ください。


注意 必ず、下記の注意事項をお読みになってからご使用ください。


 自動車内で使用する場合、まれに車載電子機器に影響を与える場合があります。安全走行を損なうおそれがありますので、その場合は使用しないでください。


 皮膚に異常を感じたときは直ちに使用を止め、皮膚科専門医へご相談ください。お客様の体質・体調によっては、かゆみ・かぶれ・湿疹などが生じる場合があります。本製品で使用している各部位の材質は次の通りです。


使用箇所	使用材質	表面処理
照度センサー	ガラス	AFコーティング
内側カメラ	ガラス	AFコーティング
ディスプレイ (タッチパネル)	ガラス	AFコーティング
外装ケース(前面)	ガラス	AFコーティング
ホームキー/指紋センサー	エポキシ成形コンパウンド	UV塗装
ホームキー/指紋センサー 装飾部	アルミニウム	陽極処理
外装ケース(背面)	PC	UV塗装
押し込みクリップ	PC	UV塗装
カメラ装飾部	アルミニウム	陽極処理


使用箇所	使用材質	表面処理
外側カメラ	ガラス	AFコーティング
ライト	ポリメタクリル酸メチル樹脂	—
外装ケース（側面）	PC	蒸着+UV塗装
リモコン発光部	PC	—
音量/シャッターキー	アルミニウム	陽極処理
電源/画面ロックキー	アルミニウム	陽極処理
au Micro IC Card (LTE)スロットカバー	PC	UV塗装
microUSB接続端子	SUS	—
microSDメモリアカードスロットカバー	PC	UV塗装
スピーカー装飾部	STS	PVD蒸着
ヘッドセット接続端子	PC	—


 キャッシュカード・フロッピーディスク・クレジットカード・テレホンカードなどの磁気を帯びたものを近づけたりしないでください。記録内容が消失される場合があります。


 au Micro IC Card (LTE)スロットやmicroSDメモリアカードスロットに液体、金属体、燃えやすいものなどの異物を入れないでください。火災・感電・故障・傷害の原因となります。

 サムスンTVアンテナケーブル02、サムスンTVアンテナ入力用microUSB変換ケーブル01、およびステレオヘッドセットなどを持って本製品を振り回さないでください。けがなどの事故や破損の原因となります。

 心臓の弱い方は、通知バイブレータ（振動）や通知音量の設定にご注意ください。心臓に悪影響を及ぼす原因となります。

 本体の吸着物にご注意ください。スピーカー部などには磁石を使用しているため、画鋲やピン、カッターの刃、ホチキスの針などの金属が付着し、思わぬけがをすることがあります。ご使用の際、スピーカー部などに異物がないかを必ずお確かめください。

 砂浜などの上に直に置かないでください。マイク（上下2箇所）、スピーカー部、外部接続端子、ヘッドセット接続端子などに砂などが入り音が小さくなったり、本体内に砂などが混入すると発熱や故障の原因となります。

 通信機能などの使用中は、本製品が熱くなることがありますので、長時間直接肌に触れさせたり、紙・布・布団などをかぶせたりしないでください。火災・傷害・故障の原因となる場合があります。

■ 内蔵電池について



Li-ion00

（本製品の内蔵電池は、リチウムイオン電池です。）
内蔵電池はお買い上げ時には、十分充電されています。充電してからお使いください。また、長時間ご使用しなかったときは、ご使用前に充電してください。



危険

必ず、下記の危険事項をお読みになってからご使用ください。



液漏れて皮膚や衣服に付着した場合は、傷害をおこすおそれがありますので直ちに水で洗い流してください。また、目に入った場合は失明のおそれがありますのでこすらずに水で洗った後直ちに医師の診断を受けてください。機器に付着した場合は、液に直接触れないで拭き取ってください。



内蔵電池は消耗品です。充電しても使用時間が極端に短いなど、機能が回復しない場合には寿命ですのでご使用をおやめください。発熱・発火・破裂・漏液の原因となります。電池は内蔵型のため、auショップなどでお預かりの後、有償修理となります。また、ご利用いただけない期間が発生する場合があります。あらかじめ、ご了承ください。なお、寿命は使用状態などにより異なります。

■ 充電用機器について

**警告**

必ず、下記の警告事項をお読みになってからご使用ください。



指定以外の電源電圧では使用しないでください。発火・火災・発熱・感電・傷害などの原因となります。

- ・ ACアダプタ (別売) : AC100 ~ 240V
- ※ 指定の充電用機器 (別売) をご使用ください。



指定の充電用機器 (別売) の電源プラグはコンセントに根元まで確実に差し込んでください。差し込みが不完全だと、感電・発熱・発火・火災・傷害の原因となります。指定の充電用機器 (別売) が傷んでいるときや、コンセントの差し込み口がゆるいときは使用しないでください。



指定の充電用機器 (別売) のケーブルを傷付けたり、加工したり、ねじったり、引っ張ったり、重いものを載せたりしないでください。また、傷んだケーブルは使用しないでください。感電・ショート・火災・傷害の原因となります。



接続端子に手や指など身体の一部が触れないようにしてください。感電・傷害・故障の原因となる場合があります。



雷が鳴り出したら指定の充電器に触れないでください。落雷による感電の原因となります。



お手入れをするときは、指定の充電用機器 (別売) の電源プラグをコンセントから抜いてください。抜かないでお手入れをすると、感電や回路のショートによる火災・故障・傷害の原因となります。



電源プラグに付いたほこりは、拭き取ってください。火災・やけど・感電の原因となります。



車載機器などは、運転操作やエアバッグなどの安全装置の妨げにならない位置に設置・配置してください。交通事故の原因となります。車載機器の取扱説明書に従って設置してください。



長時間使用しない場合は指定の充電用機器 (別売) の電源プラグをコンセントから抜いてください。火災・故障の原因となります。



水やベットの尿など液体が直接かかる場所や風呂場など湿気が多い場所では、絶対に使用しないでください。発熱・火災・感電・傷害の原因となります。万一、液体がかかってしまった場合には、直ちに電源プラグを抜いてください。

**注意**

必ず、下記の注意事項をお読みになってからご使用ください。



風呂場など湿気が多い場所で使用したり、濡れた手で指定の充電用機器 (別売) を抜き差ししないでください。感電・故障・傷害の原因となります。



充電は安定した場所で行ってください。傾いた場所やぐらついた台などに置くと、落下してけがや破損の原因となります。特にパイプレータ設定中にご注意ください。また、布や布団をかぶせたり、包んだりしないでください。火災・故障・傷害の原因となります。



指定の充電用機器 (別売) の電源プラグをコンセントから抜くときは、電源プラグを持って抜いてください。ケーブルを引っ張るとケーブルが損傷するおそれがあります。

■ au Micro IC Card (LTE)について

**警告**

必ず、下記の警告事項をお読みになってからご使用ください。



電子レンジなどの加熱調理機器や高圧容器にau Micro IC Card (LTE)を入れないでください。溶損・発熱・発煙・データの消失・故障の原因となります。

**注意**

必ず、下記の注意事項をお読みになってからご使用ください。



au Micro IC Card (LTE)の取り付け・取り外しの際にご注意ください。手や指を傷つける可能性があります。



au Micro IC Card (LTE)を使用する機器は、当社が指定したものをご使用ください。指定品以外のものを使用した場合は、データの消失や故障の原因となります。指定品については、auショップもしくはお客さまセンターまでお問い合わせください。



au Micro IC Card (LTE)を分解、改造しないでください。データの消失・故障の原因となります。



au Micro IC Card (LTE)を火のそば、ストーブのそばなど、高温の場所で使用、放置しないでください。溶損・発熱・発煙・データの消失・故障の原因となります。



au Micro IC Card (LTE)を火の中に入れてたり、加熱したりしないでください。溶損・発熱・発煙・データの消失・故障の原因となります。



au Micro IC Card (LTE)のIC (金属) 部分に不用意に触れたり、ショートさせたりしないでください。データの消失・故障の原因となります。



au Micro IC Card (LTE)を落としたり、衝撃を与えたりしないでください。故障の原因となります。



au Micro IC Card (LTE)を折ったり、曲げたり、重い物を載せたりしないでください。故障の原因となります。



au Micro IC Card (LTE)を濡らさないでください。故障の原因となります。



au Micro IC Card (LTE)のIC (金属) 部分を傷つけないでください。故障の原因となります。



au Micro IC Card (LTE)はほこりの多い場所には保管しないでください。故障の原因となります。



au Micro IC Card (LTE)保管の際には、直射日光が当たる場所や高温多湿な場所には置かないでください。故障の原因となります。



au Micro IC Card (LTE)は、乳幼児の手の届かない場所に保管してください。誤って飲み込むと、窒息や傷害などの原因となります。

■ サムスンTVアンテナケーブル02について**危険**

必ず、下記の危険事項をお読みになってからご使用ください。



ヘッドセット接続端子に導電性異物 (金属片・鉛筆の芯など) が触れたり、内部に入らないようにしてください。発熱による火災・故障・やけどの原因となります。

**警告**

必ず、下記の警告事項をお読みになってからご使用ください。



水やペットの尿など液体が直接かからない場所でご使用ください。発熱・火災・感電・傷害・電子回路のショートによる故障の原因となります。

**注意**

必ず、下記の注意事項をお読みになってからご使用ください。



お子様のご使用になる場合は、危険な状態にならないように保護者の方が正しい使いかたをご指導ください。また、使用中においても、指示通りに使用しているかをご注意ください。けがなどの原因となります。



皮膚に異常を感じたときは直ちに使用を止め、皮膚科専門医へご相談ください。お客様の体質・体調によっては、かゆみ・かぶれ・湿疹などが生じる場合があります。
サムスンTVアンテナケーブル02で使用している各部品の材質は次の通りです。

使用箇所	使用材質	表面処理
ヘッドセット接続端子 (先端部)	BRASS(C3604)、ABS(XR-401)_LG化学	ニッケルメッキ
ヘッドセット接続端子 (外装)	ABS SG175(0879) HFW2290(White)/TPE	—
ケーブル	HAOXIN HFW2290-8006_WHITE	—
接続プラグ (外装)	ABS SG175(0879) HFW2290(White)/TPE	—
接続プラグ (先端部)	BRASS(C3604)、POM(F20-03)	ニッケルメッキ

■サムスンTVアンテナ入力用microUSB変換ケーブル01について



危険

必ず、下記の危険事項をお読みになってからご使用ください。



ご使用のテレビアンテナケーブルや周辺機器のメーカーが指示している警告・注意表示を厳守し、各取扱説明書の記載内容に従って正しくお使いください。



警告

必ず、下記の警告事項をお読みになってからご使用ください。



水やペットの尿など液体が直接かからない場所でご使用ください。発熱・火災・感電・傷害・電子回路のショートによる故障の原因となります。



濡れた手で本製品に触れないでください。感電の原因となります。



接続端子に手や指など身体の一部が触れないようにしてください。感電・傷害・故障の原因となる場合があります。



雷が鳴り出したらサムスンTVアンテナ入力用microUSB変換ケーブル01やテレビアンテナケーブルに触れないでください。落雷による感電などの原因となります。



注意

必ず、下記の注意事項をお読みになってからご使用ください。



お子様がご使用になる場合は、危険な状態にならないように保護者の方が正しい使いかたをご指導ください。また、使用中においても、指示通りに使用しているかをご確認ください。けがなどの原因となります。



皮膚に異常を感じたときは直ちに使用を止め、皮膚科専門医へご相談ください。お客様の体質・体調によっては、かゆみ・かぶれ・湿疹などが生じる場合があります。
サムスンTVアンテナ入力用microUSB変換ケーブル01で使用している各部品の材質は次の通りです。

使用箇所	使用材質	表面処理
ケーブル	熱可塑性ウレタン樹脂	—
microUSBプラグ (コネクタ部)	ポリオレフィン樹脂	—
microUSBプラグ (本体)	鉄	ニッケルメッキ
microUSBプラグ (先端部)	LCP樹脂	—
microUSBプラグ (接点部)	銅合金	金メッキ
F型コネクタ入力端子 (コネクタ部)	ポリオレフィン樹脂	—
F型コネクタ入力端子 (本体)	黄銅	ニッケルメッキ
F型コネクタ入力端子 (絶縁部)	POM樹脂	—

取り扱い上のお願い

製品の故障を防ぎ、性能を十分に発揮できるようにお守りいただきたい事項です。よくお読みになって、正しくご使用ください。

■ 本体、内蔵電池、充電用機器、au Micro IC Card (LTE)、周辺機器共通

- 本製品に無理な力がかけられないよう使用してください。多くのものが詰まった荷物の中に入れたり、中で重い物の下になつたりしないよう、ご注意ください。ディスプレイ、内部基板などの破損、故障の原因となります。また、外部機器をmicroUSB接続端子やヘッドセット接続端子に差しした状態の場合、コネクタ破損、故障の原因となります。外部に損傷がなくても保証の対象外となります。
- 極端な高温・低温・多湿の場所では使用しないでください。(周囲温度5℃～35℃、湿度35%～85%の範囲内でご使用ください。また、保管する場合は、周囲温度0℃～45℃の範囲内で保管してください。)
 - ・ 充電用機器
 - ・ 周辺機器
- 極端な高温・低温・多湿の場所では使用しないでください。(周囲温度5℃～35℃、湿度35%～85%の範囲内でご使用ください。ただし、36℃～40℃であれば一時的な使用は可能です。また、保管する場合は、周囲温度0℃～45℃の範囲内で保管してください。)
 - ・ GALAXY Tab S本体
 - ・ au Micro IC Card (LTE) (GALAXY Tab S本体装着状態)
- ほこりや振動の多い場所では使用しないでください。
- 接続端子をときどき乾いた綿棒などで掃除してください。汚れていると接続不良の原因となる場合があります。また、このとき強い力を加えて接続端子を変形させないでください。
- お手入れは乾いた柔らかい布 (めがね拭きなど) で拭いてください。乾いた布などで強く擦ると、ディスプレイに傷がつく場合があります。ディスプレイに水滴や汚れなどが付着したまま放置すると、シミになることがあります。またアルコール、シンナー、ベンジン、洗剤などで拭くと、外装の印刷が消えたり、色があせたりすることがあります。
- 一般電話・テレビ・ラジオをお使いになっている近くで使用すると影響を与える場合がありますので、なるべく離れてご使用ください。
- 充電中やテレビ視聴中など、ご使用状況によっては本製品が温かくなる場合がありますが異常ではありません。

- サムスンTVアンテナケーブル02、サムスンTVアンテナ入力用microUSB変換ケーブル01、およびステレオヘッドセットなどを本製品に巻き付けしないでください。感電・発火・火災の原因となります。
- サムスンTVアンテナケーブル02、サムスンTVアンテナ入力用microUSB変換ケーブル01、およびステレオヘッドセットなどのケーブルを持って本製品をぶら下げたり、引っ張ったり、振り回したりしないでください。断線や故障の原因となります。
- サムスンTVアンテナ入力用microUSB変換ケーブル01やテレビアンテナケーブルの接続端子を本製品や壁のアンテナ端子と接続するときは、奥まで完全に接続してください。差し込みが不完全ですと、感電や発熱・発火による火災の原因となります。また、microUSB接続端子に対してまっすぐに抜き差ししてください。正しい方向で抜き差ししないと、故障や動作不具合の原因となります。
- サムスンTVアンテナ入力用microUSB変換ケーブル01をテレビアンテナケーブルと接続するときは、F型コネクタ入力端子のピンが曲がらないようご注意ください。
- 持ち運ぶ際や保管するときは袋などに入れて、接続端子へのゴミの付着や接続端子の変形にご注意ください。
- 分配器を使用すると感度劣化することがあります。
- テレビアンテナケーブルによっては感度劣化することがあります。
- お子様がお使いになるときは、保護者の方が「取扱説明書 詳細版 Android 6.0 対応版」(本書)をよくお読みになり、正しい使いかたをご指導ください。

■ 本体について

- 強く押す、叩くなど故意に強い衝撃をディスプレイに与えないでください。傷の発生や破損の原因となる場合があります。
- キーやディスプレイの表面に爪や鋭利な物、硬い物などを強く押し付けしないでください。傷の発生や破損の原因となります。タッチパネルは指で軽く触れるように設計されています。指で強く押ししたり、先のとがったもの(爪/ボールペン/ピンなど)を押し付けたりしないでください。以下の場合タッチパネルに触れても動作しないことがあります。また、誤動作の原因となりますのでご注意ください。
 - ・ 爪の先での操作
 - ・ 異物を操作面に乗せたままでの操作
 - ・ 保護シートやシールなどを貼った操作
 - ・ ディスプレイに水滴が付着または結露している状態での操作
 - ・ 濡れた指または汗で湿った指での操作

- 改造されたauの端末は絶対に使用しないでください。改造された機器を使用した場合は電波法に抵触します。本製品は電波法に基づく特定無線設備の技術基準適合証明などを受けており、その証として、「技術マーク」がauの端末本体内で確認できるようになっております。確認方法：[基本機能] → [設定] → [一般] → [端末情報] → [認証情報]に表示されております。本製品本体のネジを外して内部の改造を行った場合、技術基準適合証明などが無効となります。技術基準適合証明などが無効となった状態で使用すると、電波法に抵触しますので、絶対に使用されないようお願いいたします。
- 本製品は不正改造を防止するために容易に分解できない構造になっていました。改造することは電波法で禁止されています。
- 本製品に登録された連絡先・メール・ブックマークなどの内容は、事故や故障・修理、その他取り扱いによって変化・消失する場合があります。大切な内容は必ず控えをお取りください。万一内容が変化・消失した場合の損害および逸失利益につきましては、当社では一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 本製品に保存されたコンテンツデータ（有料・無料は問わない）などは、故障修理などによる交換の際に引き継ぐことはできませんので、あらかじめご了承ください。
- 本製品で使用している有機ELディスプレイは、非常に高度な技術で作られていますが、一部に点灯しないドット（点）や常時点灯するドット（点）が存在する場合があります。また、見る角度によっては色調が変化したり、明るさのむらが見える場合があります。これらは有機ELディスプレイの特性によるもので、故障ではありませんので、あらかじめご了承ください。
- 有機ELディスプレイは、同じ画像を長く表示し続けたり、「ディスプレイ」の「明るさ」の設定を常に明るい設定にして極度の連続使用を行うと、部分的にディスプレイの照度が落ちますが、これらは有機ELディスプレイの特性によるもので故障ではありませんので、あらかじめご了承ください。
- 長時間同じ画像を表示させるとディスプレイに残像が発生することがありますが故障ではありません。残像発生防止と消費電力節約のため、照明時間の設定を短い時間にすることをおすすめします。
- 有機ELディスプレイに直射日光を当てたまま放置すると、故障の原因となります。窓際や屋外に置くときはご注意ください。
- 本製品の温度上昇や電池残量の低下などにより、ディスプレイの輝度が落ちる場合があります。
- 公共の場でご使用の際は、周りの方の迷惑にならないようご注意ください。
- 撮影などした静止画／動画データや音楽データは、メール添付の利用などにより個別にパソコンに控えを取っておくことをおすすめします。ただし、著作権保護が設定されているデータなど、上記の手段でも控えが取れないものもありますので、あらかじめご了承ください。
- 磁気カードやスピーカー、テレビなど磁力を有する機器を本製品に近づけると故障の原因となる場合がありますのでご注意ください。強い磁気を近づけると誤動作の原因となります。
- かばんなどに収納するときは、ディスプレイが金属などの硬い部材に当たらないようにしてください。傷の発生や破損の原因となります。
- 寒い場所から急に暖かい場所に移動させた場合や、湿度の高い場所、エアコンの吹き出し口の近くなど温度が急激に変化するような場所で使用された場合、本製品内部に水滴が付くことがあります（結露といえます）。このような条件下でのご使用は湿気による腐食や故障の原因となりますのでご注意ください。
- ディスプレイを拭くときは柔らかい布で乾拭きしてください。濡らした布やガラスクリーナーなどを使うと故障の原因となります。
- microUSB接続端子やヘッドセット接続端子に外部機器を接続するときは、microUSB接続端子やヘッドセット接続端子に対して外部機器のコネクタがまっすぐになるように抜き差ししてください。
- microUSB接続端子やヘッドセット接続端子に外部機器を接続した状態で無理な力を加えると、破損の原因となりますのでご注意ください。
- 通常のゴミと一緒に捨てないでください。環境保護と資源の有効利用をはかるため、不要となった本製品の回収にご協力ください。auショップなどで本製品の回収を行っております。
- 本製品のmicroSDメモ리카ードスロットには、microSDメモ리카ード以外のものは挿入しないでください。
- microSDメモ리카ードの取り付け・取り外しの際に、必要以上の力を入れしないでください。手や指を傷付ける場合があります。
- データ書き込み中や読み出し中に、振動や衝撃を与えたり、電源を切ったりしないでください。データの消失・故障の原因となります。
- 照度センサーを指でふさいだり、照度センサーの上にシールなどを貼ると、周囲の明暗に照度センサーが反応できずに、正しく動作しない場合がありますのでご注意ください。

■ タッチパネルについて

- タッチパネル操作は指で行ってください。ボールペンや鉛筆など先が鋭いもので操作しないでください。正しく動作しないだけでなく、ディスプレイへの傷の発生や、破損の原因となる場合があります。
- ディスプレイにシールやシート類（市販の保護フィルムや覗き見防止シートなど）を貼らないでください。タッチパネルが正しく動作しない原因となる場合があります。
- 爪先でタッチパネル操作をしないでください。爪が割れたり、突き指などが原因となる場合があります。
- ディスプレイ表面が汚れていたり、汗や水で濡れていると、誤動作の原因となります。その場合は柔らかい布でディスプレイ表面を乾拭きしてください。
- かばんなどに入れて持ち運ぶ際は、タッチパネルに金属などの伝導性物質が近づいた場合、タッチパネルが誤動作する場合がありますのでご注意ください。

■ 内蔵電池について

- 夏期、閉めきった自動車内に放置するなど、極端な高温や低温環境では内蔵電池の容量が低下し、ご利用できる時間が短くなります。また、内蔵電池の寿命も短くなります。できるだけ常温でお使いください。
- 内蔵電池は充電後、本製品を使わなくても少しずつ放電します。長い間使わないでいると、内蔵電池が放電してしまっている場合があるため、使う前に充電することをおすすめします。
- 内蔵電池の性能や寿命を低下させる原因となりますので、以下の状態で保管しないでください。
 - ・ フル充電状態（充電完了後すぐの状態）
 - ・ 電池残量なしの状態（本体の電源が入らない程度消費している状態）
 - ・ 高温多湿の状態
- 初めてお使いのときや長時間ご使用にならなかったときは、ご使用前に充電してください。
- 内蔵電池は消耗品です。充電しても機能が回復しない場合は寿命ですのでご使用をおやめください。電池は内蔵型のため、auショップなどでお預かりの後、有償修理となります。また、ご利用いただけない期間が発生する場合があります。あらかじめ、ご了承ください。なお、寿命は使用状態などによって異なります。

- 通常のゴミと一緒に捨てないでください。環境保護と資源の有効利用をはかるため、不要となった電池の回収にご協力ください。auショップなどで使用済み電池の回収を行っております。
- 内蔵電池は、ご使用条件により寿命が近づくにつれて膨れる場合があります。これはリチウムイオン電池の特性であり、安全上の問題はありません。

■ 充電用機器について

- ご使用にならないときは、指定の充電用機器（別売）の電源プラグをコンセントから外してください。
- 指定の充電用機器（別売）の電源コードを充電用機器本体に巻きつけないでください。感電・発熱・火災・故障・傷害の原因となります。
- 指定の充電用機器（別売）の電源プラグやコネクタと電源コードの接続部を無理に曲げたりしないでください。感電・発熱・火災・故障・傷害の原因となります。

■ au Micro IC Card (LTE)について

- au Micro IC Card (LTE)は、auからお客様にお貸し出したものになります。紛失・破損の場合は、有償交換となりますのでご注意ください。なお、故障と思われる場合、盗難・紛失の場合は、auショップもしくはPiPiItまでお問い合わせください。
- au Micro IC Card (LTE)の取り外し、および挿入時には、必要以上に力を入れられないようにしてください。ご使用になるauの端末への挿入には必要以上の負荷がかからないようにしてください。
- ほかのICカードリーダー／ライターなどに、au Micro IC Card (LTE)を挿入して故障した場合は、お客様の責任となりますのでご注意ください。
- au Micro IC Card (LTE)のIC（金属）部分はいつもきれいな状態でご使用ください。お手入れは乾いた柔らかい布（めがね拭きなど）で拭いてください。
- au Micro IC Card (LTE)にシールなどを貼らないでください。
- 変換アダプタを取り付けたICカードを挿入しないでください。故障の原因となります。

■ カメラ機能について

- カメラ機能をご使用の際は、一般的なモラルをお守りのうえでご使用ください。
- 本製品の故障・修理・その他の取り扱いによって、撮影した画像データが変化または消失することがあり、この場合、当社は変化または消失したデータの修復や、データの変化または消失によって生じた損害、逸失利益について一切の責任を負いません。

- 大切な撮影（結婚式など）をするときは、試し撮りをし、画像を再生して正しく撮影されていることをご確認ください。
- 販売されている書籍や、撮影の許可されていない情報の記録には使用しないでください。
- カメラのレンズに直射日光が当たる状態で放置しないでください。素子の退色・焼付けを起こすことがあります。

■ 音楽／動画／テレビ機能について

- 自動車や原動機付自転車、自転車などの運転中は、音楽や動画およびテレビを視聴しないでください。自動車・原動機付自転車運転中の使用は法律で禁止されています（自転車運転中の使用も法律などで罰せられる場合があります）。また、歩行中でも周囲の交通に十分ご注意ください。周囲の音が聞こえにくく、表示に気を取られ交通事故の原因となります。特に踏切、駅のホームや横断歩道ではご注意ください。
- 耳を刺激するような大きな音で長時間続けて聴くと、聴力に悪い影響を与えることがありますのでご注意ください。
- 電車の中など周囲に人がいる場合には、ステレオヘッドセットなどからの音漏れにご注意ください。

■ 著作権／肖像権について

- お客様が本製品で撮影・録音したデータやインターネット上からダウンロードなどで取得したデータの全部または一部が、第三者の有する著作権で保護されている場合、個人で楽しむなどの他は、著作権法により、権利者に無断で複製、頒布、公衆送信、改変などはできません。また、他人の肖像や氏名を無断で使用・改変などをすると肖像権の侵害となるおそれがありますので、そのようなご利用もお控えください。なお、実演や興行、展示物などでは、個人で楽しむなどの目的であっても、撮影・録音を制限している場合がありますのでご注意ください。
- 撮影した画像などをインターネットホームページなどで公開する場合は、著作権や肖像権に十分ご注意ください。

■ 本製品の記録内容の控え作成のお願い

- ご自分で本製品に登録された内容や、外部から本製品に取り込んだ内容で、重要なものは控え^{*1}をお取りください。本製品のメモリは、静電気・故障などの不測の要因や、修理・誤った操作などにより、記録内容が消えたり変化する場合があります。

※1 控え作成の手段：

連絡先のデータや音楽データ、撮影した静止画や動画など、重要なデータはmicroSDメモリカードに保存しておいてください。または、メールに添付して送信したり、パソコンに転送しておいてください。ただし、上記の手段でも控えが作成できないデータがあります。あらかじめご了承ください。

ご利用いただく各種暗証番号について

本製品をご利用いただく場合に、各種の暗証番号をご利用いただきません。

ご利用いただく暗証番号は次の通りとなります。設定された各種の暗証番号は各種操作・ご契約に必要となりますので、お忘れにならないようご注意ください

なお、初期値は必ずお客様の独自の番号に変更のうえお使いください。

● 暗証番号

使用例	auホームページでの各種照会・申込・変更をする場合
初期値	申込書にお客様が記入した任意の4桁の番号

● 画面ロック解除用パターン／PIN／パスワード

使用例	画面ロックの設定／解除をする場合
初期値	スワイプ なお、初期値は必ずお客様の独自の番号に変更のうえお使いください。

● PINコード

使用例	第三者によるau Micro IC Card (LTE)の無断使用を防ぐ場合
初期値	1234 なお、初期値は必ずお客様の独自の番号に変更のうえお使いください。

PINコードについて

■ PINコード

第三者によるau Micro IC Card (LTE)の無断使用を防ぐため、電源を入れるたびにPINコードの入力を必要にすることができます。また、PINコードの入力可否を設定する場合にも入力が必要となります。PINコードは3回連続で間違えるとコードがロックされます。ロックされた場合は、PINロック解除コードを利用して解除できます。

- お買い上げ時のPINコードは「1234」、入力可否は「入力不要」に設定されていますが、お客様の必要に応じてPINコードは4～8桁のお好きな番号、入力可否は「入力必要」に変更できます。

■ PINロック解除コード

PINコードがロックされた場合に入力することでロックを解除できます。

- PINロック解除コードは、au Micro IC Card (LTE)が取り付けられていたプラスチックカード裏面に印字されている8桁の番号で、お買い上げ時にはすでに決められています。
- PINロック解除コードを入力した場合は、新しくPINコードを設定してください。
- PINロック解除コードを10回連続で間違えた場合は、auショップ・PiPiもしくはお客さまセンターまでお問い合わせください。
- 「PINコード」はデータの初期化を行ってもリセットされません。

Bluetooth® / 無線LAN (Wi-Fi®) 機能について

- 本製品のBluetooth®機能および無線LAN (Wi-Fi®) 機能は、日本国内規格、FCC規格およびEC指令に準拠し、認証を取得しています。
- 本製品の5GHz帯無線LAN (Wi-Fi®) 機能は日本国内でご使用ください。本製品の5GHz帯無線LAN (Wi-Fi®) 機能は日本国内での無線規格に準拠し、認定を取得しています。海外でご利用になると罰せられることがあります。
- 無線LAN (Wi-Fi®) やBluetooth®機器が使用する2.4GHz帯は、さまざまな機器が運用されています。場合によっては他の機器の影響によって通信速度や通信距離が低下することや、通信が切断することがあります。
- 電気製品・AV・OA機器などの磁気を帯びているところや電磁波が発生しているところで使用しないでください。
- 磁気や電気雑音の影響を受けると雑音が大きくなったり、通信ができなくなることがあります（特に電子レンジ使用時には影響を受けることがあります）。
- テレビ、ラジオなどの近くで使用すると受信障害の原因となったり、テレビ画面が乱れることがあります。
- 近くに複数の無線LAN (Wi-Fi®) アクセスポイントが存在し、同じチャンネルを使用していると、正しく検索できない場合があります。
- 航空機内での使用については制限があるため、各航空会社の指示に従ってください。
- 通信機器間の距離や障害物、接続する機器により、通信速度や通信できる距離は異なります。

■ 2.4GHz帯ご使用上の注意

本製品のBluetooth®機能/無線LAN (Wi-Fi®) 機能は2.4GHz帯を使用します。この周波数帯では、電子レンジなどの家電製品や産業・科学・医療用機器のほか、ほかの同種無線局、工場の製造ラインなどで使用される免許を要する移動体識別用構内無線局、免許を要しない特定の小電力無線局、アマチュア無線局など（以下「ほかの無線局」と略す）が運用されています。

- 1 本製品を使用する前に、近くで「ほかの無線局」が運用されていないことを確認してください。
- 2 万一、本製品と「ほかの無線局」との間に電波干渉の事例が発生した場合には、すみやかに本製品の使用場所を変えるか、または機器の運用を停止（電波の発射を停止）してください。
- 3 ご不明な点やその他お困りのことが起きた場合は、auショップもしくはお客さまセンターまでご連絡ください。


memo

- 本製品はすべてのBluetooth®・無線LAN (Wi-Fi®) 対応機器との接続動作を確認したものではありません。したがって、すべてのBluetooth®・無線LAN (Wi-Fi®) 対応機器との動作を保証するものではありません。
- 無線通信時のセキュリティとして、Bluetooth®・無線LAN (Wi-Fi®) の標準仕様に準拠したセキュリティ機能に対応しておりますが、使用環境および設定内容によってはセキュリティが十分でない場合が考えられます。Bluetooth®・無線LAN (Wi-Fi®) によるデータ通信を行う際はご注意ください。
- 無線LAN (Wi-Fi®) は、電波を利用して情報のやりとりを行うため、電波の届く範囲であれば自由にLAN接続できる利点があります。その反面、セキュリティの設定を行っていないときは、悪意ある第三者により不正に侵入されるなどの行為をされてしまう可能性があります。お客様の判断と責任において、セキュリティの設定を行い、使用することを推奨します。
- Bluetooth®・無線LAN (Wi-Fi®) 通信時に発生したデータおよび情報の漏洩につきましては、当社では責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- Bluetooth®と無線LAN (Wi-Fi®) は同じ無線周波数帯を使用するため、同時に使用すると電波が干渉し合い、通信速度の低下やネットワークが切断される場合があります。接続に支障がある場合は、今お使いのBluetooth®、無線LAN (Wi-Fi®) のいずれかの使用を中止してください。

本製品のBluetooth[®]機能および無線LAN (Wi-Fi[®]) 機能は、2.4GHz帯の周波数を使用します。



- Bluetooth[®]機能：2.4FH1/XX8
本製品は2.4GHz帯を使用します。FH1は変調方式としてFH-SS変調方式を採用し、与干渉距離は約10m以下です。XX8はその他の方式を採用し、与干渉距離は約80m以下です。
- 無線LAN (Wi-Fi[®]) 機能：2.4DS/OF4
本製品は2.4GHz帯を使用します。変調方式としてDS-SS方式およびOFDM方式を採用しています。与干渉距離は約40m以下です。

：全帯域を使用し、移動体識別装置の帯域を回避不可であることを意味します。

利用可能なチャンネルは、国により異なります。
航空機内の使用は、事前に各航空会社へご確認ください。

■ 5GHz帯ご使用上の注意

本製品の無線LAN (Wi-Fi[®]) 機能は5GHz帯を使用します。電波法により5.2GHz帯および5.3GHz帯の屋外利用は禁止されております。本製品が使用するチャンネルは以下の通りです。
W52 (5.2GHz帯／36, 40, 44, 48ch)
W53 (5.3GHz帯／52, 56, 60, 64ch)
W56 (5.6GHz帯／100, 104, 108, 112, 116, 120, 124, 128, 132, 136, 140ch)

IEEE802.11 b/g/n

IEEE802.11 a/n/ac

J52 W52 W53 W56

データ通信料についてのご注意

- 本製品は常時インターネットに接続される仕様であるため、アプリケーションなどにより自動的にデータ通信が行われる場合があります。このため、ご利用の際はデータ通信料が高額になる場合がありますので、データ通信料定額／割引サービスへのご加入をおすすめします。
- 本製品でのホームページ閲覧や、アプリケーションなどのダウンロード、アプリケーションによる通信、Eメールの送受信、各種設定を行う場合に発生する通信はインターネット経由での接続となり、データ通信は有料となります。
※ 無線LAN (Wi-Fi[®]) 接続の場合はデータ通信料はかかりません。

アプリケーションについて

- アプリケーションのインストールは安全であることを確認のうえ、自己責任において実施してください。アプリケーションによっては、ウイルスへの感染や各種データの破壊、お客様の位置情報や利用履歴、端末内に保存されている個人情報などがインターネットを通じて外部に送信される可能性があります。
- 万一、お客様がインストールを行ったアプリケーションなどにより不具合が生じた場合、当社では責任を負いかねます。この場合、保証期間内であっても有償修理となる場合がありますので、あらかじめご了承ください。
- お客様がインストールを行ったアプリケーションなどにより、お客様ご自身または第三者への不利益が生じた場合、当社では責任を負いかねます。
- アプリケーションによっては、microSDメモリーカードをセットしていないとご利用できない場合があります。
- アプリケーションの中には動作中スリープモードに入らなくなったり、バックグラウンドで動作して電池の消耗が激しくなるものがあります。
- 本製品に搭載されているアプリケーションやインストールしたアプリケーションは、アプリケーションのバージョンアップによって操作方法や画面表示が予告なく変更される場合があります。また、本書に記載の操作と異なる場合がありますのであらかじめご了承ください。

アプリの権限を設定する

本製品の機能や情報にアクセスするアプリ／機能を初めて起動すると、アクセス権限の許可をリクエストする確認画面が表示されます。確認画面が表示された場合は、内容をご確認のうえ、「許可しない」／「許可」をタップしてください。

例：テレビを初めて視聴する場合

1 ホーム画面で【基本機能】→【テレビ】

確認画面が表示されます。

2 【許可】

3 画面の指示に従って操作

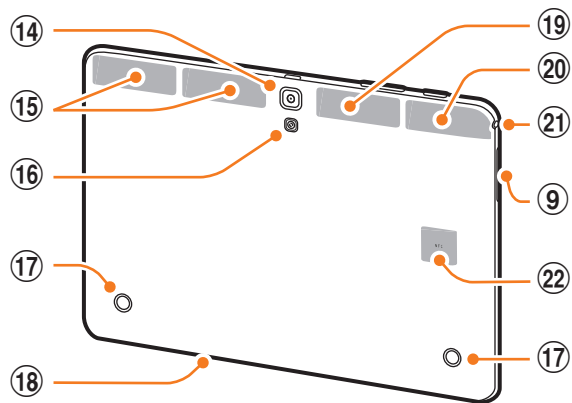
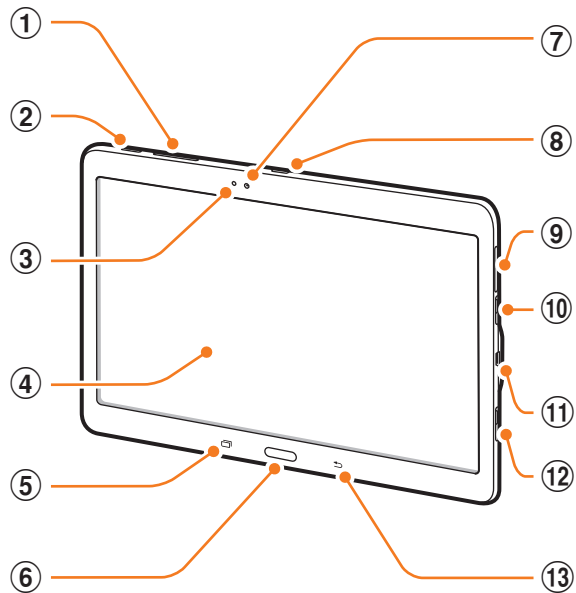





- ◎ 許可をしないとアプリ／機能を起動できない場合や、機能の利用が制限される場合があります。
- ◎ 権限の設定を変更するには、ホーム画面で【基本機能】→【設定】→【アプリ】→【アプリケーション管理】→設定を変更するアプリをタップ→【権限】→変更する権限の / と操作します。
- ◎ アプリ / 機能によっては、許可についての説明画面が表示される場合があります。また、確認画面が複数回表示される場合や、表示が異なる場合があります。表示内容をよくご確認のうえ、画面の指示に従って操作してください。
- ◎ 本書では、確認画面の表示の記載については省略している場合があります。

ご利用の準備

各部の名称と機能	26
au Micro IC Card (LTE)について	28
充電する	29
電源を入れる／切る	33

各部の名称と機能



- ① **音量／シャッターキー**
通知音量やメディア再生音量などを調節します。
静止画や動画を撮影中は、シャッターとして機能します。
- ② **電源／画面ロックキー**
1秒以上押しで電源を入れます。
電源が入っているときに押しと画面ロックを設定できます。1秒以上押しと電源OFFや機内モードの有効／無効、再起動ができます。
- ③ **照度センサー^{*1}**
周囲の明るさを検知して、明るさを自動調整します。
- ④ **ディスプレイ（タッチパネル）**
- ⑤ ** 履歴キー**
最近使用したアプリケーションの一覧を表示します。ロングタッチするとメニューを表示します。
- ⑥ ** ホームキー／指紋センサー**
ホーム画面に戻ります。1秒以上押しと、「Google」アプリケーションを起動します。また、指紋認証に使用します。
- ⑦ **内側カメラ**
自分を撮影するときなどに使用します。
- ⑧ **リモコン発光部**
「Peel Smart Remote」などのアプリケーションでリモコン機能使用時に、操作する機器のリモコン受光部に向けます。
- ⑨ **スピーカー**
通知音などが聞こえます。
- ⑩ **microSDメモ리카ードスロット**
- ⑪ **microUSB接続端子**
- ⑫ **au Micro IC Card (LTE)スロット**
- ⑬ ** バックキー**
1つ前の画面に戻します。ロングタッチするとマルチウィンドウトレイを表示します。
- ⑭ **外側カメラ**
静止画や動画を撮影します。
- ⑮ **LTE内蔵アンテナ部^{*2}**
- ⑯ **ライト**
静止画や動画の撮影時に点灯します。
- ⑰ **押し込みクリップ**
ブックカバー（別売）を取り付ける際に使用します。

- ⑱ **マイク^{*3}**
録音時、Sボイスなどの音声認識時に動作します。
- ⑲ **GPS／Wi-Fi[®]アンテナ部^{*2}**
- ⑳ **Bluetooth[®]／Wi-Fi[®]アンテナ部^{*2}**
- ㉑ **ヘッドセット接続端子**
ステレオヘッドセットなどを接続する直径3.5mmの接続端子です。
- ㉒ **NFCアンテナ部^{*2}**
^{*1} 照度センサーは、保護シートなどでふさがないようにしてください。機能が正常に動作しない場合があります。
^{*2} アンテナは本体に内蔵されています。アンテナ部付近を手でおおくと、通信の品質に影響を及ぼす場合があります。
^{*3} 該当の機能利用中に、マイクを指などでふさがないようにご注意ください。



◎ 電池は本体に内蔵されており、お客様による取り外しはできません。

au Micro IC Card (LTE)について

au Micro IC Card (LTE)にはお客様の電話番号などが記録されています。

- 本製品はau Micro IC Card (LTE)のみ対応しております。au Micro IC Card (LTE)以外のICカードはご利用できません。


au Micro IC Card (LTE)



memo

- au Micro IC Card (LTE)の取り付け/取り外しは、本製品の電源を切ってから行ってください。
- au Micro IC Card (LTE)を取り扱うときは、故障や破損の原因となりますので、次のことにご注意ください。
 - au Micro IC Card (LTE)のIC (金属) 部分や、本体のICカード用端子には触れないでください。
 - 正しい挿入方向をご確認ください。
 - 無理な取り付け、取り外しはしないでください。
- 取り外したau Micro IC Card (LTE)はなくさないようにご注意ください。
- 変換アダプタを取り付けたICカードを挿入しないでください。故障の原因となります。

■ au Micro IC Card (LTE)が挿入されていない場合

au Micro IC Card (LTE)が挿入されていない場合は、次の操作を行うことができません。また、が表示されます。

- Eメール (@ezweb.ne.jp) の初期設定および送受信
- SMSの送受信
- PINコード設定
- 本製品の電話番号の確認

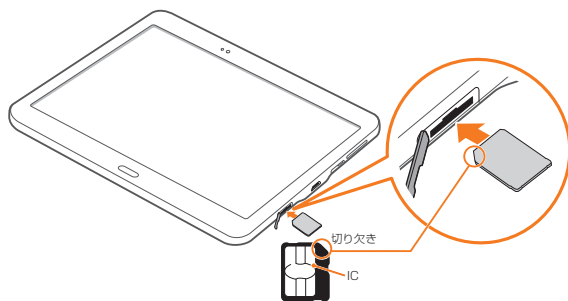
上記以外でも、お客様の電話番号などが必要な機能をご利用できない場合があります。

■ PINコードによる制限設定

au Micro IC Card (LTE)をお使いになるうえで、お客様の貴重な個人情報を守るために、PINコードの変更やUIMカードロック設定により他人の使用を制限できます (▶P.181「SIMカードロックを設定する」)。

au Micro IC Card (LTE)を取り付ける

- au Micro IC Card (LTE)スロットカバーを開く
- au Micro IC Card (LTE)のIC (金属) 面を下にして切り欠きを図の向きにし、au Micro IC Card (LTE)スロットにカチッと音がするまでまっすぐ差し込む



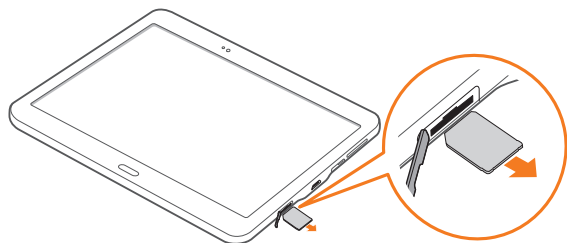
- au Micro IC Card (LTE)スロットカバーを閉じてしっかりと押し、本体とすき間がないことを確認する

memo

- カチッと音がしない場合、丸みを帯びて押し込みやすいもの (例：1円玉など) を用いてカチッと音がするまでゆっくり差し込んでください。
- 固く鋭利なものや折れやすいもの (例：ドライバーや楊枝など) で無理な力を入れて押し込むと異物混入や筐体に傷を与える可能性があります。

au Micro IC Card (LTE)を取り外す

- 1 au Micro IC Card (LTE)スロットカバーを開く
- 2 au Micro IC Card (LTE)をカチッと音がするまで奥に押し込み、少し出てきたau Micro IC Card (LTE)を引き抜く



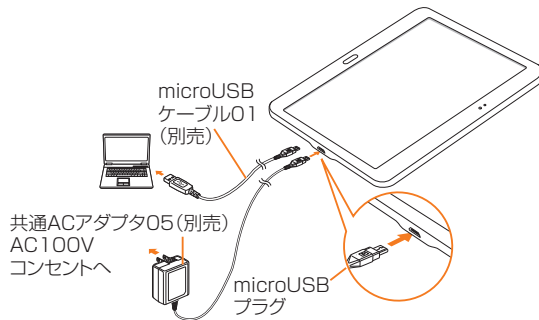
- 3 au Micro IC Card (LTE)スロットカバーを閉じてしっかりと押し、本体とすき間がないことを確認する

充電する

お買い上げ時は、内蔵電池は十分に充電されていません。必ず充電してからお使いください。

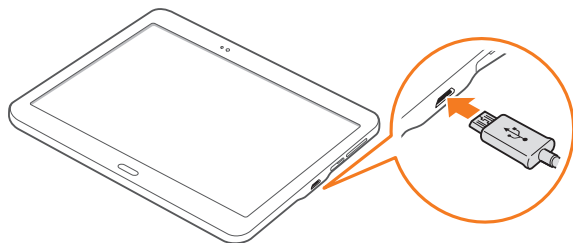
■ご利用可能時間

連続待受時間(国内)	約1020時間(3G使用時)
	約1220時間(4G(LTE/WiMAX 2+)使用時)



■ microUSBプラグの差し込みかた

microUSBケーブル01（別売）を使って充電する場合
下図のように本製品のmicroUSB接続端子にまっすぐに差し込んでください。



誤った接続を行うと、本製品への重大な損傷を招くおそれがあります。
誤った接続による損傷は、補償の対象外となりますのでご注意ください。

memo

- ◎ 共通ACアダプタ03 / 05（別売）はAC100VからAC240Vまで対応しています。海外で充電する場合は、必ず共通ACアダプタ03 / 05（別売）をご使用ください。
- ◎ 充電の状態やバッテリー残量は、ホーム画面で【基本機能】 → 【設定】 → 【一般】 → 【端末情報】 → 【ステータス】と操作して、「バッテリーステータス」欄、「バッテリー残量」欄で確認できます。
- ◎ 充電中、本体が温かくなることがありますが異常ではありません。
- ◎ 内蔵電池は、「安全上のご注意（必ずお守りください）」（▶ P.9）をよくお読みになってお取り扱いください。
- ◎ パソコンを使って充電したり、カメラ機能などを使用しながら充電した場合、充電時間は長くなることがあります。
- ◎ アプリケーションや機能などのご利用状況により、使用時間が短くなる場合があります。
- ◎ 本製品は急速充電に対応しています。急速充電は電源オフの状態か、画面のバックライトが消灯している状態で行うことができます。
- ◎ 電池残量が50%以上の場合、急速充電による充電速度が遅くなる場合があります。

指定のACアダプタ（別売）を使って充電する


充電には指定のACアダプタ（別売）が必要です。ここでは、共通ACアダプタ05（別売）を使って充電する方法を説明します。



- 指定のACアダプタ（別売）については、「周辺機器のご紹介」(▶P.190)をご参照ください。

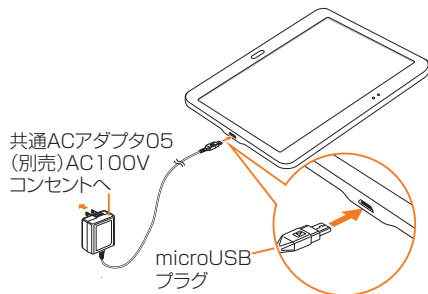
充電時間は共通ACアダプタ05（別売）使用時、約270分です

- 共通ACアダプタ05（別売）のmicroUSBプラグの刻印面を上にして、本製品のmicroUSB接続端子にまっすぐ差し込む
- 共通ACアダプタ05（別売）の電源プラグをAC100Vコンセントに差し込む

ステータスバーに  が表示されます。

充電が完了すると、ステータスバーに  が表示されます。

- 電源オフの状態で充電を開始すると、充電の状態を表すアニメーションが一定時間表示されます。画面が消えた後も、 /  を押すことで再度表示されます。



- 充電が終わったら、共通ACアダプタ05（別売）のmicroUSBプラグを本製品からまっすぐ引き抜き、電源プラグをコンセントから抜く

パソコンを使って充電する

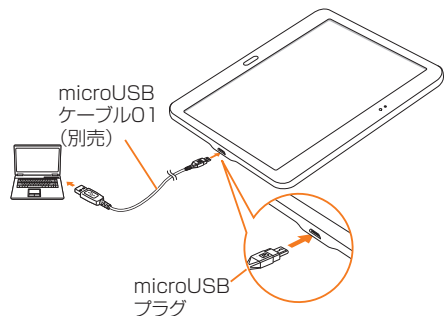
microUSBケーブル01（別売）とパソコンを使って充電することができます。接続方向をよくご確認のうえ、正しく接続してください。無理に接続すると破損の原因となります。

1 microUSBケーブル01（別売）のmicroUSBプラグの刻印面を上にして、本製品のmicroUSB接続端子にまっすぐに差し込む

2 microUSBケーブル01（別売）のUSBプラグをパソコンのUSBポートに差し込む




充電が完了すると、ステータスバーに  が表示されます。

- パソコン上に新しいハードウェアの検索などの画面が表示された場合は、「キャンセル」を選択してください。



3 充電が終わったら、microUSBケーブル01（別売）を本製品とパソコンから取り外す



- ◎ 充電中に画面のバックライトが消灯した場合は、 を押すとロック画面が表示されます。充電状態は、画面に表示される「充電中：XX%」で確認できます。また、バックライトが消灯中に充電が完了すると、ロック画面に「充電完了」、ステータスバーに  が表示されます。
- ◎ 電力供給側の電圧が低い場合、ステータスバーに  が表示されます。充電は行われますが、時間がかかります。また、本製品の状態により充電できない場合があります。

電源を入れる／切る

電源を入れる

1 〇 (1秒以上長押し)

ロック画面が表示されます。画面ロックを解除 (▶ P.34) してください。

memo

- ◎ 電源を入れたとき、画面が表示されるまで時間がかかる場合があります。
- ◎ 初めて電源を入れたときは初期設定画面が表示されます。初期設定について、詳しくは「設定ガイド Android 6.0対応版」をご参照ください。
- ◎ 「画面ロック」 (▶ P.175) で解除方法を設定している場合は、設定した方法で画面ロックを解除してください。
- ◎ 電源を入れた直後は、ホーム画面にマルチウィンドウトレイ (▶ P.41) が表示されます。

電源を切る

1 〇 (1秒以上長押し)

2 [電源OFF] → [電源OFF]

強制的に再起動する

通常の方法で電源が切れなくなったり、画面が動かなくなった場合は強制的に再起動をすることができます。

1 〇と音量キーの左側を同時に7秒以上長押し

memo

- ◎ 強制的に再起動する操作のため、データおよび設定した内容などが消えてしまう場合がありますのでご注意ください。

セーフモードで起動する

動作不安定などの問題が生じたときは、診断用の起動モード「セーフモード」で起動します。

1 〇 (1秒以上長押し)

2 製品のロゴが表示されている状態から音量キーの左側を押し続ける

セーフモードが起動すると画面の左下端に「セーフモード」と表示されます。

- ・ セーフモードを終了するには、電源を入れ直してください。

memo

- ◎ 必要なデータを事前にバックアップした上でセーフモードをご利用ください。
- ◎ お客様ご自身で作成されたウィジェットが消える場合があります。
- ◎ セーフモードは通常の起動状態ではないため、通常はセーフモードを終了してご利用ください。


画面ロックを設定する

画面ロックを設定すると、画面のバックライトが消灯し、キーやタッチパネルの誤動作を防止できます。


また、本製品では、設定した時間が経過すると、自動的に画面のバックライトが消灯して約5秒後に画面ロックがかかります。

1 画面表示中に


バックライトが消灯し、画面ロックが設定されます。

⏻ /  を押すとバックライトが点灯し、ロック画面が表示されます。

memo

- ◎「画面のタイムアウト」(▶P.170) でバックライトが消灯するまでの時間を変更できます。
- ◎本製品をかばんなどに入れて持ち運ぶ際は、誤操作防止のため、必ず画面ロックを設定してください。また、かばんなどの中で本製品の⏻や  が押されないようにしてください。

画面ロックを解除する

ロック画面は、電源を入れたときや、⏻ /  を押してバックライトを点灯させたときに表示されます。

1 画面ロック中に⏻ /

2 画面を上下左右にスワイプ

memo

- ◎「画面ロック」(▶P.175) で解除方法を設定している場合は、設定した方法で画面ロックを解除してください。解除方法を「なし」に設定している場合は、ロック画面は表示されません。

Googleアカウントの設定をする

本製品にGoogleアカウントを設定すると、Gmail、Google PlayなどのGoogleサービスを利用できます。

Googleアカウントの設定画面は、Googleアカウントが必要なアプリケーションを初めて起動したときなどに表示されます。

1 Googleアカウントの設定画面→ [メールアドレスを入力してください] / [または新しいアカウントを作成]

Googleアカウントをすでにお持ちの場合は「メールアドレスを入力してください」をタップし、メールアドレスを入力して「次へ」をタップします。以降は、画面の指示に従って設定してください。
Googleアカウントをお持ちではない場合は「または新しいアカウントを作成」をタップし、画面の指示に従って登録を行ってください。

memo

- ◎Googleアカウントを設定しない場合でも本製品をお使いになれますが、Gmail、Google PlayなどのGoogleサービスがご利用になれません。
- ◎ログインするためにはGoogleアカウントおよびパスワードが必要です。

au IDを設定する

au IDを設定すると、auスマートパスやGoogle Playに掲載されているアプリケーションの購入ができる「auかんたん決済」の利用をはじめとする、au提供のさまざまなサービスがご利用になれます。au IDの設定について、詳しくは『設定ガイド Android 6.0対応版』をご参照ください。

1 ホーム画面で → [au ID 設定]

2 [au IDの設定・保存] → 暗証番号を入力 → [OK]

3 画面の指示に従って操作し、au IDを設定

au IDをすでに取得されている場合は、お持ちのau IDを設定してください。

Galaxyアカウントの設定をする

「リモートコントロール」(▶P.177) やGalaxy Apps (▶P.135) の一部の機能など、Galaxyサービスを利用するには、あらかじめGalaxyアカウントの設定を行う必要があります。

Galaxyアカウントの設定は、Galaxyアカウントが必要なアプリケーションを初めて起動したときなどに表示されます。

- ・ リモートコントロールはFind My Mobile (端末リモート追跡) から操作できます。

Find My Mobile (端末リモート追跡) の詳細については、以下のホームページをご参照ください。

<http://findmymobile.samsung.com/login.do>

1 Galaxyアカウントの設定画面→ [アカウントを作成]

Galaxyアカウントをすでにお持ちの場合は [サインイン] →メールアドレスとパスワードを入力→ [サインイン] と操作してください。

2 必要な項目を入力・設定→ [次へ]

3 「利用規約」などの内容を確認しチェックを入れる→ [同意]

4 画面の指示に従って操作し、アカウントを認証する



memo

◎ 設定したGalaxyアカウントのパスワードは、「リモートコントロール」を解除するときなどに必要になります。メモを取るなどしてお忘れにならないようお気をつけください。

基本操作

基本操作	37
タッチパネルの使いかた.....	37
モーションの使いかた.....	38
ホーム画面を利用する.....	39
マルチウィンドウで表示する.....	41
アプリ一覧画面を利用する.....	41
ツールボックスを利用する.....	46
本製品の状態を知る.....	46
Google検索を利用する.....	49
Sファインダーを利用する.....	50
Flipboardを利用する.....	50
基本的な操作を覚える.....	50
指紋認証機能を利用する.....	52
文字入力	54
文字を入力する.....	54
文字列を選択／切り取り／コピー／貼り付ける.....	57
文字入力の設定をする.....	57

基本操作

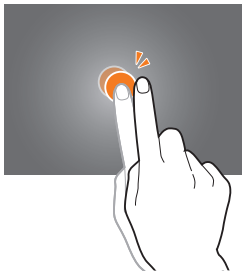
タッチパネルの使いかた

本製品のディスプレイはタッチパネルになっており、指で直接触れて操作します。

- タッチパネルは指で軽く触れるように設計されています。指で強く押ししたり、先がとがったもの（爪/ボールペン/ピンなど）を押し付けしないでください。
- 次の場合はタッチパネルに触れても動作しないことがあります。また、誤動作の原因となりますのでご注意ください。
 - 爪の先での操作
 - 異物を操作面に載せたままでの操作
 - 保護シートやシールなどを貼った状態での操作
 - ディスプレイに水滴が付着または結露している状態での操作
 - 濡れた指または汗で湿った指での操作

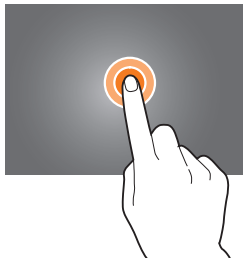
■ タップ/ダブルタップ

画面に軽く触れて、すぐに指を離します。また、2回連続で同じ位置をタップする操作をダブルタップと呼びます。



■ ロングタッチ

項目などに指を触れた状態を保ちます。



■ スライド

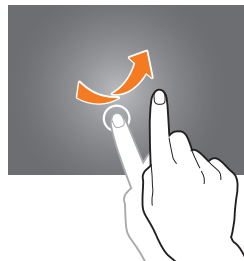
画面内で表示しきれないときなど、画面に軽く触れたまま、目的の方向へなぞります。



■ フリック（スワイプ）

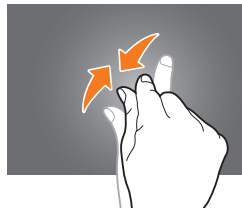
画面を指ですばやく上下左右にはらうように操作します。

- 最初はゆっくりと、最後は軽いはらうように指を動かしてください。



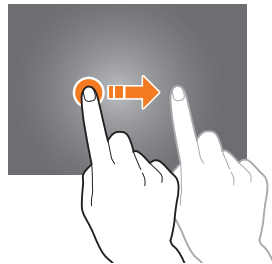
■ ピンチ

2本の指で画面に触れたまま指を開いたり（ピンチアウト）、閉じたり（ピンチイン）します。



■ ドラッグ

項目やアイコンを移動するときなど、画面に軽く触れたまま目的の位置までなぞります。



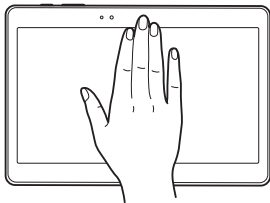
モーションの使いかた

本製品を動かす（モーション）、ディスプレイ上でスワイプやタップするなどの動作で、次の操作ができます。

- あらかじめ、ホーム画面で [基本機能] → [設定] → [デバイス] → [モーション] → 利用するモーションをタップ → をタップして にする必要があります。
 - 利用するモーションをタップすると、各モーションのチュートリアルを表示して使いかたを確認したり、利用する機能を設定したりできます。
- ※ 一部のアプリケーションでは、本機能を利用できない場合があります。

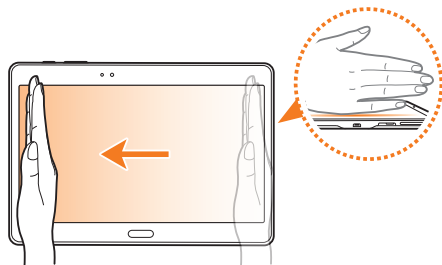
■ 消音

通知音やアラームの鳴動中などに、手のひらでタップすると消音します。



■ スワイプキャプチャ

手の側面で画面上を右から左、または左から右にスワイプすると、画面の表示内容を画像として保存します。

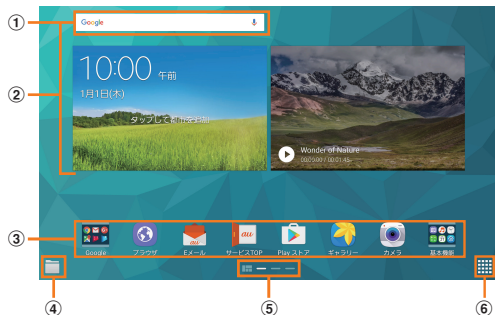


memo

- ◎ 端末本体に過度な動き（揺れ、衝撃など）を与えた場合、センサーの特性によってモーション機能が正しく動作しない場合があります。

ホーム画面を利用する

ホーム画面は複数の画面で構成されており、左右にフリック（▶P.37）すると切り替えることができます。○を押すと、いつでもホーム画面を表示することができます。



- 1 Google検索**
本体内やウェブ上の検索を行えます。
- 2 ウィジェット**
タップすると起動や操作ができます。
- 3 ショートカット**
タップするとアプリケーションなどを起動できます。
- 4 マイファイルアイコン**
タップすると「マイファイル」が起動します。
- 5 ホーム画面の位置**
現在表示中の画面の位置が表示されます。
- 6 アプリケーションアイコン**
タップするとアプリ一覧が表示されます。

ホーム画面をカスタマイズする

■ ショートカット／ウィジェットを追加する

ホーム画面にアプリケーションやWebページなどのショートカットや、ウィジェットを追加できます。ウィジェットとは、ホーム画面に追加して利用できるアプリケーションです。

- Webページのショートカットを追加する方法はアプリケーションごとに異なります。

1 ホーム画面でアイコンのない壁紙部分をロングタッチ

- アプリケーションのショートカットを追加する場合は、ホーム画面で「」をタップし、手順3へ進みます。

2 [ウィジェット]

3 ホーム画面に追加したい項目のアイコンをロングタッチ

- ウィジェットによっては、項目をタップ→ホーム画面に追加したい項目のアイコンをロングタッチと操作します。

4 アイコンを追加したい位置までドラッグして指を離す

- データの選択や設定の画面が表示された場合は、画面の指示に従って操作してください。
- アイコンをホーム画面の左端／右端、またはホーム画面下部のホーム画面のサムネイルまでドラッグすると、他のページに移動できません。
- サイズを変更できるウィジェットの場合は、サイズ調節の枠が表示されます。枠をドラッグしてサイズを変更することができます。

■ フォルダを追加する

- 1 ホーム画面でフォルダにしたいアイコンをロングタッチ
- 2 画面上部の「フォルダ作成」までドラッグして指を離す
- 3 フォルダ名を入力→ [完了]

■ ショートカット／ウィジェット／フォルダを移動／削除する

ホーム画面に追加したショートカットやウィジェット、フォルダの表示位置を変更したり、削除したりできます。

- 1 ホーム画面で移動したいアイコンをロングタッチ
- 2 アイコンを移動したい位置までドラッグして指を離す
 - ・ アイコンをホーム画面の左端／右端、またはホーム画面下部のホーム画面のサムネイルまでドラッグすると、他のページに移動できます。
 - ・ アイコンを画面上部の「削除」までドラッグして指を離すと、アイコンを削除できます。

memo

◎ ホーム画面に追加したアプリケーションのショートカットを削除しても、アプリケーションそのものを削除（アンインストール）するわけではありません。

■ ホーム画面を並べ替える

ホーム画面の位置を入れ替えたり、追加／削除したりできます。



■ ホーム画面を並べ替える場合

- 1 ホーム画面でアイコンのない壁紙部分をロングタッチ
ホーム画面がサムネイル表示されます。

- 2 移動したいホーム画面を選択してサムネイルをロングタッチ→移動したい位置までドラッグして指を離す

- ・ ホーム画面のサムネイルを画面上部の「削除」までドラッグして指を離すと、ホーム画面を削除できます。
- ・ ホーム画面のサムネイルに「+」が表示されている場合は、タップするとホーム画面を追加できます。ホーム画面は最大5枚まで追加できます。

memo

◎  をタップすると、標準ホーム画面（ を押したときに表示されるホーム画面）を切り替えることができます。

■ キッズモードに切り替える

キッズモードを利用すると、お子様向けのアプリを楽しんだり、端末内のアプリやコンテンツへのアクセスを制限したりすることができます。

- 1 ホーム画面で [キッズモード]

- ・ 確認画面が表示された場合は、画面の指示に従ってダウンロード、およびインストールをしてください。

■ コンテンツホームに切り替える

コンテンツホームを利用すると、コンテンツ中心のウィジェットに素早くアクセスできます。ウィジェットを操作することで、情報を閲覧したりアプリを起動したりすることができます。

- 1 一番左のホーム画面で右にフリック

コンテンツホームが表示されます。

memo

◎ ウィジェットをロングタッチすると、コンテンツホームを編集することができます。

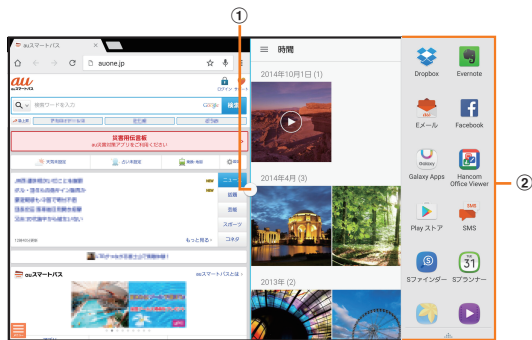
マルチウィンドウで表示する

☰ をロングタッチするか、画面を右端からスワイプすると、マルチウィンドウトレイが開きます。

アプリケーションを起動している状態で、マルチウィンドウトレイからアイコンをドラッグすると別々のウィンドウで2つのアプリケーションを同時に表示することができます。

※一部のアプリケーションでは、本機能を利用できない場合があります。

- メニュー表示の説明画面が表示された場合は「OK」をタップします。
- あらかじめ「マルチウィンドウ」(▶ P.171) をオンにする必要があります。



① 分割バー

② マルチウィンドウトレイ

アプリケーションをマルチウィンドウトレイから表示したい位置へドラッグします。

memo

- ☰ → 表示されるアプリケーションのウィンドウのタイトルバー右上の [☰] をタップすると、マルチウィンドウ表示を開始できます。
- 表示中の2つのアプリケーションの組み合わせに名前を付けて登録することができます(ウィンドウグループ)。登録するには、2つのアプリケーションを表示している状態で、マルチウィンドウトレイから [⋮] → [作成] と操作します。マルチウィンドウトレイに作成したウィンドウグループが表示され、タップすると呼び出すことができます。
- [🔄] をタップすると [🔄] (ウィンドウの切り替え) / [📄] (コンテンツをドラッグ&ドロップ) / [🖼️] (全画面表示) / [✕] (アプリケーションを終了) が表示されます。
- [🔍] を左右にドラッグすると表示領域を調整したりできます。
- マルチウィンドウトレイから [⋮] → [編集] と操作すると、マルチウィンドウトレイに表示するアプリケーションを追加/削除できます。
- 再度 ☰ をロングタッチするか、マルチウィンドウトレイを右へスワイプすると、マルチウィンドウトレイが閉じます。

アプリ一覧画面を利用する

アプリ一覧画面には、本製品にインストールされているアプリケーションのアイコンが表示され、アイコンをタップしてアプリケーションを起動できます。

- アプリケーションアイコンをタップしてそれぞれの機能を使用すると、機能によっては通信料が発生する場合があります。

アプリ一覧画面を表示する

1 ホーム画面で [📄]

アプリ一覧画面が表示されます。

- 1画面に収まらない場合は、左右にフリック (▶P.37) すると、画面を切り替えられます。

■主なアプリケーションの種類

アプリケーション	概要	ページ
連絡先	連絡先を管理します。	P.108
マイファイル	静止画や動画、音楽などのデータを表示・管理できます。	P.153
ブラウザ	インターネットに接続します。	P.103
Sプランナー	スケジュールを管理できます。	P.133
メール	PCメール（複数のアカウントを使用可）を利用できます。	P.95
時計	アラームの設定や時計などを表示します。	P.145
ミュージック	音楽を再生します。	P.120
ビデオ	動画を再生できます。	P.119
カメラ	静止画を撮影、動画を録画します。	P.111
ギャラリー	静止画や動画を閲覧します。	P.118
Galaxy Apps	役に立つアプリケーションのダウンロードや、インストールしたアプリケーションのアップデートができます。 ・初めて起動したときは更新画面が表示されます。画面の指示に従って操作して更新すると、Galaxy Appsに変更されます。	P.135
設定	本製品の各種設定を行います。	P.166
電卓	基本的な計算ができます。	P.147
Sボイス	音声コマンドで端末を操作します。	P.135
SideSync	モバイル端末上の全ての操作をタブレットやPCで行うことができます。	-
Peel Smart Remote	本製品でテレビなどの機器を操作できます。	-
辞書	辞書を利用して単語を調べることができます。	P.136
テレビ	テレビを視聴します。	P.122
取扱説明書	本製品の取扱説明書を表示します。	P.ii
Google	本体内やウェブ上の検索を行います。	P.49
音声検索	音声入力で検索を行います。	P.49
Gmail	Gmailを利用します。	P.100

アプリケーション	概要	ページ
Google+	Googleが提供するSNSのクライアントアプリであるGoogle+を起動します。	-
Playムービー & TV	Google Playの映画やテレビ番組をレンタルしたり、本製品に保存した動画を再生したりできます。	-
Playブックス	Google Playから書籍をダウンロード／購入したり、本製品で閲覧したりできます。	-
Play ゲーム	Google Playゲームでゲームを楽しむことができます。	-
ハンガアウト	写真や絵文字、ビデオハンガアウトなどを使って会話を楽しめるコミュニケーションツールです。	P.130
Chrome	インターネットに接続します。	-
フォト	写真や動画を閲覧できます。Google フォトにログインして、バックアップすることもできます。	-
マップ	現在地の確認／他の場所の検索／経路の検索などが行えます。	P.130
YouTube	YouTubeで動画を再生します。	P.130
Playストア	Google Playからアプリケーションをダウンロード／購入します。	P.128
ドライブ	画像や動画などをGoogleドライブに保存したり、共有したりすることができます。	-
Hancom Office Viewer	ドキュメントファイルを閲覧することができます。	-
Dropbox	静止画や動画などのデータをどこからでもアクセスできるようにする無料のサービスです。	-
Flipboard	FacebookやTwitter、YouTubeなどの情報を、雑誌のようなレイアウトで表示します。	-
Evernote	さまざまな情報をサーバーに保存して、情報の整理や管理を簡単に行うことができます。	-
SMS	SMSを送受信します。	P.91

アプリケーション	概要	ページ
Eメール	Eメール (@ezweb.ne.jp) の送受信ができます。	P.60
サービスTOP	最新ニュースや占い、乗換案内などのディリジーツールはもちろん、「サービスTOP」を最大限活用するためのポータルアプリ。アプリ取り放題、お得なクーポンやプレゼント、データのお預かりサービスやセキュリティソフトなど、安心・快適なタブレットライフを楽しめます。	P.145
うたパス	最新J-POPやカラオケ人気曲、アニソン、洋楽など400以上のチャンネルが聴き放題。いつでも、どんな気分でもピッタリな楽曲と出会うラジオ型音楽サービスです。	－
ブックパス	コミック・小説・写真集など多くの電子書籍を楽しむことができます。	－
ビデオパス	幅広いジャンルの映画やドラマ、アニメなどの人気作品が見放題でお楽しみいただけるアプリです。	－
au Market	auスマートパスのアプリ取り放題に対応したAndroidアプリをインストールできます。	－
au Cloud	タブレットに保存されている写真や動画をお預かりするアプリです。自動・手動どちらでも預けることができます。ただし、自動でのお預かりは、Wi-Fi® (またはWiMAX) に接続している場合のみとなります。	－
スクリーンショットシェア	表示中の画面を、カンタンな操作で撮影、保存することができます。 撮影したスクリーンショットにスタンプを押したり編集して、Facebook・TwitterなどのSNSやEメールで友達と共有できます。	P.147

アプリケーション	概要	ページ
NFCタグリーダー	NFCタグの読み込み/データ書き込みを実行するアプリです。またデータ読み取り後、その情報に応じた動作をします。	P.138
バーコードリーダー	バーコードリーダー「アイコンット」は、QRコードやJANコードを読み取るだけで、動画・音声・画像・テキストなどのさまざまなアクションがタブレットならではのクオリティで再生されます。	－
auお客さまサポート	データ通信量や月々の利用状況などを簡単に確認できるほか、auお客さまサポートウェブサイトへアクセスして、料金プランやオプションサービスなどの申込変更手続きができます。	P.140
auテレビ.Gガイド	テレビ番組表の閲覧や、番組検索ができます。さらにテレビアプリ連携や遠隔録画予約機能がご利用いただけます。	P.125
auショッピングモール	日用品・タブレットグッズ・グルメ・ファッションなど、お買いものか楽しめるau公式のショッピングアプリです。	－
au災害対策	災害用伝言板や、緊急速報メール（緊急地震速報、災害・避難情報、津波警報、特別警報、洪水情報）、災害用音声お届けサービス、災害関連情報を利用することができます。	P.142
auバックアップアプリ	お客様のタブレットに保存しているさまざまなデータをmicroSDメモリカードにバックアップ/復元できるアプリです。 自動バックアップ機能では、お客様が設定した曜日、時間にバックアップを自動実行します。	－
auかんたん設定	auかんたん設定は、auの便利な機能やサービスをご利用いただくための設定をサポートする設定アプリです。	設定ガイド Android 6.0対応版

アプリケーション	概要	ページ
リモートサポート	タブレットの操作で困ったとき、お客様のタブレットの画面を共有し、お客様の操作をサポートするアプリです。	P.142
au WALLEET	au WALLEETカードをより便利に使いこなすためのアプリです。 カードへのチャージのほか、カード残高・ポイント残高・特典の確認などを、タブレットに最適化した画面でご利用いただけます。	—
au Wi-Fi接続ツール	ご自宅にてHOME SPOT CUBE等のWi-Fi [®] 親機と簡単に接続できます。外出先ではすべてのau Wi-Fi SPOTがご利用いただけるようになります。スポット検索も可能です。	P.149
安心アクセス	お子様がauの端末を安心してご利用いただけるよう、不適切と思われるウェブページへのアクセスやアプリケーションのご利用を制限するフィルタリングアプリです。	P.138
Lookout for au	本製品を盗難・紛失された場合に、遠隔操作で本製品の位置検索やロックをすることができます。	P.142
ゲームギフト*	大人気ゲームのアイテム無料配信を中心に、攻略情報や新作ゲーム事前登録情報など、さまざまなお得（ギフト）を提供するアプリです。	—
グノシー for au [®]	雑誌のネタを3分まとめ読み。サクサク使えて、すっきり読める。社会・スポーツ・芸能から、やわらかコラム・まとめまで幅広くカバーできるニュースアプリです。	—
au ID 設定	au IDを設定します。	P.34
ナビウォーク*	乗物・徒歩を組み合わせた最適なルートナビゲーションするアプリです。	—
Player(LISMO)	音楽を再生したり、最新の音楽情報を調べたりできます。また、楽曲の試聴・購入も可能なアプリです。	—

アプリケーション	概要	ページ
Friends Note	Friends Noteはアドレス帳移行やサーバーへのバックアップもできる安心・便利なアドレス帳です。また、Facebook・TwitterなどのSNSの友人をアドレス帳で一元管理できます。	P.133
朝日新聞	朝日新聞デジタルを購読できます。	—
キッズモード	お子様向けのアプリを楽しんだり、端末内のアプリやコンテンツへのアクセスを制限したりすることができます。	P.40
データお預かり	auサーバー上に写真とアドレス帳を自動バックアップすることができます。	—

* 簡単にダウンロード/アップデート（更新）できるショートカットアプリです。利用するにはダウンロード/インストールが必要です。



- ◎「取扱説明書」アプリケーションを利用すると、さまざまな機能の操作方法や設定方法を確認できます。初めてご利用になる場合は、画面の指示に従ってアプリケーションをダウンロードしてインストールしてください。
- ◎ショートカットアプリを利用してインストールすると、名前が変更されたり、表示位置が移動される場合があります。
- ◎本製品を初期化しても、プリセットされているアプリケーションは削除されません。

アプリ一覧画面のメニューを利用する

1 アプリ一覧画面で [H]

編集	▶P.45 「アプリ一覧画面をカスタマイズする」
フォルダ作成	▶P.40 「フォルダを追加する」
表示形式	アプリ一覧画面の表示方法を切り替えます。
ダウンロード済みアプリ	ダウンロード済みアプリ一覧画面を表示します。
アプリのアンインストール/無効化	アプリケーションをアンインストール/無効にします。
アプリを非表示	アプリケーションを非表示にします。
無効なアプリを表示 ^{※1}	無効にしたアプリケーションの一覧画面を表示します。
非表示アプリを表示 ^{※2}	非表示にしているアプリケーションを再度表示させます。
GALAXY Essentials	Galaxyユーザー限定のプレミアムアプリをダウンロードできます。
ヘルプ	アプリ一覧画面のヘルプを表示します。

※1 無効にしたアプリケーションがある場合のみ表示されます。

※2 非表示にしたアプリケーションがある場合のみ表示されます。



◎ 無効にしたり、非表示にしたりしたアプリケーションを再度表示した場合、アプリ一覧画面の末尾に追加されます。

アプリ一覧画面をカスタマイズする

アプリ一覧画面に表示されるアイコンの並べ替え、ページやフォルダの追加ができます。

1 アプリ一覧画面で [H] → [編集]

編集画面が表示されます。

2 移動したいアイコンをロングタッチ→移動したい位置までドラッグして指を離す



- アイコンを画面上部の「フォルダ作成」/「ページを作成」/「アプリ情報」/「アンインストール」/「無効」までドラッグして指を離すと、フォルダや新しいページの作成、アプリ情報の表示、アプリケーションのアンインストール/無効化などの操作が行えます(アプリケーションによって表示が変わります)。
- アイコンをロングタッチしてアプリ一覧画面の左端/右端までドラッグすると、アイコンを他のページに移動できます。

3




ツールボックスを利用する

画面上にアプリケーションのショートカットを表示して、すばやく任意のアプリケーションを利用することができます。


ツールボックスを表示する

- 1 ホーム画面で [基本機能] → [設定] → [デバイス] → [ツールボックス] の  を  にする

画面上に  が表示されます。

-  を移動するには、 を移動したい場所までドラッグして指を離します。
- ツールボックスに格納するアプリケーションを編集するには、ホーム画面で [基本機能] → [設定] → [デバイス] → [ツールボックス] → [] → 格納したいアプリケーションにチェックを入れる → [完了] と操作します。



- ◎ [] をロングタッチして画面上部の「編集」/「削除」までドラッグして指を離しても、ツールボックスを編集/非表示にできます。
- ◎ ツールボックスに格納できるアプリケーションの数は最大5件です。

ツールボックスからアプリケーションを起動する

- 1 [] → 起動したいアイコンをタップ

本製品の状態を知る

画面上部のステータスバーには本製品の状態を示すアイコンが表示されます。ステータスバーの左側には新着メール、実行中の動作などを知らせる通知アイコン、右側には本製品の状態を表すステータスアイコンが表示されます。



アイコンの見かた

■ 主な通知アイコン

アイコン	概要
	新着Gmailあり
	新着PCメールあり
	新着Eメール (@ezweb.ne.jp) あり
	Eメール認証中 (送信中・送信完了/受信中)
	Eメール認証失敗/受信失敗/サーバーにメールあり
	Eメール (@ezweb.ne.jp) の送受信失敗あり
	新着SMSあり
	ハンガアウトのお知らせあり
	データダウンロード中/完了
	データアップロード中/完了
	アラーム鳴動中
	Sプランナーの通知あり
	バックグラウンドで音楽再生中/一時停止中
	microSDメモリカードの準備中
	microSDメモリカードのマウント解除中
	エラーメッセージあり
	Google Playからインストール済みアプリケーションのアップデート通知
	アプリケーションのインストール完了

アイコン	概要
	ソフトウェア更新接続中
	Wi-Fi®がオンかつWi-Fi®オープンネットワークが利用可能
	位置情報測定中（アニメーション表示）／測位完了（アニメーション表示停止）
	「近くのデバイス」機能オン
	ナビ起動中
	VPN接続中
	USBテザリング機能オン
	Wi-Fi®テザリング機能をオン
	USBテザリング機能とWi-Fi®テザリング機能を両方オン
	LISMOで音楽再生中
	テレビ起動中
	緊急速報メールあり
	スクリーンショット完了
	キーボード表示中
	非表示の通知情報あり
	通知をミュート設定中
	スクリーンショット設定を有効に設定中

memo

◎ 通知アイコンには、複数件の通知があったことを示す、アイコンが重なったデザインで表示されるものもあります。

■ 主なステータスアイコン

アイコン	概要	ページ
	電波の強さ レベル4 / 圏外	—
	電波の強さ（海外利用中）	—
	4G（LTE / WiMAX 2+）データ通信状態* 4G（LTE / WiMAX 2+）データ使用可能 / 4G（LTE / WiMAX 2+）データ通信中	—
	3Gデータ通信状態 3Gデータ使用可能 / 3Gデータ通信中	—
	1Xデータ通信状態 CDMA 1Xデータ使用可能 / CDMA 1Xデータ通信中	—
	無線LAN（Wi-Fi®）通信状態 無線LAN（Wi-Fi®）使用可能 / 無線LAN（Wi-Fi®）通信中	P.160
	Bluetooth® 機能オン	P.158
	Bluetooth® デバイスと接続中	P.159
	Wi-Fi Direct機能で接続中	P.163
	機内モード設定中	P.167
	マナーモード（パイプ）設定中	P.173
	マナーモード（サイレント）設定中	P.173
	電池レベル状態 100% / 充電中	—
	アラーム設定中	P.145
	NFC機能が有効	P.137
	スマートステイ動作中	P.170


* 「LTE」「WiMAX 2+」の2つのネットワークをご利用いただけます。いずれの場合も画面表示は「4G」となります。回線の混雑状況などに応じ、より混雑が少ないと当社が判断したネットワークに接続します。

通知パネルについて

通知アイコンが表示されたときは、通知パネルを開くと通知の概要を確認できます。また、通知パネルのアイコンをタップして機能を設定したり、通知情報などを確認したりすることができます。

1 ステータスバーを下にスライド



- 1 タップすると日付と時刻の設定画面が表示されます。
- 2 各種機能のオン/オフを切り替えます（クイック設定ボタン）。左右にスライドしたり、をタップしたりすると、表示されていないアイコンを表示できます。ロングタッチすると、各機能の設定メニュー画面が表示されます。

Wi-Fi：無線LAN（Wi-Fi[®]）機能のオン/オフを切り替えます。
 位置情報：位置情報測位機能のオン/オフを切り替えます。
 サウンド/バイブ/サイレント：マナーモードの設定を切り替えます。
 画面回転：画面回転のオン/オフを切り替えます。
 Bluetooth：Bluetooth[®]機能のオン/オフを切り替えます。
 表示を最適化：画面モードを切り替えます。
 モバイルデータ：データ通信のオン/オフを切り替えます。
 ハイブリッドダウンロード：ハイブリッドダウンロードのオン/オフを切り替えます。
 ウルトラ省電力モード：ウルトラ省電力モードのオン/オフを切り替えます。

マルチウィンドウ：マルチウィンドウの有効/無効を切り替えます。
 機内モード：機内モードのオン/オフを切り替えます。
 ツールボックス：ツールボックスの表示/非表示を切り替えます。
 Wi-Fiテザリング：Wi-Fiテザリング機能のオン/オフを切り替えます。
 Screen Mirroring：Screen Mirroring機能のオン/オフを切り替えます。
 S Beam：S Beamのオン/オフを切り替えます。
 NFC：NFC機能のオン/オフを切り替えます。
 同期：アカウントの自動同期のオン/オフを切り替えます。
 読書モード：読書モードのオン/オフを切り替えます。
 スマートステイ：スマートステイのオン/オフを切り替えます。
 省電力モード：省電力モードのオン/オフを切り替えます。
 通知をミュート：通知をミュートのオン/オフを切り替えます。
 通信制限モード：通信制限モードのオン/オフを切り替えます。
 プライベートモード：プライベートモードのオン/オフを切り替えます。
 高感度タッチ操作：高感度タッチ操作のオン/オフを切り替えます。

- 3 画面の明るさを設定します。
- 4 Sファインダーが表示されます。
- 5 メールを受信などの通知情報（お知らせ）や、進行中/実行中の情報などが表示されます。左右にフリックすると消去できます。
- 6 設定メニュー画面が表示されます。
- 7 クイック接続画面が表示されます。^{*1}
- 8 通知情報（お知らせ）の表示を消去します。

^{*1} 他のクイック接続対応機器を自動的に検索してすばやく接続し、簡単な操作でデータを共有できます。クイック接続の詳細については、[:] → [ヘルプ] と操作してヘルプをご覧ください。

memo


- 通知内容によっては消去できない場合があります。
- 画面を上にもスライドすると通知パネルを閉じます。
- クイック設定ボタンは、ONに設定されている場合は緑色で表示されます。
- ステータスバーを2本の指で下にスライドすると、クイック設定ボタン編集画面が表示されます。
- 通知パネルで [] → [] と操作すると、通知パネルの表示を設定できます。

Google検索を利用する

本体やWebページの情報を検索できます。

1 ホーム画面でGoogle検索をタップ

↓ : Google音声検索に切り替えます。

-  を1秒以上押すことでも起動することができます。
- Google Nowのお知らせ画面が表示された場合は、画面の指示に従って操作してください。

2 入力欄にキーワードを入力

入力した文字から始まるアプリケーションや検索候補などが入力欄の下に一覧表示されます。

3 一覧表示から項目を選択／キーボードの [🔍]

Google検索の検索結果を表示します。

一覧からアプリケーションを選択した場合は、アプリケーションが起動します。

Google音声検索を利用する

検索するキーワードを音声で入力できます。

1 ホーム画面でGoogle検索の [🗣]

Google音声検索画面が表示されます。

2 マイクに向かってキーワードを話す

Google検索の検索結果が表示されます。

検索時のメニューを利用する

1 ホーム画面でGoogle検索をタップ→キーワードを入力 →キーボードの [🔍]

2 三をタップ→ [設定]

3 設定したい項目をタップ

- [?] をタップすると、ヘルプとフィードバックを表示することができます。

Sファインダーを利用する

本製品内のメールやメモ、音楽、画像などさまざまなデータを検索できます。また、Webページの検索なども行えます。

1 ステータスバーを下にスライド→ [Sファインダー]

↓ : Google音声入力に切り替えます。

2 入力欄にキーワードを入力

入力した文字を含む検索結果が入力欄の下に一覧表示されます。
 ・ 入力欄下の各カテゴリーの項目をタップして、検索範囲を指定することもできます。

3 一覧表示から項目を選択 / キーボードの [🔍]


検索結果を表示します。

Flipboardを利用する

Flipboardでは、ニュースや周辺情報、SNSなどの情報をまとめて表示することができます。

1 アプリ一覧画面で [Flipboard]

2 画面を左にスライド→画面の指示に従って情報を見る

・ 情報をタップすると、情報の詳細を見ることができます。
 ・  → [プロフィール] → [登録] と操作するとアカウントの作成画面が表示されます。画面の指示に従って操作してください。

基本的な操作を覚える

ここでは、本製品でよく使う操作を説明します。

縦横表示を切り替える

本製品の向きに合わせて、自動的に画面の縦 / 横画面表示を切り替えることができます。

1 ホーム画面で [基本機能] → [設定] → [デバイス] → [ディスプレイ] → [画面回転] → を にする



◎ ホーム画面で [基本機能] → [設定] → [デバイス] → [ディスプレイ] → [画面回転] → 「スマートローテーション」にチェックを入れることで、顔の向きに合わせて画面が回転します。

項目を選択する

表示された項目やアイコンを選択するには、画面を直接タップします。

タブを切り替える

タブが表示されている画面では、表示 / 確認したいタブをタップすると画面を切り替えられます。



メニューを表示する

画面のメニューを表示するには、**☰**をタップ/**☐**をロングタッチする、また入力欄や項目をロングタッチして表示する方法などがあります。

例：ブラウザ画面で**【その他】**をタップ/**☐**をロングタッチする場合

[その他]をタップ/**☐**をロングタッチ



《ブラウザ画面》

例：ブラウザ画面でリンクをロングタッチする場合

リンクをロングタッチ



《ブラウザ画面》

設定を切り替える

設定項目の横にチェックボックスやラジオボタンまたはオン/オフスイッチが表示されているときは、チェックボックスやラジオボタンまたはオン/オフスイッチをタップすることで設定のオン/オフを切り替えることができます。

アイコン	説明
<input checked="" type="checkbox"/> / <input checked="" type="radio"/> / <input checked="" type="checkbox"/>	設定がオンの状態です。
<input type="checkbox"/> / <input type="radio"/> / <input type="checkbox"/>	設定がオフの状態です。

データを複数選択する

データを移動/保存/削除などする際に、複数のデータを選択できません。

選択するデータをタップすると、チェックボックスにチェックが入り、データが選択された状態になります。

チェックボックスにチェックが入った項目をもう一度タップすると、チェックボックスのチェックが外れて選択が解除されます。

最近使用したアプリケーションを表示する

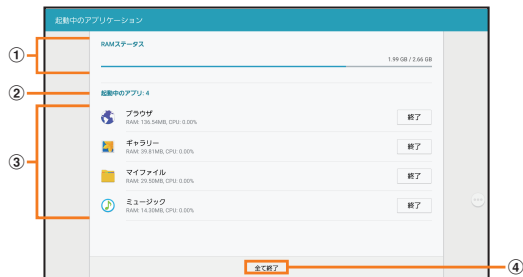
最近使用したアプリケーションを表示してアクセスできます。

1 **☐**

最近使用したアプリケーションが一覧で表示されます。




- 一覧からアプリケーションをタップすると、アプリケーションが起動します。
- **☑**をタップすると、起動中のアプリケーション画面 (▶P.52) を起動できます。
- **✖**をタップすると一覧からすべてのアプリケーションを削除します。
- メニュー表示の説明画面が表示された場合は「OK」をタップします。

起動中のアプリケーションを確認／終了する



- ① RAMステータス
RAMの使用状況を確認します。
- ② 起動中のアプリケーションの件数
- ③ 起動中のアプリケーション一覧
[終了] → [OK] と操作すると、アプリケーションを終了します。
- ④ 全て終了
[全て終了] → [OK] と操作すると、起動中のアプリケーションをすべて終了します。

画面の表示内容を画像として保存する

 と  を同時に1秒以上長押しすると、現在表示されている画面を画像として保存（スクリーンショット）できます。動作が完了するとステータスバーに  が表示されます。





- ◎ 画像は、「ギャラリー」（▶P.118）の「Screenshots」フォルダに保存されます。
- ◎ 起動中のアプリケーションによっては、スクリーンショットが動作しない場合があります。

指紋認証機能を利用する

指紋認証機能とは、指紋センサーに指をスライドして行う認証操作です。指紋認証機能を使用すると、ロック画面の解除やGalaxyアカウトへの認証操作などを簡単に行うことができます。

■ 指紋認証利用時のご注意

- 本機能は指紋の特徴情報を認証に利用するためのものです。このため、指紋の特徴情報が少ないお客様の場合は、指紋認証機能が利用できないことがあります。
- 指紋の登録には同じ指で8回の読み取りが必要です。異なる指で登録を行わないでください。
- 認証性能（正しく指をスライドさせた際に指紋が認証される性能）は、お客様の使用状況により異なります。指が濡れている、汗をかいている、または手が乾燥しているなど、指の状態によっては指紋の登録が困難になったり、認証性能が低下することがあります。その場合、手を洗う、手を拭く、認証する指を変えるなど、お客様の指の状態に合わせて対処することで、認証性能が改善されることがあります。
- 指紋の登録や認証の際は、第1関節を指紋センサー中央に合わせ、指を押し当てながら指紋センサーの領域を通過するまで下へスライドさせます。登録時と認証時の指の位置の違いによる認証失敗を防ぐためには、端末と同じ方向に指を置いてスライドさせてください。
- 指を曲げたり、指先だけで指紋センサーに触れたりすると、正常に認識できないことがあります。スライドが速すぎたり遅すぎたりすると正常に認識できないことがあります。
- できるだけ指紋の渦の中心が指紋センサーの中心を通過するようにスライドさせてください。
-  /  を押してからロック画面が表示されるまでの間は、指紋センサーに触れないでください。指紋センサーが機能しなくなることがあります。
- 指紋センサーに指を置いたまま指紋の登録や認証を開始すると、起動できない場合があります。指を離して操作をやり直してください。
- 指紋認証技術は完全な本人認証・照合を保証するものではありません。当社では本製品を使用されたこと、または使用できなかったことによって生じうるいかなる損害に関しても、一切責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

■ 指紋センサー利用時のご注意

- 指紋センサーの表面を、ペン先など鋭利なものでつついたりしないでください。
- 指紋センサー表面や操作する指先に水滴や汚れが付着した場合は誤動作の原因となります。柔らかい布で水滴・汚れを取り除いてご使用ください。また、水分により指先がふやけた場合でも、誤動作の原因となる場合があります。
- ぶついたり、強い衝撃を与えたりしないでください。故障および破損の原因となることがあります。また、指紋センサー表面をひっかいたり、先のとがったものでつついたりしないでください。
- 爪やストラップの金具など硬いものを押し付けると、指紋センサー表面に傷が付くことがあります。
- 泥などで指紋センサー表面が汚れたり、表面に傷が付いたりすると、故障および破損の原因となることがあります。
- お買い上げ時に貼り付けられている保護フィルムをはがしてからご使用ください。保護フィルムを貼り付けたまま使用すると、正常に認識できないことがあります。
- 指紋センサー表面にシールを貼ったり、インクなどで塗りつぶしたりしないでください。
- ほこりや皮脂などの汚れ、汗などの水分が付着したり結露が発生すると、指紋の読み取りが困難になったり、認証性能が低下することがあります。指紋センサー表面はときどき清掃してください。
- 指紋の登録失敗や認証失敗が頻発する場合は、指紋センサー表面を清掃してください。現象が解消されることがあります。
- 指紋センサーを清掃する際には、静電気の発生しにくい、乾いた柔らかい布で表面の汚れを取り除いてください。長時間の使用によりゴミがたまる場合がありますが、その場合でも先のとがったもので取り除かないでください。
- 静電気が故障の原因となる場合があります。指紋センサーに指を置く前に、金属に手を触れるなどして静電気を取り除いてください。冬季など乾燥する時期は、特にご注意ください。

指紋認証機能を設定する

指紋を登録したり、利用する機能やバックアップパスワードを設定します。

- ロック画面の解除操作の設定については「画面ロックを設定する」(▶P.175)をご参照ください。
- 「免責条項」画面が表示された場合は、内容をご確認のうえ、画面の指示に従って操作してください。

1 ホーム画面で [基本機能] → [設定] → [デバイス] → [指紋スキャナー]

■ 指紋を登録する場合

2 [指紋管理]

3 画面の指示に従って操作

■ 画面ロックの解除方法として利用する場合

2 [画面ロック] → [指紋]

■ Webサインインへの認証操作で利用する場合

2 [Webサインイン]

3 をタップする→画面の指示に従って操作

■ Galaxyアカウントへの認証操作で利用する場合

2 [Galaxyアカウントを認証]

3 をタップする→画面の指示に従って操作

■ バックアップパスワードを変更する場合

2 [バックアップパスワードを変更] → 指紋認証を行う → 新しいバックアップパスワードを入力 → [続行] → 同じバックアップパスワードを再度入力 → [OK]



- ◎バックアップパスワードは、指紋認証の代わりに、指紋認証画面で [🔑] →現在のバックアップパスワードを入力と操作しても変更できます。

指紋認証を行う

1 指紋認証画面が表示されたら、指紋センサーに指をスライド

- ・正しく認証されない場合は、指を指紋センサーから離し、もう一度認証操作を行ってください。

文字入力

文字を入力する

文字入力には、ソフトウェアキーボードを使用します。ソフトウェアキーボードは、連絡先の登録時やメール作成時などの文字入力画面で入力欄をタップすると表示されます。初期状態ではGalaxy日本語キーボードを利用することができます。また、そのほかに「Google音声入力」機能を使って文字を入力することもできます。



- ◎使用状態によって各キーボードの表示や動作が異なる場合や、利用するアプリケーションや機能専用のキーボードが表示される場合があります。

入力方法を切り替える

- 1 キーボード表示中にステータスバーを下にスライド通知パネルが表示されます。
- 2 [キーボードを選択] →利用したい入力方法を選択

Galaxy日本語キーボードで入力する

Galaxy日本語キーボードは、「QWERTYキーボード」と「テンキー」の2種類のキーボードを利用できます。

- QWERTYキーボード：パソコンなどと同じキー配列のキーボードです。日本語はローマ字入力で行います。
- テンキー：一般の携帯電話のようなキー配列のキーボードです。入力したい文字が割り当てられているキーを文字が入力されるまで数回タップして入力します。「フリックタイプ」(▶ P.57)を「Off」以外に設定している場合は、キーをロングタッチするとキーポップアップが表示され、入力したい文字が表示された方向にフリックしても入力できます。



《QWERTYキーボード》



《テンキー》

- ① 予測変換候補／通常変換候補が表示されます。候補をタップすると文字を入力できます。
 - 予測変換をオフに設定して文字入力中や、予測変換候補の表示中に「変換」をタップすると、通常変換候補が表示されます。
 - をタップすると、予測変換候補／通常変換候補の表示エリアを拡大できます。 をタップすると、元の表示に戻ります。
- ② 通常変換候補を表示します。
 - 変換候補が表示されていない場合や、英語入力モードの場合はタップするとスペースを入力できます。

- ③ 表示されているキーの操作を実行します。
 - ロングタッチすると次のアイコンメニューが表示されます。キーの表示は、選択したアイコンメニューにより異なります。
 - 🗣️：音声入力に切り替える
 - 📝：手書き入力キーボードに切り替える
 - ⚙️：Galaxy日本語キーボードの設定メニューを表示
 - 📄：画面上で位置を移動できるキーボードを表示
- ④ 数字／記号一覧を表示します。
 - 数字／記号一覧が表示された状態で再度タッチするか、ロングタッチすると絵文字／顔文字／記号一覧を表示します。
 - 絵文字／顔文字／記号は、タブをタップして切り替えます。「戻る」をタップすると、再度QWERTYキーボードを表示します。
- ⑤ ひらがな漢字／英字入力モードに切り替えます。
- ⑥ カーソルを左に移動します。
- ⑦ カーソルを右に移動します。
 - テンキー使用時に、同じキーに割り当てられている文字を続けて入力するときにもタップします。ただし、「自動カーソル移動」(▶ P.58)を「Off」以外に設定している場合は、自動的にカーソルが移動します。
 - 「ワイルドカード予測」(▶ P.58)／「日本語ワイルドカード予測」(▶ P.58)をオンにしている場合は、タップするとワイルドカード予測(▶ P.56)を利用できます。
- ⑧ カーソルの左側にある文字や記号などを削除します。
- ⑨ 操作状態や選択中の入力欄に対応したキーが表示され、入力した文字の確定や、改行、次の入力欄への移動などができます。
- ⑩ クリップボードを表示してテキストなどの貼り付けをします。
- ⑪ 確定前の文字を逆順に切り替えます。
 - 文字を入力していないときは、表示されているキーの操作を実行します。ロングタッチすると次のアイコンメニューが表示されます。キーの表示は、選択したアイコンメニューにより異なります。
 - 🗣️：音声入力に切り替える
 - 📝：手書き入力キーボードに切り替える
 - 📄：クリップボードを表示してテキストなどの貼り付け
 - ⚙️：Galaxy日本語キーボードの設定メニューを表示
 - 📄：画面上で位置を移動できるキーボードを表示
- ⑫ 英数カナの変換候補が表示されます。再度タップすると予測変換候補／通常変換候補に戻ります。
 - 文字が入力されていないときは、 (数字／絵文字／顔文字／記号切替)が表示されます。
- ⑬ 大文字／小文字に切り替えたり、濁点／半濁点を付けたりします。
 - 英語入力モードの場合は「A / a」と表示されます。

■ キーボードの種類を切り替える

- 1 キーボード表示中に [] (表示されていない場合は、 / / / のいずれかが表示されているキーをロングタッチ)

Galaxy日本語キーボードの設定メニューが表示されます。

- 2 [テンキー⇄QWERTYキーボード]

- 3 [テンキー] / [QWERTYキーボード] → [OK]



◎手順3で「カスタム設定」を選択した場合は、画面の向き、入力言語ごとにキーボードの種類を設定できます。

■ 半角/全角を切り替える

- 1 キーボード表示中に をロングタッチ

- 2 [半角] / [全角]

■ ワイルドカード予測を利用する

- ・「日本語予測変換」(▶P.58)と「日本語ワイルドカード予測」(▶P.58)をオンに設定している場合に利用できます。
- ・英文/ハングル入力時は「予測変換」(▶P.58)と「ワイルドカード予測」(▶P.58)をオンに設定している場合に利用できます。

■ 例：「携帯」を入力する場合

- 1 キーボード表示中に「け」を入力

- 2 を3回タップする

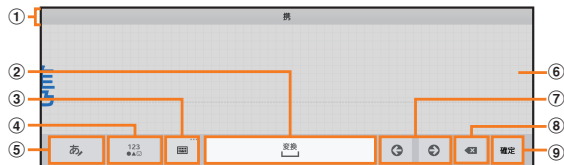
入力欄に「け○○○」が表示され、予測変換候補に「携帯」が表示されます(必要に応じて をタップして予測変換候補の表示エリアを拡大してください)。

・読みの文字数を変更するには、 / をタップします。

- 3 予測変換候補から [携帯]

■ 手書き入力キーボード

Galaxy日本語キーボードで をタップする(表示されていない場合は、 / / / のいずれかが表示されているキーをロングタッチしてください)と、手書き入力キーボードが表示されます。








- 1 予測変換候補/通常変換候補/入力候補が表示されます。候補をタップすると文字を入力できます。
 - ・予測変換をオフに設定して文字入力中や、予測変換候補の表示中に「変換」をタップすると、通常変換候補が表示されます。
 - ・ をタップすると、予測変換候補/通常変換候補の表示エリアを拡大できます。 をタップすると、元の表示に戻ります。
- 2 通常変換候補を表示します。
 - ・変換候補が表示されていない場合は、タップするとスペースを入力できます。
- 3 表示されているキーの操作を実行します。
 - ・ロングタッチすると次のアイコンメニューが表示されます。キーの表示は、選択したアイコンメニューにより異なります。
 - : 音声入力に切り替える
 - : Galaxy日本語キーボードに切り替える
 - : Galaxy日本語キーボードの設定メニューを表示
- 4 数字/記号の一覧を表示します。
 - ・ロングタッチすると絵文字/顔文字/記号の一覧を表示します。
 - ・絵文字/顔文字/記号は、タブをタップして切り替えます。「戻る」をタップすると、キーボードを表示します。
- 5 認識モード(ひらがな漢字/英字)を切り替えます。
- 6 入力エリア上をドラッグして文字を入力できます。
- 7 カーソルを左右に移動します。
- 8 入力した文字を削除します。
- 9 操作状態や選択中の入力欄に対応したキーが表示され、入力した文字の確定や、改行、次の入力欄への移動などができます。

文字列を選択／切り取り／コピー／貼り付ける

1 入力した文字列をロングタッチ



アイコン（／または／)が表示され、間にある文字列が選択されます。アイコンをドラッグして、選択範囲を変更できます。

2 利用するアイコンをタップ

 (全て選択)	入力した文字列をすべて選択します。
 (切り取り)	選択した文字列を切り取り／コピーします。
 (コピー)	切り取り／コピーした文字列はクリップボードに保存されます。
 (貼り付け) *	切り取り／コピーした文字列を貼り付けます。
 (クリップボード) *	クリップボードに保存されている文字列を選択して貼り付けます。

※ 切り取り／コピーの操作後など、クリップボードにテキストデータが保存されている場合に表示されます。

memo

- ◎ アプリケーションによっては、利用できない機能があります。
- ◎ アプリケーションによっては、アイコンの形状が異なります。
- ◎ 手順2以外のアイコンが表示される場合があります。
- ◎ 文字入力欄をタップすると、アイコン（または)が表示されます。アイコンをドラッグすると、カーソルを移動できます。アイコンをタップすると「貼り付け」「クリップボード」を利用できます。
- ◎ 文字入力欄で文字が入力されていないエリアをロングタッチしても、「貼り付け」「クリップボード」を利用できます。

文字入力の設定をする

Galaxy日本語キーボードの設定を行う

Galaxy日本語キーボードを利用して文字を入力する際の入力動作の設定や、ユーザー辞書の登録などができます。

1 ホーム画面で [基本機能] → [設定] → [一般] → [言語と文字入力] → 「Galaxy日本語キーボード」

2	入力言語	システム言語、日本語、英語、韓国語の組み合わせから選択します。
	テンキー⇄QWERTYキーボード	キーボードの種類を切り替えます。
	フリック入力	フリックタイプ 「標準フリック」または「8フリック」に設定すると、キーに触れたとき、入力できる文字が表示されたキーポップアップが表示され、入力したい文字が表示された方向にフリックすると文字を入力できます（「8フリック」は入力モードがひらがな漢字の場合に使用できます）。 ・「8フリック」に設定すると、斜め方向へのフリックで入力できる文字を変更できます。
	8フリックカスタマイズ	8フリックのキーレイアウトを設定します。
	フリック感度 (低⇄高)	フリック方式で文字を入力する際のフリック感度を調整します。
	トグル入力	フリック方式で文字を入力する際にトグル入力（ケータイ打ち）できるようにするかどうかを設定します。
	記号フリック入力	記号フリック入力を有効にするかどうかを設定します。

表示／操作補助	キーサイズ	画面の向きごとにキーボードの高さを設定します。
	候補表示行数	縦画面で文字入力中に表示される予測変換候補／通常変換候補の行数を設定します。
	キー操作音	キーをタップしたとき、タップ音を鳴らすかどうかを設定します。
	キー操作バイブ	キーをタップしたとき、本製品を振動させるかどうかを設定します。
	キーポップアップ	入力時に選択したキーを拡大表示するかどうかを設定します。
	自動カーソル移動	自動カーソル移動の速度を設定します。
	左右キーを表示	QWERTYキーボードで左右キーを表示するかどうかを設定します。
	カーソル操作	カーソル操作を設定します。
	韓国語キーボードタイプ	韓国語のテンキーのキーボードタイプを設定します。
	予測／変換	日本語候補学習
日本語予測変換		日本語の文字入力時に変換候補を表示するかどうかを設定します。
日本語ワイルドカード予測		日本語入力時にワイルドカード予測(▶P.56)を利用するかどうかを設定します。
候補学習		変換で確定した語句を学習辞書に保存させるかどうかを設定します。
予測変換		文字入力時に変換候補を表示するかどうかを設定します。
ワイルドカード予測		ワイルドカード予測(▶P.56)を利用するかどうかを設定します。
入力ミス補正		入力を間違えたとき、変換候補に修正候補を表示させるかどうかを設定します。

予測／変換	自動スペース入力	英語／韓国語入力時に候補を選択すると、スペースを自動的に入力するかどうかを設定します。	
	自動大文字変換	英字を入力したとき、文頭の文字を自動的に大文字にするかどうかを設定します。	
	数字予測変換	数字の一覧で数字入力時に変換候補を表示するかどうかを設定します。	
音声入力／手書き入力	音声入力	音声での文字入力を「Google音声入力」「使用しない」から選択します。	
	On/Off 設定	手書き入力を使用するかどうかを設定します。	
	候補タイプ	手書き入力された文字の表示を予測候補(予測変換候補)／認識候補(入力文字候補)から選択します。	
	認識時間	手書き入力の候補を表示するまでの時間を「速い」／「普通」／「遅い」から選択します。	
	ペンの太さ	手書き入力時の線の太さを設定します。	
	ペンの色	手書き入力時の線の色を設定します。	
	手書き入力について	手書き入力のバージョンを表示します。	
	辞書登録	日本語	日本語ユーザー辞書に単語などを登録／編集します。
		韓国語	韓国語ユーザー辞書に単語などを登録／編集します。
		英語	英語ユーザー辞書に単語などを登録／編集します。
外部アプリ連携	マッシュルーム拡張	マッシュルームの拡張を使用するかどうかを設定します。	
リセット	学習辞書リセット	学習辞書の内容をすべて削除します。	
	設定リセット	Galaxy日本語キーボードの設定をリセットします。	
iWnn IME for Galaxy		Galaxy日本語キーボードのバージョンが表示されます。	

メールについて	60	PCメールのアカウントを設定する	95
Eメールを利用する	60	PCメールのアカウントを削除する	98
Eメールの表示モードを切り替える	61	PCメールを送信する	98
Eメールを送信する	67	PCメールを受信する	99
Eメールを受信する	72	PCメールを返信／転送する	100
新着メールを問い合わせせて受信する	74	PCメールを削除する	100
Eメールを検索する	74	Gmailを利用する	100
Eメールを会話モードで確認する	75		
Eメールをフォルダモードで確認する	76		
Eメールを設定する	81		
Eメールをバックアップ／復元する	86		
迷惑メールフィルターを設定する	88		
SMSを利用する	91		
SMSを送信する	91		
SMSを受信する	92		
SMSを返信／転送する	92		
SMSを保護／保護解除する	93		
SMSの電話番号を連絡先に登録する	93		
SMSを検索する	93		
SMSを削除する	94		
SMSを設定する	94		
PCメールを利用する	95		

メールについて

本製品では、次のメールが利用できます。

■ Eメール

Eメール (@ezweb.ne.jp) は、Eメールに対応した携帯電話やパソコンとメールのやりとりができるauのサービスです。文章のほか、静止画や動画などのデータを送ることができます (▶P.60)。

■ SMS

電話番号を宛先としてメールのやりとりができるサービスです。他社携帯電話との間でもSMSの送信および受信をご利用いただけます (▶P.91)。

■ PCメール

「メール」アプリケーションを利用して、Exchange ActiveSyncアカウント、一般のISP (プロバイダ) が提供するPOP3やIMAPに対応したメールアカウントなどを設定し、パソコンと同じように本製品からメールを送受信できます (▶P.95)。

■ Gmail

Googleが提供するメールサービスです。本製品からGmailの確認・送受信などができます (▶P.100)。

Eメールを利用する

Eメール (@ezweb.ne.jp) はEメールに対応した携帯電話やパソコンとメールのやりとりができるサービスです。文章のほか、静止画や動画などのデータを送ることができます。

- Eメールアプリを利用するには、あらかじめEメールアドレスの初期設定を行う必要があります。Eメールアプリの初回起動時に、画面の指示に従って初期設定を行ってください。詳しくは、『設定ガイド Android 6.0対応版』をご参照ください。
- Eメールを利用するには、LTE NETのお申し込みが必要です。ご購入時にお申し込みにならなかった方は、auショップもしくはお客さまセンターまでお問い合わせください。



- Eメールの送受信には、データ量に応じて変わるデータ通信料がかかります。海外でのご利用は、通信料が高額となる可能性があります。詳しくは、au総合カタログおよびauホームページをご参照ください。
- 添付データが含まれている場合やご使用エリアの電波状態によって、Eメールの送受信に時間がかかる場合があります。
- ホーム画面で [基本機能] → [設定] → [アプリ] → [アプリケーション管理] → auの「Eメール」 → [ストレージ] → [データを消去] を行った場合、保存されたEメールのデータや設定情報がすべて削除されます。事前にバックアップを行ってください。

Eメールの初期設定について

- 初期設定は、日本国内の電波状態の良い場所で行ってください。電波状態の悪い場所や、移動中に行くと、正しく設定されない場合があります。Wi-Fi[®]通信では初期設定ができません。
- 時間帯によっては、初期設定の所要時間が30秒～3分程度かかります。「Eメールアドレスの設定中です。しばらくお待ちください。」と表示された画面のまま、お待ちください。
- Eメールアドレスを変更する操作については、「Eメールの表示モードを切り替える」 (▶P.61) をご参照ください。
- ファイル添付、ファイル保存、バックアップ/復元、着信音設定時などにおいて、確認ダイアログ (Eメールに必要な許可のお願い) が表示される場合には、「許可」をお願いします。

Eメールの表示モードを切り替える

相手先ごとにEメールをスレッドとしてまとめて表示する会話モードと指定した条件ごとにEメールをまとめるフォルダモードの、2つの表示モードを切り替えることができます。

1 ホーム画面で [Eメール] → [📧]

表示モードが切り替わります。



《会話モード》



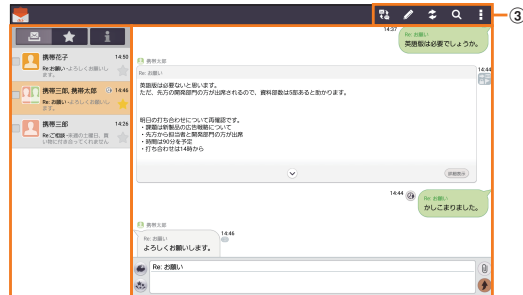
《フォルダモード》



◎本書では会話モードでの操作を基準に説明しています。フォルダモードでは、メニューの項目/アイコン/画面上のボタンなどが異なる場合があります。

会話モードでの画面の見かた

会話モードでは、相手先ごとにEメールをまとめたスレッドが一覧表示されます。



①

②

《会話モード画面》

- ① スレッド一覧
- ② スレッド内容表示
- ③ アクションバー

■ スレッド一覧画面の見かた

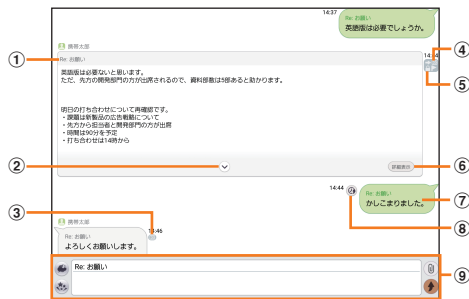
相手先ごとにEメールをまとめたスレッドが一覧表示されます。



《スレッド一覧画面》

- ① **すべて表示／お気に入り表示切替ボタン**
すべてのスレッド一覧と、お気に入りのスレッド一覧を切り替えて表示できます。
- ② **N (赤色)：新着Eメールあり**
● (青色)：未読Eメールあり
- ③ **チェックボックス**
削除するスレッドにチェックを入れる→ [] → [削除] と操作するとスレッドを削除できます。
- ④ **スレッド**
👤：アドレス帳に登録があるアドレスと送受信した場合
👤：アドレス帳未登録のアドレスと送受信した場合
※ プロフィールアイコンの表示有無は「プロフィールアイコンを表示」(▶P.83)で変更することができます。
プロフィールアイコンをタップすることで背景色を変更することができます。
背景色は「プロフィールアイコン色のリセット」(▶P.83)で戻すことができます。
- ⑤ **インフォボックスボタン**
インフォボックスメールを表示できます。
※ 新着／未読メールがある場合は、「インフォボックス」タブの右上に合計の件数が表示されます。
- ⑥ **★ (黄色)：お気に入り**
★ (灰色)：お気に入り解除

■ スレッド内容表示画面の見かた



《スレッド内容表示画面》

- ① **受信したEメール**
- ② **続き表示ボタン**
本文をすべて表示するときに使用します。
閉じるときは (v) をタップします。
- ③ **送信者がBccやメーリングリストのアドレスを使用して送信した場合に表示されるアイコンです。**
- ④ **フラグ付きEメール**
- ⑤ **保護されたEメール**
- ⑥ **詳細表示ボタン**
- ⑦ **送信したEメール**
- ⑧ **🕒：送信予約Eメール**
🔄：自動再送信Eメール
❗：送信失敗Eメール
- ⑨ **メール作成バー**

■ メール作成バーの見かた



- ① 件名入力欄
「件名を非表示」に設定している場合は表示されません。
- ② コミコミアプリ
コミコミを利用する (▶P.70) ときに使用します。
- ③ D絵文字ボタン
デコレーション絵文字やピクチャを入力するときに使用します。
- ④ 添付ボタン
データを添付するときに使用します。
- ⑤ 送信ボタン
- ⑥ 本文入力欄

フォルダモードでの画面の見かた

フォルダ一覧には、受信ボックスや送信ボックス、フォルダなどが表示されます。フォルダは、「フォルダ作成」をタップしてフォルダを作成すると表示されます。



《フォルダモード画面》

- ① フォルダ一覧
- ② Eメール一覧
- ③ アクションバー

■ フォルダ一覧の見かた



《フォルダ一覧画面》

- ① 未読・未送信メール件数
フォルダに未読メールや未送信メールがある場合は、アイコンの右上に合計の件数が表示されます。
- ② 受信ボックス
- ③ インフォボックス
- ④ 送信ボックス
- ⑤ 未送信ボックス
- ⑥ テンプレート
- ⑦ 作成したフォルダ
- ⑧ フォルダ作成

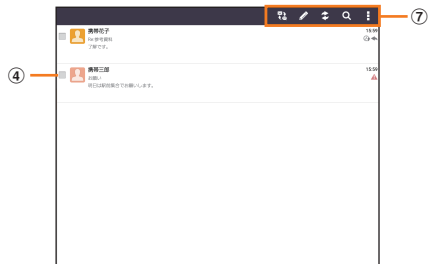
■ Eメール一覧画面の見かた



《受信メール一覧画面》



《送信メール一覧画面》



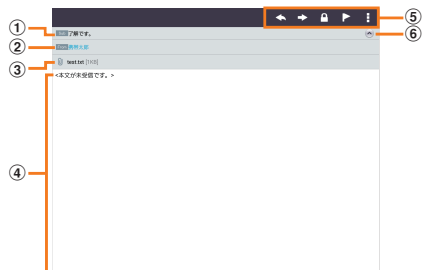
《未送信メール一覧画面》



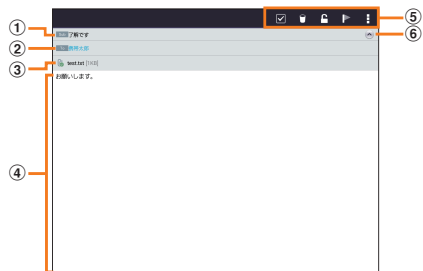
《フォルダメール一覧画面》

- ① ●：未読のEメール
○：本文を未受信のEメール
- ② 宛先／差出人の名前またはEメールアドレス
 - 👤：アドレス帳に登録があるアドレスと送受信した場合
 - 👤：アドレス帳未登録のアドレスと送受信した場合
 - ※ プロフィールアイコンの表示有無は「プロフィールアイコンを表示」(▶P.83)で変更することができます。
 - プロフィールアイコンをタップすることで背景色を変更することができます。
 - 背景色は「プロフィールアイコン色のリセット」(▶P.83)で戻すことができます。
- Eメールアドレスが連絡先に登録されている場合は、連絡先に登録されている名前／写真が表示されます。
- 受信したEメールに差出人名称が設定されている場合は、設定されている名前が表示されます。
- 連絡先に登録されていない場合で、差出人名称も設定されていない場合は、Eメールアドレスが表示されます。
- ※ 連絡先にEメールアドレスが登録されている場合は、連絡先に登録されている名前が優先して表示されます。
- ③ 件名
- ④ チェックボックス
- ⑤ 受信メール
 - ◀：返信したEメール
 - ▶：転送したEメール
 - ◀▶：返信／転送したEメール
 - 送信メール
 - ◀：返信のEメール
 - ▶：転送のEメール
 - 📎：添付データあり
 - 🔒：保護されたEメール
 - 📌：フラグ付きEメール
 - 🕒：送信予約Eメール
 - 🔄：自動再送信Eメール
 - ⚠️：送信に失敗したEメール
 - ⚠️：サーバーにメールがなく本文を受信できないEメール
- ⑥ 受信／送信切替スライダ
フォルダ内の受信メール一覧と、送信済みメール一覧を切り替えて表示できます。
- ⑦ アクションバー

■ Eメール詳細表示画面の見かた



《受信メール詳細表示画面》



《送信メール詳細表示画面》

- ① Sub : 件名
- ② 受信メール
From : 差出人の名前またはEメールアドレス
To / CC : 宛先の名前またはEメールアドレス
送信メール
To / CC / Bcc : 宛先の名前またはEメールアドレス
- ③ : 添付データ (本体メモリ保存)
 : 添付データ (ストレージ保存)
 : インライン添付データ (本体メモリ保存)
 : インライン添付データ (ストレージ保存)
 : 未受信の添付データ
- ④ 本文表示エリア
- ⑤ アクションバー
- ⑥ 詳細情報の表示 / 非表示

Eメールを送信する

1 ホーム画面で [Eメール] → [✉]

宛先入力画面が表示されます。

- 過去に送受信した相手先にEメールを送信する場合は、スレッドをタップしてEメールを送信することができます。その場合は、手順5へ進みます。

2 [📧]

アドレス入力欄をタップしてアドレスを直接入力することもできます。

- 入力中のアドレスを含むスレッドの候補が表示されます。

3 アドレス帳引用	連絡先のEメールアドレスを宛先に入力します。
アドレス帳グループ引用	連絡先のグループに登録されたすべてのEメールアドレスを宛先に入力します。 <ul style="list-style-type: none">グループに登録されているEメールアドレスが宛先の上限を超えている場合は、上限まで宛先に入力します。
メール受信履歴引用	受信メール履歴/送信メール履歴の一覧から選択して、Eメールアドレスを宛先に入力します。 Eメールアドレスにチェックを入れる → [選択]
メール送信履歴引用	<ul style="list-style-type: none">[☑] をロングタッチ → [削除] → Eメールアドレスにチェックを入れる → [削除] → [削除] と操作すると、履歴を削除できます。
プロフィール引用	プロフィールに登録されているEメールアドレスを選択して宛先に入力します。
貼り付け ^{*1}	クリップボードに記憶されたEメールアドレスを貼り付けます。

※1 クリップボードに文字が記憶されている場合にのみ表示されます。

4 [作成]

スレッド内容表示画面が表示されます。

5 件名入力欄をタップ→件名を入力

6 本文入力欄をタップ→本文を入力

7 [📧] → [送信]

■ フォルダモードでEメールを送信する場合

1 フォルダ一覧画面 → [✉]

送信メール作成画面が表示されます。

2 [📧]

宛先の入力方法を選択するメニューが表示されます。「Eメールを送信する」(▶P.67)の手順3をご参照ください。アドレス入力欄をタップしてアドレスを直接入力することもできます。

3 件名入力欄をタップ→件名を入力 → [メニュー] → [完了]

4 本文入力欄をタップ→本文を入力

5 [メニュー] → [完了] → [送信] → [送信]



- ◎ デコレーションアニメには対応していません。
- ◎ 件名や本文には、半角カナおよび半角記号「- (長音) * (濁点) ° (半濁点)、・「」」は入力できません。
- ◎ 1日に送信できるEメールの件数は、宛先数の合計で最大1,000通までです。

- ◎一度に送信できるEメールの宛先の件数は、最大30件（To / Cc / Bccを含む。1件につき半角64文字以内）までです。
- ◎絵文字を他社の携帯電話やパソコンなどに送信すると、一部他社の絵文字に変換されたり、受信側で正しく表示されないことがあります。また、異なるauの端末に送信した場合は、auの旧絵文字に変換される場合があります。
- ◎送信時確認表示は非表示に設定することもできます（▶P.84）。
- ◎フォルダモードでは送信メール作成画面で「保存」をタップすると、作成中のEメールを未送信ボックスに保存できます。
- ◎あらかじめ「自動再送信」（▶P.84）をONにしておく、メールの送信に失敗した際に自動で再送信することができます。また、送信予約をすると、日時指定送信か、あるいは本製品が電波の届かない場所でメールを送りたい場合に圏内復帰時に自動送信することができます。

宛先を追加・削除する

■宛先を追加する場合

1 宛先入力画面→未入力アドレス入力欄の [+]

宛先の入力方法を選択するメニューが表示されます。「Eメールを送信する」（▶P.67）の手順③へ進みます。未入力アドレス入力欄をタップしてアドレスを直接入力することもできます。

■宛先を削除する場合

1 宛先入力画面→入力済みのアドレスの [×] → [削除]



- ◎フォルダモードではアドレスの [memo] をタップすると宛先の種類を変更することができます。一番上の宛先は種類を変更することはできません。

送信予約をする

■会話モードで送信予約する場合

- 1 会話モードの送信メール作成画面→本文入力欄をタップ→本文を入力
- 2 [④] → [OK]
- 3 送信する日付を入力→ [設定]
- 4 送信する時間を入力→ [設定]
スレッド内容表示画面に ④ が付いた送信予定のEメールが表示されます。

■フォルダモードで送信予約する場合

- 1 フォルダモードの送信メール作成画面→本文入力欄をタップ→本文を入力→ [メニュー] → [完了]
- 2 [送信予約] → [OK]
- 3 送信する日付を入力→ [設定]
- 4 送信する時間を入力→ [設定]
未送信ボックスに ④ が付いた送信予定のEメールが保存されます。



- ◎電波の届かない場所で送信予約をした場合は、圏内復帰時に自動的に送信をするか、日時を指定して送信をするかを選ぶことができます。
- ◎メールの自動送信は20件まで設定できます。
- ◎送信予約が設定されているメールを編集しようとしたり、指定した日時を変更しようすると、一旦送信予約が解除されます。
- ◎電波状況などにより、予約した日時に送信できない場合があります。
- ◎送信予約（日時指定）された日時に、電波が届かない状態や電源が切れていた場合には、送信失敗になります。
- ◎日時指定したメールが海外利用中に送信された場合、料金が高額となる場合がありますのでご注意ください。

Eメールにデータを添付する

送信メールには、最大5件（合計2MB以下）のデータを添付できます。

1 送信メール作成画面→ [📧]

2 ストレージ	microSDメモリカードまたはシステムメモリ（本体）のデータを添付します。 ・ microSDメモリカードが取り付けられている場合は、microSDメモリカードに保存されているデータが表示されます。システムメモリ（本体）のデータを添付する場合は、「Up」を複数回タップして「emulated」フォルダを選択してください。
ギャラリー（静止画）	ギャラリーの静止画データを添付します。
ギャラリー（動画）	ギャラリーの動画データを添付します。
カメラ（静止画）	静止画を撮影して添付します。
カメラ（動画）	動画を録画して添付します。
その他	他のアプリケーションを利用してデータを添付します。

■ サイズの大きな静止画データを添付する場合

3 リサイズするサイズをタップ

静止画データをリサイズして添付することができます。



- ◎ 1データあたり2MBまでのデータを添付できます。
- ◎ フォルダモードではデータを添付した後に、添付データ欄をタップすると添付したデータを再生できます。
- ◎ 添付データを削除するには、削除する添付データの [✕] → [OK] と操作します。

D絵文字を利用する

Eメール作成中に、デコレーションメールの素材を簡単に探すことができます。

1 送信メール作成画面→ [📧]

2 [D絵文字を探す]

3 メニューリストから探す	auスマートパスに接続して、デコレーションメールアプリを検索できます。
お気に入りからコンテンツを探す	他のアプリケーションを利用して、デコレーションメールの素材を検索できます。

■ microSDメモリカードまたはシステムメモリ（本体）の絵文字を利用する場合

2 [ストレージ]

■ D絵文字パレットのカテゴリを追加する場合

2 [カテゴリ追加]

3 カテゴリ名称を入力→ [作成]

4 デコレーション絵文字を選択→ [追加]

■ カテゴリ順序の入れ替えや編集を行う場合

2 [カテゴリ設定] → [編集]

3 [≡] をドラッグして、カテゴリの順序を変更→ [完了]



- ◎ フォルダモードでD絵文字を利用するには、本文入力中に [メニュー] → [📁] → [D絵文字を探す] と操作します。
- ◎ 追加したカテゴリは、カテゴリ編集画面で [削除] → [削除] と操作して削除できます。
※ カテゴリを削除してもデコレーション素材の元データは削除されません。

コミコミを利用する

コミコミは漫画のフキダシにあるセリフを自由に書き換えてメールで送信できるアプリです。コミコミを利用するには、あらかじめauスマートパスから対応するアプリケーションをダウンロードしてください。


1 送信メール作成画面

2 [👁]

コミコミアプリで画像を選択し、Eメールアイコンをタップすると添付画像として作成画面に登録されます。

本文入力中にできること





1 送信メール作成画面→本文入力欄をタップ→をロングタッチ

フォルダモードの場合は、送信メール作成画面→本文入力欄をタップ→をタップしてください。

2 削除	Eメールを削除します。 ・ 会話モードのときのみ選択できます。
アドレス帳引用	連絡先から、電話番号やEメールアドレスなどを呼び出して挿入します。 ・ フォルダモードのときのみ選択できます。
プロフィール引用	プロフィールに登録している電話番号やEメールアドレスを呼び出して挿入します。
挿入	定型文/冒頭文/署名を挿入します。 「定型文」「冒頭文」「署名」 ・ 冒頭文/署名はあらかじめ登録してください(▶P.83)。
文字サイズ	文字サイズを一時的に切り替えます。 「特大」「大」「中」「小」「極小」
装飾全解除	すべての装飾を解除します。 ・ フォルダモードのときのみ選択できます。

アクションバーを利用する

1 会話モード画面→本文入力欄をタップ

2 	宛先一覧画面が表示されます。 ・ 「宛先編集」をタップすると宛先を編集できます。
	▶P.68 「送信予約をする」
	連絡先から、電話番号やメールアドレスなどを呼び出して挿入します。
	▶P.74 「Eメールを検索する」

フォルダモードで本文を装飾する

フォルダモードでは本文を装飾したり、テンプレートを使用して装飾メールを作成することができます。

■ 本文を装飾する

本文を装飾したEメールを送付できます(デコレーションメール)。


・ フォルダモードでのみ利用できます。

1 送信メール作成画面→本文入力欄をタップ→本文を入力

2 [メニュー] → []

3 装飾の開始位置を選択→[選択開始] → / で終了位置を選択

「全選択」をタップして、すべての文字を選択することもできます。

をロングタッチ→[装飾全解除] → [解除] と操作すると、装飾を解除できます。

4 文字サイズ	文字の大きさを変更します。 「小さい」「標準」「大きい」
文字位置/効果	文字の位置や動きを指定します。 「左寄せ」「センタリング」「右寄せ」「点滅表示」「テロップ」「スウィング」
文字色	24色のカラーパレットから文字の色を選択します。

背景色※1	24色のカラーパレットから背景の色を選択します。
挿入	microSDメモリカードまたはシステムメモリ（本体）に保存しているデータやギャラリーの画像、カメラで撮影した画像を挿入したり、行と行の間にラインを挿入したりします。 「画像挿入」「ライン挿入」

※1 「冒頭文」「署名」編集時は選択できません。

5 [完了] → [送信] → [送信]

memo

- ◎ 本文には、最大20件（合計100KB以下）の画像／デコレーション絵文字を挿入できます。
※ 一度挿入した画像／デコレーション絵文字は、件数に関係なく繰り返し挿入できません。
※ 挿入できる画像／デコレーション絵文字は、拡張子が「.jpg」「.gif」のファイルです。
- ◎ 「Eメールにデータを添付する」（▶ P.69）の操作でデータを添付した場合は、添付データと画像／デコレーション絵文字を合計して2MBまで添付できます。
- ◎ 装飾した文字を削除しても、装飾情報のみが残り、入力可能文字数が少なくなる場合があります。
- ◎ 異なる機種の携帯電話やパソコンなどの間で送受信したデコレーションメールは、受信側で一部正しく表示されないことがあります。
- ◎ デコレーションメール非対応機種やパソコンなどに送信すると、通常のEメールとして受信・表示される場合があります。
- ◎ 会話モードでは、本文を装飾できません。

■ 速デコを利用する

本文を入力後に、自動的に絵文字を挿入したり、フォント／背景色を変更して、本文を装飾することができます。速デコを利用するには、あらかじめauスマートパスから対応するアプリケーションをダウンロードしてください。

- フォルダモードでのみ利用できます。

1 送信メール作成画面→本文入力欄をタップ→本文を入力


2 [メニュー] →

装飾結果プレビュー画面が表示されます。

「次候補」をタップするたびに次の装飾候補が表示されます。

3 [確定]

memo

- ◎ 装飾結果プレビュー画面で  をロングタッチ→[設定]と操作すると、速デコの設定を変更できます。

■ テンプレートを利用する

テンプレートにメッセージを挿入することで、簡単に装飾メールを作成して送信することができます。

- フォルダモードでのみ利用できます。

1 フォルダー一覧画面→[テンプレート]

テンプレート一覧画面が表示されます。

- 1 → [ストレージから読み込み]と操作すると、microSDメモリカードまたはシステムメモリ（本体）内のテンプレート一覧を表示できます。本体に読み込んでからご利用ください。

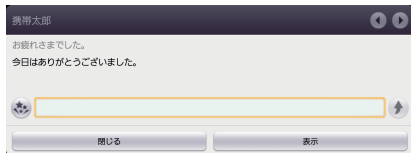
2 テンプレートをタップ→

Eメールを受信する


1 Eメールを受信

Eメールの受信が終了すると、以下の方法で新着メールをお知らせします。いずれの通知もEメール設定で「基本通知設定」(▶ P.84)または「個別通知設定」(▶ P.85)にてオフにすることができます。

- 画面消灯時にEメールを受信すると画面が点灯します。
- ロック画面上に通知ポップアップを表示することができます。



《通知ポップアップ》

- ステータスバーにが表示され、Eメール受信音が鳴ります。

2 ホーム画面で [Eメール]

Eメールのスレッド一覧画面が表示されます。



- 新着Eメールがあるスレッドには (赤色)、未読Eメールがあるスレッドには (青色)が表示されます。

3 確認するスレッドをタップ

受信したEメールを含むスレッド内容表示画面が表示されます。

- 確認するEメールをロングタッチ→[詳細表示]と操作するとEメール詳細表示画面が表示されます。

memo

- Eメールやその他の機能を操作中でもバックグラウンドでEメールを受信します。ステータスバーにが表示され、Eメール受信音が鳴ります。ただし、「メール自動受信」(▶ P.82)をオフに設定している場合は、バックグラウンド受信しません。
- 「メール自動受信」(▶ P.82)をオフに設定している場合や、受信に失敗した場合は、Eメール受信音が鳴りが表示されます。「新着メールを問い合わせて受信する」(▶ P.74)の操作を行い、Eメールを受信してください。
- 受信状態および受信データにより、正しく受信されなかった場合でもデータ通信料がかかる場合があります。
- 受信できる本文の最大データ量は、1件につき約1MBまでです。それを超える場合は、本文の最後に、以降の内容を受信できなかった旨のメッセージが表示されます。
- 受信したEメールの内容によっては、正しく表示されない場合があります。

添付データを受信・再生する

1 スレッド内容表示画面を表示

2 添付データをタップ→ [表示]

未受信の添付データは、添付データのファイル名をタップすると受信が開始されます。

受信完了後、もう一度添付データをタップ→ [表示] と操作してください。

memo

- 添付データをタップ→ [ストレージへ保存] → 保存先を選択 → [保存] と操作すると、添付データをmicroSDメモリカードまたはシステムメモリ(本体)に保存できます。microSDメモリカードが取り付けられている場合は、保存先としてmicroSDメモリカードが優先的に表示されます。システムメモリ(本体)に保存する場合は、「Up」を複数回タップして「emulated」フォルダを選択してください。

◎ 通常のEメール（テキストメール）では、添付データがインライン再生される場合があります。再生されるデータの種類は、拡張子が「.png」「.jpg」「.gif」「.bmp」のファイルです。

※ データによっては、インライン再生されない場合があります。

添付画像を保存する

Eメールに添付された画像をmicroSDメモリーカードまたはシステムメモリ（本体）に保存できます。

1 スレッド内容表示画面→本文をロングタッチ

2 【画像保存】

3 保存する画像にチェックを入れる

「全選択」をタップすると、表示されている画像をすべて選択できます。

4 【保存先選択】

保存先選択画面が表示されます。

5 【保存】

保存先を変更せずに「保存」をタップした場合は、「マイファイル」(▶P.153)の「MyFolder」フォルダ（「MyFolder」は「private」→「au」→「email」内に表示）に保存されます。



◎ microSDメモリーカードが取り付けられている場合は、保存先としてmicroSDメモリーカードが優先的に表示されます。システムメモリ（本体）に保存する場合は、「Up」を複数回タップして「emulated」フォルダを選択してください。

◎ 未受信の添付画像は保存できません。サーバーから画像を受信してから操作してください (▶P.72)。

差出人／宛先／件名／電話番号／Eメールアドレス／URLを利用する

1 スレッド内容表示画面／Eメール詳細表示画面を表示

■ 差出人／宛先／本文中のEメールアドレスを利用する場合

2 差出人／宛先／本文中のEメールアドレスをタップ

3 Eメール作成	選択したEメールアドレス宛てにEメールを作成します。 ・ 選択メニューが表示された場合は、使用するアプリケーションを選択して「今回のみ」／「毎回」をタップしてください。
アドレス帳登録	選択したEメールアドレスを連絡先に登録します。
アドレスコピー	選択したEメールアドレスをコピーします。
振分け条件に追加 ^{※1}	選択したEメールアドレスをフォルダの振分け条件に登録します。 [新規振分けフォルダ作成]／[[××××](××××はフォルダ名)に追加]→[保存]→[再振分けしない] ・ ロックされたフォルダ (▶P.80) を選択した場合は、フォルダロックの解除パスワードを入力します。 ・ 「保存」をタップした後、すぐに再振分けを行う場合は「再振分けする」をタップします。 ▶P.78 「フォルダを作成／編集する」
拒否リスト登録	選択したEメールアドレスを迷惑メールフィルターの指定拒否リストに登録します。 ▶P.88 「迷惑メールフィルターを設定する」
迷惑メール報告 ^{※1}	表示しているメールを迷惑メールとして報告します。

※1 フォルダモードのときのみ選択できます。

■ 件名をコピーする場合

2 件名をタップ→ [コピー]

■ 本文中の電話番号を利用する場合

2 本文中の電話番号をタップ

3 音声発信	通話アプリなどがインストールされていない場合は、エラーメッセージが表示されます。
特番付加184	
特番付加186	
au国際電話サービス	
SMS作成	選択した電話番号を宛先としたSMSを作成します。 ▶P.91「SMSを送信する」
アドレス帳登録	選択した電話番号を連絡先に登録します。
電話番号コピー	選択した電話番号をコピーします。

■ 本文中のURLを利用する場合

2 本文中のURLをタップ

3 開く	選択したURLのページをブラウザで表示します。 ・ 選択メニューが表示された場合は、使用するアプリケーションを選択して「今回のみ」／「毎回」をタップしてください。
URLをコピー	選択したURLをコピーします。

memo

◎ 本文中のEメールアドレス、電話番号、URLは、表記のしかたによって正しく認識されない場合があります。

新着メールを問い合わせせて受信する

「メール自動受信」(▶P.82)をオフに設定した場合や、Eメールの受信に失敗した場合は、新着メールを問い合わせせて受信することができます。

1 ホーム画面で [Eメール] → [📧]

新着のEメールがあるかどうかを確認します。

memo

◎ スレッド内容表示画面で、メール作成バーより上の部分を上方へスクロールさせ、指を離しても新着メールを問い合わせせて受信することができます。

Eメールを検索する

1 ホーム画面で [Eメール] → [📧]

2 キーワードを入力

半角と全角を区別して入力してください。

3 [🔍] / キーボードの [🔍]

検索結果一覧画面が表示されます。

日時が新しいEメールから順に表示されます。

フォルダ一覧画面から検索する場合、ロックされたフォルダ内のEメールは検索対象から外されます。

memo

◎ キーワード検索以外にも [📌] をタップし、検索条件のアイコンをタップしたり、日付を指定して検索することができます。検索条件は複数選択できます。

◎ フォルダモードでは、「全検索」と「フォルダ内検索」を選択することができます。

Eメールを会話モードで確認する

受信したEメールは、相手先ごとにスレッドにまとめて表示されます。新着のEメールが既存のEメールへの返信Eメールであれば、それらは同じスレッドにまとめられます。

1 ホーム画面で [Eメール]

Eメールのスレッド一覧画面が表示されます。

- ・ 新着Eメールがあるスレッドには **N** (赤色)、未読Eメールがあるスレッドには **●** (青色) が表示されます。

2 確認するスレッドをタップ

スレッド内容表示画面が表示され、Eメールが確認できます。

会話モード画面でできること

1 会話モード画面 → [E]

2	件名を表示 / 件名を非表示	件名の表示 / 非表示を設定します。
	Eメール設定	▶P.81 「Eメールを設定する」
	ヘルプ	「サービス概要」や「更新情報」を確認できます。

アクションバーを利用する

1 会話モード画面を表示

2		▶P.61 「Eメールの表示モードを切り替える」
		▶P.67 「Eメールを送信する」
		▶P.74 「新着メールを問い合わせて受信する」
		▶P.74 「Eメールを検索する」

■ スレッドを削除する

1 スレッド一覧 → 削除するスレッドにチェックを入れる

2 [E] → [削除]

スレッド内のEメールはすべて削除されます。

スレッド内に保護されたEメールがある場合は、保護されたEメール削除を確認する画面が表示されます。「削除しない」をタップすると、保護されたEメールが残り、スレッドは削除されません。

Eメールを個別に操作する

1 スレッド内容表示画面 → 操作するEメールをロングタッチ

2	詳細表示	Eメール詳細表示画面を表示します。
	転送	本文を転送するEメールを作成します。 <ul style="list-style-type: none">・ 送信メール作成画面が表示されます。・ 件名には、元のEメールの件名に「Fw:」を付けた件名が入力されます。・ 元のEメールにファイルが添付されている場合は、転送メールにも添付されます。
	保護 / 保護解除	Eメールを保護します。 <ul style="list-style-type: none">・ 保護されているEメールでは「保護解除」をタップして保護を解除します。
	フラグ / フラグ解除	Eメールにフラグを付けます。 <ul style="list-style-type: none">・ フラグ付きのEメールでは「フラグ解除」をタップしてフラグを外します。
	削除	Eメールを削除します。
	コピー	テキストをコピーします。
	画像保存	インライン画像を保存します。
	迷惑メール報告	表示しているメールを迷惑メールとして報告します。
	文字コード	文字コードを変更します。
	共有	データをBluetooth®やメール添付などで送信したり、SNSなどにアップロードしたりできます。

* Eメールにより選択できる項目は異なります。

Eメールをフォルダモードで確認する

受信したEメールは、受信ボックスに保存されます。送信済みのEメールは送信ボックスに保存されます。受信したEメールや送信したEメールが振分け条件に一致した場合は、設定したフォルダに保存されます。送信せずに保存したEメール、送信に失敗したEメールは未送信ボックスに保存されます。

1 ホーム画面で [Eメール] → [📁]

フォルダ一覧画面が表示されます。

- 受信ボックスに新着メールがある場合は赤丸と件数が表示され、新着メールを確認すると青丸に変わります。
- 未送信ボックスにEメールがある場合は、青丸と件数が表示されず (送信に失敗したEメールがある場合は、赤丸に変わります)。

■ 受信メールを確認する場合

2 [受信ボックス] またはフォルダを選択

受信メール一覧画面が表示されます。

3 Eメールをタップ

受信メール詳細表示画面が表示されます。

- [↩] : 返信のEメールを作成
- [➡] : 転送のEメールを作成
- [🔒] / [🔓] : Eメールを保護/保護解除
- [🚩] / [🚩] : Eメールにフラグを付ける/フラグを解除

■ 送信メールを確認する場合

2 [送信ボックス] またはフォルダを選択

送信メール一覧画面が表示されます。
フォルダを選択した場合は「送信」をタップします。

3 Eメールをタップ

送信メール詳細表示画面が表示されます。

- [📧] : 同じEメールをもう一度送信
- [📄] : コピーして編集
- [🔒] / [🔓] : Eメールを保護/保護解除
- [🚩] / [🚩] : Eメールにフラグを付ける/フラグを解除

■ 未送信ボックスのEメールを確認する場合

2 [未送信ボックス]

未送信メール一覧画面が表示されます。

- 送信に失敗したEメールをタップ→ [📧] → [送信失敗理由] と操作すると、送信に失敗した理由を確認できます。
- 日時指定した送信予約メールをタップ→ [📧] → [送信予約情報] と操作すると、送信日時を確認できます。送信日時を編集すると、一旦送信予約は解除されます。
- 送信予約メールをタップ→ [📧] → [送信予約解除] → [解除] と操作すると、送信予約が解除されます。

3 Eメールをタップ

未送信メールをタップした場合、未送信メール詳細表示画面が表示されます。

送信予約メールをタップした場合、送信予約メール詳細表示画面が表示されます。

- [📧] : 宛先が入力されているEメールを送信
- [📄] : Eメールを編集
- [🔒] / [🔓] : Eメールを保護/保護解除
- [🚩] / [🚩] : Eメールにフラグを付ける/フラグを解除

memo

- 宛先が不明で相手に届かなかったEメールは、送信ボックスに保存されます。
- 受信ボックスの容量を超えると、最も古い既読メールが自動的に削除されます。ただし、未読のEメール、保護されたEメール、本文を未受信のEメールは削除されません。
- 受信ボックスのすべてのメールが未読の状態では受信ボックスの容量を超えると、新着メールを受信できません。
- 送信ボックス・未送信ボックスの容量を超えると、最も古い送信済みメールが自動的に削除されます。削除できる送信済みメールがない場合は、送信失敗メール、未送信メールの順に削除されます。ただし、保護されたメール、送信予約メールは削除されません。





フォルダモード画面でできること

1 フォルダモード画面→ [F]

2	フォルダ編集	表示中の受信ボックス/フォルダを編集します。 ▶P.78 「フォルダを作成/編集する」
	フォルダ削除	選択したフォルダとフォルダ内のメールをすべて削除します。 削除するフォルダにチェックを入れる→ [削除] → [削除] • フォルダ内に保護されたEメールがある場合は、保護メールの削除を確認する画面が表示されます。「削除しない」をタップすると、保護メールが残り、フォルダは削除されません。
	再振分け	現在設定されているフォルダの振分け条件で、Eメールの再振分けを行います。 • ロックされたフォルダがある場合は、フォルダロックの解除パスワードを入力します。
	Eメール設定	▶P.81 「Eメールを設定する」
	ヘルプ	「サービス概要」や「更新情報」を確認できます。







■ アクションバーを利用する

1 フォルダモード画面を表示

2		▶P.61 「Eメールの表示モードを切り替える」
		▶P.67 「Eメールを送信する」
		▶P.74 「新着メールを問い合わせて受信する」
		▶P.74 「Eメールを検索する」

Eメール詳細表示画面でできること

1 受信メール詳細表示画面/送信メール詳細表示画面/未送信メール詳細表示画面/送信予約メール詳細表示画面 → [F]

2	転送	転送するEメールを作成します。 • 送信メール作成画面が表示されます。 • 件名には、元のEメールの件名に「Fw:」を付けた件名が入力されます。 • 元のEメールにファイルが添付されている場合は、転送メールにも添付されます。
	移動	Eメールを移動します。 移動先のフォルダを選択 • あらかじめフォルダを作成してください (▶P.78)。
	削除	Eメールを削除します。
	本文選択	Eメールの本文を選択してコピーします。 表示される本文選択画面でコピーする文字列の開始位置をタップする、または  /  でカーソルを移動 → [選択開始] →  /  で選択範囲を指定 → [コピー] • Eメール詳細表示画面で本文をロングタッチしても本文選択画面を表示できます。 • 本文選択画面で文字列をロングタッチ →  /  をドラッグして選択範囲を指定 → [コピー] と操作することもできます。 • 「全選択」をタップすると、本文全体を選択できます。 • 絵文字やインライン画像もコピーできます。 • 一部の装飾 (文字位置/効果、背景色) はコピーされません。
	迷惑メール報告	表示しているメールを迷惑メールとして報告します。
	画像保存	インライン画像を保存します。

文字サイズ	本文の文字サイズを一時的に切り替えます。 「特大」「大」「中」「小」「極小」 ・ Eメール詳細表示画面を閉じると、「受信・表示設定」で設定した文字サイズに戻ります。
ストレージへ保存	Eメールを保存します。microSDメモ리카ードが取り付けられている場合はmicroSDメモ리카ードに、取り付けられていない場合はシステムメモリ（本体）に保存します。 ・ 保存したEメールは、「Eメール設定」の「バックアップ・復元」で本製品に読み込むことができます（▶P.86）。
文字コード	本文を表示する文字コードを一時的に切り替えます。 「ISO-2022-JP」「Shift_JIS」「UTF-8」「EUC-JP」「ASCII」 ・ 変更した文字コードは、表示中のEメール詳細表示画面でのみ一時的に適用されます。
本文受信	本文未受信メールを表示した際、本文の受信を開始します。
共有	データをBluetooth®やメール添付などで送信したり、SNSなどにアップロードしたりできます。 ・ 選択メニューが表示された場合は、使用するアプリケーションを選択して「今回のみ」／「毎回」をタップしてください。
送信失敗理由	送信に失敗したEメールの送信失敗理由を表示します。
送信予約情報	送信予約日時を確認します。
送信予約解除	送信予約を解除します。

※ 画面により選択できる項目は異なります。

フォルダを作成／編集する

フォルダを作成して、フォルダごとにEメールの振り分け条件や着信通知を設定したり、フォルダにロックをかけたりすることができます。

■ フォルダを作成する

最大20個のフォルダを作成できます。

1 フォルダー一覧画面→ [フォルダ作成]

フォルダ編集画面が表示されます。

2 フォルダ名称欄をタップ→フォルダ名を入力

フォルダ名は、全角8 / 半角16文字まで入力できます。

■ フォルダアイコンを変更する場合

3 画面左上のフォルダアイコンをタップ

4 アイコンを選択→カラーを選択→ [OK] → [保存]

■ フォルダ画像を設定する場合

3 画面左上のフォルダアイコンをタップ→ [ギャラリーから写真を選択]

4 画像を選択→切り抜き範囲を指定→ [切り抜き] → [OK] → [保存]

■ フォルダに振り分け条件を設定する

作成したフォルダに「メールアドレス」「ドメイン」「件名」「アドレス帳登録外」「不正なメールアドレス」の振り分け条件を設定できます。設定した振り分け条件に該当するEメールを受信/送信すると、自動的に設定フォルダにEメールが振り分けられます。

1 フォルダー一覧画面 → [] → [フォルダ編集] → フォルダを選択

ロックされたフォルダを選択した場合は、フォルダロックの解除パスワードを入力します。

■ 振り分け条件を設定する場合

2 [振り分け条件追加] → [▼]

3 メールアドレス	Eメールアドレスを振り分け条件に登録します。 Eメールアドレスを入力 → [OK] → [保存] ・ [] をタップすると、「アドレス帳引用」「アドレス帳グループ引用」「メール受信履歴引用」「メール送信履歴引用」「プロフィール引用」「貼り付け*1」から入力方法を選択して、Eメールアドレスを登録できます。
ドメイン	ドメインを振り分け条件に登録します。 ドメインを入力 → [OK] → [保存] ・ [] をタップすると、「アドレス帳引用」「メール受信履歴引用」「メール送信履歴引用」「プロフィール引用」「貼り付け*1」から入力方法を選択して、ドメインを登録できます。
件名	件名を振り分け条件に登録します。 件名を入力 → [OK] → [保存] ・ 件名の一部が一致する場合も振り分けられます。

*1 クリップボードに文字が記憶されている場合に表示されます。

■ アドレス帳登録外/不正なメールアドレスを振り分け条件に設定する場合

2 「アドレス帳登録外」/「不正なメールアドレス」にチェックを入れる → [保存]



- 振り分け条件を設定/編集して「保存」をタップすると、フォルダの再振り分けを行うかどうかの確認画面が表示されます。すぐに再振り分けを行う場合は、「再振り分けする」をタップします。
- 全フォルダで「メールアドレス」「ドメイン」「件名」を合わせて最大400件登録できます。
- 同一の振り分け条件を複数のフォルダに設定することはできません。
- 「振り分け条件設定」の一覧で、追加した条件の右横にある [✕] をタップして、条件を編集したり、削除することができます。
- 振り分けの対象となるEメールアドレスは、受信メールの場合は差出人、送信メールの場合は宛先です。
- 一致する振り分け条件が複数あるEメールの場合は、メールアドレス>ドメイン>件名>その他の優先順位で振り分けられます。送信メールのメールアドレスは、To>Cc>Bccの優先順位で振り分けられ、先頭のメールアドレス/ドメイン>2番目のメールアドレス/ドメイン>・・・>最後のメールアドレス/ドメインの優先順位で振り分けられます。

■ フォルダごとに着信通知を設定する

受信ボックスや作成したフォルダごとにEメール受信時の着信音やバイブレーションなどを設定できます。

1 フォルダー一覧画面 → [] → [フォルダ編集] → 受信ボックス/フォルダを選択

ロックされた受信ボックス/フォルダを選択した場合は、フォルダロックの解除パスワードを入力します。

2 [フォルダ別設定]

3 着信音	OFF	着信音が鳴りません。
	Eメールプリセット	Eメールアプリにプリセットされている着信音を設定します。
	着信音	端末本体にプリセットされている着信音を設定します。
	通知音	通知音を設定します。
	ストレージから探す	microSDメモリカードまたはシステムメモリ（本体）の音楽を着信音に設定します。
その他	他のアプリケーションを利用して着信音を設定します。	
バイブレーション	受信ボックス／選択したフォルダに振り分けられるEメールを受信したときのバイブレーションを設定します。 [OFF] / パターンを選択 → [OK]	
着信音鳴動時間	受信ボックス／選択したフォルダに振り分けられるEメールを受信したときの着信音の鳴動時間を設定します。 「一曲鳴動」「時間設定」 ・「時間設定」を選択した場合は、1～60秒の範囲で指定します。	
通知ポップアップ	Eメール受信時、ロック画面上に新着メールをポップアップ表示するかどうかを設定します。 ▶P.72 「Eメールを受信する」	
メール受信時の画面点灯	画面消灯中にEメールを受信した場合、画面を点灯するかどうかを設定します。 ▶P.72 「Eメールを受信する」	

4 [OK] → [保存]

■ フォルダにロックをかける

受信ボックスや作成したフォルダにロックをかけて、フォルダロックの解除パスワードを入力しないとフォルダを開いたり編集や削除ができないように設定できます。あらかじめ「Eメール設定」の「パスワード設定」でフォルダロックの解除パスワードを設定してください（▶P.81）。

1 フォルダー一覧画面 → [] → [フォルダ編集] → 受信ボックス／フォルダを選択

2 [フォルダロック] → フォルダロックの解除パスワードを入力 → [OK]

「フォルダロック」にチェックが入ります。フォルダ編集画面で「フォルダロック」のチェックを外すと、フォルダロック設定が解除されます。

3 [保存]

Eメールを設定する

1 ホーム画面で [Eメール] → [E] → [Eメール設定]

Eメール設定画面が表示されます。

2	受信・表示設定	▶P.82「受信・表示に関する設定をする」
	送信・作成設定	▶P.83「送信・作成に関する設定をする」
	通知設定	基本通知設定 ▶P.84「通知に関する設定をする」
		個別通知設定 ▶P.85「個別の通知に関する設定をする」
	添付ファイル保存設定 ^{*1}	保存場所の設定 メールにファイルが添付されているとき、添付ファイルが自動的に保存される場所を選択します。 本体メモリに保存：本体メモリに保存します。 ストレージに保存：内部ストレージに保存します。
		添付ファイル一括移動 自動的に保存された添付ファイルを別の場所にまとめて移動します。 ストレージへ一括移動：本体メモリから内部ストレージに移動します。 本体メモリへ一括移動：内部ストレージから本体メモリに移動します。


プライバシー設定	パスワード設定 ／パスワード変更	フォルダロック、シークレット機能のパスワードを設定／変更します。 パスワード (4～16文字の英数字) を入力→ [OK] →同じパスワードを再度入力→ [OK] →ひみつの質問を選択→ [OK] →ひみつの質問の回答を入力→ [OK] <ul style="list-style-type: none"> パスワードを設定すると「パスワード変更」が表示されます。 フォルダロック解除時にパスワードの入力を連続3回間違えるとひみつの質問画面が表示されます。 [表示する] →回答を入力→ [OK] と操作すると、新しいパスワードを設定できます。
	パスワードリセット	パスワードをリセットします。 パスワードを入力→ [OK] → [リセット] <ul style="list-style-type: none"> パスワード未設定の場合は選択できません。 パスワードをリセットすると、フォルダロック、シークレット機能も解除されます。
	シークレット	シークレット機能の有効／無効を設定します。 パスワードを入力→ [OK] <ul style="list-style-type: none"> 表示されるシークレットモードの説明をよくお読みになりご利用ください。 パスワード未設定の場合は設定できません。 シークレット機能を有効／無効にする場合やシークレット機能を一時解除する場合に誤ったパスワードを入力しても、ポップアップなどは表示されません。

アドレス変更・その他の設定	▶P.85 「Eメールアドレスの変更やその他の設定をする」	
設定更新	Eメールアドレスの再初期設定を行います。	
バックアップ・復元	▶P.86 「Eメールをバックアップ/復元する」	
auアプリサイドメニュー連携設定	auアプリサイドメニュー連携設定	サイドメニューから、KDDI提供のauサービス・アプリへのアクセス数集計に必要な情報の取得・収集に関する設定を行います。 また、当設定を実施することで、サイドメニュー内のお知らせ表示の状態を、KDDI提供のauアプリ間で連携することができます。 [auアプリサイドメニュー連携設定] → [設定する] / [設定しない] → [完了]
プライバシーポリシー	プライバシーポリシー（個人情報保護方針）について表示します。	
Eメール情報	自分のEメールアドレスやEメール保存件数/使用容量、ソフトウェアバージョンを表示します。 ・ Eメールアドレス欄をタップ→ [アドレスコピー] と操作して、Eメールアドレスをコピーできます。	

※1 受信/送信/未送信メールに添付されているファイルの保存場所を設定します。設定によりシステムメモリの負担を軽減させることができます。本操作の「添付データ」はファイル検索を行ってもデータを確認することができません。また、削除するメールにファイルが添付されている場合、添付ファイルも一緒に削除されます。残しておきたい添付ファイルの保存方法は、「添付画像を保存する」(▶P.73)をご参照ください。

受信・表示に関する設定をする

1 Eメール設定画面→ [受信・表示設定]

2	メール自動受信	サーバーに届いたEメールを自動的に受信するかどうかを設定します。チェックを外してオフに設定すると、受信せずに新しいEメールがサーバーに到着したことをお知らせします。	
	メール受信方法	全受信	差出人・件名と本文を受信します。
		指定全受信 ^{※1}	指定したアドレスからのEメールは、差出人・件名と本文を受信します。指定していないアドレスからのEメールは、差出人・件名のみを受信します。 アドレス帳：連絡先に登録されているアドレスからのEメールは差出人・件名と本文を受信します。 個別アドレスリスト：「個別アドレスリスト編集」で登録したアドレスからのEメールは差出人・件名と本文を受信します。 個別アドレスリスト編集：個別アドレスを登録します。 ・  をタップすると、「アドレス帳引用」「アドレス帳グループ引用」「メール受信履歴引用」「メール送信履歴引用」「プロフィール引用」「貼り付け ^{※2} 」から入力方法を選択して、個別アドレスを登録できます。 ・ 登録した個別アドレスを削除するには、削除するアドレスの [✕] → [削除] と操作します。
		差出人・件名受信 ^{※1}	差出人・件名のみを受信します。

添付自動受信	受信メールの添付データを自動的に受信するかどうかを設定します。チェックを入れてオンに設定すると、Eメールの受信と同時に添付データを受信します。オフに設定すると、添付データを別途取得します。	
添付自動受信サイズ	自動受信する添付データの上限サイズを設定します。 「100KB」「500KB」「1MB」「2MB」	
アドレス帳登録名表示	連絡先に登録された名前を表示するかどうかを設定します。	
プロフィールアイコンを表示	プロフィールアイコンを表示するかどうかを設定します。	
プロフィールアイコン色のリセット	プロフィールアイコンの背景色をリセットします。	
文字サイズ	Eメール詳細表示画面／送信メール作成画面の本文の文字サイズを設定します。 「特大」「大」「中」「小」「極小」	
外部画像表示アドレス	外部のWebサイトにリンクされた画像を常に表示するアドレスの確認、削除をします。	
テーマ設定	Eメールアプリの画面デザインを設定します。	
背景画像設定	背景画像 (縦画面)	背景画像を設定します。 【設定する】→画像を選択→切り抜き範囲を指定→【切り抜き】 ・ 選択メニューが表示された場合は、使用するアプリケーションを選択して「今回のみ」／「毎回」をタップしてください。
	背景画像 (横画面)	

※1 差出人・件名のみを受信したEメールは、受信メール一覧画面でEメールをタップすると、本文を取得できます。本文未受信のままEメール詳細表示画面が表示されたときは、**[F1]** → [本文受信] → [本文取得] と操作すると、本文を取得できます。本文受信は、電波状態の良いところで行ってください。

※2 クリップボードに文字が記憶されている場合に表示されます。

送信・作成に関する設定をする

1 Eメール設定画面→ [送信・作成設定]

2 返信先アドレス	Eメールを受信した相手の方が返信する場合に、宛先に設定されるアドレスを設定します。 【設定する】→返信先のEメールアドレス(半角64文字まで)を入力→ [OK]
差出人名称	送信先で表示される名前を設定します。 【設定する】→差出人名称を入力→ [OK]
冒頭文	本文の冒頭に挿入する文を設定します。 【設定する】→冒頭文(全角833/半角2,500文字相当まで。装飾する場合は約2.5KBまで)を入力→ [メニュー] → [完了] → [設定] <ul style="list-style-type: none"> ・ 冒頭文には、最大10種類の画像/デコレーション絵文字を挿入できます。 ・ 冒頭文/署名を挿入しただけで、画像/デコレーション絵文字の制限(最大20種類、または合計100KB以下)に達した場合は、本文入力時に画像/デコレーション絵文字を挿入できません。 ・ 冒頭文と署名に同じ画像を挿入した場合でも、冒頭文と署名が本文に挿入されると、画像は異なるファイルとして扱われます。 ・ 会話モードでは自動的に挿入されないので、スレッド内容表示画面で本文入力欄をタップ → [F1] → [挿入] → [冒頭文] と操作して挿入してください。

署名	<p>本文の末尾に挿入する文を設定します。 [設定する]→署名(全角833 / 半角2,500文字相当まで)。装飾する場合は約2.5KBまで)を入力→[メニュー] → [完了]→[設定]</p> <ul style="list-style-type: none"> 署名には、最大10種類の画像/デコレーション絵文字を挿入できます。 冒頭文/署名を挿入しただけで、画像/デコレーション絵文字の制限(最大20種類、または合計100KB以下)に達した場合は、本文入力時に画像/デコレーション絵文字を挿入できません。 冒頭文と署名に同じ画像を挿入した場合でも、冒頭文と署名が本文に挿入されると、画像は異なるファイルとして扱われます。 会話モードでは自動的に挿入されないので、スレッド内容表示画面で本文入力欄をタップ→[I] → [挿入] → [署名] と操作して挿入してください。
返信メール引用	<p>返信時、受信メールの内容を本文に引用するかどうかを設定します。チェックを入れてオンに設定すると、受信メールの先頭に「>」を付けて引用します。</p> <ul style="list-style-type: none"> 会話モードでは、チェックを入れてオンに設定していても受信メールの内容は引用されません。
送信時確認表示	<p>誤送信防止のために送信時の確認画面を表示するかどうかを設定します。</p>
自動再送信	<p>送信失敗したメールを自動的に再送信するかどうかを設定します。</p>
宛先候補表示	<p>宛先入力時に入力候補を表示するかどうかを設定します。</p>

通知に関する設定をする

1 Eメール設定画面 → [通知設定] → [基本通知設定]

2 着信音	OFF	着信音が鳴りません。
	Eメールブ リセット	Eメールアプリにプリセットされている着信音を設定します。
	着信音 通知音	端末本体にプリセットされている着信音/通知音を設定します。
	ストレージ から探す	microSDメモリカードまたはシステムメモリ(本体)の音楽を着信音に設定します。
	その他	他のアプリケーションを利用して着信音を設定します。
バイブレーション	Eメール受信時のバイブレーションを設定します。 [OFF] / パターンを選択 → [OK]	
着信音鳴動時間	Eメール着信音の鳴動時間を設定します。 「一曲鳴動」「時間設定」 ・「時間設定」を選択した場合は、1～60秒の範囲で指定します。	
ステータス バー通知	Eメール受信時、ステータスバーに通知アイコンを表示するか表示しないかを設定します。 「差出人・件名」「差出人」「通知のみ」「OFF」	
送信失敗通知	Eメール送信失敗時にバイブレーションでお知らせするかどうかを設定します。	
通知ポップ アップ	Eメール受信時、ロック画面上に新着メールをポップアップ表示するかどうかを設定します。 ▶P.72「Eメールを受信する」	
メール受信時の 画面点灯	画面消灯中にEメールを受信した場合、画面を点灯するかどうかを設定します。 ▶P.72「Eメールを受信する」	
電源キー押下 による着信音 鳴動停止	⏏を押して着信音を停止するかどうかを設定します。 ・着信音が停止するのは、画面が点灯/消灯するタイミングです。	

個別の通知に関する設定をする

1 Eメール設定画面→[通知設定]→[個別通知設定]

2 [新規設定]

3 [アドレス帳引用] / [メール受信履歴引用] / [メール送信履歴引用] →設定するアドレスを選択

4 着信音	OFF	着信音が鳴りません。
	Eメールプリセット	Eメールアプリにプリセットされている着信音を設定します。
	着信音 通知音	端末本体にプリセットされている着信音 / 通知音を設定します。
	ストレージから探す	microSDメモ리카ードまたはシステムメモリ (本体) の音楽を着信音に設定します。
	その他	他のアプリケーションを利用して着信音を設定します。
バイブレーション	Eメール受信時のバイブレーションを設定します。 [OFF] / パターンを選択 → [OK]	
着信音鳴動時間	Eメール着信音の鳴動時間を設定します。 「一曲鳴動」「時間設定」 ・「時間設定」を選択した場合は、1～60秒の範囲で指定します。	
通知ポップアップ	Eメール受信時、ロック画面上に新着メールをポップアップ表示するかどうかを設定します。 ▶P.72「Eメールを受信する」	
メール受信時の画面点灯	画面消灯中にEメールを受信した場合、画面を点灯するかどうかを設定します。 ▶P.72「Eメールを受信する」	

Eメールアドレスの変更やその他の設定をする

1 Eメール設定画面→[アドレス変更・その他の設定]

2 Eメールアドレスの変更へ	<p>EメールアドレスはEメールアドレスの初期設定を行うと自動的に決まりますが、変更できます。</p> <p>1. 暗証番号入力欄をタップ→暗証番号を入力→[送信]</p> <p>2. [承諾する]</p> <p>3. Eメールアドレス入力欄をタップ→Eメールアドレスの「@」の左側の部分(変更可能部分)を入力→[送信] → [OK]</p> <ul style="list-style-type: none"> Eメールアドレスの変更可能部分は、半角英数小文字、「.」「_」「-」を含め、半角30文字まで入力できます。ただし、「.」を連続して使用したり、最初と最後に使用したりすることはできません。また、最初に数字の「0」を使用することもできません。 変更直後は、しばらくの間Eメールを受信できないことがありますので、あらかじめご了承ください。 入力したEメールアドレスがすでに使用されている場合は、他のEメールアドレスの入力を求めるメッセージが表示されますので、再入力してください。 Eメールアドレスの変更は1日3回まで可能です。
迷惑メールフィルターの設定 / 確認へ	▶P.88「迷惑メールフィルターを設定する」

自動転送先の設定へ

本製品で受信したEメールを自動的に転送するEメールアドレスを登録します。

1. 暗証番号入力欄をタップ→暗証番号を入力→ [送信]
2. 入力欄をタップ→転送先のEメールアドレスを入力→ [送信] → [閉じる]
 - 自動転送先のEメールアドレスは2件まで登録できます。
 - 自動転送先の変更・登録は、1日3回まで可能です。
※ 設定をクリアする操作は、回数には含まれません。
 - 「エラー！ Eメールアドレスを確認してください。」と表示された場合は、自動転送先のEメールアドレスとして使用できない文字を入力しているか、指定のEメールアドレスが規制されている可能性があります。
 - Eメールアドレスを間違っていると、転送先の方に迷惑をかける場合がありますのでご注意ください。
 - 自動転送メールが送信エラーとなった場合、自動転送先のEメールアドレスを含むエラーメッセージが送信元に戻る場合がありますのでご注意ください。



◎ 暗証番号を同日内に連続3回間違えると、翌日まで設定操作はできません。

Eメールをバックアップ／復元する

Eメールを2つの方法でバックアップすることができます。また、バックアップしたメールデータは本製品へ読み込むことができます。



◎ 本製品ではバックアップしたデータは、microSDメモリーカードが取り付けられている場合はmicroSDメモリーカード (/storage/XXXX-XXXX/private/au/email/BU) に、取り付けられていない場合はシステムメモリー (本体) (/storage/emulated/0/private/au/email/BU) に保存されます。

※ 上記のXXXX-XXXXには、英数字列が自動で割り振られます。

メールデータをバックアップする

メールデータ (メール本文・添付ファイル) をバックアップすることができます。

1 Eメール設定画面→ [バックアップ・復元]

2 [メールデータバックアップ] → [OK]

microSDメモリーカードが取り付けられている場合は、バックアップデータをmicroSDメモリーカードに保存できます。

3 バックアップするデータを作成するための文字コードにチェックを入れる→ [OK]

文字コードについては「ヘルプ」をタップしてご確認ください。

4 バックアップするメール種別にチェックを入れる→ [OK]

ロックされた受信ボックス／フォルダを選択した場合は、フォルダロック解除パスワードを入力します。

メールデータを復元する

バックアップしたメールデータ（メール本文・添付ファイル）を復元することができます。

- 1 Eメール設定画面→ [バックアップ・復元]
- 2 [メールデータ復元]
- 3 [受信メール] / [送信メール] / [未送信メール] / [ストレージから探す] → [OK]
- 4 復元するバックアップデータにチェックを入れる→ [OK]
 - ・「全選択」をタップすると、一覧表示しているデータをすべて選択できます。
 - ・「Up」をタップして1つ上の階層のフォルダを選択できます。
 - ・「MyFolder」をタップするとMyFolderを開くことができます。
- 5 [追加保存] / [上書き保存] → [OK]
「上書き保存」を選択した場合は、確認画面で「OK」をタップします。

memo

- ◎ 添付されたデータもバックアップできます。
 - ※ バックアップしたファイルサイズが端末本体に保存可能なサイズを超過した場合はバックアップできません。不要な添付ファイル付きメールを削除したうえで再度バックアップを行ってください。
- ◎ メールデータのバックアップでは、シークレット機能を有効にし、シークレット機能が一時解除されている状態ではバックアップ、復元がご利用いただけません。シークレット機能を無効にしたうえでバックアップ、復元の操作を行っていただくか、まるごとバックアップをご利用ください。
- ◎ シークレット機能を有効にしてメールデータのバックアップを行うと、シークレット対象のメールデータはバックアップされませんのでご注意ください。

- ◎ バックアップしたメールデータを復元する際に「上書き保存」を選択した場合は、選択したメール種別に応じて、「受信ボックス」/「送信ボックス」/「未送信ボックス」に保存されているすべてのEメールを削除して（保護されているメールデータや未読メールも削除されます）、バックアップしたメールデータを復元します。
- ◎ 復元したEメールから未受信の本文や添付ファイルを取得することはできません。

Eメールをまるごとバックアップする

Eメールアプリに保存されているメールデータ（メール本文・添付ファイル）、メール設定、振り分け条件を、まるごとバックアップすることができます。

シークレット対象のメールデータもバックアップできます。

- 1 Eメール設定画面→ [バックアップ・復元]
- 2 [まるごとバックアップ]
 - ・ バックアップデータは、microSDメモ리카ードが取り付けられている場合は、microSDメモ리카ードに保存されます。

まるごとバックアップデータを復元する

まるごと復元を実施すると、現在Eメールアプリに保存されているメールアドレス（本文・添付ファイル）、メール設定、振り分け条件を全て消去し、復元します。

1 Eメール設定画面→ [バックアップ・復元]

2 [まるごと復元]

3 復元するバックアップデータにチェックを入れる→ [OK]

■ 復元前にメールアドレスがない場合

4 [OK]

■ 復元前にメールアドレスをバックアップする場合

4 [バックアップ] → [OK] →バックアップするデータを作成するための文字コードにチェックを入れる→ [OK]
・ シークレット機能を有効にしてメールアドレスバックアップを行うと、シークレット対象のメールはバックアップされません。

5 バックアップするメール種別にチェックを入れる→ [OK]

・ ロックされた受信ボックス／フォルダを選択した場合は、フォルダロック解除パスワードを入力します。

6 [OK] → [OK] → [OK]

■ 復元前にメールアドレスをバックアップしない場合

4 [まるごと復元] → [OK]



◎まるごと復元が完了するとEメールアプリが再起動されます。

迷惑メールフィルターを設定する

迷惑メールフィルターには、特定のEメールを受信／拒否する機能と、携帯電話・PHSなどになりすましてくるEメールを拒否する機能があります。

1 Eメール設定画面→ [アドレス変更・その他の設定]

■ おすすめの設定にする場合

2 [オススメの設定はこちら] → [OK]

なりすましメール・自動転送メールおよび迷惑メールの疑いのあるメールを拒否します。本設定により大幅に迷惑メールを削減できます。

■ 詳細を設定する場合

2 [迷惑メールフィルターの設定／確認へ] →暗証番号入力欄をタップ→暗証番号を入力→ [送信]

オススメ設定	オススメ設定をする	とにかく迷惑メールでお悩みの方にオススメします。なりすましメール・自動転送メールおよび迷惑メールの疑いのあるメールを拒否します。
個別設定	受信リストに登録/アドレス帳受信設定をする	個別に指定したメールアドレスやドメイン、「@」より前の部分を含むメールを優先受信します。 受信リストに登録したメールアドレス以外のEメールを全てブロックする場合は、「携帯/PHS以外からのメールを拒否する」を設定するに設定し、更に「携帯/PHS等の事業者毎に受信/拒否設定する場合はコチラ」をタップし「事業者毎の設定」ですべての事業者を「受信しない」に設定してください。 ※「受信リスト設定」の「必ず受信」にチェックを付けることにより、「なりすまし規制」を回避して、メーリングリスト、転送メールを受信することができます。 アドレス帳受信設定へ： 「auアドレス帳」もしくは「Friends Note」に保存したメールアドレスからのメールを受信することができます。
	拒否リストに登録する	個別に指定したEメールアドレスやドメイン、「@」より前の部分を含むメールの受信を拒否します。
	携帯/PHS以外からのメールを拒否する	PCメールは拒否し、携帯電話とPHSからのメールのみ受信します。また、携帯/PHS事業者ごとにメールを一括で受信/拒否します。

個別設定	その他の詳細設定をする	迷惑メールおまかせ規制： メールサーバーで受信したメールの中で、迷惑メールの疑いのあるメールを自動検知して規制します。 なりすまし規制： 送信元のアドレスを偽って送信してくるメールの受信を拒否します。(高)(低)の2つの設定を選択いただけます。 ※ 以前ご利用の携帯電話で(中)を設定されている場合も(高)(低)のみ選択可能です。 ※「受信リスト設定」の「必ず受信」にチェックを付けて登録することにより、「なりすまし規制」を回避して、メーリングリスト、転送メールを受信することができます。 HTMLメール規制： メール本文がHTML形式で記述されているメールを拒否することができます。 URLリンク規制： 本文中にURLが含まれるメールを拒否することができます。 ウィルスメール規制： 添付ファイルがウイルスに感染している送受信メールをメールサーバーで規制します。 拒否通知メール返信設定： 迷惑メールフィルターで拒否されたメールに対して、受信エラー(宛先不明)メールを返信するための設定項目です。 ※ 以前ご利用の携帯電話で「返信しない」に設定している場合にのみ表示され、[返信する]の選択のみ可能です。
全ての設定を一括解除する		迷惑メールフィルターの設定を一括で解除できます。

- ※ [ヘルプ] をタップすると迷惑メールフィルターの各種機能の説明を表示します。
- ※ 最新の設定機能およびパソコンからの迷惑メールフィルター設定は、auのホームページでご確認ください。

- ◎ 暗証番号を同日内に連続3回間違えると、翌日まで設定操作はできません。
- ◎ 迷惑メールフィルターの設定により、受信しなかったEメールをもう一度受信することはできませんので、設定には十分ご注意ください。
- ◎ 迷惑メールフィルターは、以下の優先順位にて判定されます。
ウィルスメール規制>受信リスト設定（「必ず受信」チェック有り）>なりすまし規制>拒否リスト設定>受信リスト設定>アドレス帳受信設定>HTMLメール規制>URLリンク規制>携帯／PHS以外のメール拒否設定>迷惑メールおまかせ規制
- ◎ 「受信リスト設定（「必ず受信」チェック有り）」は、自動転送されてきたEメールが「なりすまし規制」の設定時に受信できなくなるのを回避する機能です。自動転送設定元のメールアドレスを「受信リスト設定（「必ず受信」チェック有り）」に登録することにより、そのメールアドレスがTo（宛先）もしくはCc（同報）に含まれているEメールについて、規制を受けることなく受信できます。
※ Bcc（隠し同報）のみに含まれていた場合（一部メルマガ含む）は、本機能の対象外となりますのでご注意ください。
- ◎ 「拒否通知メール返信設定」は、迷惑メールフィルター初回設定時に自動的に「返信する」に設定されます。なお、「返信する」に設定している場合でも、「なりすまし規制」および「迷惑メールおまかせ規制」でブロックされたメールには返信されません。
- ◎ 「URLリンク規制」を設定すると、メールマガジンや情報提供メールなどの本文中にURLが記載されたEメールの受信や、一部のケータイサイトへの会員登録などができなくなる場合があります。
- ◎ 「HTMLメール規制」を設定すると、メールマガジンやパソコンから送られてくるEメールの中にHTML形式で記述されているEメールが含まれる場合、それらのEメールが受信できない場合があります。また、携帯電話・PHSからのデコレーションメールは「HTMLメール規制」を設定している場合でも受信できます。

- ◎ 「なりすまし規制」は、送られてきたEメールが間違いなくそのドメインから送られてきたかを判定し、詐称されている可能性がある場合は規制するものです。

この判定は、送られてきたEメールのヘッダ部分に書かれてあるドメインを管理しているプロバイダ、メール配信会社などが、ドメイン認証（SPFレコード記述）を設定している場合に限られます。ドメイン認証の設定状況につきましては、それぞれのプロバイダ、メール配信会社などにお問い合わせください。

※ パソコンなどで受け取ったEメールを転送させている場合、転送メールが正しいドメインから送られてきていないと判断され受信がブロックされてしまうことがあります。そのような場合は自動転送元のアドレスを「受信リスト設定（「必ず受信」チェック有り）」に登録してください。

SMSを利用する

電話番号を宛先としてメールのやりとりができるサービスです。海外の現地携帯電話の電話番号を宛先にしてもメッセージが送れます。

SMSを送信する

漢字・ひらがな・カタカナ・英数字・記号・絵文字・顔文字のメッセージ（メール本文）を送信できます。

1 ホーム画面で【基本機能】→【SMS】


相手先別のスレッド一覧画面が表示されます。

2 【】

SMS作成画面が表示されます。

- 同じ相手にSMSを送信するときは、スレッドをタップしてもSMSを作成できます。その場合は、手順4へ進みます。

3 【宛先を入力】→相手先電話番号を入力

【】→連絡先から相手先を選択することもできます。海外へ送信する場合は、相手先電話番号の前に「010」と「国番号」を入力します。

010

+

国番号

+

相手先電話番号

- ※ 相手先電話番号が「0」で始まる場合は、「0」を除いて入力してください。
- ※ 連絡先から相手先電話番号を引用した場合は、もう一度宛先をタップして「010」と「国番号」を入力してください。


4 本文入力欄をタップ→本文を入力

本文は、全角最大70 / 半角最大160文字まで入力できます。

5 【送信】

送信したメッセージをロングタッチ→【送達確認結果】と操作すると送信結果を確認できます。

memo


- ◎メッセージ作成中に【】をタップすると、スレッド一覧画面に「下書き」が表示され、メールを送信せずに保存できます。
- ◎SMSセンターは、次の通りSMSをお預かりします。

お預かり（蓄積）可能時間	72時間まで ※ 蓄積されてから72時間経過したSMSは、自動的に消去されます。
お預かり可能件数	300件 ※ 受信されるお客様のご利用状況、また、送信されるお客様の電話機の種類により、SMSセンターでお預かりできない場合があります。


- ◎蓄積されたSMSが配信されるタイミングは、次の通りです。

SMS蓄積後すぐに配信	新しいSMSがSMSセンターに蓄積されるたびに、SMSセンターでお預かりしていたSMSがすべて配信されます。
リトライ機能による配信	相手の方が電波の届かない場所にいるときや、電源が入っていないなどの理由で、蓄積後すぐに配信できなかった場合は、最大72時間、相手先へSMSを繰り返し送信するリトライ機能によりSMSを配信します。

※ 国際SMSの場合、配信タイミングが異なる場合があります。

- ◎発信者番号通知をせずにSMSを送信することはできません。
- ◎絵文字を他社の携帯電話に送信すると、一部他社の絵文字に変換されたり、受信側で正しく表示されないことがあります。また、異なるauの端末に送信した場合は、auの旧絵文字に変換される場合があります。
- ◎SMSの送信が成功しても、電波の弱い場所などではまれに送信したメッセージに【】が表示される場合があります。
- ◎国際SMSの詳細につきましては、auホームページをご覧ください。
<http://www.au.kddi.com/mobile/service/global/sms/>

SMSを受信する

- 1 SMSを受信**
SMSの受信が終了すると、ポップアップ通知され、メール受信音が鳴ります。
- 2 ホーム画面で [基本機能] → [SMS]**
未読のSMSがあるスレッドには  が表示されます。
- 3 確認する相手先のスレッドをタップ**
受信したSMSを含むスレッド内容表示画面が表示されます。

SMSを返信／転送する

- 1 ホーム画面で [基本機能] → [SMS]**
- 2 返信／転送するスレッドをタップ**
 - 返信する場合
- 3 本文入力欄をタップ→本文を入力**
- 4 [送信]**
 - 転送する場合
- 3 転送するメッセージをロングタッチ**
オプションメニューが表示されます。
- 4 [転送]**
- 5 [宛先を入力] → 相手先電話番号を入力**
[📞] → 連絡先から相手先を選択することもできます。
- 6 本文を入力**
- 7 [送信]**

電話番号／Eメールアドレス／URLを利用する

1 スレッド内容表示画面を表示

■ 本文中の電話番号を利用する場合

2 本文中の電話番号をタップ

SMS作成画面が表示されます。

3 SMSを作成

■ 本文中のEメールアドレスを利用する場合

2 本文中のEメールアドレスをタップ

3 Eメールを作成

- ・ 選択メニューが表示された場合は、使用するアプリケーションを選択して「今回のみ」／「毎回」をタップしてください。

■ 本文中のURLを利用する場合

2 本文中のURLをタップ


- ブラウザが起動して、選択したURLのページが表示されます。
- ・ 選択メニューが表示された場合は、使用するアプリケーションを選択して「今回のみ」／「毎回」をタップしてください。

SMSを保護／保護解除する

1 スレッド内容表示画面を表示

2 保護／保護解除するメッセージをロングタッチ

3 【保護】／【保護解除】


保護したメッセージには  が表示されます。

SMSの電話番号を連絡先に登録する

1 スレッド内容表示画面を表示

2 → 【アドレス帳への登録】

連絡先の登録画面が表示されます。「+」または追加する連絡先をタップしてください。詳しくは、「連絡先を登録する」(▶ P.108) をご参照ください。

- ・ スレッド一覧画面で登録する相手先の  → [はい] と操作しても連絡先の登録画面が表示されます。

SMSを検索する

1 スレッド一覧画面→ → キーワードを入力

半角と全角を区別して入力してください。

2 キーボードの

検索結果一覧画面が表示されます。

SMSを削除する

1 ホーム画面で [基本機能] → [SMS]

■ 1件削除する場合

2 削除するメッセージがあるスレッドをタップ

3 削除するメッセージをロングタッチ

4 [削除] → [削除]

■ スレッドごと削除する場合

2 削除するスレッドをタップ

3 [⋮] → [メッセージの全件削除] → [削除]

■ 複数のスレッドを削除する場合

2 削除するスレッドをロングタッチ

3 続けて削除するスレッドをタップ

4 [削除] → [削除]

■ すべてのスレッドを削除する場合

2 [⋮] → [全てのスレッドを削除] → [削除]

SMSを設定する

1 ホーム画面で [基本機能] → [SMS]

2 [⋮] → [設定]

SMS設定メニューが表示されます。

3 通知設定	SMS受信時のポップアップ通知を設定します。OFFに設定すると、着信音、バイブレーション、LEDもOFFになります。 [差出人・本文] / [差出人] / [通知のみ] / [OFF] → [OK]
着信音	SMS受信時の着信音を設定します。 [OFF] / [プリセットから選択] / [ダウンロード曲から選択] → 着信音を選択 → [OK]
バイブレーション	SMS受信時のバイブレーションを設定します。 [OFF] / パターンを選択 → [OK]
文字サイズ	本文の文字サイズを設定します。 [特大] [大] [中] [小] [極小]
署名	SMSの新規作成時に、本文にあらかじめ署名を挿入するかどうかを設定します。
署名編集	挿入する署名の内容を設定します。 署名 (全角20 / 半角45文字まで) を入力 → [設定]
受信フィルター	▶ P.95 「受信フィルターを設定する」
送達確認	SMSが相手に届いた際、送信したメッセージに <input checked="" type="checkbox"/> を表示させるかどうかを設定します。
テーマカラー	SMSアプリのテーマカラーを設定します。 [ホワイト] [ブラック] [ピンク] [グリーン] [ブルー] [オレンジ]



- ◎ SMS設定メニュー→ [1] → [初期値に戻す] → [はい] と操作すると、初期値に戻すことができます。
- ◎ SMS設定メニューには「LED」が表示されていますが、選択することはできません。

受信フィルターを設定する

1 SMS設定メニュー→ [受信フィルター]

2	指定番号	指定した電話番号からのSMSを受信した場合、受信拒否するかどうかを設定します。
	指定番号リスト	指定番号リストが表示されます。 入力欄をタップ→登録したい電話番号を入力→ [追加] <ul style="list-style-type: none"> • [] をタップすると、連絡先から宛先を選択して電話番号を登録できます。 • スレッド内容表示画面で [1] → [受信フィルター登録] → [追加] と操作しても登録することができます。 • 登録した電話番号を削除するには、[削除] → 削除したい電話番号にチェックを入れる → [削除] → [はい] と操作します。 • 電話番号は、最大10件まで登録できます。
	アドレス帳登録外	連絡先に登録されていない電話番号からのSMSを受信拒否するかどうかを設定します。チェックを入れてオンに設定すると、連絡先に登録されていない電話番号からのSMSを受信しなくなります。

PCメールを利用する

「メール」アプリケーションを利用して、普段パソコンなどで利用しているメールアカウントを本製品に設定し、パソコンと同じようにメールを送受信できます。

- PCメールをご利用になるには、あらかじめPCメールのアカウントを設定する必要があります (▶P.95)。

PCメールのアカウントを設定する

初めてPCメールを使用するときには、PCメールのアカウントを設定します。

- 設定を手動で入力する必要がある場合は、PCメールサービスプロバイダまたはシステム管理者に、正しいPCメールアカウント設定を問い合わせてください。
- 登録するメールアカウントによって操作が異なる場合があります。

1 アプリ一覧画面で [メール]

2 PCメールのメールアドレスとパスワードを入力

3 [次へ]

自動的にメールサーバーの設定が行われます。
 • 「手動設定」をタップした場合、または「次へ」をタップしても自動的に設定できない場合は、アカウントタイプの選択画面が表示されます。画面の指示に従い、手動でPCメールアカウントを設定してください。

4 アカウントオプションの設定を行う→ [次へ]

5 「アカウント名を付ける (オプション)」欄をタップ→アカウント名を入力

6 「ユーザー名 (送信メールに表示)」欄をタップ→ユーザー名を入力

7 [完了]

設定したアカウントのメールが読み込まれ、メール一覧画面（受信トレイ）が表示されます。

memo

- ◎ 2件目以降のPCメールアカウントを設定するには、メール一覧画面で [⋮] → [設定] → [アカウント追加] と操作します。
- ◎ メール一覧画面で画面上部のアカウント名をタップ → [統合表示] と操作すると、設定したPCメールアカウントの受信メールがすべて表示されず。
- ◎ メール一覧画面で [⋮] をタップするとメニュー項目が表示され、フィルターや一覧画面の表示形式の変更、文字サイズの変更などの操作が行えます。また、メールをロングタッチ → メールにチェックを入れて画面上部のアイコンをタップすると、メールの削除や別のフォルダへの移動などの操作が行えます。

アカウントの設定を変更する

1 アプリー覧画面で [メール]

メール一覧画面が表示されます。

2 [⋮] → [設定]

基本設定	表示	内容の自動サイズ調整	画面に合わせてPCメールを縮小表示します。メール詳細画面で拡大することができます。	
		本文のプレビュー行数	PCメールのプレビューの行数を設定します。	
		メールリストの見出し	PCメールのタイトルに「件名」または「送信元」のどちらを表示するかを設定します。	
		チェックボックスを非表示	メール一覧画面にチェックボックスを表示させるかどうかを設定します。	
作成と送信	標準画像サイズ	標準画像サイズ	添付画像の標準サイズを設定します。	
		Eメールの送信待機	Eメールの送信待機	Eメールの送信操作をした後に、送信のキャンセルボタンを表示するかどうかを設定します。
			待機時間の設定	キャンセルボタンを表示する時間を設定します。
標準画面	Eメールの移動や削除をした後に表示する画面を選択します。			
削除時に確認	Eメールを削除する前に確認するかどうかを設定します。			

基本設定	優先送信元設定	優先送信元	優先送信元を設定します。
		標準フォルダとして設定	PCメールを開くときに優先送信元受信トレイを表示するように設定します。
		Eメール通知	優先送信元からPCメールを受信したときに、通知音と通知アイコンでお知らせするかどうかを設定します。
		通知音	優先送信元からPCメールを受信したときに鳴らす通知音を設定します。
	バイブ	優先送信元からPCメールを受信したときに、振動してお知らせするかどうかを設定します。	
	迷惑メールアドレス	迷惑メールとして登録した送信元アドレスとドメインのリストを編集します。	
アカウント追加	アカウントを追加します。		
(メールアドレス)	同期設定	Eメールを同期	メールを同期するかどうかを設定します。
		同期スケジュール	メールを同期するタイミングなどを設定します。
		同期するEメールの期間	Eメールのサーバーと同期する期間を設定します。
		Eメール受信サイズ	受信するEメールのサイズを設定します。
	署名	PCメールを作成するときに自動的に署名を入力するかどうかを設定します。また、署名を入力・編集できます。	
メインアカウント	チェックを入れると、メールアカウントが複数設定されている場合に、PCメールを作成するときの優先アカウントに設定します。		
パスワード	パスワードを設定します。		

(メールアドレス)	Eメール通知	PCメールを受信した場合にステータスバーに受信したことを表示するかどうかを設定します。		
	通知音	PCメールを受信した場合の着信音を設定します。		
	バイブ	PCメールを受信した場合に振動でお知らせするかどうかを設定します。		
	その他の設定	アカウント名	アカウント名を変更します。	
		ユーザー名	ユーザー名(差出人名)を変更します。	
		常にCc/Bccに自分を追加	PCメールを送信するときに、自分のメールアドレスにもCc/Bccで送信するかどうかを設定します。	
		画像を表示	メール内の画像を表示するかどうかを設定します。 ・「Eメール受信サイズ」で設定したサイズを超える場合は、画像は表示されません。	
		添付ファイルを自動ダウンロード	Wi-Fi [®] 接続時に添付ファイルを自動でダウンロードするかどうかを設定します。	
		セキュリティオプション	暗号化したり、署名などのセキュリティオプションを設定したりします。	
	受信サーバー設定	受信メールサーバーと送信メールサーバーを設定します。		
送信サーバー設定				







◎ アカウントによって、表示される項目が異なることがあります。また、前記以外の項目が表示される場合もあります。

PCメールのアカウントを削除する

- 1 メール一覧画面→ [⋮] → [設定]
- 2 削除したいアカウントをタップ→ [アカウント削除]
- 3 [削除]

PCメールを送信する

- 1 メール一覧画面→ [✉]
メール作成画面が表示されます。
 - メール作成画面で [▼] → 「送信元」欄をタップすると、メールアドレスを切り替えられます。
- 2 「宛先」欄をタップ→宛先を入力
 - CcまたはBccを追加するには、[▼] → 「Cc」 / 「Bcc」欄をタップします。
 - アルファベットまたは名前を入力すると、登録されている連絡先に前方一致するメールアドレスの候補表示をします。
 -  をタップすると、連絡先からメールアドレスを選択して入力できます。
 - 宛先を削除するには、宛先をタップ→ [削除] をタップします。
- 3 「件名」欄をタップ→件名を入力
- 4 本文欄をタップ→本文を入力
- 5 必要に応じて添付／挿入操作を行う
 - 添付する場合は  をタップします。本文中に挿入する場合は  をタップして本文装飾メニューを表示し、 をタップします。
 - 添付は「マイファイル」「画像」「写真撮影」などから選択できます。
 - 挿入は「画像」「写真撮影」「Sプランナー」などから選択できます。
- 6 [✉]



◎作成中のメッセージを下書きに保存するには [📄] をタップします。

PCメールを受信する

1 メール一覧画面→画面上部のアカウント名をタップ→受信したいアカウントの【受信トレイ】

2 【🔄】

3 メールをタップ

メールの詳細が表示されます。

memo

- ◎ 新しいメールの受信をお知らせする【🔔】がステータスバーに表示されます。
- ◎ 受信したPCメールのアドレス左側の画像をタップすると、連絡先に登録したり、連絡先に登録済みの場合は連絡先の内容を表示したりすることができます。
- ◎ メール詳細表示中に【⋮】をタップするとメニュー項目が表示され、メールの設定などの操作が行えます。

■ 添付ファイルを保存する

1 メール詳細画面→添付ファイル欄をタップ
添付ファイルの一覧が表示されます。

2 保存したいファイルの【保存】

添付ファイルは、「ギャラリー」(▶P.118)の「Download」フォルダに保存されます。

- 複数の添付ファイルがある場合は「全て保存」が表示され、タップするとすべての添付ファイルを保存できます。
- 「表示」をタップすると、ファイルを確認できます。

memo

◎ 添付ファイルのあるメールは、メール一覧画面に【📎】が表示されます。

■ メールを別のフォルダに移動する

1 メール一覧画面→移動したいメールをロングタッチ→移動したいメールにチェックを入れる→【📁】


2 移動したいフォルダをタップ

memo


- ◎ フォルダを作成するには、受信したいアカウントのメール一覧画面(受信トレイ)→【⋮】→【フォルダ作成】→作成先を選択→フォルダ名を入力→【OK】と操作します。
- ◎ 登録したアカウントによっては、フォルダへの移動や、フォルダの作成ができない場合があります。

PCメールを返信／転送する

1 メール詳細画面→ [返信] / [転送]

複数の宛先が含まれているメールの場合は、 をタップすると、全員に返信することができます。

2 本文を入力

-  をタップした場合は、転送先の宛先を入力します。
- 元のメールの本文を削除するには「元のメール」のチェックを外します。

3 [送信]

PCメールを削除する

1 メール一覧画面→削除したいメールをロングタッチ→削除したいメールにチェックを入れる

2 [ゴミ箱]



◎メール詳細画面→ [ゴミ箱] と操作しても、メールを削除できます。

Gmailを利用する

Gmailとは、Googleが提供するメールサービスです。本製品からGmailの確認・送受信などできます。

- Gmailの利用にはGoogleアカウントが必要です (▶P.34)。

Gmailを送信する

1 アプリ一覧画面で [Gmail]

2 [送信]

3 [To] →宛先を入力

4 [件名] →件名を入力

5 [メールを作成] →本文を入力

6 [送信]


[送信] → [下書きを保存] と操作すると下書き保存されます。

Gmailを受信する

1 アプリ一覧画面で [Gmail]

2 受信したメールをタップ

Gmailのメニューを利用する

Gmail受信トレイ画面で  をタップするとメニュー項目が表示され、設定などの操作が行えます。

- [メニュー] → [設定] →設定するメールアドレスをタップ→ [ラベルの管理] と操作すると、メールの同期と通知設定画面が表示されます。
- 画面上部のアカウント名をタップすると受信トレイのカテゴリーを切り替えたり、別のフォルダを表示することができます。

インターネット

インターネットに接続する	102
データ通信を利用する	102
ブラウザを利用する	103
Webページを表示する	103
ブックマーク／履歴を利用する	105
ブラウザを設定する	106

インターネットに接続する

データ通信または無線LAN (Wi-Fi[®]) 機能を使用してインターネットに接続できます。

- ・データ通信 (▶P.102「データ通信を利用する」)
- ・無線LAN (Wi-Fi[®]) 機能 (▶P.160「無線LAN (Wi-Fi[®]) 機能」)



◎LTE NETまたはLTE NET for DATAに加入していない場合は、データ通信を利用することができません。

データ通信を利用する

本製品は、「LTE NET」や「LTE NET for DATA」のご利用により、手軽にインターネットに接続してデータ通信を行うことができます。本製品にはあらかじめLTE NETでインターネットへ接続する設定が組み込まれており、インターネット接続を必要とするアプリケーションを起動すると自動的に接続されます。LTE NET for DATAでインターネットへ接続するには、ホーム画面で[基本機能]→[設定]→[接続]→[その他ネットワーク]→[モバイルネットワーク]→[APN]→[LTE NET for DATA]を選択してください。



◎LTEフラットなどのデータ通信料定額/割引サービスご加入でインターネット接続時の通信料を定額でご利用いただけます。LTE NET、LTE NET for DATA、データ通信料定額/割引サービスについては、最新のau総合カタログ/auホームページをご参照ください。

■データ通信ご利用上の注意

- ・画像を含むホームページの閲覧、動画データのダウンロード、通信を行うアプリケーションやGoogleサービスのアプリケーションを使用するなど、データ量の多い通信を行うとデータ通信料が高額となるため、データ通信料定額/割引サービスの加入をおすすめいたします。
- ・ネットワークへの過大な負荷を防止するため、一度に大量のデータ送受信を継続した場合やネットワークの混雑状況などにより、通信速度が自動的に制限される場合があります。

■ご利用データ通信料のご確認方法について

ご利用データ通信料は、次のURLでご照会いただけます。

<https://cs.kddi.com/> (auお客さまサポート)

※ 初回のご利用の際は、お申し込みが必要です。

ブラウザを利用する

ブラウザを利用して、パソコンと同じようにWebページを閲覧できます。

Webページを表示する

1 ホーム画面で [ブラウザ]

ブラウザ画面が表示されます。



◎ ブラウザ画面では、本製品を横向きにして閲覧することもできます。本製品を横向きにしても自動的に画面の向きが変わらないときは、ホーム画面で [基本機能] → [設定] → [デバイス] → [ディスプレイ] → [画面回転] → を にします。

■ ブラウザ画面での基本操作

次のタッチパネル操作でWebページを閲覧できます。

- ・ タップ：リンクやキーを選択・実行できます。
- ・ スライド/フリック：ページをスクロールできます。
- ・ ピンチアウト/ピンチイン：ページを拡大/縮小できます。
- ・ ダブルタップ：タップした位置をズームイン/ズームアウトできます (Webページによっては操作できない場合があります)。
- ・ ：直前に表示していたWebページに戻ります。

Webページを移動する

1 ブラウザ画面→画面上部のアドレスバーをタップ→ [×]

検索 / URL入力欄が表示されます。

2 URLまたは検索したいキーワードを入力

検索候補の一覧が検索 / URL入力欄の下に表示されます。

3 検索候補から目的の項目を選択 / キーボードの [実行]

Google検索の検索結果が表示された場合は、目的の項目を選択します。



◎ 検索 / URL入力欄の [] をタップすると、音声で検索したいキーワードを入力できます。

ブラウザ画面のメニューを利用する

ブラウザ画面で [その他] をタップするとメニュー項目が表示され、Webページの印刷、ブラウザの設定などの操作が行えます。



◎ Webページの印刷は、本製品に対応するプリンターでのみ印刷できます。

■ タブを利用する

Webページを表示中に新しいタブを開くことができます。

■ 新しいタブを開く

1 ブラウザ画面→ [+]

新しいタブが開かれホームページが表示されます。



- ◎ ブラウザ画面→ [その他] → [シークレットモードを有効にする] と操作すると、シークレットモードで新しいタブを開けます。シークレットモードを利用すると、ブラウザの履歴や検索履歴などが残りません。

■ タブを切り替える

1 表示するタブをタップ

■ タブを閉じる

1 閉じるタブの [X]

■ Webページ内のテキストをコピーする

- 1 ブラウザ画面→リンクのないテキストをロングタッチ
テキストが拡大表示されます。指を離すとテキストの上下に と , メニューが表示されます。
- 2 / をドラッグしてテキストの範囲を指定
指定されたテキストはハイライト表示されます。
・ 全文を選択するには「全て選択」をタップします。
- 3 [コピー]
「クリップボードにコピーしました。」とメッセージが表示されます。
・ 指定した範囲のテキストをテキストまたは画像として共有するには「共有」、表示中のWebページ内で検索するには「検索」をタップします。



- ◎ コピーしたテキストは、他のアプリケーションでも利用できます。貼り付け先の入力欄をロングタッチ→ [貼り付け] と操作します。
- ◎ テキストを選択できないWebページもあります。

■ Webページ内の画像をダウンロードする

- 1 ブラウザ画面→ダウンロードする画像 / 画像を含むリンクをロングタッチ
- 2 [画像を保存]



- ◎ ダウンロードした画像は、「ギャラリー」アプリケーションなどから確認できます。

リンクを操作する

1 Webページ内のリンクをタップ

■ リンクのメニューを利用する

テキストのリンクをロングタッチするとメニュー項目が表示され、開く、新規タブで開く、リンクを保存、リンクをコピーなどの操作が行えます。
画像のリンクをロングタッチすると、画像の保存やコピーなどの操作が行えます。



◎ リンクやWebページによっては、ロングタッチしてもメニューが表示されない場合や、選択した操作を実行できない場合があります。

ブックマーク／履歴を利用する

履歴の確認やブックマークの保存ができます。

1 ブラウザ画面→ [ブックマーク]

ブックマーク画面が表示されます。

2 表示したいブックマークをタップ

ブックマークを追加する

1 ブラウザ画面→ [ブックマーク]

2 [追加]

3 タイトルを確認／編集

- ・ ブックマークを保存するフォルダを変更したい場合は、「マイデバイス」欄をタップ→保存したいフォルダを選択します。

4 [保存]

■ ブックマーク画面のメニューを利用する

ブックマーク画面で [その他] をタップするとメニュー項目が表示され、フォルダの作成や共有などの操作が行えます。

履歴を確認する

- 1 ブラウザ画面→ [ブックマーク] → [履歴]
履歴画面が表示されます。
- 2 「今日」「昨日」など閲覧した時期をタップ
- 3 表示したいURLをタップ

履歴を消去する

- 1 ブラウザ画面→ [ブックマーク] → [履歴] → [その他]
→ [履歴を消去]
履歴が消去されます。

memo

- ◎ 個別の履歴を削除するには、履歴画面で [その他] → [削除] → 消去したい履歴にチェックを付ける → [削除] をタップします。

ブラウザを設定する

ホームページの設定やプライバシーの設定、コンテンツに関する設定などを行うことができます。

- 1 ブラウザ画面→ [その他] → [設定]
ブラウザ設定画面が表示されます。

2 必要な項目を設定

memo

- ◎ ブラウザ設定画面→ [ホームページ] → [現在のページ] と操作すると、表示されているWebページがホームページに設定されます。
- ◎ キャッシュなどの一時的に本製品に保存されたファイルを消去するには、ブラウザ設定画面→ [プライバシー] → [個人データを削除] → 消去したい項目にチェックを入れる → [削除] と操作してください。
- ◎ ホーム画面で [基本機能] → [設定] → [アプリ] → [ブラウザ] と操作してもブラウザ設定画面を表示できます。

ツール・アプリケーション

連絡先	108	Androidアプリ	128	au災害対策アプリ	142
連絡先を登録する.....	108	Google Playを利用する	128	災害用伝言板を利用する.....	142
連絡先を確認／編集する.....	110	アプリケーションを管理する.....	129	緊急速報メールを利用する.....	143
電話番号を利用する.....	110	YouTube	130	災害用音声お届けサービスを利用する.....	144
連絡先のメニューを利用する.....	110	YouTubeを利用する	130	災害関連情報を利用する.....	144
連絡先をインポート／エクスポートする.....	110	Googleサービス	130	auサービスTOP を利用する	145
マルチメディア	111	Googleハングアウトを利用する	130	時計	145
カメラを利用する.....	111	Googleマップを利用する	130	アラームを利用する.....	145
ギャラリー	118	Friends Note を利用する	133	世界時計を利用する.....	146
静止画／動画を表示する.....	118	Sプランナー	133	電卓	147
ギャラリーのメニューを利用する.....	118	カレンダーを表示する.....	133	スクリーンショットシェア	
ビデオ	119	Sプランナーのメニューを利用する	134	利用する	147
ビデオのメニューを利用する.....	120	イベントやタスクの通知を解除または		au Wi-Fi接続ツール を利用する	149
ミュージック	120	スヌーズを設定する.....	134		
楽曲データを再生する.....	120	Galaxy Apps	135		
ミュージックのメニューを利用する.....	121	Sボイス	135		
プレイリストを利用する.....	121	Sボイスをご利用になる前に	135		
テレビ	122	Sボイスを利用する	135		
テレビの初期設定をする.....	123	辞書	136		
テレビを見る.....	123	NFC を利用する	136		
視聴中の番組を録画する.....	125	安心アクセス for Android™ を			
視聴中の設定を行う.....	125	利用する	138		
テレビの録画や視聴を予約する.....	125	auお客さまサポート	140		
録画した番組を再生する.....	126	auスマートサポートを利用する	141		
チャンネルを設定する.....	126	Lookout for auを利用する	141		
TVリンクを利用する	127	リモートサポートを利用する.....	142		
テレビを設定する.....	127				

連絡先

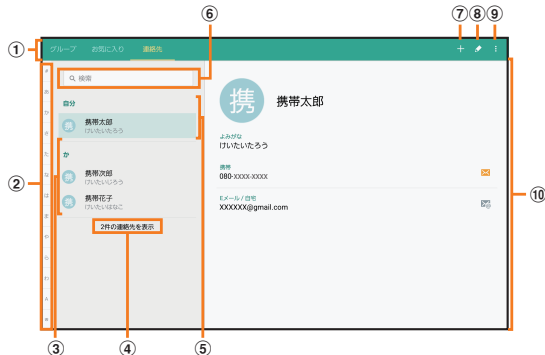
連絡先を登録する

連絡先画面では、連絡先の各種情報が表示されます。連絡先に写真を追加することもできます。



- ◎ 連絡先に登録された電話番号や名前は、事故や故障によって消失してしまうことがあります。大切な電話番号などは控えておかれることをおすすめします。事故や故障が原因で連絡先が変化・消失した場合の損害および逸失利益につきましては、当社では一切の責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- ◎ 「アカウントを登録する」(▶ P.179) を利用して、サーバーに保存されたGoogleの連絡先などと本製品の連絡先を同期できます。

1 アプリ一覧画面で「連絡先」



《連絡先画面》

- ① **タブ**
「グループ」タブ：グループ画面を表示します。
「お気に入り」タブ (▶P.109「連絡先をお気に入りに追加する」)
「連絡先」タブ：連絡先画面が表示されます。
- ② **インデックス**
ドラッグして目的のインデックス上で指を離すと、選択したインデックスに属する連絡先を検索できます。
- ③ **連絡先一覧**
- ④ **連絡先登録件数**
- ⑤ **プロフィール** (▶P.109「プロフィールを登録する」)
- ⑥ **検索ボックス**
名前や電話番号などを入力して、連絡先を検索できます。
- ⑦ **連絡先登録ボタン**
- ⑧ **連絡先編集ボタン**
- ⑨ **メニューボタン**
- ⑩ **連絡先**
選択している連絡先の登録内容を表示します。

2 [+]

連絡先の新規登録画面が表示されます。

- ・ 初めて連絡先を登録する際は、保存先の確認画面が表示されます。「新しいアカウントを追加」をタップして、アカウントを新規に設定することもできます。アカウントを登録していない場合は、連絡先保存の確認画面が表示されます。
- ・ 注意画面が表示された場合は、内容をご確認のうえ、「OK」をタップしてください。
- ・ 一度保存先を選択すると、次回からは同じ保存先に保存されますが、連絡先の新規登録画面で変更することができます。

3 名前を入力

名前入力欄の右側に表示されている ∨ をタップすると敬称などを入力できます。

4 必要に応じて他の項目を入力・設定

電話番号やメールアドレスなどを入力できます。

- ・「+」をタップすると項目を追加、「-」をタップすると項目を削除できます。
- ・電話番号入力欄などの右側に表示されているラベル欄をタップすると、ラベルを変更できます。

5 【保存】

連絡先をお気に入りに追加する

■ 連絡先画面から追加する

1 連絡先画面→追加したい連絡先をタップ

連絡先詳細画面が表示されます。

2 [★] (灰色)

★ (黄色) に変わり、お気に入りに追加されます。

■ お気に入り画面から追加する

1 連絡先画面→「お気に入り」タブ

2 [+] →追加したい連絡先にチェックを入れる→ [完了]

追加した連絡先がお気に入り画面に表示されます。

■ お気に入り画面のメニューを利用する

お気に入り画面で **1** をタップするとメニュー項目が表示され、選択した連絡先のお気に入りから削除や共有、ホーム画面へのショートカットの追加をしたり、ヘルプの確認ができます。

プロフィールを登録する

1 連絡先画面→ [プロフィールの設定]

マイプロフィール画面が表示されます。

2 必要な項目を入力→ [保存]



◎ 登録されているプロフィールを編集する場合は、プロフィールをタップ→ [✎] と操作して、編集してください。

連絡先を確認／編集する

1 連絡先画面→確認／編集したい連絡先をタップ

連絡先の詳細が表示されます。

✉ : SMSを作成できます。

✉ : メールを作成できます。

🔗 : 連絡先のリンクを設定できます。

■ 連絡先を編集する場合

[] と操作します。

グループ分けした連絡先を確認する

連絡先の登録時に設定したグループ別に、連絡先を管理・利用できます。

1 連絡先画面→「グループ」タブ

グループ画面が表示されます。

2 確認したいグループをタップ→連絡先をタップ

連絡先詳細画面が表示されます。

■ グループを追加／編集する

1 グループ画面→ [+]

・登録済みのグループを編集するには、グループ画面→編集したいグループをタップ→ [] → [グループを編集] と操作します。

2 グループ名を入力

3 [メンバーを追加] → 追加したい連絡先にチェックを入れる → [完了]

4 [保存]



◎ グループ画面で [] をタップするとメニュー項目が表示され、グループを削除や並べ替え、ヘルプの表示などの操作ができます。

電話番号を利用する

連絡先詳細画面で電話番号をタップするとSMSを送信することができます。また、ロングタッチするとコピーを行うことができます。

連絡先のメニューを利用する

連絡先画面／連絡先詳細画面で [] をタップするとメニュー項目が表示され、連絡先を削除／リンク、連絡先に関する設定などの操作が行えます。

連絡先をインポート／エクスポートする

連絡先をシステムメモリ（本体）やmicroSDメモリカード、au Micro IC Card（LTE）へインポート／エクスポートできます。

・連絡先によっては、データの一部がインポート／エクスポートされない場合があります。

インポートする

システムメモリ（本体）やmicroSDメモリカード、au Micro IC Card（LTE）に保存されている連絡先をインポートします。

1 連絡先画面→ [] → [設定] → [連絡先をインポート／エクスポート]

2 [システムメモリ（本体）からインポート]／[外部SDカードからインポート] / [SIMカードからインポート]

マルチメディア

カメラを利用する

「カメラ」アプリケーションを利用して、静止画の撮影や、動画の録画ができます。
本製品を傾けることで、横向きと縦向きのどちらでも撮影／録画ができます。

カメラをご利用になる前に

- ・レンズ部に指紋や油脂などが付くと、鮮明な静止画／動画を撮影できなくなります。撮影する前に、柔らかい布などでレンズをきれいに拭いてください。
- ・撮影時にはレンズ部に指や髪などがかからないようご注意ください。
- ・手ブレにご注意ください。画像がブレる原因となりますので、本体が動かないようにしっかりと持って撮影するか、タイマー機能を利用して撮影してください。
特に室内など光量が十分でない場所では、手ブレが起きやすくなりますのでご注意ください。
また、被写体が動いた場合もブレた画像になりやすいのでご注意ください。
- ・動画を録画する場合は、送話口を指などでおわないようご注意ください。また、録画時の声の大きさや周囲の環境によって、送話口の音声の品質が悪くなる場合があります。
- ・カメラ撮影時に衝撃を与えると、ピン트가ずれる場合があります。ピン트가ずれた場合はもう一度カメラを起動してください。

3 インポート先を選択

Googleアカウントなどを設定している場合は、インポート先が表示されます。

- ・システムメモリ（本体）／microSDメモリカードに2件以上のvCardファイルが保存されている場合は選択画面が表示され、1件／複数／全てから選択できます。
- ・「SIMカードからインポート」を選択した場合は、インポートしたい連絡先または「全て選択」にチェックを入れる→[完了]と操作します。

エクスポートする

連絡先をシステムメモリ（本体）やmicroSDメモリカード、au Micro IC Card (LTE)へエクスポートします。

1 連絡先画面→ [⋮] → [設定] → [連絡先をインポート／エクスポート]

2 [システムメモリ(本体)にエクスポート]／[外部SDカードにエクスポート]／[SIMカードにエクスポート]

- ・「システムメモリ（本体）にエクスポート」／「外部SDカードにエクスポート」を選択した場合は、すべての連絡先がエクスポートされます。
- ・「SIMカードにエクスポート」を選択した場合は、エクスポートしたい連絡先または「全て選択」にチェックを入れる→[完了]と操作します。

3 [OK]

- 次のような被写体に対しては、ピントが合わないことがあります。
 - 無地の壁などコントラストが少ない被写体
 - 強い逆光のもとにある被写体
 - 光沢のあるものなど明るく反射している被写体
 - ブラインドなど、水平方向に繰り返しパターンのある被写体
 - カメラからの距離が異なる被写体がいくつもあるとき
 - 暗い場所にある被写体
 - 動きが速い被写体
- 本製品は強い光が出ますので、フラッシュを目に近付けて点灯させないでください。フラッシュ点灯時は発光部を直視しないようにしてください。また、他の人の目に向けて点灯させないでください。視力低下などの障がいを起こす原因となります。
- 本製品の温度が高くなると、フラッシュがオフになる場合があります。本製品の温度が下がった後、フラッシュをオンにできます。
- マナーモード設定中でも静止画撮影時のシャッター音、動画録画の開始音や終了音は鳴ります。
- 不安定な場所に本製品を置いてタイマー撮影を行うと、メールの受信などでバイブレータが振動するなどして本製品が落下するおそれがあります。
- 本製品を利用して撮影または録音したものを複製、編集などする場合は、著作権侵害にあたる利用方法をお控えいただくことはもちろん、他人の肖像を勝手に使用、改変などと肖像権を侵害することとなりますので、そのような利用方法もお控えください。なお実演や興行、展示物などの中には、個人として楽しむなどの目的であっても、撮影または録音などが禁止されている場合がありますので、ご注意ください。
- お客様が本製品のカメラ機能を利用して公衆に著しく迷惑をかける不良行為などを行った場合、法律や条例/迷惑防止条例などに従って罰せられることがあります。

撮影画面の見かた

1 ホーム画面で [カメラ]

操作アイコンは初期状態のものです。



《静止画／動画撮影画面》

- 内側／外側カメラの切り替え**
- ショートカットメニュー (▶P.113)**
操作アイコンをタップすると、各設定が行えます。
- 設定メニュー (▶P.113)**
- 現在のモード**
設定中の撮影モードが表示されます。
- フォーカス**
- 保存先 (microSDメモリカード)**
保存先がmicroSDメモリカードのときに表示されます。また、microSDメモリカードのデータ容量が少なくなると、アイコンの右側にmicroSDメモリカードに保存できる静止画の枚数(目安)が表示されます。設定の状況をお知らせする各種アイコンが、保存先アイコンの左側に表示されることがあります。電池残量が少ないときや充電中の状態をお知らせするアイコンが、保存先アイコンの右側に表示されることがあります。
- シャッター (動画撮影用)**
- シャッター (静止画撮影用)**
- 撮影モードメニュー**
撮影モードメニューが表示されます (▶P.115)。

⑩ プレビュー縮小表示

直前に撮影した静止画／動画のプレビューが縮小表示され、タップするとプレビュー画面（▶P.114）を表示できます。

memo

- ◎カメラを起動して約2分間何も操作をしないと、カメラは自動的に終了します。
- ◎ショートカットメニューに表示される操作アイコンは、変更できます（▶P.113）。

■ ショートカットメニューを編集する

1 静止画／動画撮影画面で

カメラの設定メニューが表示されます。

2 操作アイコンをロングタッチ→ショートカットメニューの入れ替えたい位置までドラッグして指を離す

- 操作アイコンが3つ設定されている場合は、四角枠の付いた操作アイコンの位置までドラッグすると、操作アイコンが入れ替わります。四角枠のみが表示されている場合や設定アイコンが1つ、または2つ登録されている場合は、ドラッグすると操作アイコンが追加されます。

■ 撮影前の設定をする

カメラの設定メニューから、撮影の各種設定ができます。

- 各撮影画面に配置した操作アイコンをタップしても、設定を変更できません。

1 静止画／動画撮影画面で

カメラの設定メニューが表示されます。

2 上下にスクロールして項目を選択→各項目を設定

画像サイズ	撮影サイズを選択します。
連写	連写機能のオン／オフを設定します。 • オンにすると最大20枚まで連写可能です。
低照度を検出	撮影時に光量不足を認識し、カメラを調節するかどうかを設定します。
顔検出	顔検出のオン／オフを設定します。
ISO	ISO感度を選択します。
測光モード	測光方法を「中央部重点測光」「多分割測光」「スポット測光」から選択します。
タップして撮影	画面をタップして撮影するかどうかを設定します。
保存設定	HDR（リッチトーン）モードで撮影したときに、元の写真も同時に保存するかどうかを設定します。
動画サイズ	撮影サイズを選択します。
録画モード	▶P.116「録画モードを設定する」
動画手振れ補正	動画撮影時の手振れ補正機能のオン／オフを設定します。
エフェクト	撮影時のエフェクトを選択します。 • 「ダウンロード」をタップすると、エフェクトをダウンロードして追加することができます。 • エフェクト一覧からエフェクトを非表示にするには、[エフェクトを管理] → 非表示にしたいエフェクトのチェックを外す → [完了] と操作します。
フラッシュ	ライトのオン／オフを設定します。
タイマー	タイマー機能を利用するかどうかを設定します。
表示モード	撮影時に、画像サイズ通りの表示にするか、全画面表示にするかを設定します。 • 「画像サイズ」が16:9のものに設定されている場合のみ設定できます。
位置情報タグ	撮影した静止画／動画に位置情報を付加するかどうかを設定します。

左右反転して保存	内側カメラで撮影したときに、左右を反転して保存するかどうかを設定します。 ・内側カメラに切り替えると設定できます。
保存場所	撮影した静止画／動画の保存先を「本体」「外部SDカード」から選択します。
写真／動画を確認	撮影後にプレビューを表示するかどうかを設定します。
ホワイトバランス	撮影時の光の状況に応じた設定を選択し、画像の色合いを補正します。
露出補正	露出補正をします。
グリッドライン	ガイドラインを表示するかどうかを設定します。
音量キー	音量キーを押したときの操作を「写真を撮影」「動画を撮影」「ズーム」から選択します。
音声コントロール	音声コントロール機能のオン／オフを設定します。
ヘルプ	ヘルプを表示します。
設定をリセット	設定をリセットします。

3 設定が終了したら

memo


◎メニュー項目によっては、同時に設定できない場合があります。

プレビュー画面を利用する


プレビュー画面を表示して、撮影した静止画／動画を確認できます。また、Eメールで送信したり壁紙に設定したりできます。


1 静止画／動画撮影画面→プレビュー縮小表示をタップ


プレビュー画面が表示され、画面上部にはメニュー項目が表示されません。


- ・左右にスライドすると他の静止画／動画を確認できます。動画に切り替えて  →アプリケーションを選択→[今回のみ] / [毎回] と操作すると、動画が再生されます。


2 画面上部のメニュー項目を選択

 (プレーヤーを変更)：メディアファイル共有機能対応機器と接続して静止画を表示します (▶P.156)。

 (共有)：表示中の静止画／動画を送付したり、Dropboxなどにアップロードしたりできます。

 (編集)：表示中の静止画を編集します。

 (削除)：表示中の静止画／動画を削除します。

 (他のオプション)：メニューを表示します。

memo

◎メニュー項目が表示されていない場合は、画面をタップすると表示されます。






◎メニュー項目はデータの種類により異なります。





撮影モードを変更する

1 ホーム画面で [カメラ]

静止画/動画撮影画面が表示されます。

2 [モード]

3	自動	色合いや明るさを最適化するように露光を自動調整します。
	美肌モード	人物を撮影する場合、自動的に顔の写りを整えます。
	パノラマ	水平/垂直方向に本製品を動かしてパノラマ写真を撮影できます。
	HDR (リッチトーン)	HDR (高ダイナミックレンジ) モードで画像を撮影できます。
	ショット&エフェクト [*]	1回のシャッターで8枚の静止画を撮影します。撮影した静止画の中から最も鮮明な画像が表示されます。 <ul style="list-style-type: none"> ベストフォトとして保存したい静止画を選んで保存する場合は、保存したい静止画を選択→画面上部の  (白色) をタップして  (黄色) にする→  と操作します。
	ベストフェイス	1回のシャッターで5枚の静止画を撮影します。検出した被写体ごとにベストフェイスを選択し、合成した画像を保存できます。 <ul style="list-style-type: none"> 検出した被写体をタップ→サムネイルからベストフェイスの静止画をタップ→  と操作します。
	ドラマショット	動いている被写体を多重露出で撮影して、1枚の静止画に合成して保存できます。 <ul style="list-style-type: none"> 合成したい静止画にチェックを入れる→  と操作します。 <input checked="" type="checkbox"/> をタップすると合成する範囲の調整などを編集できます。

ショット&エフェクト [*]	消しゴム	静止画に写りこんだ動く被写体を検出して、静止画から削除することができます。 <ul style="list-style-type: none">  → [OK] と操作します。  /  をタップすると被写体を削除/復元できます。
	パンニング撮影	被写体がすばやく動いて見えるように、背景をぼかします。 <ul style="list-style-type: none">  → [OK] と操作します。 編集画面で「オブジェクト」をタップすると、被写体を編集できます。 編集画面で「モーションブラー」をタップすると、背景のぼかしを調整できます。 「角度」をタップ→ダイヤルをドラッグすると、ぼかしの角度を変えることができます。 「モーションブラー」をタップ→スライダを左右にドラッグすると、ぼかしのレベルを調整することができます。
デュアルカメラ		外側カメラと内側カメラを使って、例えば風景(静止画/動画)の中に自分の顔写真を貼り付けた撮影などができます。 <ul style="list-style-type: none"> 「動画のサイズ」が「1920×1080(16:9)」の場合は最大5分、それ以外の場合は最大10分間の動画を撮影できます。
モードを管理		カメラの撮影モードを追加または並べ替えることができます。
ダウンロード		Galaxy Appsから撮影モードをダウンロードできます。

※ エフェクトは写真を撮影した直後か、「ギャラリー」アプリケーションのスタジオで選択できます。

 memo

- ◎「ドラマショット」を選択する場合は、次の点に注意して撮影してください。
 - ・本製品を1箇所に固定し、一方向に動いている1つの被写体を対象に、背景が動いていないところで撮影してください。
 - ・背景と被写体の色彩が似ている場合は、正しく撮影できない場合があります。
 - ・大きい／小さい被写体や、バスや自動車など長い被写体は、正しく撮影できない場合があります。
- ◎「消しゴム」を選択する場合は、次の点に注意して撮影してください。
 - ・撮影時は本製品が動かないように固定して撮影してください。
 - ・背景と被写体の色彩が似ている場合、被写体の動きが大きすぎる／小さすぎる場合、または動いている被写体が多い場合は、被写体の動きが一部のみ検出されたり、被写体が削除できないことがあります。
 - ・被写体の動きが小さすぎる／大きすぎる場合は、正しく削除できない場合があります。
 - ・動いている被写体が多い場合は、一部の被写体のみが検出されることがあります。
- ◎「パノラマ」を選択する場合は、次の点に注意して撮影してください。
 - ・カメラを一方向にゆっくりと動かし、青枠が白枠からずれないようにしてください。
 - ・被写体の背景が無地の壁や虚空などの場合は、正しく撮影できないことがあります。

録画モードを設定する

録画モードを変更することで、Eメール用制限、ファストモーションの動画を撮影できます。

1 ホーム画面で [カメラ]

静止画／動画撮影画面が表示されます。

2 [🔍] → [録画モード]

3	標準	標準の動画撮影を行います。
	Eメール用制限	動画サイズの上限を50MBとして録画します。
	ファストモーション	ファストモーション再生用として録画します。 「×2」「×4」「×8」

 memo

◎録画モードを変更すると、動画サイズが変更されることがあります。

静止画を撮影する

1 ホーム画面で [カメラ]

静止画/動画撮影画面が表示されます。

2 被写体にカメラを向ける

- 画面をピンチすると、ズーム調節ができます (1.0倍~最大約4.0倍)。ただし、撮影モードの設定によっては、ズーム調整ができない場合があります。
- 画面をタップすると、フォーカスが移動してピントを合わせます。

3 [📷] / 音量キー

シャッター音が鳴って撮影され、撮影した静止画が自動的に保存されます。

- 撮影時に [📷] をロングタッチ/音量キーを1秒以上長押しすると、最大20枚までの連写ができます (連写機能をオンに設定している場合のみ)。

memo

- ◎ 撮影した静止画はJPEG形式で保存されます。
- ◎ 設定メニューの「音量キー」で「写真を撮影」を選択した場合、音量キーを押しても静止画を撮影できます (▶P.114)。

動画を録画する

1 ホーム画面で [カメラ]

静止画/動画撮影画面が表示されます。

2 被写体にカメラを向ける→ [📷]

開始音が鳴り、動画撮影が開始されます。

- 画面をピンチすると、ズーム調節ができます (1.0倍~最大約4.0倍)。ただし、撮影モードの設定によっては、ズーム調整ができない場合があります。
- [🔴] をタップすると、撮影を一時停止できます。
- [📷] をタップすると、動画撮影中に静止画も撮影できます。

3 撮影を終了するときは [🔴]

終了音が鳴り、撮影した動画が自動的に保存されます。

memo

- ◎ 動画を撮影する前に、メモリに十分な空きがあることを確認してください。
- ◎ 設定メニューの「音量キー」で「動画を撮影」を選択した場合、音量キーを押しても動画を撮影できます。なお、「音量キー」で「写真を撮影」を選択した場合、音量キーを押すと、動画撮影中に静止画も撮影できます (▶P.114)。
- ◎ 動画撮影中に静止画を撮影した場合、シャッター音が録音されます。
- ◎ 動画撮影中に撮影できる静止画の撮影サイズは「3264×1836 (16:9)」に固定されています。

ギャラリー

本体やmicroSDメモ리카ードに保存されている静止画や動画を閲覧したり、整理したりできます。対応しているファイル形式は次の通りです（ファイルによっては再生できない場合があります）。

- ・ 利用方法などの詳細については、データ一覧画面で [:] → [ヘルプ] と操作してヘルプをご参照ください。

静止画	JPEG、PNG、GIF、AGIF、BMP、WBMP、WEBP
動画	MP4、M4V、3GP、3G2、WMV、ASF、AVI、FLV、MKV、WEBM



◎本製品は、DivXには対応していません。DivX形式のファイルを再生するには、対応するアプリケーションをインストールしてください。

1 ホーム画面で [ギャラリー]

データ一覧画面が表示されます。

- ・ をタップするとカメラを起動できます。
- ・ 画面左上の をタップすると並べ替えやフィルターを選択できます。
- ・ [:] → [表示するコンテンツ] → 登録済みのオンラインサービスにチェックを入れる → [OK] と操作すると、オンラインサービスに保存されているコンテンツを表示できます。
- ・ 並べ替えが「アルバム」の場合はアルバム一覧画面が表示されます。アルバムを選択するとデータ一覧画面が表示されます。



◎並べ替えが「アルバム」の場合はデータ一覧画面で画面を左右にフリックすると、アルバム一覧の表示/非表示が切り替えられます。

静止画／動画を表示する

1 データ一覧画面→表示したい静止画／動画をタップ

静止画／動画が表示されます。静止画／動画を切り替えるには画面を左右にスクロールします。

- ・ 画面をタップすると操作アイコンが表示され、データの送信やオンラインサービスへのアップロード、削除などの操作ができます。

2 動画を再生する場合は、 をタップ

動画が再生されます。

- ・ 選択メニューが表示された場合は、使用するアプリケーションを選択して「今回のみ」／「毎回」をタップしてください。

ギャラリーのメニューを利用する

アルバム一覧画面／データ一覧画面で をタップすると、アルバム／データの選択や表示するコンテンツの設定などの操作が行えます。アルバム／データを選択した状態で、画面上の各アイコンをタップすると、アルバム／データの送信やアップロード、削除、スライドショーや移動／コピー、イベントに追加、スタジオなどの操作が行えます。

- ・ 利用できる機能はアルバム／データの種類や画面によって異なります。



- ◎静止画の印刷は、本製品に対応するプリンターでのみ印刷できます。
- ◎ホーム画面で [基本機能] → [設定] → [アプリ] → [ギャラリー] と操作すると、Wi-Fi[®]接続時のみ同期、タグバディ、フェイスタグなどの設定や操作が行えます。

ビデオ

本体やmicroSDメモ리카ードに保存されている動画を再生できます。再生できるファイル形式は次の通りです（ファイルによっては再生できない場合があります）。

ファイル形式	MP4、M4V、3GP、3G2、WMV、ASF、AVI、FLV、MKV、WEBM
--------	--



◎本製品は、DivXには対応していません。DivX形式のファイルを再生するには、対応するアプリケーションをインストールしてください。

1 アプリ一覧画面で【ビデオ】

動画一覧画面が表示されます。

- 動画一覧画面には、本製品／microSDメモ리카ードに保存されている動画が表示されます。
- をタップすると、動画一覧の表示形式の変更ができます。
- をタップすると、動画の検索ができます。

2 再生したい動画をタップ

再生画面が表示されます。

を2回タップすると、動画一覧画面に戻ります。

■再生中の操作について

再生画面をタップすると操作アイコンが表示され、次の操作ができます。

	画面を縦／横に回転します。 • 「画面回転」(▶P.170) がオンの場合は表示されません。
	再生画面を小さくします。他のアプリケーションを操作しながら動画を再生できます。
	メディアファイル共有機能対応機器と接続して動画を再生します。
	スライドして音量を調節します。
	メニューを表示します。
	再生画面で を押すとロックが設定され、画面をタップしても操作できません。 • ロックを解除するには再度 を押します。 • をタップしてもロックを解除できます。
	動画の再生スピードを調節します。 • 表示するには再生画面で [] → [設定] → [再生スピード] にチェックを入れる → [閉じる] と操作します。
	画面を画像として保存（スクリーンショット）します。 • 表示するには再生画面で [] → [設定] → 「キャプチャ」にチェックを入れる → [閉じる] と操作します。 • 一時停止中に / をタップすると次のフレーム／前のフレームに移動します。
	操作パネルを画面の左右に移動します。
	再生位置を表示します。左右にドラッグすると再生位置を変更できます。
	ビデオリストの表示／非表示を切り替えます。
	タップすると再生中の動画の先頭／次の動画にスキップします。ロングタッチすると早戻し／早送りします。
	一時停止／再生します。
	動画の表示サイズを切り替えます。

memo

- ◎再生中に音量キーを押したり画面の右端を上下にスワイプすることで音量を調節できます。ビデオリストの表示中は調節できません。
- ◎再生中に画面の左端を上下にスワイプすることで画面の明るさを調節できます。ビデオリストの表示中は調節できません。
- ◎画面を左右にフリックしても早戻し／早送りできます。

ビデオのメニューを利用する

動画一覧画面／再生画面で **■** をタップするとメニュー項目が表示され、動画の編集、動画の共有、Bluetooth®デバイスへの音声出力、動画の削除などの操作が行えます。

ミュージック

本体やmicroSDメモ리카ードに保存されている楽曲データを簡単に再生できます。
再生できるファイル形式は次の通りです（ファイルによっては再生できない場合があります）。

ファイル形式	MP3、M4A、3GA、AAC、OGG、OGA、WAV、WMA、AMR、AWB、FLAC、MID、MIDI、XMF、MXMF、IMY、RTTTL、RTX、OTA
--------	--

memo

- ◎本製品は、A C3には対応していません。A C3形式のファイルを再生するには、対応するアプリケーションをインストールしてください。

楽曲データを再生する

1 アプリー覧画面で【ミュージック】

初めて起動したときは、「プレイリスト」タブのデータ一覧画面が表示されます。

2 画面上部のタブを選択→再生したい楽曲データを選択

再生パネルが表示され、楽曲データが再生されます。画面左下のジャケット画像表示領域をタップすると、再生画面が表示されます。

- ・「曲」タブ以外の各タブでアルバムなどを選択するとデータ一覧画面が表示され、再生したい楽曲データをタップすると再生されます。
- ・「ミュージックスクエア」タブでは画面の指示に従って操作すると、プレイリストが作成されます。

■再生中の操作について

再生画面の操作アイコンを利用して、次の操作ができます。

	メディアファイル共有機能対応機器と接続して楽曲を再生します。
	スライドして音量を調節します。 ・ をタップすると、SoundAliveを設定できます。
	メニューを表示します。
	シャッフル機能のオン/オフを設定します。
	プレイリストの「お気に入りの曲」に再生中の楽曲データを追加します。
	リピートモードを設定します（リピートOFF/全てリピート/1曲リピート）。
	再生位置を表示します。左右にドラッグすると再生位置を変更できます。
	データ一覧を表示します。
	一時停止/再生します。
	タップすると再生中の曲の先頭/次の曲にスキップします。ロングタッチすると早戻し/早送りします。
	おすすめ一覧を表示します。

memo

- ◎ 再生中に を押して画面ロックを設定しても、再生は継続されます。画面ロック中に を押してロック画面を表示すると楽曲データの再生画面が表示され、画面ロックを解除しなくても再生/一時停止/前後スキップの操作ができます。
- ◎ 再生中に音量キーを押しても音量を調節できます。

ミュージックのメニューを利用する

各タブ画面/再生画面で をタップするとメニュー項目が表示され、プレイリストの操作や楽曲データの削除、再生に関する設定などの操作が行えます。

プレイリストを利用する

- 1 ホーム画面で【ミュージック】→「プレイリスト」タブ→【プレイリストを作成】
- 2 プレイリスト名を入力→【OK】→【+】→追加したい楽曲データにチェックを入れる→【完了】

memo

- ◎ 再生中の楽曲データをプレイリストに追加するには、再生画面→【】→【プレイリストに追加】→追加したいプレイリストを選択します。また、プレイリストを作成して追加するには、再生画面→【】→【プレイリストに追加】→【+】→プレイリスト名を入力→【OK】と操作します。

プレイリストを編集する

- 1 アプリー覧画面で【ミュージック】→「プレイリスト」タブ→編集したいプレイリストを選択→編集操作を行う
 - ・【+】をタップすると、プレイリストに楽曲データを追加できます。
 - ・【】→【タイトルを編集】と操作すると、プレイリスト名を変更できます。
 - ・楽曲データをロングタッチ→【】と操作すると、プレイリストから楽曲データを削除できます。

テレビ

放送波の受信状況に応じてフルセグ/ワンセグを切り替えて視聴できます。

フルセグは、地上デジタルテレビ放送サービスをハイビジョン画質で視聴できます。

ワンセグは、モバイル機器向けの地上デジタルテレビ放送サービスで、映像・音声とともにデータ放送を受信することができます。

「ワンセグ」/「フルセグ」サービスの詳細については、下記ホームページでご確認ください。

一般社団法人 放送サービス高度化推進協会
(<http://www.apab.or.jp/>)

テレビをご利用になる前に

■ テレビ利用時のご注意

- ・ テレビの利用には、データ通信料はかかりません。ただし、通信を利用したデータ放送の付加サービスなどを利用する場合はデータ通信料がかかります。なお、NHKの受信料については、NHKにお問い合わせください。
- ・ テレビ画面表示中は、本製品が温くなり、長時間肌に触れたまま使用していると低温やけどの原因となる場合がありますのでご注意ください。
- ・ 耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて視聴すると、聴力に悪い影響を与えることがありますので、ご注意ください。

■ 電波について

次のような場所では、電波の受信状態が悪く、画質や音質が劣化したり受信できない場合があります。

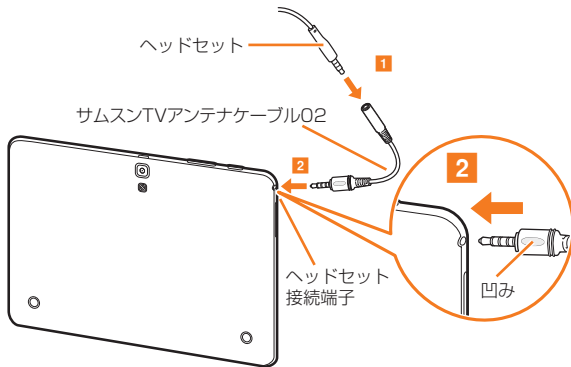
- ・ 放送局から遠い地域または極端に近い地域
 - ・ 移動中の電車・車、地下街、トンネルの中、室内など
 - ・ 山間部やビルの陰
 - ・ 高圧線、ネオン、無線局、線路、高速道路の近くなど
 - ・ その他、妨害電波が多かったり、電波が遮断されたりする場所
- 電波の受信状態を改善するためには、次のことをお試しください。
- ・ 室内で視聴する場合は、窓のそばの方がより受信状態が改善されます。

■ サムスンTVアンテナケーブル02について

本製品のみでテレビを視聴するには、付属している2つのケーブルのうちサムスンTVアンテナケーブル02をご使用ください。

テレビの音声をスピーカーから出力する場合には、サムスンTVアンテナケーブル02のみ、本製品へ接続してください。テレビの音声をヘッドセットから出力する場合は、サムスンTVアンテナケーブル02にヘッドセットを接続してから、本製品へ接続してください。

- 1 ヘッドセットの接続プラグをサムスンTVアンテナケーブル02のヘッドセット接続端子に接続
- 2 サムスンTVアンテナケーブル02の接続プラグを、本製品のヘッドセット接続端子に図の向きで接続



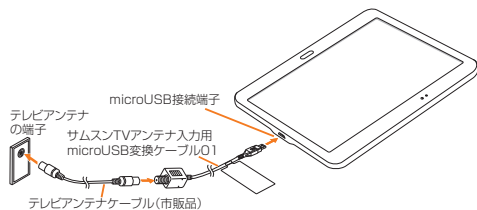
memo

- サムスンTVアンテナケーブル02にヘッドセットを接続しても音声の出力が切り替わらない場合は、ヘッドセットのスイッチを押してください。
- サムスンTVアンテナケーブル02の接続プラグを正しい向きで接続しなかった場合、接続不良の原因となります。

■ サムスンTVアンテナ入力用microUSB変換ケーブル01について

サムスンTVアンテナ入力用microUSB変換ケーブル01は、市販のテレビアンテナケーブルを使用して、地上デジタル放送を安定して視聴するためのものです。

- 1 サムスンTVアンテナ入力用microUSB変換ケーブル01の接続プラグをmicroUSB接続端子に接続
- 2 市販のテレビアンテナケーブルのF型コネクタをサムスンTVアンテナ入力用microUSB変換ケーブル01のF型コネクタに接続
- 3 市販のテレビアンテナケーブルのもう一方のコネクタをテレビアンテナの端子に差し込む




テレビの初期設定をする

テレビを初めて起動したときは、視聴するエリアを設定します。設定が完了すると、テレビを見ることができます。

- 1 ホーム画面で [基本機能] → [テレビ]
- 2 テレビアンテナの確認画面 → [OK] → チャンネル設定の確認画面 → [OK] → 地域を選択 → 都道府県を選択 → ローカルエリアを選択 → [OK]

テレビを見る

- 1 ホーム画面で [基本機能] → [テレビ]
視聴画面が表示されます。
ステータスバーに  が表示されます。

視聴画面について



《視聴画面(ワンセグ)》



《視聴画面(フルセグ)※》

※データ放送画面

- ① **タブ**
タップすると各タブに切り替わります。
- ② **受信レベルと視聴中の放送サービス（フルセグ/ワンセグ）**
タップすると、モード選択でフルセグ/ワンセグ/自動切替を選択できます。
- ③ **テレビ映像**
左右にフリックすると、チャンネルを切り替えます。
ロングタッチすると、番組の詳細情報を表示します。
- ④ **字幕**
[字幕] → [設定] → [字幕/音声] → [字幕] → [字幕1] / [字幕2]
と操作すると、字幕が表示されます。
- ⑤ **全画面表示**
タップすると全画面表示になります。
- ⑥ **チャンネルの切り替え**
- ⑦ **ポップアップTV画面**
タップすると、ポップアップTV画面になります。他のアプリを操作しながらテレビ（フルセグ/ワンセグ）を視聴できます。
ポップアップTV画面をダブルタップすると視聴画面に戻ります。
- ⑧ **チャンネル/番組名**
- ⑨ **dボタン（フルセグのみ有効）**
データ放送画面を表示します。
- ⑩ **番組表**
タップすると、視聴中チャンネルの番組一覧を表示します。録画/視聴予約を行うこともできます。
- ⑪ **メニューボタン**
- ⑫ **データ放送**
- ⑬ **データ放送操作パネル（ワンセグ）**
▲/▼で項目にカーソルを合わせ、[OK] をタップして項目を選択します。リンク先のデータ放送が表示されます。
⏪ をタップすると、リンクの履歴を戻ります。
• ⏩ をタップすると、テンキーを表示します。
- ⑭ **チャンネル一覧**
タップするとチャンネルを表示します。

⑮ 双方向サービスボタン（フルセグ）

青・赤・緑・黄の4色ボタンを利用して、視聴者参加型クイズやアンケート、投票などを行うことができます。
また、◀/▶/⏪/⏩ で項目にカーソルを合わせ、[OK] をタップして項目を選択します。リンク先のデータ放送が表示されます。
⏪ をタップすると、リンクの履歴を戻ります。
• ⏩ をタップすると、テンキーを表示します。



- 番組名が表示されていない場合は、テレビ映像をタップすると表示されます。

■ 視聴画面でのキー操作

⏪ で画面をロックします。ロック中は ⏪ が表示され、音量の変更以外の操作ができません。
音量キーで音量を調節します。

■ テレビを終了する

1 視聴画面で ⏪ → [OK]

視聴画面で ⏪ を押してホーム画面に戻っても、テレビは終了しません。



- テレビを起動したり、チャンネルを変更したときは、デジタル放送の特性として映像やデータ放送のデータ取得に時間がかかる場合があります。
- 電波状態によって映像や音声途切れたり、止まったりする場合があります。
- テレビ視聴時、「消音」(▶ P.38) 機能で音声を自動的にミュートすることはできませんが、音量キーを使用することで、手動で音声をミュートにできます。
- マナーモードに設定していても、音量 (▶ P.174) の設定によっては音声が再生されることがありますので、音量キーで音量を調節してください。

視聴中の番組を録画する

1 視聴画面で [録] → [録画]

録画が開始されます。

- 録画中は「●REC」が表示されます。
- 録画を停止するには [録] をタップします。

memo

- 受信状態の安定した場所で録画してください。受信状態が不安定な場合、録画されることがあります。
- 録画中にデータ通信サービスを行うと、テレビの電波状態が悪くなり、正常に録画できなくなる場合があります。
- 録画しているテレビ番組が有料放送やコピー制御されている場合や、放送エリアが変わった場合は、録画が途中で終了する場合があります。
- 録画開始から10秒が経過するまでは、録画を停止することができません。

視聴中の設定を行う

1 視聴画面 → [録]

2	終了	テレビを終了します。
	録画	▶P.125 「視聴中の番組を録画する」
	Gガイド番組表を起動	▶P.125 「Gガイド番組表から予約する」
	データ放送トップに戻る	データ放送のトップページに戻ります。
	情報／チャンネルリストを更新	視聴エリアの情報を更新します。
	チャンネル入力	直接チャンネル番号を入力してチャンネルを表示します。
	番組情報	番組の詳細情報を表示します。
	TVリンク	▶P.127 「TVリンクを利用する」
	BTヘッドセットに転送／本体で聴く	Bluetooth®対応機器と接続時に、音声の出力先を切り替えます。
	設定	▶P.127 「テレビを設定する」

テレビの録画や視聴を予約する

番組表から予約する

1 視聴画面で [目] → 予約する番組をタップ

番組をタップすると、番組の詳細情報を確認できます。

2 [予約] → [録画予約(フルセグ)] / [録画予約(ワンセグ)] ／ [視聴予約]

予約した番組がすでに放送中だった場合、すぐに録画が開始されます。

Gガイド番組表から予約する

auテレビ.Gガイドを利用できます。番組表から視聴画面の表示や視聴／録画の予約ができます。

- 視聴や予約ができるのは地上デジタル放送の番組のみです。
- 「auテレビ.Gガイドプレミアム(月額200円、税抜)」にご登録いただくと、auテレビ.Gガイドのすべての機能を利用することができます。ここでは、無料で利用できる機能について説明しています。
- auテレビ.Gガイドのすべての機能を利用するには、au IDが必要になります。au IDの設定方法については、『設定ガイド Android 6.0対応版』をご参照ください

1 視聴画面で [録] → [Gガイド番組表を起動]

Gガイド番組表画面が表示されます。画面の指示に従って操作してください。

- ホーム画面で [基本機能] → [auテレビ.Gガイド] → [番組表] でも同様に操作できます。
- 番組表を初めて起動したときは、登録画面が表示されます。内容をご確認のうえ、画面の指示に従って操作してください。


手動で予約する


- 1 視聴画面で「予約」タブ
- 2 [+]
- 3 新規番組予約画面で各項目を入力→ [予約]


予約を確認する


- 1 視聴画面で「予約」タブ

予約一覧が表示されます。

: 録画予約 (成功した予約を含む)

: 視聴予約 (成功した予約を含む)

: 失敗した録画予約

: 失敗した視聴予約


- ・未実行の予約をタップすると、予約内容を変更できます。
- ・未実行の予約をロングタッチ→ [削除] → [OK] と操作すると、予約を削除できます。
- ・実行済みの予約をタップすると、結果の確認と一覧からの削除ができます。

録画した番組を再生する

- 1 視聴画面で「TVファイル」タブ
- 2 再生する番組をタップ
再生画面が表示されます。

チャンネルを設定する


エリア情報を設定する

- 1  → [設定] → [エリア情報設定] → 登録するエリアを選択
- 2 地域を選択 → 都道府県を選択 → ローカルエリアを選択
チャンネルが検索され、選択したエリアにチャンネルリストが登録されます。
- 3 [OK]



◎ エリア情報を削除するには、削除するエリアをロングタッチ → [設定リセット] と操作します。

エリア情報を切り替える

- 1  → [設定] → [エリア切替] → 切り替えるエリアをタップ
切替先のエリアにチャンネルリストが登録されていない場合は、エリア情報の設定を行います。

TVリンクを利用する

TVリンクを登録する

- 1 データ放送を操作して、TVリンク登録可能な項目を選択
TVリンクの登録方法は、番組によって異なります。



◎リンク先によっては、TVリンクを登録できないことがあります。

TVリンクを表示する

- 1 **[F4]** → **[TVリンク]**
登録したTVリンクが一覧表示されます。
- 2 **TVリンクを選択** → **[OK]**
登録したサイトに接続します。



◎TVリンクを削除するには、削除するTVリンクをロングタッチ → **[削除]** → **[OK]** と操作します。

テレビを設定する

- 1 視聴画面で **[F4]** → **[設定]**

2	字幕／音声	字幕	字幕を表示するかどうかを設定します。
		文字スーパー	文字スーパーを表示するかどうかを設定します。
		音声	マルチ音声放送などで、複数の音声を放送している番組で聞く音声を設定します。
		音声多重	二重音声放送などで、複数の音声を放送している番組で聞く音声を設定します。
	SoundAlive	本製品にヘッドセットを取り付けて視聴する際のSoundAliveを設定します。	
	保存先設定	録画したデータの保存先を設定します。	
	TVオフタイマー	自動的にテレビを終了するまでの時間を設定します。	
	エリア切替	視聴エリアを切り替えます。	
	エリア情報設定	新しく視聴エリアを登録します。	
データ放送	録画設定	映像とテキストの両方を録画するか、映像のみを録画するかを設定します。	
	通信接続確認	通信接続確認を行うかどうかを設定します。	
	位置情報確認	位置情報確認を行うかどうかを設定します。	
	製造番号通知	IMEIの通知を行うかどうかを設定します。	
	郵便番号	郵便番号を設定します。フルセグのデータ放送のときに、天気などの地域情報に反映されます。	
	放送局データ削除	放送局のデータを削除します。	
	RMPメーカー ID [※]	RMP方式における受信機のメーカーを識別するIDを表示します。	
	CAS情報の初期化 [※]	CAS情報を再受信します。	
	アンテナの種類	アンテナの種類を設定します。	

※ フルセグの場合のみ表示されます。

Androidアプリ

Google Playを利用する

Google Playを利用すると、便利なアプリケーションやゲームに直接アクセスでき、本製品にダウンロード、インストールすることができます。また、アプリケーションのフィードバックや意見を送信したり、好ましくないアプリケーションや本製品と互換性がないアプリケーションを不適切なコンテンツとして報告したりすることができます。

- Google Playの利用にはGoogleアカウントの設定が必要です (▶P.34)。
- ダウンロードするアプリケーションやゲームには無料のものと有料のものがあり、Google Playのアプリケーション一覧ではその区別が明示されています。有料アプリケーションの購入、返品、払い戻し請求などの詳細については、「Google Playヘルプ」(▶P.128) でご確認ください。

Google Playをご利用になる前に

- アプリケーションのインストールは安全であることを確認のうえ、自己責任において実施してください。アプリケーションによっては、ウイルスへの感染や各種データの破壊などが発生する可能性があります。
- 万一、お客様がインストールを行ったアプリケーションなどにより不具合が生じた場合、当社では責任を負いかねます。この場合、保証期間内であっても有償修理となる場合がありますので、あらかじめご了承ください。
- お客様がインストールを行ったアプリケーションなどにより、自己または第三者への不利益が生じた場合、当社では責任を負いかねます。
- アプリケーションによっては、自動的にデータ通信を行うものがあります。データ通信は、切断するかタイムアウトにならない限り、接続されたままです。手動でデータ通信を切断するには、ホーム画面で[基本機能] → [設定] → [接続] → [その他ネットワーク] → [モバイルネットワーク] と操作して、「モバイルデータ」のチェックを外します。
- アプリケーションによっては、自動的にアップデートが実行される場合があります。

アプリケーションを検索し、インストールする

1 ホーム画面で [Playストア]

Google Play画面が表示されます。

2 アプリケーションを検索→インストールしたいアプリケーションをタップ

カテゴリーなどから検索してアプリケーションをタップすると、アプリケーションの情報画面が表示されます。

3 説明やレビューなどの情報を確認→画面の指示に従って購入/ダウンロード

ダウンロード・インストールが開始されます。

- 有料アプリケーションを購入する場合は、ダウンロードする前に購入手続きを行います。支払い方法の設定と、Googleウォレットで使用するクレジットカード情報を登録してください。



◎ 有料アプリケーションに対する支払いは一度だけです。一度ダウンロードした後のアンインストールと再ダウンロードには料金がかりません。

■ 返金を請求する

購入後一定時間内であれば返金を請求することができます。クレジットカードには課金されず、アプリケーションは本製品からアンインストールされます。

- 返金請求は、各アプリケーションに対して最初の一度のみ有効です。過去に一度購入したアプリケーションに対して返金請求をし、同じアプリケーションを再度購入した場合には、返金請求はできません。

■ Google Playヘルプ

Google Playについてヘルプが必要なときや質問がある場合は、[≡] → [ヘルプとフィードバック] と操作します。

- 選択メニューが表示された場合は、使用するアプリケーションを選択して「今回のみ」/「毎回」をタップしてください。

アプリケーションを管理する

インストールされたアプリケーションを表示したり、設定を調整したりできます。多くのアプリケーションにインストールを補助するウィザードが付属しています。

提供元不明のアプリケーションのダウンロード

提供元不明のアプリケーションをダウンロードする前に、本体の設定でダウンロードを許可する必要があります。

ダウンロードするアプリケーションは発行元が不明な場合もあります。お使いの端末と個人データを保護するため、Google Playなどの信頼できる発行元からのアプリケーションのみダウンロードしてください。

- 1 ホーム画面で [基本機能] → [設定] → [一般] → [セキュリティ] → 「提供元不明のアプリ」にチェックを入れる
- 2 注意事項を確認 → [OK]

インストールされたアプリケーションを削除する

インストールされたアプリケーションを削除する前に、アプリケーション内に保存されているデータも含めて、そのアプリケーションに関連する保存しておきたいコンテンツをすべてバックアップしておいてください。

・アプリケーションによっては削除できないものもあります。

- 1 ホーム画面で [基本機能] → [設定] → [アプリ] → [アプリケーション管理]
- 2 削除するアプリケーションをタップ
- 3 [削除] → [OK]



- Google Playやau Marketからダウンロード、インストールしたアプリケーションはすべてアンインストールすることができます。
- アプリケーション内に保存されているデータを消去する場合は、ホーム画面で [基本機能] → [設定] → [アプリ] → [アプリケーション管理] → データを消去するアプリケーションをタップ → [ストレージ] → [データを消去] → [削除] と操作します。
- アプリケーションのキャッシュを消去する場合は、ホーム画面で [基本機能] → [設定] → [アプリ] → [アプリケーション管理] → キャッシュを消去するアプリケーションをタップ → [ストレージ] → [キャッシュを消去] と操作します。

YouTube

YouTubeは、Googleの動画共有サービスです。動画の再生、検索、アップロードなどを行うことができます。

- 動画をアップロードする場合など、一部の機能を利用するにはGoogleアカウントを設定する必要があります。
- YouTubeの詳細については、YouTube画面→**[H]**→[ヘルプとフィードバック]と操作してヘルプをご参照ください。

YouTubeを利用する

- 1 ホーム画面で [Google] → [YouTube]**
YouTube画面が表示されます。

- 2 再生する動画を選択**



- ◎動画をアップロードするには、YouTubeへのログインが必要になります。あらかじめGoogleアカウントを取得してください。

Googleサービス

Googleハンガアウトを利用する

Googleハンガアウトは、写真や絵文字、ビデオハンガアウトなどを利用して会話を楽しめる無料コミュニケーションツールです。

- Googleハンガアウトの利用にはGoogleアカウントが必要です (▶P.34)。

Googleハンガアウトにログインする

すでにGoogleアカウントを設定している場合は、ログインなしでご利用になります。

- Googleハンガアウトの詳細については、Googleハンガアウトの画面→**[☰]**→[ヘルプとフィードバック]をタップしてください。

- 1 ホーム画面で [Google] → [ハンガアウト]**

Googleアカウントを設定していない場合は、画面の指示に従って設定してください。

Googleマップを利用する

Googleマップで現在地の表示や別の場所の検索、ルート検索などを行うことができます。Googleマップを起動すると、近くの基地局からの情報によって、おおよその現在地が表示されます。GPS受信機が現在地を測位すると、現在地はより正確な場所に更新されます。

- 1 ホーム画面で [Google] → [マップ]**

マップ画面が表示されます。

- Googleマップに関する画面が表示された場合は、内容をご確認のうえ、画面の指示に従って操作してください。



- ◎ 現在地を取得する前に現在地検索の設定を有効にしてください (▶P.132)。
- ◎ Googleマップは、すべての国や地域を対象としているわけではありません。
- ◎ Googleにより最新のサービス、機能が提供される場合があります。
- ◎ 利用方法などの詳細については、マップ画面 → [≡] → [ヘルプ] と操作してヘルプをご参照ください。

GPS機能を利用する

現在地の測位は、無線ネットワーク（モバイルネットワーク、無線LAN（Wi-Fi[®]）機能）とGPS機能を使用して行います。(▶P.132)。

- ・ 高精度：無線ネットワークとGPS機能の両方を有効にします。両方のメリットを生かして測位することができます。
- ・ 省電力：無線ネットワークのみを有効にします。スピーディに現在地が測位されますが、誤差が生じる場合があります。
- ・ GPSのみ：GPS機能のみを有効にします。多少時間がかかることはありますが、正確な現在地が測位されます。

本製品には、衛星信号を使用して現在地を算出するGPS受信機が搭載されています。いくつかのGPS機能は、インターネットを使用します。データの転送には、課金が発生する場合があります。

現在地の測位にGPS受信機を必要とする機能を使用するときは、空を広く見渡せることを確認してください。数分経ってもGPS受信機で現在地を測位できない場合は、別の場所に移動する必要があります。測位しやすくするために、動かず、GPSアンテナ (▶P.27) をおおわないようにしてください。GPS機能を初めて使用するときは、現在地の測位に最大で10分程度かかることがあります。



- ◎ GPSシステムのご利用には十分注意してください。システムの異常などにより損害が生じた場合、当社では一切の責任を負いかねますので、ご了承ください。



- ◎ 本製品の故障、誤動作、異常、あるいは停電などの外部要因（電池切れを含む）によって、測位（通信）結果の確認などの機会を逸したために生じた損害などの純粋経済損害につきましては、当社は一切その責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- ◎ 本製品は、航空機、車両、人などの航法装置として使用できません。そのため、位置情報を利用して航法を行うことによる損害が発生しても、当社は一切その責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- ◎ 高精度の測量用GPSとしては使用できません。そのため、位置の誤差による損害が発生しても、当社は一切その責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- ◎ 衛星利用測位（GPS）は、米国防省により構築され運営されています。同省がシステムの精度や維持管理を担当しています。このため、同省が何らかの変更を加えた場合、GPSシステムの精度や機能に影響が出る場合があります。
- ◎ ワイヤレス通信製品（携帯電話やデータ検出機など）は、衛星信号を妨害するおそれがあり、信号受信が不安定になることがあります。
- ◎ 各国・地域の法制度などにより、取得した位置情報（緯度経度情報）に基づく地図上の表示が正確でない場合があります。
- ◎ 当社はナビゲーションサービスに限らず、いずれの位置情報サービスの正確性も保証しません。

■ 受信しにくい場所

GPS機能は人工衛星からの電波を利用しているため、以下の条件では、電波を受信できない、または受信しにくい状況が発生しますのでご注意ください。

- ・ 建物の中や直下
- ・ かばんや箱の中
- ・ 密集した樹木の中や下
- ・ 自動車、電車などの室内
- ・ 本製品の周囲に障害物（人や物）がある場合
- ・ 地下やトンネル、地中
- ・ ビル街や住宅密集地
- ・ 高圧線の近く
- ・ 大雨、雪などの悪天候

■ GPS機能を有効にする

- 1 ホーム画面で [基本機能] → [設定] → [接続] → [位置情報] の  をタップして  にする

■ 位置情報の検出方法を変更する

現在地の測位に使用する位置情報の検出方法を設定します。

- 1 ホーム画面で [基本機能] → [設定] → [接続] → [位置情報] → [モード]
- 2 [高精度] / [省電力] / [GPSのみ]

地図上で現在地を検出する

- 1 マップ画面 → []
- 現在地が地図上に青い印で表示されます。

ストリートビューを見る

ストリートビューは対応していない地域もあります。

- 1 マップ画面 → ストリートビューで表示する地点をロングタッチ
- 2 左下の画像をタップ
ストリートビューが表示されます。

周辺のスプレッドを確認する


- 1 マップ画面 → 検索欄をタップ
- 2 カテゴリーをタップ

地図を拡大／縮小する

- 1 画面をピンチアウト／ピンチイン
画面をダブルタップしても拡大できます。

レイヤを変更する

地図上に重ねる情報を選択できます。

- 1 マップ画面 → []
- 2 利用したいレイヤをタップ
地域や条件によって利用したいレイヤの表示は異なることがあります。

Friends Noteを利用する

Friends Noteはアドレス帳移行やサーバーへのバックアップもできる安心・便利なアドレス帳です。また、Facebook・TwitterなどのSNSの友人をアドレス帳で一元管理できます。

- Friends Noteを利用するには、au IDが必要になります。au IDの設定方法については、『設定ガイド Android 6.0対応版』をご参照ください。

1 アプリ一覧画面で [Friends Note]

初回起動時にはFriends Noteの紹介画面や許可画面、利用規約などが表示されます。内容をご確認のうえ、画面の指示に従って操作してください。

Sプランナー

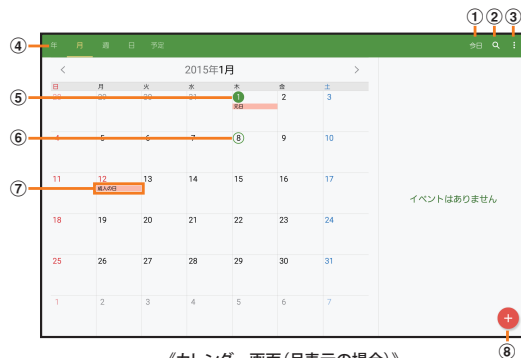
本製品にはイベントやタスクを管理するSプランナーが搭載されています。Googleアカウントを持っている場合は、Googleカレンダーと同期することができます。「アカウントを登録する」(▶P.179)をご参照ください。

カレンダーを表示する

1 ホーム画面で [基本機能] → [Sプランナー]

カレンダー画面が表示されます。

カレンダーの内容について




《カレンダー画面(月表示の場合)》

- 1 今日
他の月や週などが表示されているときにタップすると、今日の日付が表示されます。

- ② **検索**
イベント／タスクがある日付や祝日の日付の一覧が表示されます。「検索」欄にキーワードを入力して検索することもできます。
- ③ **メニュー**
メニューを表示します。
- ④ **タブ**
年表示タブ／月表示タブ／週表示タブ／日表示タブ／予定一覧表示タブを表示します。
- ⑤ **今日の日付**
- ⑥ **カーソル**
- ⑦ **イベント／タスク／祝日表示**
イベント／タスクがある日付や祝日の日付をタップすると、画面の右側に詳細が表示されます。
- ⑧ **新規作成**
イベント／タスクを新規に作成します。


Sプランナーのメニューを利用する

カレンダー画面で  をタップするとメニュー項目が表示され、表示する日付を選択、イベントやタスクの削除、カレンダーの表示設定や通知設定などの操作が行えます。



- ◎ ホーム画面で [基本機能] → [設定] → [アプリ] → [Sプランナー] と操作してもSプランナーを設定できます。

イベントやタスクの通知を解除またはスヌーズを設定する

イベントやタスク作成時に通知を設定した場合、設定時刻になるとステータスバーでの  の表示と、通知音の鳴動でお知らせします。



1 ステータスバーを下にスライド

通知パネルが表示されます。

2 お知らせ欄から通知をタップ

通知画面が表示されます。

3 [解除] / [スヌーズ]

- ・「スヌーズ」を選択すると、約5分後に選択したイベントやタスクが再通知されず（スヌーズとは、いったん通知を消しても、しばらくすると通知するようにする機能です）。
- ・「スヌーズ時間を設定」をタップすると、スヌーズの時間を変更できます。
- ・スリープ画面やロック画面で鳴動した場合は、 または  を表示される円の外までドラッグ／スライドすると、解除したりスヌーズを設定したりできます。

Galaxy Apps

Galaxy Appsを利用して、おすすめの豊富なアプリケーションを簡単にダウンロードできます。

一部の機能を利用するにはGalaxyアカウントを設定する必要があります (▶P.35)。

1 アプリ一覧画面で [Galaxy Apps]

- ・ 初めて起動したときは、免責条項が表示されます。内容をご確認のうえ、画面の指示に従って操作してください。
- ・ 更新画面が表示された場合は、画面の指示に従って操作し、新しいバージョンに更新してください。

2 利用したいアプリケーションを検索してダウンロード

- ・ Galaxyアカウントを設定する画面が表示された場合は、画面の指示に従ってGalaxyアカウントを設定 (▶P.35) するか、設定をキャンセルしてください。



memo

- ◎ Galaxy Appsは、国や地域によってはご利用になれない場合があります。詳しくはGalaxy Appsサイト内のサポートページをご参照ください。

Sボイス

メモの作成など、音声入力で本製品の各機能を操作できます。

- ・ Sボイスの詳細については、Sボイス画面で [F1] → [ヘルプ] と操作してヘルプをご参照ください。
- ・ ホーム画面で [基本機能] → [設定] → [アプリ] → [Sボイス] と操作すると、言語、Sボイスデータを消去、ホームキーで起動などの設定や操作が行えます。

Sボイスをご利用になる前に


音声認識を高めるため、以下の点に気をつけてご利用ください。

- ・ 本製品に向かってはっきりと話してください。
- ・ 静かな場所でご利用ください。
- ・ 俗語や方言などは避けてください。

Sボイスを利用する

1 アプリ一覧画面で [Sボイス]

Sボイス画面が表示されます。

- ・  を2回押しても、Sボイスを起動できます。
- ・ 初めて起動したときは免責事項画面などが表示されます。内容をご確認のうえ、画面の指示に従って操作してください。

辞書

辞書を利用して語句を検索できます。

1 ホーム画面で「辞書」

辞書画面が表示されます。

- ・初めて起動したときは、「辞書データのダウンロード/インストール」画面が表示されます。画面の指示に従って操作してください。

2 語句入力欄に検索したい語句を入力

単語の一覧が表示されます。

- ・検索の履歴は、「検索履歴」タブで確認できます。

3 単語一覧で確認したい語句をタップ

選択した語句の意味が表示されます。

- ・「すべて」などのタブをタップすると表示を切り替えられます。



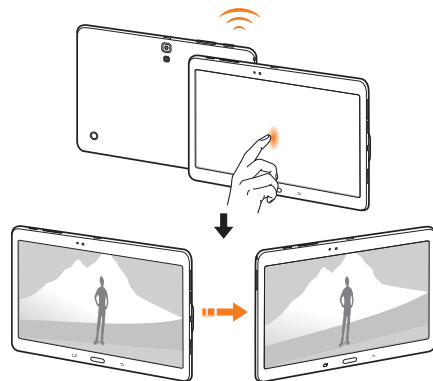
- ◎辞書画面で **!** をタップするとメニュー項目が表示され、単語帳の管理や検索履歴の表示、アプリの設定などの操作が行えます。

NFCを利用する

NFCとは

NFCとはNear Field Communicationの略で、ISO（国際標準化機構）で規定された国際標準の近接型無線通信方式です。リーダー/ライター機能（R/W）、機器間通信機能（P2P）などが本製品でご利用いただけます。

NFCを利用したサービスによっては、ご利用になりたいサービスプロバイダーのNFC対応アプリをダウンロードする必要があります。





- ・データを送信/受信するにはあらかじめNFC機能を有効にしてください（▶P.137「NFC機能を有効にする」）
- ・2台のNFC搭載機器を平行にしてNFCマーク（NFCアンテナ部）を向かい合わせ、送信/受信が終了するまで動かさないでください。
- ・送信/受信の操作や送信/受信できるデータについては、対応するアプリケーションによって異なります。画面の指示に従って操作してください。

- NFCマーク（NFCアンテナ部）を向かい合わせても、送信／受信を失敗する場合があります。失敗した場合は、本製品を少し浮かす、または前後左右にずらして送信／受信の操作を再度行ってください。
- NFCマーク（NFCアンテナ部）をゆっくりと向かい合わせると送信／受信を失敗する場合があります。
- NFCマーク（NFCアンテナ部）の間に金属物があると読み取れないことがあります。また、NFCマーク（NFCアンテナ部）の付近にシールなどを貼り付けると、通信性能に影響を及ぼす可能性がありますのでご注意ください。
- NFC搭載機器によって、NFCのマークやNFCアンテナ部の位置は異なります。

NFC機能を有効にする

NFCリーダー／ライター、P2P機能を利用するには、「Reader/Writer, P2P」を有効にする必要があります。

- 1 ホーム画面で【基本機能】→【設定】→【接続】→【NFC】の  をタップして  にする

Android Beam / S Beamを設定する

■ Android Beamを設定する

P2P機能を利用して、他の対応機器との間でウェブページや連絡先などのコンテンツを送受信できます。

- 1 ホーム画面で【基本機能】→【設定】→【接続】→【NFC】NFC画面が表示されます。

- 2 【Android Beam】の  をタップして  にする

■ S Beamを設定する

P2P機能とWi-Fi Direct機能を利用して、S Beam対応機器との間で静止画や動画、ドキュメントなどのファイルを送受信できます。

- 1 ホーム画面で【基本機能】→【設定】→【接続】→【NFC】NFC画面が表示されます。

- 2 【S Beam】の  をタップして  にする



◎ S BeamをONにすると、Android Beamも自動的にONになります。

Android Beam / S Beamでデータを送受信する

NFC機能を搭載した携帯電話などと、Android Beam / S Beamを利用してデータの送受信ができます。

- あらかじめ「NFC」(▶P.137)、「Android Beam」(▶P.137)、「S Beam」(▶P.137)を有効に設定してください。
- すべてのNFC搭載機器との通信を保証するものではありません。

■ データを送信する

■ 例：Android BeamでウェブページのURLを送信する場合

- 1 ホーム画面で【ブラウザ】→送信するウェブページを開く

- 2 受信側の機器とNFCマークを向かい合わせる

表示されている画面が小さく表示され、「Beamするにはタッチしてください。」と表示されます。

- 3 小さく表示された画面をタップ

ウェブページのURLが送信されます。

■ データを受信する

- 1 送信側の機器でデータの送信操作を行う

- 2 送信側の機器とNFCマークを向かい合わせる

- 許可画面や利用規約画面が表示された場合は、内容をご確認のうえ、画面の指示に従って操作してください。
- 選択メニューが表示された場合は、使用するアプリケーションを選択して「毎回」／「今回のみ」をタップしてください。



◎通信に失敗した場合は、本製品を少し浮かす、または前後左右にずらしてもう一度向かい合わせてください。

NFCタグリーダーを利用する

NFCタグのデータの読み込みやデータ書き込みができます。

1 アプリ一覧画面で [NFCタグリーダー]

- ・NFC機能が無効の場合は、注意画面が表示されます。画面の指示に従って、NFC機能を有効にしてください。
- ・初めて操作したときは、許可画面や利用規約画面、自動起動設定の確認画面が表示されます。内容をご確認のうえ、画面の指示に従って操作してください。

2	Share	NFC機器を搭載した機器との間で連絡先などの各種データを送受信します。	
	Writing	本製品で設定した情報を、NFCタグにかざして書き込みます。	
	History	NFCの利用履歴を表示します。	
	Setting	NFC Setting	NFC機能の有効/無効を設定します(▶P.137)。
		App Setting	NFCタグリーダーの設定を行います。

安心アクセス for Android™を利用する

お子様にauの端末を安心して持たせられるよう、青少年に不適切なウェブページへのアクセスやアプリケーションのご利用を制限するフィルタリングアプリケーションです。

お子様の年代に合わせ、「小学生」・「中学生」・「高校生」の3段階から制限レベルを簡単に選択できるほか、特定のウェブページやアプリケーションの制限/許可を保護者が個別にカスタマイズすることも可能です。

夜間などauの端末のご利用を制限したりすることもできます。

- ・ログインするには、au IDが必要です。au IDについて詳しくは、『設定ガイド Android 6.0対応版』をご参照ください。

1 アプリ一覧画面で [安心アクセス]

- ・「安心アクセス for Android」のダウンロードページが表示された場合は、「無料」をタップし、画面の指示に従ってダウンロード、およびインストールをしてください。正常にインストールが完了したら「アプリ起動」をタップしてください。
- ・初めて起動したときは、許可画面が表示されます。内容をご確認のうえ、「同意する」をタップしてください。

2 [au IDでログイン] → [ログイン] / [au IDとパスワードを入力してログインする]

画面の指示に従って操作してください。

3 仮パスワードを入力→仮パスワード(確認)を入力

仮パスワードは管理者登録の際に必要となります。必ず保護者の方がご自身で設定し、忘れないように管理してください。

4 フィルタリングの強度を選択

小学生向け	<ul style="list-style-type: none"> • お子様の閲覧に不適切なもの、知らない人と交流できるもの、利用に知識・経験・判断力が必要なもの、水着や下着の描写が含まれるもの、時間の浪費が心配なもの、また前記以外の心配事を含むサイトの閲覧やアプリの利用はできません。 • 本製品内の個人情報を読み取るもの、アプリ内課金（一部）があるもの、お子様に不適切な広告があるアプリも利用できません。 • EMA*¹が認定するサイト／アプリでも、初期の状態では利用できません。設定を変更することで利用可能になります。
中学生向け	<ul style="list-style-type: none"> • お子様の閲覧に不適切なもの、知らない人と交流できるもの、利用に知識・経験・判断力が必要なもの、水着や下着の描写が含まれるサイトの閲覧やアプリの利用はできません。 • 本製品内の個人情報を不適切に読み取るもの、アプリ内課金（一部）があるもの、お子様に不適切な広告があるアプリも利用できません。 • EMA*¹が認定するサイト／アプリは利用可能です。
高校生向け	<ul style="list-style-type: none"> • お子様の閲覧に不適切なもの、知らない人と交流できるサイトの閲覧やアプリの利用はできません。 • 本製品内の個人情報を不適切に読み取るアプリも利用できません。 • EMA*¹が認定するサイト／アプリは利用可能です。

*1 一般社団法人モバイルコンテンツ審査・運用監視機構

5 [規約に同意してサービスを利用開始する] → [OK]

利用規約を必ずご確認ください。

デバイス管理機能を有効にする画面が表示されます。

6 [開始]

ウェブページが表示されます。

■ 管理者情報を登録する

1 アプリ一覧画面で [安心アクセス]

2 [■] → [管理者登録]

• 画面上部の「ここをタップして、安心アクセス for Android™の管理者IDを登録してください。」をタップしても管理者登録の設定画面に進むことができます。

3 仮パスワードを入力 → [仮パスワードを照会する]

4 管理者IDを入力 → 管理者ID (確認) を入力 → [管理者ID確認へ進む]

管理者IDには、保護者の方のメールアドレスを入力します。

5 [申請する]

管理者IDとして登録したメールアドレスに、「anshin-access@netstar-inc.com」よりメールが送信されます。

6 受信メールに記載されている管理者用パスワードを入力 → [管理者登録を行う] → [OK]



◎ 管理者情報の登録は、ID登録日の翌日までに行ってください。

■ 管理者ページを利用する

パソコンから、管理者登録後にメール送信される管理者ページURLに接続してください。

以下の手順でお子様のauの端末から利用することも可能です。

1 アプリ一覧画面で【安心アクセス】

2 [■] → [設定] → [管理者ページ]

3 管理者IDとパスワードを入力 → [ログイン]

4 管理者情報	管理者ID（メールアドレス）やパスワードの変更ができません。
端末情報	管理しているauの端末の名前を設定できません。
フィルタリング設定	年代設定の変更や、個別のサイトやアプリの許可／制限などカスタマイズが可能です。 ・詳しくは、auホームページをご参照ください。 http://www.au.kddi.com/mobile/service/smartphone/safety/anshin-access/

auお客さまサポート

月々のご請求金額やご利用状況などを簡単に確認できるほか、auお客さまサポートウェブサイトへアクセスして料金プランやオプションサービスなどの申込変更手続きができます。

- ・ 利用方法などの詳細については、auお客さまサポートアプリ起動中に[本アプリについて] → [ヘルプ] と操作してauお客さまサポートのヘルプをご参照ください。

1 ホーム画面で【auお客さまサポート】

auお客さまサポートのトップ画面が表示されます。

- ・ 初めて起動したときは画面の指示に従って、ID設定を行ってください。
- ・ 利用規約が表示された場合は、内容をご確認のうえ、「同意する」をタップしてください。

2 確認する項目を選択する

現在のご利用状況、ご請求金額、ご契約内容の確認や、各種お手続きができます。

auスマートサポートを利用する

auスマートサポートでできること

24時間365日体制^{*1}のauスマートサポートセンターによる電話サポートでは、「Lookout for au」「リモートサポート」の2種類のアプリケーションを利用して、遠隔操作によるセキュリティ機能とサポートサービスを利用することができます。

その他、初期設定・基本操作や人気アプリの利用方法を、ご自宅に訪問し丁寧にご説明する「スマホ訪問サポート^{*2}（8,500円～14,500円/回、税抜）^{*3}」や、初心者の方にも分かりやすい「使い方ガイド本^{*4}」プレゼントなど、安心してスマートフォンをご利用いただけるよう各種サービス、特典をご用意しています。

^{*1} 123時から翌9時のご利用は事前予約が必要となります。

^{*2} 訪問先はおお客様のご契約住所に限ります。また、別途交通費がかかる地域がございます。

^{*3} 3コースにより料金が異なります。コースやメニューの内容はauホームページをご確認ください。

^{*4} 4本のプレゼントは一回限りとなります。



- ◎「Lookout for au」「リモートサポート」のご利用にあたっては、「Lookout for auを利用する」(▶ P.142)「リモートサポートを利用する」(▶ P.142)および「位置検索をご利用いただくにあたって」(▶ P.141)をあわせてご参照ください。

Lookout for auを利用する

本製品を盗難・紛失された場合に、お客さまセンターやお客様のパソコンから本製品を遠隔操作で位置検索、ロックをすることができます。

^{*} お客さまセンターから本製品を遠隔操作で位置検索、ロックする場合は、auスマートサポートまたはauスマートパスへの加入が必要です。



- ◎ Lookoutサービス設定が完了していない場合は、アプリ起動時にLookout for auの案内画面が表示されます。内容をご確認のうえ、画面に従って操作してください。
- ◎ ご利用の際には「デバイス管理機能」で「Lookout」を有効にしてください。無効の場合は、ロックが正常に動作しないことがあります。
- ◎ 位置情報へのアクセスなどの確認ダイアログが表示される場合には、「許可」をタップし、機能の利用を許可してください。

位置検索をご利用いただくにあたって

位置検索をご利用いただくにあたって当社では、提供したGPS情報に起因する損害については、その原因の内容にかかわらず一切の責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

■ ご利用上のご注意

- Lookout for auに本製品の位置情報へのアクセス許可がされていない場合は、位置検索をご利用いただけません。
- サービスエリア内でも地下街など、GPS衛星と基地局からの電波の受信状態が悪い場所では、正確な位置情報が取得できない場合があります。
- ご契約いただいているau Micro IC Card (LTE)情報と利用開始設定時のau Micro IC Card (LTE)情報が一致している端末の検索ができます。

Lookout for auを利用する

紛失端末の位置検索機能を設定していない場合、次の操作で設定します。

- 1 アプリ一覧→ [Lookout for au]
- 2 メールアドレスとパスワードを入力→ [保護を開始]

リモートサポートを利用する

ご利用にあたってはauスマートサポートまたはauスマートパスへの加入が必要です。
スマートフォンの操作についてお問い合わせいただいた際に、オペレーターがお客様のスマートフォンの画面を共有し、お客様の操作をサポートすることで、直接問題を解決します。

リモートサポートを利用する

- 1 お客様センター、auスマートサポートセンターまでお問い合わせ

auスマートパス会員は局番なしの157番（au電話から／通話料無料）、☎0077-7-111（一般電話から／通話料無料）までご連絡ください。

auスマートサポート会員は、auスマートサポート加入後に送付される会員証に記載の「専任チーム専用番号」までご連絡ください。

※ リモートサポートをご希望のスマートフォン以外からお電話ください。

- 2 アプリ一覧→ [リモートサポート]
初回起動時には許可画面や使用許諾契約書を確認する画面が表示されます。内容をご確認のうえ、画面に従って操作してください。
- 3 オペレーターの指示に従って操作

au災害対策アプリ

au災害対策アプリは、災害用伝言板や、緊急速報メール（緊急地震速報、災害・避難情報、津波警報、特別警報、洪水情報）、災害用音声お届けサービス、災害関連情報を利用することができるアプリです。

- 1 ホーム画面で [au災害対策]
au災害対策メニューが表示されます。
 - ・ 初めて起動したときは、利用規約や情報を送出することへの確認画面が表示されます。内容をご確認のうえ、画面の指示に従って操作してください。



《au災害対策メニュー》

災害用伝言板を利用する

災害用伝言板とは、震度6弱程度以上の地震などの大規模災害発生時に、被災地域のお客様がLTE NET上から自己の安否情報を登録することが可能となるサービスです。登録された安否情報はauの端末をお使いの方のほか、他社携帯電話やパソコンなどからも確認いただくことが可能です。
詳しくは、auホームページの「災害用伝言板サービス」をご参照ください。

1 au災害対策メニュー→ [災害用伝言板]

画面の指示に従って、登録/確認を行ってください。

memo

- ◎ 安否情報の登録を行うには、Eメールアドレス（～ ezweb.ne.jp）が必要です。あらかじめ、Eメールアドレスを設定しておいてください。Eメールアドレスの設定について、詳しくは『設定ガイド Android 6.0対応版』をご参照ください。
- ◎ 無線LAN（Wi-Fi[®]）接続中は、削除および安否お知らせメールの設定変更はご利用いただけません。
- ◎ 当社は、本サービスの品質を保証するものではありません。本サービスへのアクセスの集中や設備障害に伴う安否情報の登録にかかわる不具合、安否情報の破損、滅失などによる損害または登録された安否情報に起因する損害につきましては原因の如何によらず、一切の責任を負いかねます点、ご了解のうえご利用ください。

緊急速報メールを利用する

緊急速報メールとは、気象庁が配信する緊急地震速報や津波警報、国や地方公共団体が配信する災害・避難情報を、特定エリアのauの端末に一斉にお知らせするサービスです。

※ 初期状態では、緊急速報メール（緊急地震速報および災害・避難情報）の「受信設定」は「受信する」に設定されています。津波警報の受信設定は、災害・避難情報の設定にてご利用いただけます。

緊急地震速報を受信した場合は、周囲の状況に応じて身の安全を確保し、状況に応じた、落ち着いた行動をお願いします。津波警報を受信したときは、直ちに海岸から離れ、高台や頑丈な高いビルなど安全な場所に避難してください。

1 au災害対策メニュー→ [緊急速報メール]

受信ボックスが表示されます。

確認したいメールを選択するとメールの詳細を確認できます。

2 削除

受信したメールを削除します。

設定	緊急地震速報	受信設定：緊急地震速報/災害・避難情報および津波警報を受信するかどうかを設定します。 音量：受信音の音量を設定します。 マナー時の鳴動：マナーモード設定中は、マナーモードの設定でお知らせするかどうかを設定します。 バイブ：受信時にバイブレータが動作するかどうかを設定します。 受信音/バイブ確認：緊急地震速報/災害・避難情報および津波警報の受信音やバイブレータの動作を確認します。
	災害・避難情報	

memo

- ◎ 緊急速報メール受信時は、専用の警報音とバイブレータの振動で通知します。警報音は変更できません。
※ 緊急地震速報の場合は、警報音と音声（「地震です」）、バイブレータの振動で通知します。
- ◎ 緊急地震速報とは、最大震度5弱以上と推定した地震の際に、強い揺れ（震度4以上）が予測される地域をお知らせするものです。
- ◎ 地震の発生直後に、震源近くで地震（P波、初期微動）をキャッチし、位置、規模、想定される揺れの強さを自動計算し、地震による強い揺れ（S波、主要動）が始まる数秒～数十秒前に、可能な限りすばやくお知らせします。
- ◎ 震源に近い地域では、緊急地震速報が強い揺れに間に合わないことがあります。
- ◎ 津波警報とは、気象庁から配信される大津波警報・津波警報を、対象沿岸を含む地域へお知らせするものです。
- ◎ 災害・避難情報とは、国や自治体から配信される避難勧告や避難指示、各種警報などの住民の安全にかかわる情報をお知らせするものです。
- ◎ 日本国内のみのサービスです（海外ではご利用になれません）。
- ◎ 緊急速報メールは、情報料・通信料とも無料です。

- 当社は、本サービスに関して、通信障害やシステム障害による情報の不達・遅延、および情報の内容、その他当社の責に帰すべからざる事由に起因して発生したお客様の損害について責任を負いません。
- 気象庁が配信する緊急地震速報や津波警報の詳細については、気象庁ホームページをご参照ください。
<http://www.jma.go.jp/>
- 電源を切っているときは、緊急速報メールを受信できません。
- SMS / Eメール送受信時やブラウザ利用時などの通信中であつたり、サービスエリア内でも電波の届かない場所（トンネル、地下など）や電波状態の悪い場所では、緊急速報メールを受信できない場合があります。
- 受信に失敗した緊急速報メールを、再度受信することはできません。
- テレビやラジオ、その他伝達手段により提供される緊急地震速報とは配信するシステムが異なるため、緊急地震速報の到達時刻に差異が生じる場合があります。
- お客様の現在地と異なる地域に関する情報を受信する場合があります。

災害用音声お届けサービスを利用する

災害用音声お届けサービスとは、大規模災害時にauの端末で音声録音し、安否をお届けたい方へ音声メッセージとしてお届けするサービスです。

1 au災害対策メニュー→【災害用音声お届けサービス】

■ 音声を送る（送信）

「声をお届け」を選択し、「①お届け先を選択」*1→「②お届けしたい声を録音」の順で操作してください。

*1  をタップして、連絡先から選択することもできます。

■ 音声を受け取る（受信）

音声メッセージが届いたことが、ポップアップ画面、もしくは、SMSで通知されます。音声メッセージを受信（ダウンロード）し、再生することで、聞くことができます。

* 受け取る相手が災害用音声お届けサービスに対応した「au災害対策アプリ」を立ち上げていないスマートフォンや、auの端末の場合、SMSでお知らせします。

* SMSで通知された場合、au災害対策アプリに情報は保存されません。

memo

- Wi-Fi®でのご利用には、4G（LTE / WiMAX 2+） / 3Gネットワークにて初期設定が必要になります。
- 音声メッセージは最大30秒の録音が可能です。
- auの端末、および他社携帯電話・PHSと相互にやりとり可能です。
- メディアの音量を小さくしている、もしくはマナーモードに設定している場合、音声を聞き取れない場合があります。
- 本体内のメモリに空き容量がない場合は、音声メッセージが保存・再生できない場合があります。
- 音声メッセージの受信に対応していない端末があります。詳しくはauホームページをご覧ください。

災害関連情報を利用する

自治体が配信した災害・避難情報の履歴や、災害関連情報ポータル、社会貢献サイトなどを確認できます。

1 au災害対策メニュー→【災害関連情報】

確認したい項目を選択してください。

auサービスTOPを利用する

最新ニュースや天気、乗換案内などのデイリーツールはもちろん、「au スマートパス」や「au WALLET」などのauの様々なサービスを最大限活用するためのポータルアプリです。au WALLETポイントが当たるコンテンツやお得なプレゼント情報などをご案内します。

- ・ 利用方法、最新のお知らせについては、「auサービスTOP」アプリをご参照ください。



memo

- ◎ ご利用の際はデータ通信料が高額になる場合がありますので、データ通信料定額/割引サービスへのご加入をおすすめします。
- ◎ 一部のアプリは、別途有料となる場合があります。

1 ホーム画面で【サービスTOP】

auサービスTOPのTOP画面が表示されます。

- ・ auサービスTOPのご利用にはau IDログインが必要です。
- ・ au IDをお持ちでない場合は、au IDを取得してください。au IDについて詳しくは「設定ガイド Android 6.0対応版」をご参照ください。
- ・ 初めて起動したときは、送信情報の概要などが表示されます。
- ・ 画面の指示に従って、各種情報の設定を行うと各種情報を受け取ることが出来ます。
- ・ ニュース、天気、乗換などのデイリーツールやポイントガチャ、au WALLET情報、各種auサービスの特典情報などが表示されます。
- ・ 設定内容はTOP画面の「設定」から変更が可能です。auスマートパスの最新情報はアプリホームにてお知らせしています。



memo

- ◎ アプリなどによりお客様が操作していない場合でも自動的にデータ通信が行われる場合があります。
- ◎ コンテンツによっては、本製品に対応していない場合があります。
- ◎ 各コンテンツは予告なく終了、または内容が変更になる場合があります。

時計

アラーム、世界時計を利用できます。

1 ホーム画面で【基本機能】→【時計】

時計画面が表示されます。

2 各機能に切り替える

画面上部のタブをタップすると各機能に切り替えられます。

アラームを利用する

1 時計画面→「アラーム」タブ

アラーム一覧画面が表示されます。

2 [⊞]

・ 設定済みのアラームをタップすると編集できます。

3 各項目を設定・入力

・ スヌーズを設定すると、設定した時間の経過後にアラーム画面の表示とアラーム鳴動で再通知されます(スヌーズとは、いったんアラームを停止しても、しばらくするとアラームが鳴るようにする機能です)。

4 【保存】

作成したアラームがアラーム一覧画面に表示されます。

☑ (緑色) をタップすると ☒ (灰色) に変わり、アラームがオフになります。スヌーズ中は ☑ (オレンジ) が表示され、タップすると ☒ (灰色) に変わり、アラームがオフになります。

・ 「毎週繰り返す」のチェックを付けたアラームの場合は、☑ (オレンジ) をタップするとスヌーズが解除され、アラームがオンになり ☑ (緑色) が表示されます。


memo

- ◎ アラームを削除するには、アラーム一覧画面→削除したいアラームをロングタッチ→削除したいアラームにチェックを入れる→ [👉] と操作します。また、アラーム一覧画面→ [👉] → [削除] → [0件選択] をタップし「全て」にチェックを入れて [👉] をタップするとすべてのアラームを削除できます。
- ◎ アラームの順番を並び替えるには、アラーム一覧画面→ [👉] → [アラーム時刻順に並び替え] / [作成日時順に並び替え] と操作します。


アラームを止める

設定した時刻になるとアラーム画面が表示され、設定した種類・音量でアラームが鳴ります。

1 を表示される円の外までドラッグ／スライド

- ・ スヌーズを設定したアラームの場合は、 を表示される円の外までドラッグ／スライドすると、スヌーズを設定できます。

memo

- ◎ アラーム鳴動中に  / 音量キーを押すとアラームを停止できます。スヌーズを設定したアラームの場合は、スヌーズが設定されます。

世界時計を利用する

登録した都市／国の日付と時刻を一覧で確認できます。

1 時計画面→「世界時計」タブ

世界時計画面が表示されます。

- ・ [🌐] をタップすると、都市／国のリストを表示できます。リストの [📍] をタップすると、現在地を追加できます。

2 追加したい都市／国をタップ→ [+]

- ・ リストから追加した場合は、追加したい都市／国をタップします。

memo

- ◎ 追加した都市／国を削除するには、世界時計画面→削除したい都市／国をロングタッチ→削除したい都市／国にチェックを入れる→ [👉] と操作します。また、世界時計一覧画面→都市／国をロングタッチ→ [X件選択] をタップし「全て」にチェックを入れて [👉] をタップするとすべての都市／国を削除できます。
- ◎ 登録した都市／国にサマータイムを設定するには、都市／国をロングタッチ→ [🌞] → [自動] / [無効] / [有効] と操作します。
- ◎ 世界時計画面→ [👉] → [並び替え] → [📄] をドラッグして都市／国を移動と操作すると、都市／国の一覧を並び替えられます。

電卓

加算、減算、乗算、除算などの基本的な計算を行うことができます。

1 ホーム画面で [基本機能] → [電卓]

2 計算する

✖：最後に入力した文字を消去します。ロングタッチすると入力した文字をすべて消去できます。

C：計算結果や文字を消去します。



◎ 画面の左側に計算の履歴が表示されます。[履歴を消去] をタップすると、履歴をすべて消去できます。

スクリーンショットシェアを利用する

表示中の画面をカンタンな操作で撮影、保存することができます。撮影したスクリーンショットにスタンプを押したり、編集してFacebookなどのSNSやEメールで友達と共有できます。

スクリーンショットを撮る

撮影したい画面を表示した状態で、画面左上端の領域から中央に向けて指をスライドさせるとスクリーンショットシェアのアプリが起動し、スクリーンショットを撮ることができます。

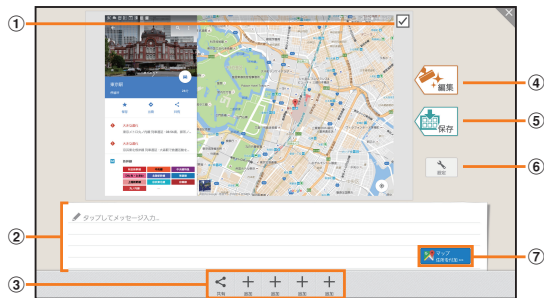
- ・初期状態では画面をスライドさせてスクリーンショットを撮影できません。アプリ一覧画面で [スクリーンショットシェア] と操作するか、ステータスバーを下にスライド→ [スクリーンショットシェア] と操作して、スクリーンショットシェアを起動させると撮影できるようになります。
- ・スクリーンショットを撮影する際にスライドを行う位置は、スクリーンショットシェア画面→ [設定] → [スライド位置設定] で設定できます。

画像を編集する

編集ボタンをタップすると、スクリーンショットで撮った画像を編集できます。トリミング・画像の回転・画像にスタンプを押すことができます。

画像を他のアプリへ連携する

送信先アプリ選択ボタンに画像を共有するアプリ（SNSやEメール）を登録することができます。登録したアプリのアイコンをタップすることで、スクリーンショット画像とテキストエリアに入力したコメントや位置情報などをSNSに投稿したり、登録先のメールアドレスにEメールで送信したりできます。



- ① 画像添付切替ボタン
撮影したスクリーンショット画像を添付するかどうかを切り替えます。
- ② テキストエリア
ここに入力した文字を画像と一緒に他のアプリに送ることができます。
- ③ 送信先アプリ選択ボタン
画像やテキストをSNSアプリやメールアプリに送ることができます。登録したアプリを削除する場合は、アイコンをロングタッチし、「エリア内までアイコンを運び離すと削除されます」と表示されたエリアにドラッグします。
- ④ 編集ボタン
画像を編集できます。
- ⑤ 保存ボタン
画像を保存できます。

⑥ 設定ボタン

機能の有効／無効、スライドの位置設定など次の設定項目についての変更ができます。

項目	概要
通知設定	スクリーンシェアのアイコンをステータスバーに表示するかどうかを設定します。
スクリーンショット設定	スクリーンショットシェアを利用するかどうかを設定します。
スライド位置設定	スクリーンショットを撮影する際にスライドを行う位置の設定をします。
クリップボード設定	共有時にテキストエリアに入力したテキストをコピーするかどうかを設定します。Facebookなど、テキストを受け取れないアプリの場合は、「保存する」に設定して、アプリが起動した後でテキストを貼り付けてください。
パイプ設定	スクリーンショットを撮影するときにパイプレータを振動させるかどうかを設定します。
保存ファイル形式設定	画像を保存する際のファイル形式を設定します。
ヘルプ	スクリーンショットシェアのヘルプを表示します。

⑦ 情報付加ボタン

一部のアプリの場合でのみ表示されます。



memo

◎「テレビ」など、画像の保存が禁止されているアプリではスクリーンショットは撮影できません。

au Wi-Fi接続ツールを利用する

ご自宅にてHOME SPOT CUBE等のWi-Fi[®]親機と簡単に接続できます。外出先ではすべてのau Wi-Fi SPOTがご利用いただけるようになります。スポット検索も可能です。

- ・ 利用方法などの詳細については、au Wi-Fi接続ツール画面→ [ヘルプ] と操作してヘルプをご参照ください。

1 アプリ一覧画面で [au Wi-Fi接続ツール]

au Wi-Fi接続ツール画面が表示されます。

- ・ 初回起動時には、許可画面が表示されます。内容をご確認のうえ、画面の指示に従って操作してください。

ファイル管理

microSDメモリカードを利用する	151
microSDメモリカードを取り付ける／取り外す	151
メモリの使用量を確認する	152
マイファイルを利用する	153
microUSBケーブル01（別売）でパソコンと接続する	154
Smart Switchを利用する	155
近くのデバイス	156

microSDメモリカードを利用する

microSDメモリカード（microSDHCメモリカード、microSDXCメモリカードを含む）を本製品にセットすることにより、データを保存／移動／コピーすることができます。また、連絡先などをmicroSDメモリカードに控えておくことができます。

memo

- ◎ アプリケーションにより、microSDメモリカードが必要になる場合がありますので、microSDメモリカードを挿入してご利用ください。
- ◎ microSDメモリカードの空き容量を確認する方法については、「メモリの使用量を確認する」（▶P.152）をご参照ください。
- ◎ 他の機器で初期化したmicroSDメモリカードは、本製品では正常に使用できない場合があります。本製品で初期化してください。初期化の方法については「microSDメモリカードをフォーマットする」（▶P.152）をご参照ください。

保護データについて

- ◎ 著作権保護されたデータによっては、パソコンなどからmicroSDメモリカードへ移動／コピーは行えても本製品で再生できない場合があります。

■ 取り扱い上のご注意

- ・ microSDメモリカードのデータにアクセスしているときに、電源を切ったり衝撃を与えたり取り外しをしないでください。データが壊れるおそれがあります。
- ・ 本製品にmicroSDメモリカードをセットしている状態で、落下させたり振動・衝撃を与えないでください。故障・内部データの消失の原因となります。
- ・ 本製品のmicroSDメモリカードスロットには、液体・金属・燃えやすいものなどmicroSDメモリカード以外のものは挿入しないでください。火災・感電・故障の原因となります。
- ・ 本製品はmicroSD / microSDHC / microSDXCメモリカード（最大128GB）に対応しています。対応のmicroSD / microSDHC / microSDXCメモリカードにつきましては、各microSDメモリカード発売元へお問い合わせいただくか、auホームページをご参照ください。

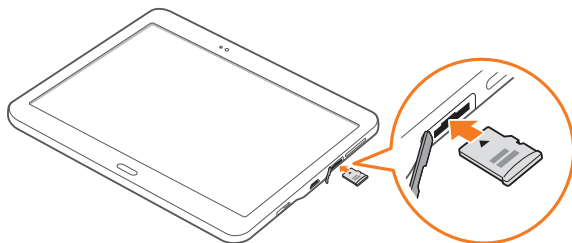
microSDメモリカードを取り付ける／取り外す

microSDメモリカードの取り付け／取り外しは、本製品の電源を切ってから行います。

- ・ 取り外しの前には必ずmicroSDメモリカードのマウント（読み書き可能状態）解除を行ってください。
- ・ 無理な取り付け／取り外しはしないでください。

microSDメモリカードを取り付ける

- 1 microSDメモリカードスロットカバーを開く
- 2 microSDメモリカードの端子（金属）面を下にして図の向きにし、microSDメモリカードスロットにカチッと音がするまでまっすぐ差し込む



- 3 microSDメモリカードスロットカバーを閉じてしっかりと押し、本体とすき間がないことを確認する

memo

- ◎ microSDメモリカードには、表裏／前後の区別があります。無理に入れようとすると取り外せなくなったり、破損するおそれがあります。

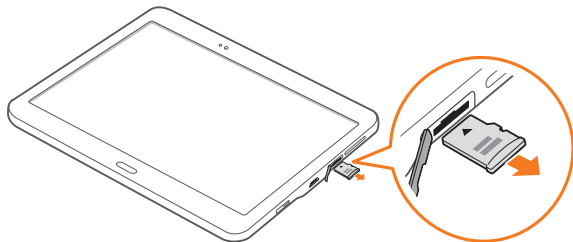
- ◎カチッと音がしない場合、丸みを帯びて押し込みやすいもの（例：1円玉など）を用いてカチッと音がするまでゆっくり差し込んでください。
- ◎固く鋭利なものや折れやすいもの（例：ドライバーや楊枝など）で無理な力を入れて押し込むと異物混入や筐体に傷を与える可能性があります。

microSDメモリーカードを取り外す

1 microSDメモリーカードスロットカバーを開く

- ・電源を入れたまま行う場合は、必ずホーム画面で【基本機能】→【設定】→【一般】→【ストレージ】→【外部SDカード】→【マウント解除】と操作して、「マウント解除済み」が表示されたことを確認してから行ってください。

2 microSDメモリーカードをカチッと音がするまで奥に押し込み、少し出てきたmicroSDメモリーカードを引き抜く



3 microSDメモリーカードスロットカバーを閉じてしっかりと押し、本体とすき間がないことを確認する

memo

- ◎マウント解除完了前に取り外すと、故障・データ消失の原因となります。
- ◎長時間お使いになった後、取り外したmicroSDメモリーカードが温かくなっている場合がありますが、故障ではありません。
- ◎マウントを解除した後に再度microSDメモリーカードを認識させる場合は、microSDメモリーカードを挿入したまま、ホーム画面で【基本機能】→【設定】→【一般】→【ストレージ】→【外部SDカード】→【マウント】と操作してください。
- ◎microSDメモリーカードにデータを保存中は、マウント解除操作できません。
- ◎microSDメモリーカードの端子部には触れないでください。
- ◎microSDメモリーカードを無理に引き抜かないでください。故障・データ消失の原因となります。
- ◎microSDメモリーカードにインストールされたアプリケーションは、microSDメモリーカードを取り外すと利用できません。

microSDメモリーカードをフォーマットする

microSDメモリーカードをフォーマットすると、microSDメモリーカードに保存されているデータがすべて消去されます。

- 1 ホーム画面で【基本機能】→【設定】→【一般】→【ストレージ】
- 2 【外部SDカード】
- 3 【初期化】→【初期化】→【完了】
ロック画面が表示された場合は、設定した解除方法を実行し、「全て削除」をタップします。

メモリの使用量を確認する

本体内のメモリやmicroSDメモリーカードの合計容量と空き容量などを確認できます。

- 1 ホーム画面で【基本機能】→【設定】→【一般】→【ストレージ】

マイファイルを利用する

本体やmicroSDメモリカードなどに保存されている静止画や動画、音楽や文書などのデータを表示・管理できます。

1 ホーム画面で []

マイファイル画面が表示されます。

タイムライン		マイファイルで最近使用したファイルの一覧が表示されます。
お気に入りフォルダ		登録したフォルダに直接アクセスできます。 ・「ここにフォルダをドラッグ」にフォルダをドラッグすることで登録できます。
フォルダ	システムメモリ (本体)	本体内のメモリの内容が表示されます。
	外部SDカード	microSDメモリカードの内容が表示されます。
カテゴリ	画像	画像データが表示されます。
	動画	動画データが表示されます。
	オーディオ	音楽ファイルや音声データなどが表示されます。
	ドキュメント	ドキュメントファイルが表示されます。
	ダウンロード済みアプリ	インストールされているアプリケーションが表示されます。
	ダウンロード履歴	ダウンロードしたファイルの一覧が表示されます。
アプリ	Office	保存されているOfficeファイルが表示されます。
	Dropbox	アカウントを設定したDropbox内に保存されているファイルが表示されます。

2 利用したいフォルダをタップ

フォルダ／ファイル一覧画面が表示されます。

3 表示／再生したいファイルをタップ

選択したファイルが表示／再生されます。



- [] をタップすると、フォルダを作成することができます（「システムメモリ（本体）」、「外部SDカード」、アカウントを設定したDropbox内のフォルダを表示しているときのみ表示されます）。
- [] / [] / [] をタップすると、「サムネイル表示（小）」／「リスト表示」／「サムネイル表示（大）」を切り替えることができます。
- [] をタップすると、メモリの使用状況を確認できます。
- [] をタップすると、マイファイル内を検索できます。

マイファイルのメニューを利用する

カテゴリー一覧画面、フォルダ／ファイル一覧画面で [] をタップすると、以下の項目が表示されます。

表示される項目は、フォルダの種類や状態によって異なります。





選択	フォルダ／ファイルを選択します。	
削除	フォルダ／ファイルを削除します。	
並べ替え	ファイル／フォルダ一覧の表示順を変更します。	
お気に入りフォルダに追加	お気に入りフォルダに追加します。	
お気に入りフォルダを削除	お気に入りフォルダから削除します。	
ショートカットを追加	ホーム画面にショートカットを追加します。	
FTPを追加	接続するFTPサーバーを設定します。	
近くのデバイスをスキャン	同じWi-Fi®ネットワークに接続しているほかのメディアファイル共有機能対応機器をスキャンします。 ・ 機器が検出されると、お気に入りフォルダに機器名が表示されます。	
表示オプション	隠しファイルを表示	隠しファイルの表示／非表示を設定します。
	ファイル拡張子を表示	ファイル拡張子の表示／非表示を設定します。

本体内のデータをmicroSDメモリカードにバックアップする

マイファイルを利用して、本体内のメモリのデータをmicroSDメモリカードにバックアップできます。

■例：カメラで撮影したデータをバックアップする

ここでは、本製品の「カメラ」アプリケーションで撮影し、本体内のメモリに保存されているデータをmicroSDメモリカードにバックアップする方法を説明します。

- 1 ホーム画面で 
- 2 [システムメモリ (本体)] → [DCIM] → [Camera]
- 3  → [選択]
- 4 バックアップするデータにチェックを入れる → 
- 5 [外部SDカード] → 保存するフォルダを選択
 - ・  → [フォルダ作成] をタップすると、新規にフォルダを作成できます。
- 6 [ここに貼付]

memo

- ◎ バックアップしたデータを本体に戻す場合は、microSDメモリカード内のデータを元の場所にコピーします。
- ◎ Eメールを復元する場合は、「Eメールをバックアップ／復元する」(▶P.86)をご参照ください。

■本体内の主なデータ保存場所

データの種類		データ保存場所
カメラで撮影したデータ		システムメモリ (本体) > DCIM/Camera
Eメール (@ezweb.ne.jp) *	受信メール	システムメモリ (本体) > private/au/email/BU/RE
	送信済メール	システムメモリ (本体) > private/au/email/BU/SE
	未送信メール	システムメモリ (本体) > private/au/email/BU/DR
	受信メールで添付データを保存した場合	システムメモリ (本体) > private/au/email/MyFolder
受信メールで本文に挿入されている画像を保存した場合 (D絵文字を含む)		システムメモリ (本体) > private/au/email/MyFolder
ブラウザから保存した画像などのデータ		システムメモリ (本体) > Download

※ Eメールアプリでデータが本体内にバックアップされた場合の保存場所です。

microUSBケーブル01 (別売) でパソコンと接続する

microUSBケーブル01 (別売) で本製品とパソコンを接続すると、メディアデバイス (MTP) モードまたはカメラ (PTP) モードでパソコンとデータのやりとりができます。

memo

- ◎ データ転送中にmicroUSBケーブル01 (別売) を取り外さないでください。データが破損するおそれがあります。
- ◎ 著作権で保護されたデータはやりとりできない場合や、利用できない場合があります。
- ◎ 本製品は、USB2.0ケーブル (市販品) に対応しています。

メディアデバイス (MTP) モードで接続する

パソコンに本製品がポータブルデバイスとして認識され、パソコンと本体 / microSDメモリカードとの間で、ドラッグ&ドロップでデータをコピー / 移動をしたり、Windows Media® Playerと音楽や動画のデータを同期させたりできます。

1 microUSBケーブル01 (別売) で本製品とパソコンを接続

接続が完了すると、パソコンに「(本製品のデバイス名)」という名前で認識されます。

2 通知パネルを開く→ [USBでメディアファイルを転送] → 「メディアファイルを転送」にチェックが入っていることを確認

3 パソコンでデータのやりとりや、同期の操作を行う

- ・ドラッグ&ドロップでデータをやりとりするには、パソコンで「(本製品のデバイス名)」フォルダを開き、「Tablet」フォルダ(本体の場合)または「Card」フォルダ (microSDメモリカードの場合) を開いてから操作します。
- ・音楽や動画のデータを同期するには、パソコンでWindows Media® Playerを起動し、同期の操作を行います。



◎ ご利用になるパソコンのOSによっては、本製品がポータブルデバイス以外のデバイスとして認識される場合や、「(本製品のデバイス名)」以外の名前前で表示される場合があります。

カメラデバイスとして使用する

本製品とパソコンをmicroUSBケーブル01 (別売) で接続してカメラ (PTP) モードにすると、本製品で撮影した静止画や動画をパソコンに転送できます。

- ・MTP非対応のパソコンなどにデータを転送する場合に使用します。

1 microUSBケーブル01 (別売) で本製品とパソコンを接続

2 通知パネルを開く→ [USBでメディアファイルを転送] → 「画像を転送」にチェックが入っていることを確認

3 パソコンでデータのやりとりや、同期の操作を行う

microUSBケーブル01 (別売) を安全に取り外す

1 データ転送中でないことを確認

2 microUSBケーブル01 (別売) を取り外す

Smart Switchを利用する

Smart Switchを利用して、連絡先や音楽、静止画、動画などのデータを本製品と同期したり、本製品のソフトウェアを更新したりできます。

- ・Smart SwitchはSmart Switchのホームページからダウンロードします。ダウンロードや使いかたの詳細については、Smart Switchのホームページをご参照ください。

<パソコンから><http://www.samsung.com/smartswitch/>




1 microUSBケーブル01 (別売) で本製品とパソコンを接続

2 パソコンでSmart Switchを起動する

近くのデバイス

同じWi-Fi®ネットワークに接続しているほかのメディアファイル共有機能対応機器と、ファイルを共有することができます。

近くのデバイスと本製品内のファイルを共有する

- 1 ホーム画面で [基本機能] → [設定] → [接続] → [近くのデバイス] の  をタップして  にする
ステータスバーに  が表示されます。
 - 他の機器からのアクセスを許可するかどうかの確認画面が表示された場合は、内容をご確認のうえ、手順 3 に進んでください。
- 2 アクセスする機器から本製品への接続操作を行う
アクセスを許可するかどうかの確認画面が本製品上に表示されます。
- 3 [OK]
アクセスした機器と接続されます。
 - 「キャンセル」をタップするとアクセスを拒否します。
 - アクセスを許可または拒否した機器は、許可デバイス/拒否デバイスに登録されます (▶P.156)。
- 4 アクセスした機器から再生の操作を行う

「近くのデバイス」のメニューを利用する

- 1 ホーム画面で [基本機能] → [設定] → [接続] → [近くのデバイス]

2	共有するコンテンツ	共有するコンテンツを選択します。
	許可デバイス	本製品にアクセス可能な機器を表示します。
	拒否デバイス	本製品にアクセス不可の機器リストを表示します。
	ダウンロード先	他の機器から本製品に転送されたメディアファイルの保存先を設定します。
	他のデバイスからファイルを受信	メディアファイルを転送されたときの本製品の動作を設定します。



- ◎ 許可デバイス/拒否デバイスに追加されているデバイスを削除するには、削除するデバイスにチェックを入れる → [削除] → [OK] をタップします。

Bluetooth[®]機能	158
Bluetooth [®] 機能をオンにする	158
他のBluetooth [®] 機器を登録する	159
Bluetooth [®] 機能でデータを送受信する	160
無線LAN (Wi-Fi[®]) 機能	160
Wi-Fi [®] 機能を利用する	160
Wi-Fi [®] 機能をオンにする	161
Wi-Fi [®] ネットワークに接続する	161
Wi-Fi [®] 機能を切断する	162
Wi-Fi [®] の詳細設定を行う	162
Wi-Fi Directを設定する	163
テザリング機能	163
Wi-Fi [®] テザリング機能を利用する	163
USBテザリング機能を利用する	164
Bluetooth [®] テザリング機能を利用する	164

Bluetooth®機能

Bluetooth®機能は、パソコンやハンズフリー機器などのBluetooth®デバイスとワイヤレス接続できる技術です。Bluetooth®デバイスと通信するには、Bluetooth®機能をオンにする必要があります。また、必要に応じて本製品とBluetooth®デバイスのペアリング（登録）を行ってください。



- 本製品はすべてのBluetooth®機器との接続動作を確認したものではありません。したがって、すべてのBluetooth®機器との接続は保証できません。
- 無線通信時のセキュリティとして、Bluetooth®標準仕様に準拠したセキュリティ機能に対応していますが、使用環境および設定内容によってはセキュリティが十分でない場合が考えられます。Bluetooth®通信を行う際はご注意ください。
- Bluetooth®通信時に発生したデータおよび情報の漏洩につきましては、当社は一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

Bluetooth®機能使用時の注意

良好な接続を行うために、以下の点にご注意ください。

1. 本製品とほかのBluetooth®対応機器とは、見通し距離10m以内で接続してください。周囲の環境（壁、家具など）や建物の構造によっては、接続可能距離が極端に短くなることがあります。
2. ほかの機器（電気製品、AV機器、OA機器など）から2m以上離れて接続してください。特に電子レンジ使用時は影響を受けやすいため、必ず3m以上離れてください。近付いていると、ほかの機器の電源が入っているときに正常に接続できないことがあります。また、テレビやラジオに雑音が入ったり映像が乱れたりすることがあります。

■無線LAN（Wi-Fi®）対応機器との電波干渉について

本製品のBluetooth®機能と無線LAN（Wi-Fi®）対応機器は同一周波数帯（2.4GHz）を使用するため、無線LAN（Wi-Fi®）対応機器の近辺で使用すると、電波干渉が発生し、通信速度の低下、雑音や接続不能の原因になることがあります。




この場合、以下の対策を行ってください。

1. Bluetooth®デバイスと無線LAN（Wi-Fi®）対応機器は、20m以上離してください。
2. 20m以内で使用する場合は、Bluetooth®デバイスまたは無線LAN（Wi-Fi®）対応機器の電源を切ってください。

Bluetooth®機能をオンにする

本製品でBluetooth®機能を利用する場合は、あらかじめ次の操作でBluetooth®機能をオンに設定します。

他のBluetooth®機器からの接続要求、機器検索への応答、オーディオ出力、データ送受信などが利用可能になります。

- 1 ホーム画面で **[基本機能]** → **[設定]** → **[接続]** → **[Bluetooth]** の  をタップして  にする
ステータスバーに （接続待機中のアイコン）が表示されます。



- Bluetooth®機能のオン/オフ設定は、電源を切っても変更されません。
- Bluetooth®機能は本製品の電源を切った状態では利用できません。
- Bluetooth®機能をオンにすると、電池の消費が早くなります。使用しない場合は電池の消費を抑えるためにBluetooth®機能をオフにしてください。また、航空機内や病院などでご利用になる場合は各社・各施設の指示に従ってください。

他のBluetooth®機器を登録する

本製品と他のBluetooth®機器を接続するには、あらかじめペアリング（登録）を行います。
機器によって、ペアリングのみ行う場合と、続けて接続まで行う場合があります。

1 ホーム画面で【基本機能】→【設定】→【接続】→【Bluetooth】

Bluetooth設定画面が表示されます。

2 をタップして にする

接続可能なBluetooth®機器の検索が自動的に開始され、検出されたBluetooth®デバイス名が一覧表示されます。

3 ペアリングを行うBluetooth®デバイス名を選択

4 画面の指示に従って操作

パスキー入力画面が表示されたときは、本製品とBluetooth®機器で同じパスキー（4～16桁の数字）を入力します。

memo

- ◎ ペアリングを行うデバイス側で、Bluetooth®機能が有効になっていることとBluetooth®検出機能がオンになっていることを確認してください。
- ◎ 接続するBluetooth®デバイス名が表示されていないときは、「スキャン」をタップして、機器を再検索します。

■ パスキーについて

パスキーは、Bluetooth®機器同士が初めて通信するとき、お互いに接続を許可するために、本製品およびBluetooth®機器で入力する暗証番号です。本製品では、4～16桁の数字を入力できます。

memo

- ◎ パスキー入力は、セキュリティ確保のために約30秒の制限時間が設けられています。
- ◎ 接続する機器によっては、毎回パスキーの入力が必要な場合があります。

他のBluetooth®機器から検出可能にする

1 ホーム画面で【基本機能】→【設定】→【接続】→【Bluetooth】

2 本製品のデバイス名にチェックを入れる

- 本製品が、他のBluetooth®機器から一定時間検出可能になります。
- ・ 検出可能な時間は、Bluetooth設定画面→**[H]**→「端末の公開時間」から変更できます。

■ 他のBluetooth®機器からペアリング要求を受けた場合

ペアリングを要求する画面が表示された場合は、必要に応じて「OK」をタップまたはパスキーを入力し、Bluetooth®機器を認証します。

Bluetooth®対応機器の接続を解除する

1 Bluetooth設定画面→接続中のBluetooth®デバイス名をタップ

2 [OK]

- ペアリングしたまま接続が解除されます。
- ・ ペアリングを解除する場合は、ペアリング済みのBluetooth®デバイス名の**[✖]**→「ペアリングを解除」と操作します。

Bluetooth[®]機能でデータを送受信する

あらかじめ本製品のBluetooth[®]機能をオンにし、相手のBluetooth[®]機器とペアリングを行ってください。


Bluetooth[®]機能でデータを送信する

連絡先、静止画、動画、音楽などのファイルを、他のBluetooth[®]機器に送信できます。

- 送信は各アプリケーションの「共有」/「送信」などのメニューから行ってください。

Bluetooth[®]機能でデータを受信する

1 ファイル転送画面が表示されたら→ [承認]

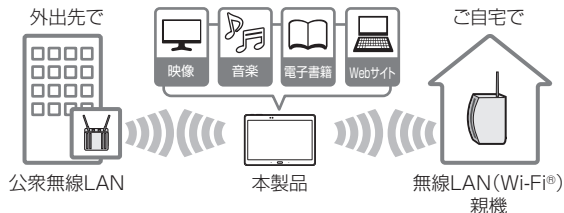
ステータスバーにが表示され、データの受信が開始されます。通知パネルで受信状態を確認できます。

無線LAN (Wi-Fi[®]) 機能

Wi-Fi[®]機能を利用する

家庭内で構築した無線LAN (Wi-Fi[®]) 環境や、外出先の公衆無線LAN環境を利用して、インターネットサービスに接続できます。

大容量コンテンツを手軽に楽しめる





memo

- ◎ ご自宅などでご利用になる場合は、インターネット回線と無線LAN親機 (Wi-Fi[®]ネットワーク) をご用意ください。
- ◎ 外出先でご利用になる場合は、あらかじめ外出先のWi-Fi[®]ネットワーク状況を、公衆無線LANサービス提供者のホームページなどでご確認ください。公衆無線LANサービスをご利用になるときは、別途サービス提供者との契約などが必要な場合があります。
- ◎ すべての公衆無線LANサービスとの接続を保証するものではありません。
- ◎ 無線LAN (Wi-Fi[®]) 機能は、電波を利用して情報のやりとりを行うため、電波の届く範囲であれば自由にLAN接続できる利点があります。その反面、セキュリティの設定を行っていないときは、悪意ある第三者により不正に進入されるなどの行為をされてしまう可能性があります。お客様の判断と責任において、セキュリティの設定を行い、使用することを推奨します。

Wi-Fi®機能をオンにする

Wi-Fi®機能を使用するには、Wi-Fi®機能をオンにしてから利用可能なWi-Fi®ネットワークを検索して接続します。

- 1 ホーム画面で [基本機能] → [設定] → [接続] → [Wi-Fi] の  をタップして  にする

Wi-Fi®機能が起動し、利用可能なWi-Fi®ネットワークがスキャンされます。

Wi-Fi®機能がオンになるまで、時間がかかる場合があります。




- ◎ Wi-Fi®機能がオンのときでもデータ通信を利用できます。ただしWi-Fi®ネットワーク接続中は、Wi-Fi®機能が優先されます。また、Wi-Fi®ネットワークが切断されると、自動的にデータ通信に切り替わります。
- ◎ Wi-Fi®機能を使用するときには十分な電波強度が得られるようご注意ください。Wi-Fi®ネットワークの電波強度は、お使いの本製品の位置によって異なります。Wi-Fi®ルーターの近くに移動すれば、電波強度が改善されることがあります。

Wi-Fi®ネットワークに接続する

- 1 ホーム画面で [基本機能] → [設定] → [接続] → [Wi-Fi] Wi-Fi設定画面が表示され、利用可能なWi-Fi®ネットワークが一覧表示されます。

- 2 接続するWi-Fi®ネットワークを選択 → [接続]


- ・セキュリティで保護されたWi-Fi®ネットワークに接続する場合は、パスワード(セキュリティキー)^{*1}を入力し、「接続」をタップします。
 - ※ パスワード(セキュリティキー)は、アクセスポイントで設定されています。詳しくは、ネットワーク管理者にお問い合わせください。
- ・接続が完了すると、ステータスバーに  が表示されます。




- ◎ Wi-Fi設定画面で接続中のWi-Fi®ネットワークをタップすると、ネットワーク情報の詳細が表示されます。
- ◎ お使いの環境によっては通信速度が低下したり、ご利用になれない場合があります。

WPSのプッシュボタン方式でWi-Fi®ネットワークに接続する

Wi-Fi設定画面に「(WPS利用可能)」と表示されているWi-Fi®ネットワークのアクセスポイントには、WPS (Wi-Fi Protected Setup) を利用して接続できます。

- 1 Wi-Fi設定画面で  → [WPSプッシュボタン]
- 2 アクセスポイント機器側で、2分以内にWPSボタンを押す
- 3 本製品で [OK]



- ◎ Wi-Fi®ネットワークのアクセスポイントがWPSのPINコード方式に対応している場合は、Wi-Fi設定画面で  → [WPS PINエントリ] をタップし、アクセスポイント側で本製品の画面に表示されたPINコードを入力 → 本製品で [OK] をタップすると接続できます。

Wi-Fi®ネットワークを手動で追加する

- 1 Wi-Fi設定画面 → [Wi-Fiネットワークを追加]
- 2 追加するWi-Fi®ネットワークのネットワークSSIDを入力
- 3 セキュリティを選択
必要に応じて、追加するWi-Fi®ネットワークのセキュリティ情報を入力します。

4 【接続】



◎ 手動でWi-Fi®ネットワークを追加する場合は、あらかじめネットワークSSIDや認証方式などをご確認ください。

静的IPを使用して接続する

静的IPアドレスを使用してWi-Fi®ネットワークに接続するように設定できます。

1 Wi-Fi設定画面→接続するWi-Fi®ネットワークをタップ
→「拡張オプションを表示」にチェックを入れる→下に
表示される「IP設定」の項目をタップ→【静的】
設定項目が下に表示されます。

2 項目を選択→必要な情報を入力
静的IPアドレスを使用するには、「IPアドレス」「ゲートウェイ」「ネット
ワークプレフィックス長」「DNS 1」「DNS 2」の入力が必要です。

3 【接続】

Wi-Fi®機能を切断する

1 Wi-Fi設定画面→接続中のWi-Fi®ネットワーク名をタップ

2 【切断】



◎ Wi-Fi設定画面で接続中のWi-Fi®ネットワークをロングタッチ→「ネット
ワークを切断」と操作しても、接続を切断できます。
◎ 切断すると、再接続のときにパスワード（セキュリティキー）の入力が必
要になる場合があります。

Wi-Fi®の詳細設定を行う

スマートネットワークに切り替える

安定したインターネット接続を維持するために、モバイルネットワー
クとWi-Fi®ネットワーク接続を自動で切り替えます。

1 Wi-Fi設定画面で「スマートネットワーク切り替え」に
チェックを入れる
データ使用量についての確認画面が表示されたら、「OK」をタップしま
す。

オープンネットワーク通知を設定する

オープンネットワーク（パスワードなどが設定されていないWi-Fi®
ネットワーク）が検出されたら通知するように設定します。

1 Wi-Fi設定画面で【】 → 【詳細設定】 → 「ネットワー
ク通知」にチェックを入れる
オープンネットワーク通知が設定されます。


Wi-Fi®ネットワークの並び順を設定する

1 Wi-Fi設定画面で【】 → 【詳細設定】 → 【並べ替え】

2 並べ替え方法を選択
・「アルファベット順」を選択するとネットワークSSIDの名前順、「電
波強度」を選択すると電波強度順に表示が切り替わります。


Wi-Fi®機能のスリープ設定をする

Wi-Fi®機能のスリープ設定を変更することで、画面のバックライトが消灯したときに本体のWi-Fi®機能がオフになるように設定できます。また、Wi-Fi®機能を常にオンにするか、あるいは充電時には常にオンにするように設定することも可能です。

- 1 Wi-Fi設定画面で **[]** → **[詳細設定]** → **[スリープ中でもWi-Fi接続を維持]**
- 2 スリープ設定を選択


Wi-Fi®証明書をインストールする

Wi-Fi®証明書をmicroSDメモ리카ードからインストールできます。

- 1 Wi-Fi設定画面で **[]** → **[詳細設定]** → **[ネットワーク証明書をインストール]**
以降の操作については、ネットワーク管理者の情報に従って設定してください。

Wi-Fi Directを設定する

Wi-Fi Direct対応デバイス同士をピア・ツー・ピア (P2P) 型により相互接続し、データのやりとりができます。

- 1 Wi-Fi設定画面で **[]** → **[Wi-Fi Direct]**
- 2 検索されたデバイス名を選択
スキャン停止中は、「スキャン」をタップして、デバイスの検索結果を更新することができます。
- 3 接続を完了するときは **[接続終了]** → **[OK]**

テザリング機能



テザリングとは一般に、タブレットなどのモバイル機器をモデムとして使い、データ通信を通じて無線LAN (Wi-Fi®) 対応機器、USB対応機器をインターネットに接続させることをいいます。



◎テザリング機能のご利用には別途ご契約が必要です。

Wi-Fi®テザリング機能を利用する

本製品をインターネットアクセスポイントとして利用できるようになります。

- 1 ホーム画面で **[基本機能]** → **[設定]** → **[接続]** → **[テザリング]**
- 2 「Wi-Fiテザリング」の  をタップして  にする
・注意が表示された場合は、「OK」をタップしてWi-Fi®をOFFにします。



◎Wi-Fi®テザリング機能は電池を多く消費するため、充電しながらご利用になることをおすすめします。

Wi-Fi®テザリングを設定する

無線LAN (Wi-Fi®) 対応機器から本製品に接続するための設定を行います。

- 1 ホーム画面で **[基本機能]** → **[設定]** → **[接続]** → **[テザリング]**

2 [Wi-Fiテザリング] → []**3** ネットワークSSIDを入力


パソコンなど無線LAN (Wi-Fi[®]) 対応機器に表示されるアクセスポイント名 (SSID) を入力します。

4 セキュリティを選択

必要に応じて、Wi-Fi[®]ネットワークのセキュリティ情報を入力します。

5 [保存]

◎「セキュリティ」を「オープン」にすると、意図しない機器からの接続のおそれがありますので、ご注意ください。

◎次の操作で、デバイスに接続していない場合にWi-Fi[®]テザリングを自動的に無効にする時間を設定できます。[] → [タイムアウト設定] と操作します。

接続を許可する機器を設定する

1 ホーム画面で [基本機能] → [設定] → [接続] → [テザリング] → [Wi-Fiテザリング]**2** ネットワークSSIDをタップ → [許可デバイスのみ]**3** [許可デバイス] → []**4** 接続を許可する機器の名前 (デバイス名称) を入力 → 「MACアドレス」欄をタップ → 接続を許可する機器のMACアドレスを入力 → [OK]

USBテザリング機能を利用する

本製品とパソコンをmicroUSBケーブル01 (別売) で接続し、インターネットに接続することができます。



◎USBテザリングを行うには、専用のドライバが必要です。専用のドライバのダウンロードについては、以下のホームページをご参照ください。
<パソコンから><http://www.samsung.com/jp/kies>

1 microUSBケーブル01 (別売) で本製品とパソコンを接続**2** ホーム画面で [基本機能] → [設定] → [接続] → [テザリング]**3** 「USBテザリング」にチェックを入れる

◎Windows Vista / Windows 7 / Windows 8 / Windows 8.1以外のOSでの動作は、保証していません。

Bluetooth[®]テザリング機能を利用する

1 ホーム画面で [基本機能] → [設定] → [接続] → [テザリング]**2** 「Bluetoothテザリング」にチェックを入れる

・他のBluetooth[®]機器から検出可能 (▶P.159) になっていない場合、メッセージが表示されます。


設定メニューを表示する	166
「接続」の設定をする	166
「デバイス」の設定をする	170
「一般」の設定をする	176
「アプリ」の設定をする	182

設定メニューを表示する

設定メニューから本製品の各種機能を設定、管理します。壁紙や通知音のカスタマイズ、セキュリティの設定、データの初期化などを行うことができます。

1 ホーム画面で [基本機能] → [設定]

設定メニュー画面が表示されます。

- ・ステータスバーを下にスライドし、通知パネルにある  をタップしても、設定メニュー画面を表示することができます。

■ カテゴリーの項目一覧

項目	概要
接続	▶P.166
デバイス	▶P.170
一般	▶P.176
アプリ	▶P.182

「接続」の設定をする

Wi-Fi®、Bluetooth®接続、ホームネットワークの設定など、通信に関する設定を行います。

1 設定メニュー画面で [接続]

2	Wi-Fi	▶P.161「Wi-Fi®機能をオンにする」	
	Bluetooth	▶P.158「Bluetooth®機能をオンにする」	
	テザリング	▶P.163「テザリング機能」	
	機内モード	▶P.167「機内モードを設定する」	
	通信制限モード	SMSの受信以外のすべての通信を無効に設定します。	
	ハイブリッドダウンロード	Wi-Fi®と4Gネットワークを同時に使用することで容量が大きいファイル（30MB超）をより速くダウンロードできるように設定します。	
	データ使用量	▶P.167「データ使用量を設定する」	
	位置情報	モード	位置情報の検出方法を「高精度」／「省電力」／「GPSのみ」から選択します。
		精度を向上	Wi-Fi®機能やBluetooth®機能を使用して、位置情報の精度を向上させます。
		最近の位置情報要求	最近、位置情報を要求したアプリを表示します。
		Googleロケーション履歴	Googleの位置情報サービスに関する設定を行います。
		au位置情報サービス	auの位置情報サービスに関する設定を行います。
	マイブレイス	位置情報が必要なサービスを利用するために、お気に入りの場所（自宅、勤務先、クルマなど）を設定します。	
	その他ネットワーク	近くのデバイスをスキャン	接続可能なデバイスが近くにあるかをスキャンするように設定します。



その他ネットワーク	モバイルネットワーク	モバイルデータ	▶P.168「モバイルネットワークを設定する」
		データローミング	▶P.185「海外利用に関する設定を行う」
		ローミング設定	▶P.185「海外利用に関する設定を行う」
		4Gデータ通信	4Gデータ通信を使用するかどうかを設定します。
		APN	▶P.102「データ通信を利用する」
		CPA接続設定	CPAの接続を設定します。
		VPN	▶P.169「VPNを設定する」
	イーサネット	Ethernetネットワークへの接続やEthernetデバイスを設定します。	
NFC	▶P.136「NFCを利用する」		
近くのデバイス	▶P.156「近くのデバイス」		
印刷	対応する印刷サービスを設定します。		
Screen Mirroring	対応機器 ^{※1} と本製品の画面を共有します。 <ul style="list-style-type: none"> • HDCP (High-bandwidth Digital Content Protection) 機能をサポートしない対応機器とは接続できない場合があります。 • ネットワーク接続や相手機器の状態によっては、再生が中断される場合があります。 • 特定の周波数帯のWi-Fi®ネットワークを使用する場合、対応機器を検索できない場合があります。 		


※1 Screen Mirroring機能に対応するのは、Miracast認証を受けた機器になります。

機内モードを設定する

機内モードを設定すると、ワイヤレス機能（データ通信、無線LAN (Wi-Fi®) 機能、Bluetooth®機能）がすべてオフになります。

■ 機内モードをオンにする

1 設定メニュー画面 → [接続] → 「機内モード」の  をタップして  にする → [有効]

 → [無効] をタップすると、機内モードはオフになります。機内モードがオンの場合でも無線LAN (Wi-Fi®) 機能やBluetooth®機能をオンにすることができます。航空機内や病院などご利用になる場合は各社・各施設の指示に従ってください。



◎|| (1秒以上長押し) → [機内モード] → [有効] / [無効] と操作してもオン/オフを切り替えることができます。

データ使用量を設定する

期間ごとやアプリケーションごとのモバイルデータ通信使用量（目安）を確認できます。また、アプリケーションがバックグラウンドで行うデータ通信や自動同期を制限したり、特定のWi-Fi®ネットワークを利用できないように設定したりできます。

■ データ通信を設定する

1 設定メニュー画面 → [接続] → [データ使用量]

2 「モバイルデータ」にチェックを入れる

■ 指定したデータ使用量を超えたときに警告・制限させる

- 1 設定メニュー画面 → [接続] → [データ使用量]
- 2 「モバイルデータ制限を設定」にチェックを入れる
サイクルを変更する場合は、使用サイクル欄をタップ → [サイクルを変更] → サイクルを設定 → [設定] と操作します。
- 3 グラフ上の各バーをドラッグして使用量を設定
 - ・ 黒色のバーは警告する使用量、オレンジ色のバーはモバイルデータ通信を制限する使用量を設定します。



◎「モバイルデータ制限を設定」にチェックを入れていない場合でも、指定したデータ使用量を超えたときに警告が表示されます。

■ バックグラウンドデータを制限する

- 1 設定メニュー画面 → [接続] → [データ使用量]
- 2 [H] → [バックグラウンドデータを制限] → [OK]

■ Wi-Fi®使用状況を表示する

Wi-Fi®ネットワーク接続でのデータ使用量を表示できます。

- 1 設定メニュー画面 → [接続] → [データ使用量]
- 2 [H] → [Wi-Fi使用量を表示]
 - ・ 画面上部に「モバイル」 / 「Wi-Fi」タブが表示され、「Wi-Fi」タブをタップしてデータ使用量を確認できます。

■ 特定のWi-Fi®ネットワークの使用を制限する

- 1 設定メニュー画面 → [接続] → [データ使用量]
- 2 [H] → [Wi-Fiテザリング] → 利用を制限するWi-Fi®ネットワークの をタップして にする

■ モバイルネットワークを設定する

データ通信やローミングなどのネットワークを利用できるように設定します。

■ データ通信を設定する

- 1 設定メニュー画面 → [接続] → [その他ネットワーク] → [モバイルネットワーク] → 「モバイルデータ」にチェックを入れる



- ◎「モバイルデータ」のチェックを外すとデータ通信が無効になり、CDMA 1X WIN（国内でのEVDOマルチキャリアサービスを含む） / 4G（LTE / WiMAX 2+）通信でのデータ通信ができなくなります。
- ◎ データローミングについては、「海外利用に関する設定を行う」（▶P.185）をご参照ください。
- ◎ ローミング設定については、「海外利用に関する設定を行う」（▶P.185） / 「ネットワークモードを設定する」（▶P.185）をご参照ください。

VPNを設定する

仮想プライベートネットワーク (VPN : Virtual Private Network) は、保護されたローカルネットワーク内の情報に、別のネットワークから接続する技術です。VPNは一般に、企業や学校、その他の施設に備えられており、ユーザーは構内にいなくてもローカルネットワーク内の情報にアクセスできます。

本製品からVPNアクセスを設定するには、ネットワーク管理者からセキュリティに関する情報を得る必要があります。

- ・ 本製品は以下の種類のVPNに対応しています。
 - PPTP
 - L2TP/IPSec PSK
 - L2TP/IPSec RSA
 - IPSec Xauth PSK
 - IPSec Xauth RSA
 - IPSec Hybrid RSA
 - IPSec IKEv2 PSK
 - IPSec IKEv2 RSA

■ VPNを追加する

1 設定メニュー画面→ [接続] → [その他ネットワーク] → [VPN]


- ・ 初回起動時など、セキュリティの設定が必要な場合は画面の指示に従って設定してください。項目の内容については、「画面ロックを設定する」(▶P.175) をご参照ください。

2 [+]

3 VPN設定の各項目を設定→ [保存]

VPN設定画面のリストに、新しいVPNが追加されます。



◎ 追加したVPNは編集したり、削除したりできます。編集/削除するには、変更するVPNの  をタップします。


■ VPNに接続する

1 設定メニュー画面→ [接続] → [その他ネットワーク] → [VPN]

VPN設定画面に、追加したVPNがリスト表示されます。

2 接続するVPNをタップ

3 必要な認証情報を入力→ [接続]

VPNに接続すると、ステータスバーに  が表示されます。



■ VPNを切断する

1 ステータスバーを下にスライド→VPN接続中を示す通知をタップ→ [切断]

「デバイス」の設定をする

サウンドやディスプレイ、ロック画面、マルチウィンドウ、通知パネル、モーションなど、本製品のデバイスに関する設定を行います。

1 設定メニュー画面で [デバイス]

2	サウンドと通知	サウンド	▶P.174 「各種音量を調節する」
	サウンドモード	マナーモードの設定を「サウンド」/「バイブ」/「サイレント」から切り替えます。	
	バイブの強度設定	▶P.174 「バイブレーションの強度を設定する」	
	通知音	メール着信などの通知音を設定します。	
	その他のサウンド	画面ロック音	画面ロック/解除時に音を鳴らすかどうかを設定します。
		充電時の音	充電時に音を鳴らすかどうかを設定します。
		タッチ操作音	[]や[]、メニュー項目をタップしたときに操作音を鳴らすかどうかを設定します。
		タッチ操作バイブ	特定の操作をしたときの振動を有効にするかどうかを設定します。
		Eメール	各アプリのサウンド関連機能の設定をします。
		Sプランナー	
	通知をミュート	選択した例外を除き、全てのアラートを消音するように端末を設定します。	
	ロック画面の通知	ロック画面にコンテンツや通知を表示するように設定します。	
	アプリケーション通知	個々のアプリからの通知を許可またはブロックします。	
	通知へのアクセス	通知の読み取りが可能なアプリの許可/非許可を設定します。	



ディスプレイ	フォント	フォントスタイル	画面に表示される文字フォントを設定します。 • 起動中のアプリケーションが終了する場合があります。
		文字サイズ	画面の文字サイズを設定します。
	明るさ		画面の明るさを設定します。「明るさの自動調整」にチェックを入れると、照度センサーで周囲の明るさを検知して画面の明るさを自動調整します。
	画面回転		画面の縦横自動回転を設定します。
	スマートステイ		内側カメラで本製品の画面を見ていることを検出すると、画面のタイムアウトが無効になるように設定します。
	画面のタイムアウト		画面のバックライトが自動消灯するまでの時間を設定します。
	画面モード		画面のコントラストを設定します。
	読書モード		画面を読書用に最適化します。 • 一部のアプリでのみ使用可能です。
	画面トーンの自動調整		表示されている画像に応じて画面のトーンを調整し、バッテリーの消耗を抑えます。
	スクリーンセーバー		▶P.174 「スクリーンセーバーを設定する」
タッチキーライト消灯時間		タッチキーのライトが消えるまでの時間を設定します。	

ディスプレイ	高感度タッチ操作	<p>手袋をはめた状態でタッチ操作ができるように、タッチ操作の感度を高めるかどうかを設定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> 革の手袋を利用すると、感度を高めることができます。他の素材の手袋では、タッチ操作が正しく動作しない場合があります。 本機能を有効にして初めてタッチ操作をする場合は、最初の操作でディスプレイを長めにタップすると、以降の操作の認識率を高めることができます。 本機能を有効にし、手袋をはめずにタッチ操作を行うと、タッチ操作が正しく動作しない場合があります。 	
壁紙		▶P.174 「壁紙の設定をする」	
ロック画面*	画面ロック	▶P.175 「画面ロックを設定する」	
	パターンの種類	「パターン」表示の種類を選択できます。	
	時計ウィジェットオプション	デュアル時計	ローミング時にデュアル時計を表示するかどうかを設定します。
		時計のサイズ	時計のサイズを設定します。
		日付を表示	日付を表示するかどうかを設定します。
	ショートカット	ロック画面に表示するショートカットを設定します。	
オーナー情報	ロック画面にオーナー情報を表示するかどうかを設定します。また、表示するオーナー情報を編集できます。		

ロック画面*	ロック解除エフェクト	ロック解除時のエフェクトを設定します。
	パターンを表示	画面ロック解除時にパターンの軌跡を表示させるかどうかを設定します。
	バイブフィードバック	正しくないロック解除パターンが入力されると端末が振動します。
	自動ロック	画面のバックライトが消灯してから自動でロックがかかるまでの時間を設定します。
	電源キーですぐにロック	⏻を押して画面ロックするかどうかを設定します。
マルチウィンドウ		<p>画面を2つに分けて別々のアプリケーションを表示できるようにするかどうかを設定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> 「マルチウィンドウ表示で開く」にチェックを入れると、特定のアプリでファイルを開いたときに、自動的にマルチウィンドウ表示でコンテンツを表示します。
通知パネル	明るさ調整	通知パネルで明るさを調整するかどうかを設定します。
	おすすめアプリ	イヤホンを接続するなどの特定の操作を行ったときに、関連するおすすめアプリを通知パネルに表示するかどうかを設定します。
	クイック設定ボタンを設定	通知パネルに表示されるクイック設定ボタンを並び替えます。
ツールボックス		▶P.46 「ツールボックスを利用する」
モーショーン	消音	▶P.38 「モーショーンの使いかた」
	スワイプキャプチャ	

ユーザー補助*	視覚	TalkBack	▶P.176「ユーザー補助を利用する」
		スイッチアクセス	設定可能なキーの組み合わせを使用して端末を制御できます。
		画面の情報を保護	プライバシー保護のため、画面を常にOFFの状態にします。
		高速キー入力	ダブルタップする代わりに指を離すと選択した文字を入力します。
		パスワードの音声出力	パスワードを音声で出力するか設定します。
		文字サイズ	画面の文字サイズを設定します。
		高コントラストフォント	フォントの色や輪郭を調整して、背景とのコントラストを高めます。
		拡大ジェスチャー	画面の拡大操作を設定します。
		通知リマインダー	確認していない通知があるとき、設定した間隔で通知音を鳴らして知らせるかどうかを設定します。
		ネガポジ反転	画面のカラーを反転します。
	色の調整	色覚テストを行い、ディスプレイ表示を最適な色に調整します。	

ユーザー補助*	視覚	ユーザー補助ショートカット	簡単な操作でユーザー補助機能を利用できるように設定できます。 • []を音が聞こえるか振動が感じられるまで長押しして端末オプション画面を表示し、2本の指で画面をロングタッチし続けると、ユーザー補助機能を利用できるようになります。
		音声読み上げオプション	テキストを読み上げるための音声合成エンジンの設定や、読み上げ速度などを設定します。
	聴覚	フラッシュ通知	通知を受信したときや、アラーム音が鳴るとカメラのライトが点滅します。
		全ての音をOFF	受話音声を含む、すべての音をオフに設定します。
		Google字幕(CC)	字幕の表示方法を設定・確認します。
		サウンドバランス	イヤホンを使用して「ミュージック」などで音楽を聴くときの左右の音量バランスを設定します。
		モノラル再生	片方のイヤホンだけで聴きやすくするために、オーディオをモノラルに変更します。
	操作と制御	アシスタントメニュー	アシスタントメニューを表示させるかどうかを設定します。また、アシスタントメニューの表示位置の設定や、アシスタントメニューに表示される操作の編集ができます。
		長押しの調整	ロングタッチの時間を設定しません。

ユーザー補助 [※]	操作と制御	入力操作制御	<p>ハードキー機能を無効にしたり、タッチ操作をブロックする範囲を設定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> 本機能を有効／無効にするには、音量キーの左側と  を同時に1秒以上押し、画面の指示に従ってください。 「マルチウィンドウ」が有効の場合は、本機能を有効にできません。 本機能を有効にすると、「画面回転」が自動的に無効になります。
	ダイレクトアクセス		<p> を続けて3回押してユーザー補助機能を設定できるようにします。</p>
	シングルタップモード		<p>1回のタップでアラームの停止／スヌーズ、カレンダーイベントやタイマー通知の停止などをするかどうかを設定します。</p>
	ユーザー補助を管理		<ul style="list-style-type: none"> インポート／エクスポート：ユーザー補助設定をファイルとして保存（エクスポート）したり、保存済みファイルをインポートしてユーザー補助設定を更新したりします。 共有：ユーザー補助設定ファイルをオンラインサービスで共有したり、Bluetooth[®]機能やメールなどで送信します。
	プライベートモード		<p>パーソナルコンテンツを非表示にしてセキュリティ保護することができます。</p>
	指紋スキャナー		<p>▶P.52「指紋認証機能を利用する」</p>

※ 設定により表示される項目は異なります。

マナーモードを設定する

マナーモード（バイブまたはサイレント）を設定することで、公共の場所で周囲の迷惑とならないように設定できます。

1 通知パネルを開く

2 [サイレント] / [バイブ] に設定する



memo

- 通知パネルでクイック設定ボタンをタップして [サウンド] / [バイブ] / [サイレント] を切り替えることができます。
- [サウンド] にすると、マナーモードが解除されます。
- 音量キーの左側を押すと、通知音量が1段階ずつ下がります。通知音量を下げることで、バイブにすることもできます。
- マナーモード（サイレント/バイブ）に設定中でも、カメラ撮影時のシャッター音や、動画再生、音楽の再生などは消音されません。

各種音量を調節する

1 設定メニュー画面→「デバイス」→[サウンドと通知]

次の項目の音量を調節します。

- 通知
- メディア
- システム

2 スライダーを左右にドラッグして音量を調節

音量を下げるにはスライダーを左にドラッグ、上げるにはスライダーを右にドラッグします。



memo

◎ マナーモード設定中に通知音量を調節すると、マナーモードは解除されません。

バイブレーションの強度を設定する

1 設定メニュー画面→「デバイス」→[サウンドと通知] →[バイブの強度設定]

次の項目のバイブレーションの強度を調節します。

- 通知
- タッチ操作バイブ

2 スライダーを左右にドラッグして強度を調節

• バイブレーションを弱くするにはスライダーを左にドラッグ、強くするにはスライダーを右にドラッグします。

3 [OK]

壁紙の設定をする

1 設定メニュー画面→「デバイス」→[壁紙]

2 ホーム画面	ホーム画面の壁紙を設定します。
ロック画面	ロック画面の壁紙を設定します。
ホーム画面とロック画面	ホーム画面とロック画面の壁紙を設定します。

3 [壁紙に設定]

スクリーンセーバーを設定する

充電中に表示するスクリーンセーバーのON / OFF、種類、起動のタイミングを設定します。

1 設定メニュー画面→[デバイス]→[ディスプレイ]→[スクリーンセーバー]

2 をタップして にする

3 [色] / [Flipboard] / [デスクホーム画面] / [フォトテーブル] / [フォトフレーム]

- 「Flipboard」を選択した場合は、[⚙️] → [新しいアイテムを自動でダウンロード] → [WiFi接続時のみ] / [常にダウンロード] / [更新なし] → [👉] と操作します。
- 「デスクホーム画面」を選択した場合は、[⚙️] → 画面の指示に従って設定 → [👉] と操作します。
- 「フォトテーブル」または「フォトフレーム」を選択した場合は、[⚙️] → 表示する画像が含まれるフォルダにチェックを入れる → [👉] と操作します。
- [👉] → 「プレビュー」をタップすると、スクリーンセーバーをプレビュー表示できます。

画面ロックを設定する


1 設定メニュー画面→ [デバイス] → [ロック画面] → [画面ロック]

2 スワイプ	画面を上下左右にスワイプして、画面ロックを解除します。
パターン	ロック解除パターンを入力します。
PIN	PINを入力します。
パスワード	アルファベットを含む4文字以上の文字を入力します。
指紋	▶P.52「指紋認証機能を利用する」
なし	ロック画面を表示しないように設定します。

3 必要に応じてその他の項目を設定

- その他の項目については、「[デバイス]」の設定をする」(▶P.170)の「ロック画面」をご参照ください。

■ 画面ロックをかける

画面ロックの解除方法を「なし」以外に設定している場合、を押す、または自動的に画面のバックライトが消灯すると、画面ロックがかかります。

■ 画面ロックを解除する

1 / を押して、バックライトを点灯

2 ロック画面で現在のロック解除方法を実行する

ロック解除を5回続けて失敗した場合は、画面に従って再試行してください。



◎ 解除パターンやPIN、パスワードの入力、指紋の認証に5回失敗^{*1}すると、30秒後に再度入力するようメッセージが表示されます。

※1 解除パターンを3箇所以下、PIN / パスワードを3桁以下で入力した失敗、指紋の不一致以外の理由による認証失敗はカウントされません。


解除パターンを忘れた場合は、再入力の画面で「バックアップPIN」をタップしてパターン設定時に入力したバックアップPINを入力します。PIN、パスワードなどを忘れた場合は、パソコンなどからFind My Mobile（端末リモート追跡）のホームページにアクセスし、「画面のロック解除」を実行すると画面ロックを解除できます。詳細については、Find My Mobile（端末リモート追跡）のホームページをご参照ください（▶P.35）。

ユーザー補助を利用する

ユーザーの操作に音や振動で反応したり、テキストを読み上げたりするユーザー補助を有効にします。ユーザー補助プラグインは、Google Playからインストールして追加することもできます。

1 設定メニュー画面→「デバイス」→「ユーザー補助」

2 [視覚] → [TalkBack] → をタップして [OK] をタップし、 にする



レッスン画面が表示されます。画面の指示に従って操作方法を確認するか、 をタップしてレッスンを終了してください。

- TalkBackと同時に有効にできない機能の説明画面が表示された場合は、内容をご確認のうえ、「OK」をタップしてください。

3 [設定] → 各項目を設定



TalkBackのタッチガイド機能について

- ◎ 初めてTalkBackをオンにしたときは、タッチガイド機能などを有効にすることの確認メッセージが表示されます。タッチガイド機能とは、タップした位置にあるアイテムの説明を読み上げたり、表示したりすることができる機能です。
- ◎ タッチガイド機能をオンにした場合、本製品の操作の一部が通常の操作と異なります。
 - 項目を選択する場合は、一度タップしてからダブルタップします。
 - スライドする場合は、2本の指で操作します。
- ◎ タッチガイド機能のみをオフにする場合は、設定メニュー画面→「デバイス」→「ユーザー補助」→「視覚」→「[TalkBack]」→「[設定]」と操作し、「タッチガイド」の  をタップして  にします。

「一般」の設定をする

言語と文字入力や日付と時刻の設定など、本製品に関する一般的な設定を行います。

1 設定メニュー画面で「一般」

2	アカウント	▶P.179「アカウントを登録する」 ▶P.179「アカウントを削除する」
	クラウド	クラウドサービスのアカウント設定や同期設定などができます。
	バックアップとリセット	データのバックアップ アプリケーションデータ、Wi-Fi®パスワード、その他の設定をGoogleサーバーにバックアップします。 バックアップアカウント バックアップするアカウントを設定します。 自動復元 アプリケーションを再インストールすると、バックアップした設定およびデータを復元します。
	ネットワーク設定をリセット	Wi-Fi®、Bluetooth®、およびその他のネットワーク設定を初期設定にリセットします。
	工場出荷状態に初期化	▶P.179「本製品を初期化する」
	言語と文字入力	言語 言語の表示を切り替えます。 標準 デフォルトのキーボードを設定します。 Galaxy日本語キーボード ▶P.57「Galaxy日本語キーボードの設定を行う」 Google音声入力 音声入力の言語や不適切な語句に関する設定をします。 音声読み上げオプション テキストを読み上げるための音声合成エンジンの設定や、読み上げ速度などを設定します。 ポインター速度 マウス/トラックパッド使用時のポインターの速度を設定します。

日付と時刻	自動日時設定	ネットワーク上の日付・時刻情報を使って、自動的に補正します。
	日付設定	▶P.179「日付/時刻を手動で設定する」
	時刻設定	
	自動タイムゾーン	ネットワーク上のタイムゾーン情報を使って、自動的に設定します。
	タイムゾーンを選択	タイムゾーンを選択します。
	24時間形式を使用	チェックを入れると24時間表示、チェックを外すと12時間表示となります。
アクセサリ	オーディオ出力	HDMI接続をしたときのオーディオ出力を設定します。
	自動ロック解除	安全ロックが無効な場合、カバーを開いて画面のロックを解除するかどうかを設定します。
バッテリー		電池残量や使用量を表示します。
省電力		▶P.180「省電力の設定をする」
ストレージ		▶P.180「ストレージ」
セキュリティ	デバイス管理機能	デバイス管理機能を表示または無効にします。
	提供元不明のアプリ	▶P.129「提供元不明のアプリケーションのダウンロード」
	端末を暗号化	<ul style="list-style-type: none"> 端末を起動した際に画面ロックの解除方法を使って端末を保護するかどうかを設定します。
	外部SDカードを暗号化/外部SDカードを復号	<p>外部SDカードに保存されているデータを暗号化し、他の端末やパソコンで使用できないようにします。</p> <ul style="list-style-type: none"> 暗号化を解除するには、ホーム画面で [基本機能] → [設定] → [一般] → [セキュリティ] → [外部SDカードを復号] → [外部SDカードを復号] をタップし、画面の指示に従って操作してください。

セキュリティ	リモートコントロール	<p>本製品のデータ削除や追跡ができます。</p> <ul style="list-style-type: none"> リモートコントロールを行うには、Galaxyアカウント (▶P.35) の設定が必要です。 リモートコントロールはFind My Mobile (端末リモート追跡) から操作できます。 <p>詳細については、Find My Mobile (端末リモート追跡) のホームページをご参照ください (▶P.35)。</p>
	SIM変更アラート	▶P.181「SIM変更アラートを設定する」
	Webサイトに移動	Find My Mobile (端末リモート追跡) のホームページを表示します。
	再有効化ロック	[工場出荷状態に初期化] (▶P.179) を実行する際に、Galaxyアカウントのパスワードを入力するようにするかどうかを設定します。
	SIMカードロック設定	▶P.181「SIMカードロックを設定する」
	パスワードを表示	パスワードの入力画面で、入力した文字を表示するかどうかを設定します。
	セキュリティポリシーを更新	セキュリティポリシーを更新して端末のセキュリティを向上します。
	セキュリティレポートを送信	セキュリティ脅威を分析するため、Wi-Fi [®] 経由でSamsungにセキュリティレポートを送信します。
	ストレージの種類	認証情報ストレージのバックアップ先を表示します。
	信頼できる認証情報	信頼できるCA証明書を表示します。
	ストレージからインストール	暗号化された証明書をシステムメモリ (本体) またはmicroSDメモ리카ードからインストールします。
証明書を消去	すべての証明書データとパスワードを消去します。	

セキュリティ	トラストエージェント	信頼できる端末が接続されると、選択した操作を実行します。
	アプリ固定モード	端末の画面に特定のアプリを固定できるようにするかどうかを設定します。
	使用履歴へのアクセス	アプリに端末の使用履歴のアクセスを許可するかどうかを設定します。
	Smart Lock	信頼できる条件のときに本端末の自動ロック解除を可能にするかどうかを設定します。
	[通知をミュート]の管理アプリ	[通知をミュート]の設定を変更する権限を持つアプリを表示します。
端末情報	更新を手動でダウンロード	▶P.192「ソフトウェアをダウンロードして更新する」
	更新を自動的にダウンロード	
	ソフトウェアの更新予約	
	ステータス	自分の電話番号や電池残量などを確認できます。
	法定情報	オープンソースライセンスやGoogle利用規約、Samsung規約を確認できます。
	診断情報を報告	お客様のデバイスから診断および使用状況データをSamsungに送信することを許可するか選択します。
	デバイス名称	本製品の名称を確認/変更します。
	認証情報	技術基準適合証明に関する情報や無線LAN (Wi-Fi®) 機能の認証情報を確認できます。
	モデル番号	型番を表示します。

端末情報	Androidバージョン	バージョンや各番号を確認できます。	
	Androidセキュリティパッチレベル		
	ベースバンドバージョン		
	カーネルバージョン		
	ビルド番号		
	SE Androidのステータス		SE (Security Enhanced) Androidのステータスを確認できます。
	セキュリティソフトウェアバージョン		セキュリティソフトウェアバージョンを確認できます。
Knoxバージョン	Knoxのバージョンを確認できます。		

※1 microSDメモ리카ードの認識状態によって表示が変わります。



- ◎「日付と時刻」の「自動日時設定」「自動タイムゾーン」にチェックが入っていると、ネットワークから日付や時刻、タイムゾーンが自動で設定されます（初期状態）。
- ◎「日付と時刻」の「自動日時設定」は、海外通信事業者によっては時差補正が正しく行われない場合があります。設定メニュー画面→[一般]→[日付と時刻]→[自動タイムゾーン]のチェックを外す→[タイムゾーンを選択]→設定する項目をタップして、タイムゾーンを設定することができます。

アカウントを登録する

- 1 設定メニュー画面 → [一般] → [アカウント] → [アカウント追加]
- 2 追加したいアカウントの種類をタップ → 画面の指示に従って操作

アカウントを削除する

- 1 設定メニュー画面 → [一般] → [アカウント] → 削除するアカウントの種類をタップ
- 2 削除するアカウント名をタップ
- 3 [H] → [アカウントを削除] → [アカウントを削除]
 - ・ パスワードの確認画面が表示されたら画面の指示に従って入力します。

memo

- ◎ アカウントがオンラインサービスなどとの同期を設定できる場合は、設定メニュー画面 → [一般] → [アカウント] → アカウントの種類をタップ → [アカウント] の下に表示される登録アカウント名をタップ → 同期する項目にチェックを入れ、同期させない項目からチェックを外して設定します。
- ◎ アカウントの種類によって、設定項目は異なります。
- ◎ 他のアプリケーションで使用されているアカウントは、削除できない場合があります。削除するには初期化 (▶P.179) が必要になります。

本製品を初期化する

本製品をAndroid 6.0へのメジャーアップデート (OS更新) 時の状態に戻します (リセット)。この操作を行うと、ご購入後に本製品にお客様がインストールしたアプリケーションや登録したデータはすべて削除されます。必ず本製品の重要なデータをバックアップしてから、リセットしてください。

- 1 設定メニュー画面 → [一般] → [バックアップとリセット] → [工場出荷状態に初期化] → [端末をリセット]
 - ・ 画面ロックの設定によっては、ロック解除が必要な場合があります。
- 2 [全て削除]
本製品は自動的に再起動します。

memo

- ◎ 初期化は、充電しながら行うか、十分に充電された状態で行ってください。
- ◎ 本製品を初期化しても、プリセットされているアプリケーションは削除されません。

日付/時刻を手動で設定する

- 1 設定メニュー画面 → [一般] → [日付と時刻]
- 2 「自動日時設定」のチェックを外す
- 3 [日付設定] / [時刻設定] → 日付/時刻を設定 → [OK]

省電力の設定をする

1 設定メニュー画面 → [一般] → [省電力]

2 省電力モード	省電力モードを開始	省電力モードを開始するバッテリー残量条件を設定します。
	全てのバックグラウンドデータを制限	バックグラウンドでのWi-Fi®およびモバイルデータの使用を制限して、電池の消費を抑えます。
ウルトラ省電力モード		以下の設定で電池の消費を抑えます。 <ul style="list-style-type: none">画面表示をグレースケールに変更使用可能なアプリの数の制限画面OFF時にモバイルデータを無効化Wi-Fi®やBluetooth®などの接続の停止



ストレージ

1 設定メニュー画面 → [一般] → [ストレージ]

2 システムメモリ (本体)	合計容量	システムメモリ (本体) のデータ容量を表示します。
	空き容量	システムメモリ (本体) の空き容量を表示します。
	システムメモリ	システムを実行するのに必要な最小ストレージ容量を表示します。
	使用中の容量	アプリケーションや画像、動画などの使用中のデータ容量を表示します。
	その他	その他のファイルのデータ容量、内容を表示します。
	キャッシュデータ	キャッシュデータのデータ容量を表示します。 <ul style="list-style-type: none">タップして [削除] をタップすると、キャッシュデータを消去できます。
外部SDカード*	検索	[マイファイル] のシステムメモリ (本体) のフォルダを検索できます。
	マウント解除	microSDカードのマウントを解除します。 <ul style="list-style-type: none">microSDカードをマウントするには、[外部SDカード] → [マウント] と操作します。
	初期化	▶P.152 [microSDメモリカードをフォーマットする]

SIM変更アラートを設定する

本製品のau Micro IC Card (LTE)が差し替えられたとき、本製品固有の情報を指定した電話番号にSMSで自動的に送信されるように設定できます。

- 1 設定メニュー画面→ [一般] → [セキュリティ] → [SIM変更アラート]
- 2 Galaxyアカウントを設定
 - ・ 画面の指示に従って設定してください。既存のGalaxyアカウントがある場合は、サインインしてください。
 - ・ Galaxyアカウントを設定済みでパスワード入力画面が表示された場合は、パスワードを入力し、「完了」をタップしてください。
- 3  をタップして  にする
- 4 [アラートメッセージ] → SMSのメッセージを入力→ [OK]
- 5 [作成] → 送信先 (電話番号) を入力→ [OK]
 - ・ 先頭に「+」を入力→送信先の国番号 (日本は「81」) を入力→先頭の「0」を除いた電話番号を入力と操作します。
 - ・ 「連絡先」をタップすると、登録済みの連絡先から送信先を選択できます。
- 6 [保存]

SIMカードロックを設定する

au Micro IC Card (LTE)にPIN (暗証番号) を設定し、電源を入れたときにPINコードを入力することで、不正使用から保護できます。PINコードについては「PINコードについて」 (▶P.21) をご参照ください。

- 1 設定メニュー画面→ [一般] → [セキュリティ] → [SIMカードロック設定] → [SIMカードをロック]
- 2 au Micro IC Card (LTE)のPINコードを入力→ [OK]
 - 電源を入れたときにPINコードを入力する
 - 1 PINコードの入力画面→PINコードを入力→ [OK]
 - PINコードを変更する
- au Micro IC Card (LTE)のPINが有効に設定されているときのみ変更できます。
- 1 設定メニュー画面→ [一般] → [セキュリティ] → [SIMカードロック設定] → [SIM PINを変更]
- 2 PINコードを入力→ [OK]
- 3 新しいPINコードを入力→ [OK]
- 4 もう一度新しいPINコードを入力→ [OK]

「アプリ」の設定をする

本製品にインストールしたアプリケーションの確認や設定などを行います。

1 設定メニュー画面で【アプリ】

2	アプリケーション管理	▶P.129 「アプリケーションを管理する」
	標準アプリケーション	通常使うホームアプリとメッセージアプリを設定します。 標準使用したいアプリを初期設定に戻すときは、アプリの右側の「消去」をタップします。
	連絡先	▶P.110 「連絡先のメニューを利用する」
	Eメール	▶P.81 「Eメールを設定する」
	ギャラリー	▶P.118 「ギャラリーのメニューを利用する」
	ブラウザ	▶P.106 「ブラウザを設定する」
	Sプランナー	▶P.134 「Sプランナーのメニューを利用する」
	Sボイス	▶P.135 「Sボイスを利用する」
	Google	Googleのサービスなどの設定をします。

海外利用	184
au世界サービスについて	184
海外でご利用になるときは.....	184
海外利用に関する設定を行う.....	185
データサービス・メッセージサービスの通信料.....	186
お問い合わせ方法.....	187
海外で安心してご利用いただくために.....	187
海外でのご利用上のご注意.....	188

海外利用

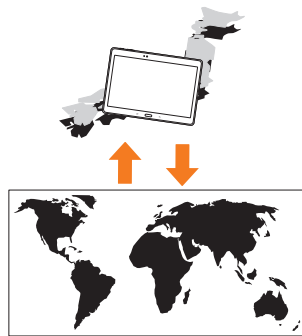
au世界サービスについて

au世界サービスとは、日本国内でご使用の本製品をそのまま海外でご利用いただけるサービスです。本製品は渡航先に合わせてGSM / UMTS / LTEネットワークのいずれでもご利用になれます。

- ・いつもの電話番号のまま、海外でSMS・データ通信がご利用いただけます。
- ・特別な申し込み手続きや月額・月額使用料は不要で、通信料は日本国内分との合算請求ですので、お支払いも簡単です。ご利用可能国、料金、その他サービス内容など詳細につきましては、auホームページまたはお客様センターにてご確認ください。

■ご利用イメージ

- 1 日本国内では、auのネットワークでご利用になれます
- 2 海外で電源をオンにすると、海外事業者のネットワークでSMSがご利用いただけます
- 3 データ通信を行う場合は「データローミング」(▶P.185)を有効にします




海外でご利用になるときは

海外でご利用になるときは、「au世界サービスについて」(▶P.184)、「ネットワークモードを設定する」(▶P.185)に従い、各種設定を行ってください。
新規ご契約でご利用の場合、日本国内での最初のご利用日の2日後から海外でのご利用が可能です。

海外利用に関する設定を行う

本製品は、自動的に利用できるネットワークを検出して切り替えるように設定されています。

・ 渡航先においては、の表示のある場合にデータ通信が可能です。

■ 現在地時刻を設定する

- 1 ホーム画面で【基本機能】 → 【設定】 → 【一般】 → 【日付と時刻】 → 「自動日時設定」と「自動タイムゾーン」にチェックを入れる

「自動日時設定」と「自動タイムゾーン」にチェックを入れている場合は、接続している海外通信事業者のネットワークから時刻・時差に関する情報を受信することで本製品の時計の時刻や時差が補正されます。



memo

- ◎ 初期値では「自動日時設定」と「自動タイムゾーン」にチェックが入っています。
- ◎ 海外通信事業者のネットワークによっては、時差補正が正しく行われない場合があります。
- ◎ 補正されるタイミングは海外通信事業者によって異なります。
- ◎ サマータイムがある国は、現地時間と本製品の表示時間のずれがないかご確認ください。接続した海外通信事業者によっては利用できないことがあります。
- ◎ 日付と時刻の設定については、「日付／時刻を手動で設定する」(▶P.179)をご参照ください。

■ ネットワークモードを設定する

本製品を使用するネットワークモードを設定します。

- 1 ホーム画面で【基本機能】 → 【設定】 → 【接続】 → 【その他ネットワーク】
- 2 【モバイルネットワーク】 → 【ローミング設定】 → 【システム設定】

3	自動	日本国内または海外でご利用になる場合に設定します。
	日本 (4G / CDMA)	日本国内のみでご利用になる場合に設定します。

■ データ通信を利用する

- 1 ホーム画面で【基本機能】 → 【設定】 → 【接続】 → 【その他ネットワーク】 → 【モバイルネットワーク】
- 2 「データローミング」の機能を有効にする



memo

◎ LTE NETまたはLTE NET for DATAにご加入されていない場合は、海外でデータ通信を利用できません。

データサービス・メッセージサービスの通信料

■ データサービス・メッセージサービスの通信料（免税）

データ通信料	SMS送信料	SMS受信料
1.6円/KB	100円/通	無料

■ 世界データ定額（免税）

定額対象の国・地域で定額料980円をお支払いいただくと日本でのデータ定額サービス等のデータ通信が24時間ご利用いただけます。世界データ定額ご利用の通信量は、各種データ定額サービスの月間容量やデータチャージのデータ容量購入分から消費します。世界データ定額について詳しくはauホームページをご参照ください。
<http://www.au.kddi.com/re/sekai-data/>



- ◎ 海外でご利用になった場合の料金です。
- ◎ お客さまがご利用を開始してから24時間の通信に対する金額です。月額制の定額料ではありません。

■ 海外ダブル定額（免税）

対象の国・地域にてご利用いただいた場合、1日あたり約24.4MB（割引前通信料が40,000円分）まで最大1,980円、どれだけご利用いただいても1日あたり最大2,980円のご利用料金となります。海外ダブル定額について詳しくはauホームページをご参照ください。
<http://www.au.kddi.com/mobile/charge/packet-discount/kaigai-double-teigaku/lte/>



- ◎ 海外でご利用になった場合の料金です。海外で送受信したデータ量に応じて課金されます。
- ◎ 渡航先でのデータ通信料は、国内各種割引サービス・データ通信料定額/割引サービスの対象となりません。
- ◎ 1日あたりの上限額は渡航先の現地時間ではなく日本時間の1日（0:00～23:59）の通信に対する金額です。月額制の定額制ではありません。

お問い合わせ方法

■ au電話からのお問い合わせ方法（通話料無料）

+ (「0」を口
ングタッチ) + **81** + **3** + **6670** + **6944**

受付時間：24時間

■ 一般電話からのお問い合わせ方法1（渡航先別電話番号）

渡航先別電話番号等の詳しい情報はauホームページの「海外からの問い合わせ番号」をご参照ください。

(<http://www.au.kddi.com/mobile/service/global/inquiry/>)



- ◎ ホテル客室からご利用の場合は手数料などがかかる場合があります。
- ◎ 地域によっては公衆電話やホテル客室、携帯電話からご利用いただけない場合があります。
- ◎ 携帯電話からのご利用の場合は現地携帯電話会社による国内料金がかかる場合がありますのでご了承ください。

海外で安心してご利用いただくために

海外での通信ネットワーク状況はauホームページでご案内しています。渡航前に必ずご確認ください。

http://www.au.kddi.com/information/notice_mobile/global/

■ 本製品を盗難・紛失したら

- ・ 海外で本製品もしくはau ICカードを盗難・紛失された場合は、お客さまセンターまで速やかにご連絡いただき、通信停止の手続きをおとりください。詳しくは「お問い合わせ方法」(▶P.187)をご参照ください。盗難・紛失された後に発生したデータ通信料もおお客様の負担になりますのでご注意ください。
- ・ 本製品に挿入されているau ICカードを盗難・紛失された場合、第三者によって他の携帯電話（海外用GSM携帯電話を含む）に挿入され、不正利用される可能性もありますので、SIMカードロックを設定されることをおすすめします (▶P.181)。

■ 海外での通信のしくみを知って、正しく利用しましょう

- ・ ご利用料金は国・地域によって異なります。
- ・ 海外におけるデータ通信料は、日本国内の各種割引サービス・データ通信料定額/割引サービスの対象となりません。

海外でのご利用上のご注意

■ 渡航先でのデータ通信料に関する注意

- 渡航先でのご利用料金は、日本国内でのご利用分に合算して翌月に（渡航先でのご利用分につきましては、翌々月以降になる場合があります）請求させていただきます。同一期間のご利用であっても別の月に請求される場合があります。
- 日本国内でデータ通信料が無料となる通信を含め、渡航先ではすべての通信に対しデータ通信料がかかります。

■ 渡航先でのメールのご利用に関するご注意

- SMSのデータ量が渡航先の携帯電話網で許容されている長さより長い場合は、SMSの内容が一部受信できなかつたり、複数に分割されて受信する場合や文字化けして受信する場合があります。また、電波状態などによって送信者がSMSを蓄積されても、渡航先では受信されません。
- SMSを電波状態の悪いエリアで受信した場合、日本へ帰国された後で渡航先で受信したメッセージと同一のメッセージを受信することがあります。
- 渡航先で、電波状態などの問題によりSMSを直接受け取れなかった場合には、送信者がそのSMSを蓄積しても、海外でのご利用中は受信できません。お預かりしたSMSはSMSセンターで72時間保存されます。

■ その他ご利用上の注意

- 渡航先でのデータ通信料は、日本国内各種割引サービス・データ通信料定額／割引サービスの対象となりません。
- 渡航先により、連続待受時間が異なりますのでご注意ください。
- 海外で使用する場合は、海外で使用可能なACアダプタで充電してください。なお、海外旅行用変圧器を使用して充電しないでください。
- サービスエリア内でも、電波の届かない所ではご利用になれません。
- 海外通信事業者の事情によりつながりにくい場合があります。航空機内での使用については制限があるため、各航空会社の指示に従ってください。

- au世界サービスは海外通信事業者ネットワークに依存したサービスですので、海外通信事業者などの都合により、各種サービスがご利用いただけない場合があります。
- 渡航先でのネットワークガイダンスは海外通信事業者のガイダンスに依存します。
- 海外でのご利用中は、「料金安心サービス」の発信規制の対象になりません。
- 渡航中に「料金安心サービス【ご利用停止コース】」で設定した限度額を超過した場合、渡航先ではそのままご利用になれますが、帰国後に発信規制となります。また日本国内で発信規制状態になっていても、海外では渡航先で使うことができます。
- 渡航先でご利用いただけない場合、本製品の電源をオフ／オン（再起動）することでご利用可能となる場合があります。

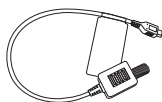
付録	190
周辺機器のご紹介.....	190
故障とお考えになる前に.....	191
ソフトウェアを更新する.....	191
アフターサービスについて.....	192
利用できるデータの種類.....	195
主な仕様.....	195
データ通信端末の比吸収率などについて.....	196
索引	198
FCC notice	204
FCC RF exposure information	204
Body-worn operation	204
European RF Exposure Information	205
Declaration of Conformity	205
輸出管理規制.....	206
知的財産権について.....	206

付録

周辺機器やソフトウェア更新、主な仕様、アフターサービスについてなど、お役に立つ情報をご案内しています。

周辺機器のご紹介

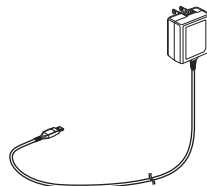
- サムスンTVアンテナケーブル02
- サムスンTVアンテナ入力用microUSB変換ケーブル01 (01SCHKA)



- ポータブル充電器02 (0301PFA) (別売)
- microUSBケーブル01 (0301HVA) (別売)
 - microUSBケーブル01 ネイビー (0301HBA) (別売)
 - microUSBケーブル01 グリーン (0301HGA) (別売)
 - microUSBケーブル01 ピンク (0301HPA) (別売)
 - microUSBケーブル01 ブルー (0301HLA) (別売)
- AC Adapter JUPITRIS (ホワイト) (L02P001W) (別売)
- AC Adapter JUPITRIS (レッド) (L02P001R) (別売)
- AC Adapter JUPITRIS (ブルー) (L02P001L) (別売)
- AC Adapter JUPITRIS (ピンク) (L02P001P) (別売)
- AC Adapter JUPITRIS (シャンパンゴールド) (L02P001N) (別売)
- 共通ACアダプタ03 (0301PQA) (別売)
- 共通ACアダプタ03 ネイビー (0301PBA) (別売)
- 共通ACアダプタ03 グリーン (0301PGA) (別売)
- 共通ACアダプタ03 ブルー (0301PLA) (別売)

- 共通ACアダプタ03 ピンク (0301PPA) (別売)
- 共通ACアダプタ05 (0501PWA) (別売)

- ・ お使いのACアダプタによりイラストと形状が異なることがあります。



<共通ACアダプタ05>

- 18芯-microUSB変換アダプタ01 (0301QYA) (別売)



memo

- 周辺機器は、auオンラインショップからご購入いただけます。
<http://auonlineshop.kddi.com/>
- ポータブル充電器02 (別売) では、本製品を十分に充電できない可能性があります。

故障とお考えになる前に

故障とお考えになる前に次の内容をご確認ください。

こんなときは	ご確認ください	参照
電源が入らない	内蔵電池は充電されていますか？ ⏻を1秒以上押ししていますか？	P.29 P.33
充電ができない	指定のACアダプタ（別売）の電源プラグがコンセントに確実に差し込まれていますか？	P.31
電池を利用できる時間が短い	🔋（圏外）が表示される場所での使用が多ありませんか？ 内蔵電池が寿命になっていませんか？	P.47 P.13
タッチパネルで意図した通りに操作できない	爪の先で操作したり、異物を載せたままで操作したりしていませんか？	P.37
キー／タッチパネルの操作ができない	画面ロックが設定されていませんか？ 電源は入っていますか？ ・電源を切り、もう一度電源を入れ直してみてください。	P.34 P.33
画面をタップしたとき／キーを押したときの画面の反応が遅い	本製品に大量のデータが保存されているときや、本製品とmicroSDメモ리카ードの間で容量の大きいデータをやりとりしているときに起きる場合があります。	—
「SIMカードが挿入されていません。」と表示される	au Micro IC Card (LTE)が挿入されていますか？	P.28
画面照明が暗い	「省電力モード」／「ウルトラ省電力モード」が設定されていませんか？	P.180
テレビが映らない、映像が止まる、音声が出ない	地上デジタルテレビ放送の放送波は十分に届いていますか？ 放送エリアが間違っていないですか？	P.122 P.126
	付属のサムスンTVアンテナケーブル02を正しく接続していますか？	P.122
	サムスンTVアンテナ入力用microUSB変換ケーブル01を正しく接続していますか？	P.123

こんなときは	ご確認ください	参照
microSDメモ리카ードを認識しない	microSDメモ리카ードは正しくセットされていますか？ microSDメモ리카ードのマウントが解除されていませんか？	P.151 P.152
メディアデバイスモード (MTP) で接続しても動作しない	Smart SwitchまたはWindows Media Player 10以上をパソコンにインストールしてください。	P.155

上記の各項目を確認しても症状が改善されないときは、以下のauのホームページ、auお客さまサポートでご案内しております。

<http://www.au.kddi.com/support/mobile/trouble/repair>

ソフトウェアを更新する

最新のソフトウェアに更新することで、最適なパフォーマンスを実現し、最新の拡張機能を手取できます。

■ご利用上の注意

- ソフトウェアの更新が必要な場合は、auホームページなどでお客様にご案内させていただきます。詳細内容につきましては、auショップもしくはお客さまセンター（157／通話料無料）までお問い合わせください。また、本製品をより良い状態でご利用いただくため、ソフトウェアの更新が必要な本製品をご利用のお客様に、auからのお知らせをお送りさせていただきますことがあります。
- 更新前にデータのバックアップをされることをおすすめします。
- 十分に充電してから更新してください。電池残量が少ない場合や、更新途中で電池残量が不足するとソフトウェア更新に失敗します。
- 電波状態をご確認ください。電波の受信状態が悪い場所では、ソフトウェア更新に失敗することがあります。
- ソフトウェア更新中は操作できません。
- ソフトウェア更新に失敗したときや中止されたときは、ソフトウェア更新を実行し直してください。
- ソフトウェア更新に失敗すると、本製品が使用できなくなる場合があります。本製品が使用できなくなった場合は、auショップもしくはPiPiIt（一部ショップを除く）にお持ちください。

ソフトウェアをダウンロードして更新する

インターネット経由で、本製品から直接更新ソフトウェアをダウンロードできます。

- 1 ホーム画面で [基本機能] → [設定]
- 2 [一般] → [端末情報] → [更新を手動でダウンロード]
- 3 [今すぐ更新]

以降は、画面の指示に従って操作してください。

- ダウンロードの確認画面が表示された場合は、「OK」をタップしてください。「Wi-Fi設定」をタップした場合は、無線LAN (Wi-Fi®) 機能の接続設定を行います (▶P.161)。



◎ 自動検索するために通信料が発生する場合がありますのでご注意ください。

パソコンに接続して更新する

「Smart Switch」を使って、パソコンからソフトウェアを更新できます。

- 詳しくは、「Smart Switchを利用する」(▶P.155)をご参照ください。

アフターサービスについて

■ 修理を依頼されるときは

修理については安心ケータイサポートセンターまでお問い合わせください。

保証期間中	保証書に記載されている当社無償修理規定に基づき修理いたします。
保証期間外	修理により使用できる場合はお客様のご要望により、有償修理いたします。



- ◎ メモリの内容などは、修理する際に消えてしまうことがありますので、控えておいてください。なお、メモリの内容などが変化・消失した場合の損害および逸失利益につきましては、当社では一切責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- ◎ 修理の際、当社の品質基準に適合した再利用部品を使用することがあります。
- ◎ 交換用携帯電話お届けサービスにて回収した今までお使いのauの端末は、再生修理したうえで交換用携帯電話機として再利用します。また、auアフターサービスにて交換した機械部品は、当社にて回収リサイクルを行います。そのため、お客様へ返却することはできません。

■ 補修用性能部品について

当社はこのGALAXY Tab S本体およびその周辺機器の補修用性能部品を、製造終了後4年間保有しております。補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。本製品を加工、改造、解析（ソフトウェアの改造、解析（ルート化などを含む）、リバースエンジニアリング、逆コンパイル、または逆アセンブルを含む）されたもの、または当社などが指定する正規の修理拠点以外で修理されたものは保証対象外または修理をお断りする場合があります。

■保証書について

保証書は、お買い上げの販売店で、「販売店名、お買い上げ日」などの記入をご確認のうえ、内容をよくお読みいただき、大切に保管してください。

■安心ケータイサポートプラスLTEについて

auの端末を長期間安心してご利用いただくために、月額会員アフターサービス制度「安心ケータイサポートプラスLTE」をご用意しています（月額380円、税抜）。故障や盗難・紛失など、あらゆるトラブルの補償を拡大するサービスです。本サービスの詳細については、auホームページをご確認いただくか、安心ケータイサポートセンターへお問い合わせください。



- ◎ ご入会は、auの端末のご購入時のお申し込みに限ります。
- ◎ ご退会された場合は、次回auの端末のご購入時まで再入会はできません。
- ◎ 機種変更・端末増設などをされた場合、最新の販売履歴のあるauの端末のみが本サービスの提供対象となります。
- ◎ auの端末を譲渡・承継された場合、安心ケータイサポートプラスLTEの加入状態は譲受者に引き継がれます。
- ◎ 機種変更・端末増設などにより、新しいauの端末をご購入いただいた場合、以前にご利用のauの端末に対する「安心ケータイサポートプラス」・「安心ケータイサポートプラスLTE」は自動的に退会となります。
- ◎ サービス内容は予告なく変更する場合があります。

■au Micro IC Card (LTE)について

au Micro IC Card (LTE)は、auからお客様にお貸し出したものになります。紛失・破損の場合は、有償交換となりますので、ご注意ください。なお、故障と思われる場合、盗難・紛失の場合は、auショップもしくはPiPiitまでお問い合わせください。

■アフターサービスについて

アフターサービスについてご不明な点がございましたら、下記の窓口までお問い合わせください。

お客さまセンター（紛失・盗難時の回線停止のお手続きについて）

一般電話からは ☎0077-7-113（通話料無料）

au電話からは 局番なしの113（通話料無料）

受付時間 24時間（年中無休）

安心ケータイサポートセンター（紛失・盗難・故障について）

一般電話 / au電話からは

☎0120-925-919（通話料無料）

受付時間 9:00～20:00（年中無休）



オンライン交換受付（24時間受付）

※ パソコン、スマートフォン、タブレットからのみ受付可能

https://cs.kddi.com/support/n_login.html

- ・ インターネット受付でのお申し込みは、「破損」「水濡れ」「盗難」「紛失」の場合が対象となります。自然故障（破損、水濡れなどの原因ではないが電源が入らない、画面が動かないなど）の場合は、問診が必要なためお電話での受付となります。
- ・ インターネットでのお申し込みには、メールアドレスが必要です。

■ auアフターサービスの内容について

サービス内容		安心ケータイサポートプラスLTE	
		会員	非会員
交換用携帯電話機お届けサービス	自然故障	1年目	無料
		2年目以降	下記「交換用携帯電話機お届けサービス」(会員)ご負担金の表を参照
部分破損、水濡れ、全損、盗難、紛失			補償なし
預かり修理	自然故障	1年目	無料
		2年目以降	無料(3年保証)
	部分破損	お客様負担額 上限5,000円	実費負担
	水濡れ、全損	お客様負担額 10,000円	
盗難、紛失		補償なし	補償なし (機種変更対応)

※ 金額は全て税抜

■ 「交換用携帯電話機お届けサービス」(会員) ご負担金

適用条件	1回目	2回目
通常	5,000円/長期ご利用 特典*1 3,000円	8,000円/長期ご利用 特典*1 6,000円
「WEB割引」*2/「代用機なし割引」*3の両方を適用	4,000円/長期ご利用 特典*1 2,000円	7,000円/長期ご利用 特典*1 5,000円
「代用機なし割引」*3のみを適用	4,500円/長期ご利用 特典*1 2,500円	7,500円/長期ご利用 特典*1 5,500円

※ 金額は全て税抜

※1 3年目(25ヵ月)以上ご利用中のお客様、またはそのお客様が属する家族割内すべての回線が対象です。データ通信端末、タブレットをご利用中のお客様は、セット割(WINシングルセット割、またはスマホセット割)に加入しており、セット割の対象回線のご契約が3年目以上の場合が対象です。

※2 WEB割引: auホームページから「交換用携帯電話機お届けサービス」を申し込み場合、サービス利用ご負担金から500円を割引します。

「WEB割引」の場合は代用機の貸出しは出来ませんので、自動的に「代用機なし割引」が適用されます。

※3 代用機なし割引: 「交換用携帯電話機お届けサービス」のご利用に際し、代用機を利用しない場合は、サービス利用ご負担金から500円を割引します。

詳細はauホームページでご確認ください。



交換用携帯電話機お届けサービス

○ auの端末がトラブルにあわれた際、お電話いただくことでご指定の送付先に交換用携帯電話機(同一機種・同一色*)をお届けします。故障した今までお使いのauの端末は、交換用携帯電話機がお手元に届いてから14日以内にご返却ください。

※ 同一機種・同一色の提供が困難な場合、別途当社が指定する機種・色の交換用携帯電話機をご提供します。

○ 本サービスをご利用された日を起算日として、1年間に2回までご利用可能です。本サービス申し込み時において過去1年以内に本サービスのご利用がない場合は1回目、ご利用がある場合は2回目となります。

※ 詳細はauホームページでご確認ください。

○ 盗難、紛失など、本サービスのご利用と同時にau ICカードの再発行を伴う場合は、別途au ICカード再発行手数料1,900円が必要です。

預かり修理

○ お客様の故意・改造(分解改造・部品の交換・塗装など)による損害や故障の場合は補償の対象となりません。

○ 外装ケースの汚れや傷、塗装のはがれなどによるケース交換は割引の対象となりません。

利用できるデータの種類

本製品で利用できるデータの種類とファイル形式は以下の通りです。

データの種類	ファイル形式
音	MP3、M4A、3GA、AAC、OGG、OGA、WAV、WMA、AMR、AWB、FLAC、MID、MIDI、XMF、MXMF、IMY、RTTTL、RTX、OTA
静止画	JPEG、PNG、GIF、AGIF、BMP、WBMP、WEBP
動画	MP4、M4V、3GP、3G2、WMV、ASF、AVI、FLV、MKV、WEBM



◎著作権保護が設定されているデータなど、データによっては再生できない場合があります。

主な仕様

ディスプレイ	約10.5インチ 約16,777,216色 (Super AMOLED) 1600×2560 (WQXGA)	
質量	約470g	
サイズ (幅×高さ×厚さ)	約247mm×177mm×6.6mm (最厚部: 約7.0mm)	
CPU	MSM8974AC Quad Core 2.5GHz	
システムメモリ	ROM: 32GB / RAM: 3GB	
連続待受時間 (国内) ^{※1}	約1020時間: 3G使用時 約1220時間: 4G (LTE / WiMAX 2+) 使用時	
連続テザリング時間	WAN側3G: 約1700分 WAN側4G (LTE / WiMAX 2+): 約2040分	
テザリング最大接続数	最大14台 ・Wi-Fi®テザリング10台 ・Bluetooth®テザリング3台 ・USBテザリング1台	
充電時間	共通ACアダプタ05 (別売) 使用時: 約270分	
カメラ	撮像素子	CMOS
	有効画素数	外側: 約800万画素 内側: 約210万画素
無線LAN (Wi-Fi®) 機能	IEEE802.11a/b/g/n/ac準拠 ^{※2}	

Bluetooth® 機能	対応バージョン	Bluetooth®標準規格Ver.4.1
	出力	Bluetooth®標準規格Power Class 1
	通信距離 ^{※3}	見通しの良い状態で10m以内
	対応プロファイル ^{※4}	OPP (Object Push Profile) HSP (Headset Profile) A2DP (Advanced Audio Distribution Profile) AVRCP (Audio/Video Remote Control Profile) SPP (Serial Port Profile) HID (Human Interface Device Profile) PAN (Personal Area Networking Profile) HOGP (HID Over GATT Profile)
	使用周波数帯	2.4GHz帯 (2.402GHz ~ 2.480GHz)
テレビ (連続 視聴可能時間)	ワンセグ	約600分
	フルセグ	約460分

※1 連続待受時間は、充電状態・気温などの使用環境・使用場所の電波状態・機能の設定などによって半分以下になることもあります。

※2 IEEE802.11nは2.4GHz、5GHzに対応しています。

※3 通信機器間の障害物や電波状態により変化します。

※4 Bluetooth®機器同士の使用目的に応じた仕様のことで、Bluetooth®標準規格で定められています。

データ通信端末の比吸収率などについて

■データ通信端末の比吸収率 (SAR) について

この機種SCT21は、国が定めた電波の人体吸収に関する技術基準および電波防護の国際ガイドラインに適合しています。

このデータ通信端末は、国が定めた電波の人体吸収に関する技術基準^(※1)ならびに、これと同等な国際ガイドラインが推奨する電波防護の許容値を遵守するよう設計されています。この国際ガイドラインは世界保健機関 (WHO) と協力関係にある国際非電離放射線防護委員会 (ICNIRP) が定めたものであり、その許容値は使用者の年齢や健康状況に関係なく十分な安全率を含んでいます。

国の技術基準および国際ガイドラインは電波防護の許容値を人体に吸収される電波の平均エネルギー量を表す比吸収率 (SAR : Specific Absorption Rate) で定めており、本データ通信端末に対するSARの許容値は2.0W/kgです。このデータ通信端末を本取扱説明書に記述する通常使用の場合のSARの最大値は0.762W/kg^(※2)です。個々の製品によってSARに多少の差異が生じることもあります。いずれも許容値を満足しています。

データ通信端末は、携帯電話等基地局との通信に必要な最低限の送信電力になるよう設計されているため、実際に通信している状態では、通常SARはより小さい値となります。一般的には、基地局からの距離が近いほど、データ通信端末の出力は小さくなります。

通信中は、身体から1.5センチ以上離し、かつその間に金属 (部分) が含まれないようにしてください。このことにより、本データ通信端末が国の技術基準および電波防護の国際ガイドラインに適合していることを確認しています。

世界保健機関は、『携帯電話が潜在的な健康リスクをもたらすかどうかを評価するために、これまで20年以上にわたって多数の研究が行われてきました。今日まで、携帯電話使用によって生じるとされる、いかなる健康影響も確立されていません。』と表明しています。

さらに詳しい情報をお知りになりたい場合には世界保健機関のホームページをご参照ください。

http://www.who.int/docstore/peh-emf/publications/facts_press/fact_japanese.htm

SARIについて、さらに詳しい情報をお知りになりたい方は、下記のホームページをご参照ください。

○総務省のホームページ：

<http://www.tele.soumu.go.jp/j/ele/index.htm>

○一般社団法人電波産業会のホームページ：

<http://www.arib-emf.org/O1denpa/denpa02-02.html>

○SAMSUNGのホームページ：

<http://www.samsung.com/jp/support/sar/sarMain.do>

○auのホームページ：

<http://www.au.kddi.com/>

※1 技術基準については、電波法関連省令（無線設備規則第14条の2）で規定されています。

※2 この値は同時に使用可能な無線機能を含みます。

索引

記号・アルファベット

au ID設定	34
au Micro IC Card (LTE)	28
取り付け	28
取り外し	29
au WALLET	44
au Wi-Fi接続ツールを利用する	149
auお客さまサポート	140
auかんたん設定	43
auサービスTOP	145
au災害対策アプリ	142
Bluetooth®アンテナ	27
Bluetooth®機能	158
起動	158
周波数帯	22
注意事項	22
データの送受信	160
パスキー	159
ペアリング	159
Eメール	60
Eメールアドレスの変更へ	85
検索	74
作成	67
受信	72
設定	81
送信	67
送信予約	68
デコレーションメール	70
添付	69

バックアップ	86
表示モードの切り替え	61
フォルダ作成	78
フォルダロック	80
振分け条件	79
迷惑メールフィルター	88
Flipboard	50
Friends Note	133
Galaxy Apps	135
Galaxyアカウント	35
Galaxy日本語キーボード	55
設定	57
Gmail	100
作成	100
受信	100
送信	100
メニュー	100
Google Play	128
Googleアカウント	34
Google音声検索	49
Google検索	49
Googleハングアウト	130
Googleマップ	130
GPSアンテナ	27
GPS機能	131
LTE NET	102
LTE NET for DATA	102
LTE内蔵アンテナ	27
microSDメモ리카ード	151
注意事項	151
著作権保護されたデータ	151
取り付け	151
取り外し	152

フォーマット	152
メモリ使用量	152
microUSBケーブル01	
接続	154
取り外し	155
NFC	136
Android Beam	137
NFCタグリーダー	138
S Beam	137
設定	137
NFCアンテナ	27
PCメール	95
アカウント削除	98
アカウント設定	95
最新に更新	99
削除	100
作成	98
送信	98
転送	100
返信	100
PINコード	21
PINロック解除コード	21
Playストア	128
SAR	196
SIMカードをロック	181
Smart Switch	155
SMS	91
SMSセンター	91
作成	91
受信	92
設定	94
送信	91

Sプランナー	133
画面の見かた	133
スヌーズ	134
通知	134
表示	133
メニュー	134
Sボイス	135
起動	135
ご利用になる前に	135
VPN設定	169
Wi-Fi®	160
Wi-Fi Direct	163
起動	161
周波数帯	22
証明書をインストール	163
スリープ設定	163
静的IP	162
接続	161
切断	162
注意事項	22
並び替え	162
ネットワーク自動切り替え	162
ネットワーク追加	161
ネットワーク通知	162
Wi-Fi®アンテナ	27
YouTube	130

あ

アイコン	46
ステータスアイコン	47
通知アイコン	46
アフターサービス	192
アプリ一覧画面	41
アプリケーションの種類	42
アンインストール	45, 129
カスタマイズ	45
終了	52
表示	41
メニュー	45
アプリケーション	41, 182
アンインストール	45, 129
管理	129
ショートカットの移動/削除	40
ショートカットの追加	39
アラーム	145
暗証番号	21
安心アクセス for Android™	138
安心ケータイサポートプラスLTE	193
安全上のご注意	9
一般	176
インターネット	102
LTE NET	102
ご利用データ通信料	102
データ通信	102
ウィジェット	39
移動/削除	40
追加	39
ウルトラ省電力モード	180
音量/シャッターキー	27
音量調節	174

か

海外利用	184
お問い合わせ方法	187
現在地時刻設定	185
システム設定	185
注意事項	188
ネットワークモード設定	185
各部の名称	26
壁紙	174
カメラ	111
撮影画面	112
撮影モード	115
静止画撮影	117
設定	113
注意事項	111
動画録画	117
プレビュー画面	114
画面ロック	34
解除	34, 175
画面ロック解除用パターン/PIN/パスワード	21
起動中のアプリケーション	52
機内モード	167
ギャラリー	118
静止画/動画表示	118
メニュー	118
緊急速報メール	143
グノシー for au	44
故障とお考えになる前に	191

さ

災害関連情報	144
災害用音声お届けサービス	144
災害用伝言板	142
再起動	33
最近使用したアプリケーション	51
辞書	136
指紋認証	52
充電	29
周辺機器	190
修理	192
仕様	195
省電力モード	180
ショートカット	39
初期化	179
スクリーンショット	52
スクリーンショットシェア	147
スクリーンセーバー	174
ステータスバー	46
セーフモード	33
世界時計	146
セキュリティ	
SIM PINを変更	181
SIMカードをロック	181
接続	166
設定の切り替え	51
設定メニュー	166
ソフトウェア更新	191
ダウンロード	192
注意事項	191
パソコンに接続	192

た

タッチパネルの使いかた	37
縦横表示切替	50
タブを切り替え	50
近くのデバイス	156
通知パネル	48
ツールボックス	46
データ使用量	167
データ通信端末の比吸収率	196
データ通信料についてのご注意	23
データの複数選択	51
テザリング	163
Bluetooth®テザリング	164
USBテザリング	164
Wi-Fi®テザリング	163
デバイス	170
テレビ	122
電源/画面ロックキー	27
電源を入れる/切る	33
電卓	147
電話番号	110
同梱品	2
時計	145
アラーム	145
世界時計	146
取り扱い上のお願い	17
取扱説明書アプリケーション	ii

は

ハイブリッドダウンロード	166
バックキー	27
ビデオ	119
メニュー	120
表記方法	8
ブックマーク	105
追加	105
ブラウザ	103
画像ダウンロード	104
基本操作	103
設定	106
タブ	104
テキストコピー	104
表示	103
ブックマーク	105
メニュー	103
履歴	105
履歴削除	106
リンク	105
ホーム画面	39
ウィジェット	39
カスタマイズ	39
ショートカット	39
ホーム画面位置	39
ホームキー	27

ま

マイファイル	153
メニュー	153
マップ	130
拡大/縮小	132
現在地	132
レイヤ	132
マネーモード	173
マルチウィンドウ	41
ミュージック	120
再生	120
プレイリスト	121
メニュー	121
無線LAN (Wi-Fi [®]) 機能	160
メール	60
Eメール	60
Gmail	100
PCメール	95
SMS	91
メニュー表示	51
免責事項	9
モーションの使いかた	38
文字入力	54
Galaxy日本語キーボード	55
キーボードの種類を切り替える	56
切り取り	57
コピー	57
設定	57
選択	57
手書き入力キーボード	56
入力方法の切り替え	54
貼り付け	57
半角/全角の切り替え	56

リモコン発光部	27
履歴キー	27
連絡先	108
インポート	110
エクスポート	111
お気に入りへの追加	109
確認	110
グループ	110
登録	108
プロフィール登録	109
編集	110
メニュー	110

FCC notice

- This device complies with part 15 of the FCC Rules. Operation is subject to the following two conditions:
 - (1) This device may not cause harmful interference, and (2) this device must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation.
- Changes or modifications not expressly approved by the manufacturer responsible for compliance could void the user's authority to operate the equipment.

■ Information to User

This equipment has been tested and found to comply with the limits of a Class B digital device, pursuant to Part 15 of the FCC Rules. These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference in a residential installation. This equipment generates, uses and can radiate radio frequency energy and, if not installed and used in accordance with the instructions, may cause harmful interference to radio communications.

However, there is no guarantee that interference will not occur in a particular installation; if this equipment does cause harmful interference to radio or television reception, which can be determined by turning the equipment off and on, the user is encouraged to try to correct the interference by one or more of the following measures:

- 1.Reorient/relocate the receiving antenna.
- 2.Increase the separation between the equipment and receiver.
- 3.Connect the equipment into an outlet on a circuit different from that to which the receiver is connected.
- 4.Consult the dealer or an experienced radio/TV technician for help.

FCC RF exposure information

Your device is a radio transmitter and receiver. It is designed and manufactured not to exceed the emission limits for exposure to radio frequency (RF) energy set by the Federal Communications Commission of the U.S. Government.

The guidelines are based on standards that were developed by independent scientific organisations through periodic and thorough evaluation of scientific studies. The standards include a substantial safety margin designed to assure the safety of all persons, regardless of age and health.

The exposure standard for wireless devices employs a unit of measurement known as the Specific Absorption Rate, or SAR. The SAR limit set by the FCC is 1.6 W/kg.

The tests are performed in positions and locations (e.g., at the ear and worn on the body) as required by the FCC for each model. The highest SAR value for this model device when worn on the body, as described in this user guide, is 1.5 W/kg.

Body-worn operation

This device was tested for typical body-worn operations with the back of the device kept 0 cm from the body. To meet RF exposure guidelines during body-worn operation, the device should be positioned at least this distance away from the body. The use of belt clips, holsters and similar accessories should not contain metallic components in its assembly.

The use of accessories that do not satisfy these requirements may not comply with FCC RF exposure requirements, and should be avoided.

The FCC has granted an Equipment Authorization for this model device with all reported SAR levels evaluated as

in compliance with the FCC RF emission guidelines. SAR information on this model device is on file with the FCC and can be found under the Display Grant section of <http://www.fcc.gov/oet/ea/fccid/> after searching on FCC ID A3LSCT21.

Additional information on Specific Absorption Rates (SAR) can be found on the Cellular Telecommunications & Internet Association (CTIA) Website at <http://www.ctia.org/>.

European RF Exposure Information

Your device is a radio transmitter and receiver. It is designed not to exceed the limits for exposure to radio waves recommended by international guidelines. These guidelines were developed by the independent scientific organization ICNIRP and include safety margins designed to assure the protection of all persons, regardless of age and health.

The guidelines use a unit of measurement known as the Specific Absorption Rate, or SAR. The SAR limit for devices is 2 W/kg and the highest SAR value for this device when tested at the body was 0.670 W/kg*.

As SAR is measured utilizing the devices highest transmitting power the actual SAR of this device while operating is typically below that indicated above. This is due to automatic changes to the power level of the device to ensure it only uses the minimum level required to reach the network.

Declaration of Conformity

Product details

For the following

Product : GSM WCDMA LTE BT/Wi-Fi Portable Device
Model(s) : SCT21

CE 0168

Declaration & Applicable standards

We hereby declare, that the product above is in compliance with the essential requirements of the R&TTE Directive (1999/5/EC) by application of:

SAFETY	EN 60950-1:2006 + A11:2009 + A1:2010 + A12:2011
SAR	EN 50566 : 2013 EN 62209-2 : 2010 EN 62479 : 2010
EMC	EN 301 489-1 V1.9.2 (09-2011) EN 301 489-17 V2.2.1 (09-2012) EN 301 489-24 V1.5.1 (10-2010) EN 301 489-3 V1.6.1 (08-2013) EN 301 489-7 V1.3.1 (11-2005) EN 55022 : 2010 EN 55024 : 2010
RADIO	EN 300 328 V1.8.1 (06-2012) EN 300 440-1 V1.6.1 (08-2010) EN 300 440-2 V1.4.1 (08-2010) EN 301 511 V9.0.2 (03-2003)

EN 301 893 V1.7.1 (06-2012)
EN 301 908-1 V6.2.1 (04-2013)
EN 301 908-13 V6.2.1 (10-2013)
EN 301 908-2 V6.2.1 (10-2013)
EN 302 291-1 V1.1.1 (07-2005)
EN 302 291-2 V1.1.1 (07-2005)

and the Directive (2011/65/EU) on the restriction of the use of certain hazardous substances in electrical and electronic equipment by application of EN 50581:2012. The conformity assessment procedure referred to in Article 10 and detailed in Annex[W] of Directive 1999/5/EC has been followed with the involvement of the following Notified Body(ies):

TÜV SÜD BABT, Octagon House, Concorde Way, Fareham, Hampshire, PO15 5RL, UK ※
Identification mark: 0168

■ Representative in the EU

Samsung Electronics Euro QA Lab.
Blackbushe Business Park
Saxony Way, Yateley, Hampshire
GU46 6GG, UK ※

2014.11.06

(Place and date of issue)



Stephen Colclough / EU Representative
(Name and signature of authorized person)

※ This is not the address of Samsung Service Centre. For the address or the phone number of Samsung Service Centre, see the warranty card or contact the retailer where you purchased your product.

輸出管理規制

本製品および付属品は、日本輸出管理規制（「外国為替及び外国貿易法」およびその関連法令）の適用を受ける場合があります。また米国再輸出規制（Export Administration Regulations）の適用を受ける場合があります。本製品および付属品を輸出および再輸出する場合は、お客様の責任および費用負担において必要となる手続きをお取りください。詳しい手続きについては経済産業省または米国商務省へお問い合わせください。

知的財産権について

■ 商標について

本書に記載している会社名、製品名は、各社の商標または登録商標です。

- microSDロゴ、microSDHCロゴ、microSDXCロゴはSD-3C, LLCの商標です。



- Bluetooth® smart readyとBluetoothロゴは、Bluetooth SIG, INC.の登録商標であり、ライセンスを受けて使用しています。
- Wi-Fi®, Wi-Fi Protected Setup™, Wi-Fi Direct™, Wi-Fi CERTIFIED™とWi-Fiロゴは、Wi-Fi Allianceの登録商標です。
- Excel®, PowerPoint®は、米国Microsoft Corporationの米国及びその他の国における商標または登録商標です。
- Microsoft® Wordは、米国Microsoft Corporationの商品名称です。
- TwitterおよびTwitterロゴはTwitter, Inc.の商標または登録商標です。
- FacebookおよびFacebookロゴはFacebook, Inc.の商標または登録商標です。



- 「Google」, 「Google」 ロゴ, 「Android」, 「Android」 ロゴ, 「Google Play」, 「Google Play」 ロゴ, 「Gmail」, 「Google カレンダー」, 「Google Chrome」, 「Googleマップ」, 「ハングアウト」, 「Google+」, 「Google 音声検索」 および 「YouTube」 は、Google Inc.の商標または登録商標です。
- 文字変換は、オムロンソフトウェア株式会社のiWnnを使用しています。iWnn© OMRON SOFTWARE Co., Ltd. 2008-2016 All Rights Reserved.
- Microsoft®, Windows Media®, ActiveSync®は、米国Microsoft Corporationの、米国またはその他の国における商標または登録商標です。
- OracleとJavaは、Oracle Corporation及びその子会社、関連会社の米国及びその他の国における登録商標です。文中の社名、商品名等は各社の商標または登録商標である場合があります。
- 「GREE」 は、日本で登録されたGREE株式会社の登録商標または商標です。
- ロヴィ、Rovi、Gガイド、G-GUIDE、Gガイドモバイル、G-GUIDE MOBILE、およびGガイド関連ロゴは、米国Rovi Corporationおよび/またはその関連会社の日本国内における商標または登録商標です。
- 本製品には、絵文字画像として株式会社NTTドコモから利用許諾を受けた絵文字が含まれています。
- ©2014 Comic Communication Co., Ltd. All rights reserved.
- その他本文中に記載されている会社名および商品名は、各社の商標または登録商標です。

■ Windowsの表記について

本書では各OS（日本語版）を以下のように略して表記しています。

- Windows 8は、Microsoft® Windows® 8、Microsoft® Windows® 8 Pro、Microsoft® Windows® 8 Enterpriseの略です。
- Windows 7は、Microsoft® Windows® 7 (Starter、Home Basic、Home Premium、Professional、Enterprise、Ultimate) の略です。
- Windows Vistaは、Microsoft® Windows Vista® (Home Basic、Home Premium、Business、Enterprise、Ultimate) の略です。

■ その他

本製品に搭載されているソフトウェアまたはその一部につき、変更、翻訳・翻案、リバース・エンジニアリング、逆コンパイル、逆アセンブルを行ったり、それに関与してはいけません。

本製品は、MPEG-4 Visual Patent Portfolio Licenseに基づきライセンスされており、お客様が個人的かつ非営利目的において以下に記載する場合においてのみ使用することが認められています。

- MPEG-4 Visualの規格に準拠する動画（以下、MPEG-4 Video）を記録する場合
 - 個人的かつ非営利的活動に従事する消費者によって記録されたMPEG-4 Videoを再生する場合
 - MPEG-LAよりライセンスを受けた提供者により提供されたMPEG-4 Videoを再生する場合
- プロモーション、社内用、営利目的などその他の用途に使用する場合には、米国法人MPEG LA, LLCにお問い合わせください。

本製品は、AVCポートフォリオライセンスに基づき、お客様が個人的に、且つ非商業的な使用のために (i) AVC規格準拠のビデオ（以下「AVCビデオ」と記載します）を符号化するライセンス、および/または (ii) AVCビデオ（個人的で、且つ商業的活動に従事していないお客様により符号化されたAVCビデオ、および/またはAVCビデオを提供することについてライセンス許諾されているビデオプロバイダーから入手したAVCビデオに限り）を復号するライセンスが許諾されています。その他の使用については、黙示的にも一切のライセンス許諾がされておられません。さらに詳しい情報については、MPEG LA, LLCから入手できる可能性があります。http://www.mpegla.com をご参照ください。

本製品は、VC-1 Patent Portfolio Licenseに基づき、お客様が個人的に、且つ非商業的な使用のために (i) VC-1規格準拠のビデオ（以下「VC-1ビデオ」と記載します）を符号化するライセンス、および/または (ii) VC-1ビデオ（個人的で、且つ商業的活動に従事していないお客様により符号化されたVC-1ビデオ、および/またはVC-1ビデオを提供することについてライセンス許諾されているビデオプロバイダーから入手したVC-1ビデオに限り）を復号するライセンスが許諾されています。その他の使用については、黙示的にも一切のライセンス許諾がされておられません。さらに詳しい情報については、MPEG LA, LLCから入手できる可能性があります。http://www.mpegla.com をご参照ください。

ご不要になったケータイや取扱説明書はお近くのauショップへ

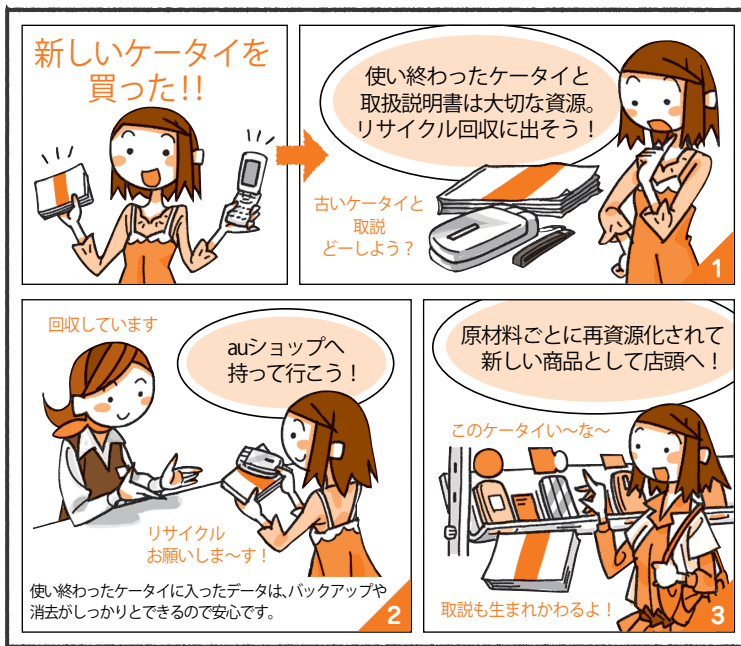
大切な地球のために、 一人ひとりができること。

それは、たとえばケータイや取扱説明書のリサイクルという、とても身近なことから始められます。

ケータイの本体や電池に含まれている希少金属や、取扱説明書などの紙類はリサイクルすることができます。

取扱説明書などの紙類は古紙原料として、製紙会社で再生紙となり、次の印刷物に生まれ変わります。また、このリサイクルによる資源の売却金は、国内の森林保全活動に役立っています。

ご不要になったケータイや取扱説明書は、お近くのauショップへ。みなさまのご協力をお願いいたします。



ご不要になったケータイや取扱説明書は
お近くのauショップへ

<http://www.au.kddi.com/mobile/recycle/>

お問い合わせ先番号 お客さまセンター

総合・料金・操作方法について (通話料無料)


受付時間 9:00~20:00 (年中無休)

一般電話からは | au電話からは
 0077-7-111 | 局番なしの157番


Pressing "zero" will connect you to an operator,
after calling "157" on your au cellphone.


紛失・盗難時の回線停止のお手続き について (通話料無料)

受付時間 24時間 (年中無休)

一般電話からは | au電話からは
 0077-7-113 | 局番なしの113番

上記の番号がご利用にならない場合、
下記の番号にお電話ください。(無料)

 0120-977-033 (沖縄を除く地域)

 0120-977-699 (沖縄)

安心ケータイサポートセンター

紛失・盗難・故障について (通話料無料)

受付時間 9:00~20:00 (年中無休)

一般電話 / au電話から
 0120-925-919




濡れた状態で充電は、
異常な発熱・焼損などの原因となり
大変危険です。



取扱説明書リサイクルにご協力ください。
KDDIではこのマークのあるauショップで回収した紙資源を、
製紙会社と協力し国内リサイクル活動を行っています。



モバイル・リサイクル・ネットワーク
携帯電話・PHSのリサイクルにご協力を。

携帯電話・PHS事業者は、環境を保護し、貴
重な資源を再利用するためにお客様が不要と
なってお持ちになる電話機・電池・充電器
を、ブランド・メーカーを問わず  マーク
のあるお店で回収し、リサイクルを行っています。

2016年12月第1版

発売元: KDDI (株)・沖縄セルラー電話 (株)

輸入元: SAMSUNG ELECTRONICS JAPAN Co., Ltd.

製造元: Samsung Electronics Co., Ltd.